

財務会計システム 勘定奉行V ERP

機能アップガイド



目次

【債権管理】	
	2
	2
<『債権管理Proオプション』をお使いの場合>	
- 請求書発行の一覧確認画面・請求一覧表に、税率ごとの「税抜御買上額」と「消費税額等」 を出力できるようになりました。	3
<『債権管理Proオプション』をお使いの場合>	
伝票履歴メニューで、債権伝票の「売上金額」や「税率」などを出力できるようになりました。	3
与信残高一覧表で、グループ間消込をした手形の残高を集計する方法を変更できるようにな りました。	4

納品書で、税率ごとの「消費税額」と「課税対象額」を枠外に印字できるように なりました。

[債権管理]-[売上債権処理]-[債権伝票入力]メニュー納品書を印刷する際に、税率ごとの 消費税額と課税対象額を枠外に印字できるようになりました。 印字する場合は、[債権伝票入力 - 印刷条件設定]画面の[詳細設定]ページで「税率ごと

※この機能追加に伴い、[詳細設定]ページの「税率ごとの消費税額を印字する」は「税率ごと の消費税額を明細に印字する」に名称が変更されました。

請求書で、「非課税等対象額」の印字や、欄外への税率ごとの消費税額の印字ができるようになりました。
 <『債権管理Proオプション』をお使いの場合>

明細請求書・伝票請求書に、【御買上額合計】の内訳として、「非課税等対象額」を印字 できるようになりました。 また、税率ごとの消費税額を鑑や枠外に印字できるようにもなりました。

印字する場合は、[条件設定]画面の[出力設定]ページで[出力項目...]ボタンをクリックし、[明細請求書・伝票請求書]ページで、以下のように設定します。

〇非課税等対象額を印字する場合は、「非課税等対象額」で「印字する」を選択します。 〇税率ごとの消費税額を欄外に印字する場合は、「税率ごとの消費税額(欄外)」で「鑑 に印字する」または「枠外に印字する」を選択します。

「枠外に印字する」を選択すると、消費税額は請求書1ページ目の枠外の右下に印字されます。

※この機能追加に伴い、[明細請求書・伝票請求書]ページの「税率ごとの消費税額」は「税率 ごとの消費税額(明細)」に名称が変更されました。

≪ 関連メニュー ≫

- ・[債権管理]-[請求締処理]-[請求書発行]メニュー
- ・[債権管理]-[請求締処理]-[請求書再発行]メニュー

の消費税額を枠外に印字する」にチェックを付けます。

- 請求書発行の一覧確認画面・請求一覧表に、税率ごとの「税抜御買上額」と「消費税額等」を出力できるようになりました。
 - <『債権管理Proオプション』をお使いの場合>

[債権管理]-[請求締処理]-[請求書発行]メニューの一覧確認画面と[債権管理]-[請求締処 理]-[請求一覧表]メニューに、「税抜御買上額」や「消費税額等」の税率ごとの項目を印 字できるようになりました。

- ○[債権管理]-[請求締処理]-[請求書発行]メニューの場合は、[請求書発行 条件設定] 画面の[出力設定]ページに追加された出力項目設定で、設定します。 また、これに伴い、[出力設定]ページに出力項目設定が追加され、一覧確認画面に表示 するその他の項目についても、出力の有無や並び順を設定できるようになりました。
- 〇[債権管理]-[請求締処理]-[請求一覧表]メニューの場合は、[請求一覧表 条件設定] 画面の[出力設定]ページの出力項目設定で設定します。
 - ※Ver.2.71以前のバージョンで請求書発行済みの履歴は、今回追加された項目は空欄で 出力されます。 税率ごとの金額を出力する場合は、[債権管理]-[請求締処理]-[請求締取消]メニュー で請求締を取り消し、[債権管理]-[請求締処理]-[請求書発行]メニューで請求書を 発行しなおします。

≪ 関連メニュー ≫

- ・[債権管理]-[請求締処理]-[請求書発行]メニュー
- ・[債権管理]-[請求締処理]-[請求一覧表]メニュー
- 伝票履歴メニューで、債権伝票の「売上金額」や「税率」などを出力できるよう になりました。

[債権管理]-[履歴管理]-[債権伝票履歴]メニューや[債権管理]-[履歴管理]-[入金伝票履 歴]メニューで、債権伝票の以下の項目を出力できるようになりました。

税処理/税率/売上金額/消費税金額

出力する場合は、[条件設定]画面の[項目選択]ページで債権伝票の出力項目を設定します。

また、転送時に[転送条件設定]画面の[詳細設定]ページで「税率種別を出力する」にチェ ックを付けると、税率種別も出力できます。

≪ 関連メニュー ≫

- ・[債権管理]-[履歴管理]-[債権伝票履歴]メニュー
- ・[債権管理]-[履歴管理]-[入金伝票履歴]メニュー

与信残高一覧表で、グループ間消込をした手形の残高を集計する方法を変更できるようになりました。

グループ間消込をした受取手形、ファクタリング債権、電子記録債権の残高を[債権管理]-[管理帳票]-[与信残高一覧表]メニューの手形債権残高で確認する場合に、いままでは、消し込んだ各請求先の手形債権残高に集計されていました。

これからは、振出元の請求先の手形債権残高に集計することもできるようになりました。 ▼例

以下の債権について、A社(本社)から20万円の手形を受領し、消込をした場合 債権:10万円 B社(子会社) 債権:10万円 C社(子会社)

振出元の請求先の手形債権残高に集計する場合は、以下のように集計されます。

- A社(本社)
 手形債権残高:20万円
- ・B社(子会社) 手形債権残高: 0円
- ・C社(子会社) 手形債権残高: 0円

振出元の請求先の手形債権残高に集計する場合は、[詳細条件]ページで「手形が発生した 請求先に集計する」にチェックを付けます。

≪ 関連メニュー ≫

・[債権管理]-[管理帳票]-[与信残高一覧表]メニュー



財務会計システム 勘定奉行V ERP

機能アップガイド



【改正情報】

新元号(改元)に対応しました。

2

● 新元号(改元)に対応しました。

改元日2019年5月1日以後の日付から、新元号の日付に切り替わります。

○日付の入力では、暦表示が和暦の場合に、入力月にしたがい元号の表示が切り替わります。
 ※4月までは「平成」に、5月からは新元号の表示に切り替わります。

平成 31年5月 → 新元号 1年5月 新元号 1年4月 → 平成 31年4月

○画面表示や印刷、転送・汎用データ作成では、暦表示が和暦の場合に改元日以後は新元 号で出力されます。

〇汎用データ受入では、「日付」項目の書式が和暦形式の場合に、改元日以後は新元号の 日付で受け入れできます。

※なお、改元日以後に「平成」の日付のままでも受け入れできます。 例)「平成31年5月」は「新元号1年5月(2019年5月)」として受入



財務会計システム 勘定奉行V ERP

機能アップガイド



< Ver.2.69 >

【改正情報】	
消費税10%への対応	2
軽減税率制度への対応	2
区分記載請求書等保存方式への対応	2
汎用データ受入の対応	2
【導入処理】	
[手形機能設定]メニューで、ファクタリング債権、電子記録債権の【手数料仕訳設定】の部 門の選択肢が変更されました。	3
【債権管理】	
請求書発行済みでも、受取手形、ファクタリング債権、期日現金、電子記録債権を修正でき るようになりました。	3
<『債権管理Proオプション』をお使いの場合>	

◎ 消費税10%への対応

〇取引日付にもとづいた税率の自動判定 取引の日付にあわせて税率を自動判定し、税率改定後もミスなくスムーズに入力できます。

〇旧税率8%(取引先に合わせる場合や経過措置の取引)の計上 前回の8%への改定と同様に、今回も経過措置が設けられています。 伝票起票時に税率を8%に変更できます。

Oアラート機能により入力ミスを未然に防止 施行日をまたいで伝票を複写・修正した場合に、確認メッセージが表示され、適切な税 率を適用できます。

● 軽減税率制度への対応

勘定科目・補助科目の税率種別をもとに税率を初期表示します。 軽減税率用の債権区分を登録することで、債権伝票では債権区分を選択するだけで、軽 減税率の取引を迷わず起票できます。 ※軽減税率の対象となる品目は、国税庁のホームページを参照

区分記載請求書等保存方式への対応

軽減税率の実施に伴い、税率ごとの区分を記載した請求書等(区分記載請求書等)の発 行が必要になります。 請求書・納品書で、以下の内容が出力できます。 ・軽減税率の対象の商品明細に軽減フラグ(「軽」) ・税率ごとに区分した税抜価額の合計額および消費税額等

● 汎用データ受入の対応

〇新税率10%に対応

〇軽減税率品目の取引用に、受入項目「税率種別」を追加

「消費税10%・軽減税率対応 運用ガイド」に、運用に関する一連の操作手順をまとめて います。

最初に目次を参照して、必要な箇所をご確認ください。

※「消費税10%・軽減税率対応 運用ガイド」は、『操作説明(ヘルプ)』の「機能追加 /改正情報」から参照できます。」 ● [手形機能設定]メニューで、ファクタリング債権、電子記録債権の【手数料仕訳設定】の部門の選択肢が変更されました。

ファクタリング債権([ファクタリング債権]-[ファクタリング仕訳設定]ページで設定)

変更前	変更後
0:その他	0:その他
1:ファクタリング情	1:入金明細 (選択肢の名称が変更されました。セットされる
報	部門に変更はありません。)
2:固定	2:固定
	3:ファクタリング債権 (選択肢が追加されました。)

電子記録債権([電子記録債権]-[仕訳設定]ページで設定)

変更前	変更後
0:その他	0:その他
1:電子記録債権情報	1:入金明細(選択肢の名称が変更されました。セットされる
2:固定	部門に変更はありません。)
	2:固定
	3:電子記録債権 (選択肢が追加されました。)

債権管理

 請求書発行済みでも、受取手形、ファクタリング債権、期日現金、電子記録債権を 修正できるようになりました。

<『債権管理Proオプション』をお使いの場合>

請求書発行済みの場合でも、振替日付などを修正できるようになりました。 入金情報に影響する項目は、今までどおり修正できません。

≪ 関連メニュー ≫

- ・[債権管理]-[受取手形処理]-[受取手形入力]メニュー
- ・[債権管理]-[ファクタリング処理]-[ファクタリング債権入力]メニュー
- ・[債権管理]-([電子記録債権処理]-)[電子記録債権入力]メニュー



財務会計システム 勘定奉行V ERP

機能アップガイド

債権管理 Pro /債権管理オプション

< Ver.2.65 / Ver.2.62 / Ver.2.60 / Ver.2.58 >

【全般】

回収種別が値引の時に、[入金情報登録]メニューで税率を指定して登録し、請求書に印字で 2 きるようになりました。

2

2

3

3

3

各承認メニューで、合計を確認できるようになりました。

承認リストや未承認リスト、入金情報リストで、あらかじめ選択した項目での印刷や、複数 ページになる場合の印刷順序の設定ができるようになりました。

【債権管理】

明細請求書に調整額の明細を集計できるようになりました。

[個別入金消込]メニューの未消込リストの印刷時に、第一項目に金額を選択した場合でも、 小計・合計の項目名が出力されるようになりました。

債権伝票履歴リストを、選択した項目・並び順で印刷できるようになりました。

回収種別が値引の時に、[入金情報登録]メニューで税率を指定して登録し、請求 書に印字できるようになりました。

いままでは、[債権管理]-[入金処理]-[入金情報登録]メニューで税率の指定はできません でしたが、これからは、回収方法の回収種別([導入処理]-[決済方法登録]-[回収方法登 録]メニューの[基本]ページで設定)が「5:値引」の際に、税率を指定できるようになり ました。入金金額を選択し、 税率 ([F1] キー)を押して税率を指定します。 [債権管理]-[請求締処理]-[請求書発行]メニューで税率ごとの消費税額([請求書発行 -出力項目]画面の[明細請求書・伝票請求書]ページで設定)が「印字する」の場合は、回 収種別が「5:値引」の明細の税率も含めて印字できます。

また、以下の事ができるようになりました。

- ・回収種別が「5:値引」の入金情報を消し込む際に、[入金情報登録]メニューで登録した 税率で入金伝票を作成できます。
- ・[随時処理]-[汎用データ作成]-[債権データ作成]-[入金情報データ作成]メニューで出力 される項目に、「税率」項目が追加されました。また、[随時処理]-[汎用データ受入]-[債権データ受入]-[入金情報データ受入]メニューで、税率を指定して受け入れること ができます。
- 各承認メニューで、合計を確認できるようになりました。

各承認メニューの画面上に合計行を表示できるようになりました。 各メニューの[条件設定]画面に追加された[表示設定]ページの合計表示を「表示する」に 設定します。

≪ 関連メニュー ≫

- ・[債権管理]-[売上債権処理]-[債権伝票承認]メニュー ※この機能追加に伴い、[表示設定]ページが追加されました。
- ・[債権管理]-[入金処理]-[入金伝票承認]メニュー
- ・[債権管理]-[相殺処理]-[相殺伝票承認]メニュー
- 承認リストや未承認リスト、入金情報リストで、あらかじめ選択した項目での印刷や、複数ページになる場合の印刷順序の設定ができるようになりました。

承認リストや未承認リスト、入金情報リストに、印刷レイアウトについての設定が追加されました。

- 1明細の出力項目が2ページ以上にわたる場合の印刷順序を設定できます。
 [印刷等条件設定]画面の[基本設定]ページの「複数ページの印刷順序」で設定します。
- ・[条件設定]画面の[項目選択]ページで設定した項目と並び順で印刷されるようになりました。

いままでの固定のレイアウトで印刷する場合は、[印刷等条件設定]画面の[基本設定]ペ ージの「固定レイアウトで印刷する」のチェックを付けます。

≪ 関連メニュー ≫

- ・[債権管理]-[売上債権処理]-[債権伝票承認]メニュー
- ・[債権管理]-[入金処理]-[入金伝票承認]メニュー
- ・[債権管理]-[入金処理]-[入金情報登録]メニュー

● 明細請求書に調整額の明細を集計できるようになりました。

[請求書発行 - 出力項目]画面の[明細請求書]ページで、調整額の明細集計を「する」に 設定します。

≪ 関連メニュー ≫

- ・[債権管理]-[請求締処理]-[請求書発行]メニュー
- ・[債権管理]-[請求締処理]-[請求書再発行]メニュー

● [個別入金消込]メニューの未消込リストの印刷時に、第一項目に金額を選択した 場合でも、小計・合計の項目名が出力されるようになりました。

[個別入金消込 - 条件設定]画面の[項目選択]ページで第一項目に金額を選択した場合 に、いままでは小計・合計行の項目名が非表示になっていましたが、これからは全体の列 を自動的に右にずらし、最左列に小計・合計の項目名が出力されるようになりました。

● 債権伝票履歴リストを、選択した項目・並び順で印刷できるようになりました。

[債権管理]-[履歴管理]-[債権伝票履歴]メニューに、[債権伝票履歴 - 条件設定]画面の [項目選択]ページで選択した項目で債権伝票履歴リストを印刷できるレイアウトが追加さ れました。

[債権伝票履歴 - 印刷等条件設定]画面の[基本条件]ページの形式選択で「債権伝票履歴 リスト(選択形式)」を選択します。



財務会計システム 勘定奉行V ERP

機能アップガイド



変更内容一覧

【債権管理】

≪債権データ抽出≫

メインメニューの[導入処理]-[運用設定]-[会社運用設定]メニューの[伝票設定]ページの 「摘要の貸借別の入力」が「1:する」の場合に、作成する債権伝票の摘要に仕訳明細の債権 科目の摘要をセットできるようになりました。

【設定箇所】

[債権データ抽出 - 条件設定]画面の[表示方法]ページの「債権科目の摘要を表示する」 < 『伝票項目拡張オプション』をお使いの場合>



財務会計システム 勘定奉行V ERP

機能アップガイド



≪法改正情報≫

平成27年10月施行消費税改正(国境を越えた役務の提供にかかる消費税)に対応しました。

平成28年施行「山の日(国民の祝日)」に対応しました。

≪機能追加≫

他のメニューが実行中でも、以下のメニューを開いて、設定内容を参照できるようになりま した。

※ただし、設定内容を登録する際は、他のメニューを閉じる必要があります。

【関連メニュー】

〇[導入処理]-[運用設定]-[債権債務運用設定]メニュー

〇[導入処理]-[会計期間設定]-[債権債務機能設定]メニュー

〇[導入処理]-[会計期間設定]-[手形機能設定]メニュー

前受金残高にセグメント1・セグメント2・プロジェクト・サブプロジェクト・工事・工種 を入力できるようになりました。

※セグメント1・セグメント2は、『伝票項目拡張オプション』をお使いの場合に使用でき るマスターです。

※プロジェクト・サブプロジェクトは、『勘定奉行[個別原価管理編]』をお使いの場合に使 用できるマスターです。

※工事・工種は、『勘定奉行[建設業編]』をお使いの場合に使用できるマスターです。

【関連メニュー】

〇[導入処理]-[残高入力]-[前受金残高入力]メニュー

〇[随時処理]-[汎用データ作成]-[マスターデータ作成]-[残高データ作成]-[前受金残高デー タ作成]メニュー

〇[随時処理]-[汎用データ受入]-[マスターデータ受入]-[残高データ受入]-[前受金残高デー タ受入]メニュー

[導入処理]-[承認権限登録]メニューで、印刷・転送のレイアウトが変更されました。 また、印刷時に初期値として表示するプリンタをメインメニューの[導入処理]-[運用設定]-[帳票別プリンタ登録]メニューで登録できるようになりました。

[随時処理]-[汎用データ作成]-[債権データ作成]-[債権伝票データ作成]メニューの[項目選 択]ページで、「税区分」を選択すると「税区分コード」「税区分名」「税区分略称」が出力 できるようになりました。 ≪法改正情報≫

平成27年10月施行消費税改正(国境を越えた役務の提供にかかる消費税)に対応しました。

当システムに影響のある改正は、大きく2つです。

〇国外との商品の売買・サービスの提供のうちインターネット等を介した売買・提供に関 して、課税取引なのか不課税取引なのかを判定する基準が変更されました。

O新しい課税方式「リバースチャージ方式」が導入され、国外事業者が納税する売上げに かかる消費税を、日本企業が申告時に代わりに納税します。

※平成27年10月1日以後の取引から適用

詳細は、『勘定奉行』の「機能追加/改正情報 - Ver.2.50 変更内容の詳細」をご参照 ください。

平成28年施行「山の日(国民の祝日)」に対応しました。
 [導入処理]-[運用設定]-[休日登録]メニューの休日パターンに、国民の休日として「山の日」が追加されました。
 当バージョンをセットアップ後に登録する、2016年以降の休日リストに「山の日」が追加されます。



財務会計システム 勘定奉行V ERP

機能アップガイド



【全般】

消込時や承認時などに、対象の債権伝票にジャンプして付箋を貼り、メモを残すことができ るようになりました。

※詳細は、操作説明の「伝票を参照して付箋を貼る」をご参照ください。

各メニューで表示するプロジェクト名称を、メインメニューの[導入処理]-[プロジェクト関 連登録]-[プロジェクト登録]-[プロジェクト登録]メニューで設定した「プロジェクト名」 「プロジェクト略称」のどちらで表示するかを設定できるようになりました。 【設定箇所】

[導入処理]-[運用設定]-[債権債務運用設定]メニューの[名称設定]ページ

< 『勘定奉行[個別原価管理編]』をお使いの場合>

各メニューで表示する工事名称を、メインメニューの[導入処理]-[工事関連登録]-[工事登録]-[工事登録]メニューで設定した「工事名」「工事略称」のどちらで表示するかを設定で きるようになりました。

【設定箇所】

[導入処理]-[運用設定]-[債権債務運用設定]メニューの[名称設定]ページ

< 『勘定奉行[建設業編]』をお使いの場合>

【導入処理】

≪前受金残高入力≫

画面レイアウトが変更されました。

項目ごとに列が分かれ、項目が横並びで表示されるようになりました。

摘要欄で、登録済みの摘要を検索して入力できるようになりました。

≪取引先登録≫

振込先初期設定([支払先振込]ページで設定)の選択肢に、「振込先未指定」が追加されました。

電子記録債権の譲渡先になる取引先で、電子記録債権に譲渡先振込先銀行を初期表示しない 場合は、「振込先未指定」を設定します。

【関連メニュー】

- ・[導入処理]-[取引先登録]-[取引先登録]メニュー
- ・[導入処理]-[取引先登録]-[取引先一括登録]メニュー
- ・[随時処理]-[汎用データ作成]-[マスターデータ作成]-[取引先データ作成]-[取引先データ 作成]メニュー
- ・[自動実行管理]-[汎用データ作成]-[自動実行取引先データ作成]メニュー(『自動実行管 理オプション』をお使いの場合)
- ・[自動実行管理]-[汎用データ受入]-[自動実行取引先データ受入]メニュー(『自動実行管 理オプション』をお使いの場合)
- ・[債権管理]-[電子記録債権処理]-[電子記録債権入力]メニュー
- ・[債権管理]-[電子記録債権処理]-[電子記録債権てん末変更]メニュー

【債権管理】

≪入金情報登録≫

入金情報の請求先を変更した際に、回収方法を、変更後の請求先の回収方法に更新するか、 そのままにするかを選択できるようになりました。 【設定箇所】

[入金情報登録 - 設定]画面の[運用設定]ページ 「請求先変更時の回収方法」

メインメニューの[仕訳処理]-[仕訳入力補助]-[部門別税区分表示設定]メニューで部門ごとの税区分を設定している場合は、当メニューで作成する入金伝票にも部門ごとの税区分が表示されるようになりました。

【相殺消込に関する変更内容】

<『債務管理Proオプション』または『債務管理オプション』を併せてお使いの場合>

≪メニュー体系≫

メニューの名称および構成が変更されました。

※詳細は、12ページをご参照ください。

≪全般≫

帳票別プリンタ登録できる帳票が追加されました。

※詳細は、12ページをご参照ください。

債権管理または債務管理のどちらかにだけ部門権限の制限をかけている場合に、相殺消込の 部門権限の制限をどうするかを設定できるようになりました。

【設定箇所】

[導入処理]-[運用設定]-[債権債務運用設定]メニューの[相殺基本設定]ページ 「勘定奉行 部門権限」

【関連メニュー】

- ・[導入処理]-[運用設定]-[債権債務運用設定]メニュー
- ・[債権管理]-[相殺処理]-[一括相殺消込]メニュー、[債権管理]-[相殺処理]-[一括相殺消込]メニュー、[債権管理]-[相殺処理]-[相殺消込修正]メニュー(新:[債権管理]-[相殺処理]-[相殺消込]メニュー)
- ・[債権管理]-[相殺処理]-[相殺消込承認]メニュー(新:[債権管理]-[相殺処理]-[相殺伝票 承認]メニュー)
- 新:[随時処理]-[データー括削除]-[債権データー括削除]-[相殺伝票データー括削除]メニュー

<ネットワーク対応製品をお使いの場合>

≪一括相殺消込≫

※新メニュー名:[相殺消込]メニュー

[フローに関する変更]

[一括相殺消込]メニュー、[個別相殺消込]メニュー、[相殺消込修正]メニューが1つのメニューに統合され、消込と取消が1つのメニューで処理できるようになりました。

消込を行う場合は、[相殺消込 - 条件設定]画面の[基本条件]ページで処理区分「消込」を選択します。

[条件設定画面の変更]

検索対象の絞込条件が追加されました。

※この機能追加に伴い、以下のとおり変更されました。

- ・[基本条件]ページの絞込条件項目は、リストから選択する形式になりました。
- ・[摘要]ページ、[登録情報]ページ、[利用情報]ページ、[付箋]ページ、[消費税]ページ が追加されました。

取引先グループの消込で取引先別に集計する場合に、いままでは、取引先グループを1件ず つ指定する必要がありました。

これからは、取引先グループを範囲指定できるようになりました。

[債権伝票詳細]ページ、[債務伝票詳細]ページは、[詳細条件]ページに統合されました。 ※ただし、[債権伝票詳細]ページ、[債務伝票詳細]ページの「伝票区分」は、[登録情報]ペ ージに移動しました。 [詳細条件]ページで、部門・セグメント・プロジェクトの絞込指定ができる対象が増えまし た。 いままでは、債権科目側・債務科目側だけが対象でしたが、借方・貸方・両方を対象にでき るようになりました。 ※セグメントは、『伝票項目拡張オプション』をお使いの場合に使用できるマスターです。 ※プロジェクトは、『勘定奉行[個別原価管理編]』をお使いの場合に使用できるマスターで す。 [表示設定]ページで、以下の項目が変更されました。 ・マイナス債権、マイナス債務 ⇒項目が廃止されました。 [基本条件]ページで債権金額、債務金額の指定ができるようになりました。 マイナス債権を抽出しない場合は、債権伝票の「金額」の範囲を「0~」と指定してくだ さい。 マイナス債務を抽出しない場合は、債務伝票の「金額」の範囲を「0~」と指定してくだ さい。 対象取引先

- ⇒項目が廃止されました。 金額が0の取引先を対象としない場合は、[表示設定]ページの消込ができないデータの 表示を「表示しない」に設定してください。
- ・名称項目の拡張表示

⇒項目が廃止され、必ず拡張表示されるようになりました。

<グループ間消込([導入処理]-[運用設定]-[債権債務運用設定]メニューの[相殺基本設定] ページで設定)が「1:使用する」の場合>

・集計単位

⇒[基本条件]ページに移動しました。

変更前の設定によって、以下のとおり設定してください。

変更前	変更後	
	相殺伝票集計単位	債権伝票・債務伝票消込単位
取引先単位	取引先別	明細別
取引先グループ単位(一 括)	取引先グループ別	明細別
取引先グループ単位(個 別)	取引先グループ別	取引先別

・取引先グループに属さない取引先は対象にしない。

⇒項目が廃止されました。

取引先グループに属さない取引先は、[基本条件]ページで以下の条件を設定すると絞込 ができます。

相殺伝票集計単位:「取引先別」

- ・債権伝票の範囲指定:取引先グループ「0~0」
- ・債務伝票の範囲指定:取引先グループ「0~0」

プラスの債権明細、またはプラスの債務明細がないデータなど、消込ができないデータを表 示するかを設定できるようになりました。 【設定箇所】

[相殺消込 - 条件設定]画面の[表示設定]ページの「消込ができないデータの表示」

消込日付として初期表示する日付を設定できるようになりました。

【設定箇所】

[相殺消込 - 条件設定]画面の[表示設定]ページの「相殺日付初期表示」

相殺日付が会計期間外だった場合に、特定の日付を初期値として表示できるようになりまし た。

【設定箇所】

[相殺消込 - 条件設定]画面の[表示設定]ページの「会計期間外の相殺日付表示」

[出力順]ページで、検索結果の並び順を詳細に設定できるようになりました。

また、[出力順2]ページで債権明細、債務明細の検索結果の並び順も設定できるようになり ました。

※この機能追加に伴い、当バージョンにバージョンアップすると、以前のバージョンで設定 した並び順が初期化されます。

出力する項目、項目の並び順を設定できるようになりました。

※この機能追加に伴い、[項目選択]ページ、[項目選択2]ページが追加されました。

[メイン画面の変更]

画面の上段に相殺伝票、下段に消込対象の債権明細、債務明細が表示されるようになりまし た。

[Ctrl] キーを押すと表示される、[明細表示]([F5] キー)/[明細非表示]([F5] キー)で、下段の表示、非表示を切り替えられます。

※いままでの[一括相殺消込]メニューと同様に表示する場合は、下段を非表示にします。

以下のとおり、項目名が変更されました。

・「消込日付」→「相殺日付」

「相殺消込金額」→「消込金額」

「債権締日」、「債務締日」→「債権締日情報」、「債務締日情報」

〇以下の項目は、債権、債務の項目名称を区別できるように変更されました。

- ・「部門」→「債権部門」、「債務部門」、「売上部門」、「購入部門」
- ・「補助科目」→「債権補助科目」、「債務補助科目」、「売上補助科目」、「購入補助科目」
 目」

見出し部分に、集計範囲が表示されるようになりました。

消込金額に初期値として表示する金額を設定できるようになりました。

【設定箇所】

[相殺消込 - 設定]画面の[消込設定]ページの「消込金額の初期値」

消込実行後に[相殺伝票リスト]画面を表示して、作成する相殺伝票の確認・修正ができるようになりました。

【設定箇所】

[相殺消込 - 設定]画面の[消込設定]ページの「相殺消込後の伝票確認」

[日付ー括変]([F4]キー)、[摘要変更]([F7]キー)の機能が統合され、[一括変更](F7 キー)で相殺日付や摘要を一括変更できるようになりました。

※詳細は、操作説明の「相殺日付や摘要など、作成する相殺伝票の内容を一括で変更する」 をご参照ください。

[印刷の変更]

メニューが統合されたため、いままでの[個別相殺消込]メニューの印刷形式でも印刷できる ようになりました。 いままでの[一括相殺消込]メニューの印刷形式で印刷する場合は、[相殺消込 - 印刷等条件 設定]画面の[基本設定]ページの印刷形式を「相殺伝票集計単位リスト」に設定します。 ※ただし、旧:集計単位が「取引先グループ単位(個別)」の印刷形式で印刷する場合は、 「消込単位リスト」を選択します。 ※この機能追加に伴い、帳票タイトルの初期値が変更されました。 いままでの「一括相殺消込」メニューの印刷形式(新:印刷形式が「相殺伝票集計単位リス ト」)の場合は、[相殺消込 - 条件設定]画面の[項目選択]ページで設定された項目が出力さ れるようになりました。 ※この機能追加に伴い、相殺伝票集計単位が「取引先グループ単位」の場合は、債権締日、 債務締日が出力されなくなりました。 出力設定ができる項目が追加されました。 また、印刷時のフォントサイズを指定できるようになりました。 ※この機能追加に伴い、[詳細設定]ページが追加され、マスターコードの出力設定は[詳細設 定]ページに移動しました。 以下のとおり、項目名が変更されました。 「消込日付」→「相殺日付」 「相殺消込金額」→「消込金額」 ・「債権締日」、「債務締日」→「債権締日情報」、「債務締日情報」 見出し部分に、集計単位、集計範囲が出力されるようになりました。 合計行と区別できるように、明細の出力開始位置が右に1列移動しました。 旧:集計単位が「取引先グループ単位(個別)」の場合に、相殺消込金額(新:消込金額) の出力内容が変更されました。 変更前 「-(ハイフン)」で出力されていました。 変更後 空白で出力されるようになりました。 [転送の変更] 出力設定ができる項目が追加されました。 ※この機能追加に伴い、[詳細設定]ページが追加され、マスターコードの出力設定は[詳細設 定]ページに移動しました。 以下のとおり、項目名が変更されました。 「消込日付」→「相殺日付」 「相殺消込金額」→「消込金額」 ・「債権締日」、「債務締日」→「債権締日情報」、「債務締日情報」 見出し部分に、集計単位、集計範囲が出力されるようになりました。 合計行を出力する場合に、合計行と区別できるように、明細の出力開始位置が右に1列移動 しました。 合計行の前の空白行が出力されなくなりました。 旧:集計単位が「取引先グループ単位(個別)」の場合に、相殺消込金額(新:消込金額) の出力内容が変更されました。 変更前 「-(ハイフン)」で出力されていました。 変更後

空白で出力されるようになりました。

金額は「数値」、日付は「日付」の書式で出力されるようになりました。

Office連携サービスに対応し、Microsoft Outlookでメール送信したり、罫線や色を付けて Excelファイルに出力できるようになりました。

<「OMSS」/『奉行V ERP8』をお使いの場合>

≪個別相殺消込≫

※新メニュー名:[相殺消込]メニュー

[フローに関する変更]

[一括相殺消込]メニュー、[個別相殺消込]メニュー、[相殺消込修正]メニューが1つのメニ ューに統合され、消込と取消が1つのメニューで処理できるようになりました。 消込を行う場合は、[相殺消込 - 条件設定]画面の[基本条件]ページで処理区分「消込」を選 択します。

[条件設定画面の変更]

検索対象の絞込条件が追加されました。

※この機能追加に伴い、以下のとおり変更されました。

- ・[基本条件]ページの絞込条件項目は、リストから選択する形式になりました。
- ・[摘要]ページ、[登録情報]ページ、[利用情報]ページ、[付箋]ページ、[消費税]ページ が追加されました。

いままでは、取引先または取引先グループを1件ずつ指定する必要がありましたが、これか らは、取引先や取引先グループを範囲指定できるようになりました。

[債権伝票詳細]ページ、[債務伝票詳細]ページは、[詳細条件]ページに統合されました。 ※ただし、[債権伝票詳細]ページ、[債務伝票詳細]ページの「伝票区分」は、[登録情報]ペ ージに移動しました。

[詳細条件]ページで、部門・セグメント・プロジェクトの絞込指定ができる対象が増えました。

いままでは、債権科目側・債務科目側だけが対象でしたが、借方・貸方・両方を対象にでき るようになりました。

※セグメントは、『伝票項目拡張オプション』をお使いの場合に使用できるマスターです。 ※プロジェクトは、『勘定奉行[個別原価管理編]』をお使いの場合に使用できるマスターで す。

[表示設定]ページで、以下の項目が変更されました。

・マイナス債権、マイナス債務

⇒項目が廃止されました。

[基本条件]ページで債権金額、債務金額の指定ができるようになりました。

マイナス債権を抽出しない場合は、債権伝票の「金額」の範囲を「0~」と指定してください。

マイナス債務を抽出しない場合は、債務伝票の「金額」の範囲を「0~」と指定してください。

・名称項目の拡張表示

⇒項目が廃止され、必ず拡張表示されるようになりました。

プラスの債権明細、またはプラスの債務明細がないデータなど、消込ができないデータを表 示するかを設定できるようになりました。

【設定箇所】

[相殺消込 - 条件設定]画面の[表示設定]ページの「消込ができないデータの表示」

消込日付として初期表示する日付を設定できるようになりました。

【設定箇所】

[相殺消込 - 条件設定]画面の[表示設定]ページの「相殺日付初期表示」

相殺日付が会計期間外だった場合に、特定の日付を初期値として表示できるようになりまし た。

【設定箇所】

[相殺消込 - 条件設定]画面の[表示設定]ページの「会計期間外の相殺日付表示」

[出力順]ページで、検索結果の並び順を詳細に設定できるようになりました。

また、[出力順2]ページで債権明細、債務明細の検索結果の並び順も設定できるようになり ました。

※この機能追加に伴い、当バージョンにバージョンアップすると、以前のバージョンで設定 した並び順が初期化されます。

出力する項目、項目の並び順を設定できるようになりました。

※この機能追加に伴い、[項目選択]ページ、[項目選択2]ページが追加されました。

[メイン画面の変更]

画面の上段に相殺伝票、下段に消込対象の債権明細、債務明細が表示されるようになりました。

上段で相殺伝票が選択できるようになり、複数の取引先または取引先グループの消込を一括 で実行できるようになりました。

以下のとおり、項目名が変更されました。

「消込日付」→「相殺日付」

「相殺消込金額」→「消込金額」

・「伝票番号」→「伝票No.」

「債権締日」、「債務締日」→「債権締日情報」、「債務締日情報」

・「差額(債権 – 債務)」→「差額」

〇以下の項目は、債権、債務を区別できるように項目名が変更されました。

- 「部門」→「債権部門」、「債務部門」、「売上部門」、「購入部門」
- 「補助科目」→「債権補助科目」、「債務補助科目」、「売上補助科目」、「購入補助科
 目」
- ・「相殺消込金額合計」→「債権金額」、「債務金額」

見出し部分に、集計範囲が表示されるようになりました。

消込金額に初期値として表示する金額を設定できるようになりました。

【設定箇所】

[相殺消込 - 設定]画面の[消込設定]ページの「消込金額の初期値」

消込実行後に[相殺伝票リスト]画面を表示して、作成する相殺伝票の確認・修正ができるようになりました。

【設定箇所】

[相殺消込 - 設定]画面の[消込設定]ページの「相殺消込後の伝票確認」

[自動選択]([F3]キー)が廃止されました。

消込金額の初期値が「相殺可能額を使用する」の場合は、上段にチェックを付けると、自動 的に下段の明細にも相殺可能額分のチェックが付きます。

【設定箇所】

[相殺消込 - 設定]画面の[消込設定]ページの「消込金額の初期値」

[摘要変更]([F7]キー)は廃止され、[一括変更](F7キー)から摘要変更するようになりました。

※詳細は、操作説明の「相殺日付や摘要など、作成する相殺伝票の内容を一括で変更する」 をご参照ください。

[印刷の変更]

メニューが統合されたため、いままでの[一括相殺消込]メニューの印刷形式でも印刷できる ようになりました。

いままでの[個別相殺消込]メニューの印刷形式で印刷する場合は、[相殺消込 - 印刷等条件 設定]画面の[基本設定]ページの印刷形式を「消込単位リスト」に設定します。

※この変更に伴い、帳票タイトルの初期値が変更されました。

出力設定ができる項目が追加されました。

また、印刷時のフォントサイズを指定できるようになりました。

※この機能追加に伴い、[詳細設定]ページが追加され、マスターコードの出力設定は[詳細設 定]ページに移動しました。

見出し部分に、集計単位、集計範囲が出力されるようになりました。

[転送の変更]

出力設定ができる項目が追加されました。

※この機能追加に伴い、[詳細設定]ページが追加され、マスターコードの出力設定は[詳細設 定]ページに移動しました。

以下のとおり、項目名が変更されました。

「消込日付」→「相殺日付」

「相殺消込金額」→「消込金額」

・「債権締日」、「債務締日」→「債権締日情報」、「債務締日情報」

見出し部分に、集計単位、集計範囲が出力されるようになりました。

合計行を出力する場合のレイアウトが変更されました。

集計単位コード、集計単位名、合計列が出力された後に、明細列が出力されます。

合計行の前の空白行が出力されなくなりました。

金額は「数値」、日付は「日付」の書式で出力されるようになりました。

Office連携サービスに対応し、Microsoft Outlookでメール送信したり、罫線や色を付けて Excelファイルに出力できるようになりました。

<「OMSS」/『奉行V ERP8』をお使いの場合>

≪相殺消込修正≫

※新メニュー名:[相殺消込]メニュー

[一括相殺消込]メニュー、[個別相殺消込]メニュー、[相殺消込修正]メニューが1つのメニューに統合され、消込と取消が1つのメニューで処理できるようになりました。

取消を行う場合は、[相殺消込 - 条件設定]画面の[基本条件]ページで処理区分「取消」を選択します。

≪相殺消込承認≫

※新メニュー名: [相殺伝票承認]メニュー

[フローに関する変更]

承認取消機能が追加されました。

承認を行う場合は、[相殺伝票承認 - 条件設定]画面の[基本条件]ページで処理区分「承認」 を選択します。

相殺伝票承認([導入処理]-[運用設定]-[債権債務運用設定]メニューの[相殺基本設定]ページで設定)が「2:2段階承認」の場合に、1次承認権限者が1次承認済の伝票の承認を取り 消せるようになりました。 [条件設定画面の変更]

検索対象の絞込条件が追加されました。

※この機能追加に伴い、以下のとおり変更されました。

・[基本条件]ページの絞込条件項目は、リストから選択する形式になりました。

・[セグメント]ページ、[プロジェクト]ページは、[詳細条件]ページに統合されました。

・[摘要]ページ、[登録情報]ページ、[利用情報]ページが追加されました。

[基本条件]ページで以下の項目が変更されました。

・「範囲指定」

⇒「相殺伝票」に名称が変更されました。

・「伝票日付」

⇒「相殺日付」に名称が変更されました。

・「承認状態」(相殺伝票承認([導入処理]-[運用設定]-[債権債務運用設定]メニューの[相 殺基本設定]ページで設定)が「2:2段階承認」の場合)

⇒指定方法が変更されました。

[詳細条件]ページで、部門・セグメント・プロジェクトの絞込指定ができる対象が増えました。

いままでは、債権科目側・債務科目側だけが対象でしたが、借方・貸方・両方を対象にでき るようになりました。

※セグメントは、『伝票項目拡張オプション』をお使いの場合に使用できるマスターです。 ※プロジェクトは、『勘定奉行[個別原価管理編]』をお使いの場合に使用できるマスターで す。

[表示設定]ページが追加され、小計を表示できるようになりました。

[出力順]ページで、検索結果の並び順を詳細に設定できるようになりました。

[項目選択]ページが追加され、出力する項目、項目の並び順を設定できるようになりました。

[メイン画面の変更]

Windowsファンクションの名称が変更されました。

・ [相殺仕訳] ([F7] キー) → [相殺伝票] ([F7] キー)

以下のとおり、項目名が変更されました。

「伝票日付」→「相殺日付」

「対象承認件数」→「対象伝票件数」

「選択承認件数」→「選択伝票件数」

「承認状況」→「承認状態」

「相殺消込金額」→「消込金額」

「相殺消込可能額」→「相殺可能額」

選択承認件数(新:選択伝票件数)の表示内容が変更されました。

変更前

チェックを付けた伝票件数 + チェックを付けていない1次承認済の伝票件数

変更後

チェックを付けた伝票件数

取引先、取引先グループの表示方法が変更されました。

いままでは、取引先と取引先グループは同じ列に表示されていましたが、[項目選択]ページ で出力する項目を設定できるようになったため、別々の列で表示されるようになりました。

画面下部に、[項目選択]ページで出力項目に設定した金額項目の合計金額が表示されるよう

になりました。

※チェックを付けた伝票の合計金額が表示されます。

「印刷の変更」

印刷形式の名称が変更されました。

- ・「明細リスト」→「伝票リスト」
- ・「伝票リスト」→「未承認リスト」

承認取消機能が追加されたため、印刷形式に「承認済リスト」が追加されました。

【設定箇所】

[相殺伝票承認 - 条件設定]画面の[基本条件]ページの「処理区分」を「取消」に設定します。

出力設定ができる項目が追加されました。

また、印刷時のフォントサイズを指定できるようになりました。

※この機能追加に伴い、[詳細設定]ページが追加され、マスターコード、セグメント、プロ ジェクトの出力設定は[詳細設定]ページに集約されました。

※セグメントは、『伝票項目拡張オプション』をお使いの場合に使用できるマスターです。 ※プロジェクトは、『勘定奉行[個別原価管理編]』をお使いの場合に使用できるマスターで す。

明細リスト (新: 伝票リスト) の変更

・小計を出力する際の項目名が変更されました。

変更前

小計を出力する

変更後

伝票計を印刷する

・消費税納税額の計算方法(メインメニューの[導入処理]-[消費税基本登録]-[消費税基本登録] 録]メニューの[基本設定]ページで設定)が「1:簡易課税」の場合に、事業区分が出力で きるようになりました。

・整理仕訳の管理方法(メインメニューの[導入処理]-[会計期間設定]-[会計期間設定]メニ ューの[伝票設定]ページで設定)が「1:日常仕訳と区別する」の場合に、整理区分が出力 できるようになりました。

・帳票タイトルは、半角20文字までは文字の大きさが自動調節されるようになりました。

・小計行の下に罫線が印字されるようになりました。

伝票リスト (新:未承認リスト)の変更

・[伝票日付](新:相殺日付)の日付の形式が変更されました。

▼例

 $14/4/1 \rightarrow 2014/4/1$

・取引先・取引先グループの表示方法が変更されました。

・金額以外の項目は、タイトルが左詰めになりました。

・小計・合計・出力項目をそれぞれ1列に1項目で出力されるようになりました。

・以下のとおり、項目名が変更されました。

「伝票日付」→「相殺日付」

「承認状況」→「承認状態」

「相殺消込金額」→「消込金額」

単票相殺伝票の変更

 ・セグメント1・セグメント2・プロジェクト・サブプロジェクトが出力できるようになり ました。 【設定箇所】

[相殺伝票承認 - 印刷条件設定]画面の[詳細設定]ページ

※セグメントは、『伝票項目拡張オプション』をお使いの場合に使用できるマスターで す。

- ※プロジェクトは、『勘定奉行[個別原価管理編]』をお使いの場合に使用できるマスター です。
- ・整理仕訳(メインメニューの[導入処理]-[会計期間設定]-[会計期間設定]メニューの[伝票 設定]ページで設定)の管理方法が「1:日常仕訳と区別する」の場合に、整理区分が出力 できるようになりました。
- ・タイトル行の「借 方 取引先」「貸 方 取引先」が廃止されました。
- ・帳票タイトルが半角23文字以上でも出力できるようになりました。(文字の大きさが自動調 節されます。)
- ・会社名が、半角39文字以上でも出力できるようになりました。(文字の大きさが自動調節されます。)

・会社名を印字する/しないに関わらず、会社名の下の罫線が出力されなくなりました。

[転送の変更]

出力する項目は、[相殺伝票承認 - 条件設定]画面の[項目選択]ページで設定できるようになりました。

金額は「数値」、日付は「日付」の書式で出力されるようになりました。

合計行と区別できるように、明細の出力開始位置が右に1列移動しました。

合計行の前の空白行が出力されなくなりました。

小計行、合計行の出力有無を、[相殺伝票承認 - 印刷条件設定]画面の[基本設定]ページで設定できるようになりました。

以下のとおり、項目名が変更されました。

・「取引先」→「取引先コード」

・「(取引先名1)」→「取引先名」

≪相殺消込履歴≫

相殺伝票の参照・取消は、[債権管理]-[相殺処理]-[相殺伝票承認]メニューで行えるように なったため、メニューが廃止されました。

また、承認だけを取り消す機能と、同時に消込まで取り消す機能は、別のメニューで実行す るようになり、取消範囲が明確になりました。

承認だけの取消⇒[相殺伝票承認]メニュー

承認+消込の取消⇒[随時処理]-[データー括削除]-[債権データー括削除]-[相殺伝票データ ー括削除]メニュー

※[相殺伝票データー括削除]メニューは今回のバージョンで追加されたメニューです。

使用するには、[権限管理]メニューで利用者ごとにメニュー権限を設定してください。

● メニューの名称および構成が変更されました。

相殺消込に関するメニューで、以下のとおりメニューの名称および構成が変更されました。

変更前	変更後
[債権管理]-[相殺処理]	[債権管理]-[相殺処理]- [相殺消込]メニュー に統
-[一括相殺消込]メニュー	合されました。
-[個別相殺消込]メニュー	一括消込と個別消込、消込の取消が1つのメニュ
-[相殺消込修正]メニュー	一で処理できるようになりました。
[債権管理]-[相殺処理]	[債権管理]-[相殺処理]- [相殺伝票承認]メニュー
-[相殺消込承認]メニュー	に名称が変更されました。
[債権管理]-[履歴管理]	[債権管理]−[相殺処理]− [相殺伝票承認]メニュー
-[相殺消込履歴]メニュー	に統合されました。
	また、承認だけの取り消しと、承認+消込の同時
	取り消しは、別のメニューで実行するようにな
	<i>ы</i> ,
	[随時処理]-[データー括削除]-[債権データー括削
	除]−[相殺伝票データー括削除]メニュー が追加さ
	れました。
	〇承認だけを取り消す場合
	[債権管理]-[相殺処理] -[相殺伝票承認]メニュ
	_
	〇承認と消込を同時に取り消す場合
	[随時処理]-[データー括削除]-[債権データー括
	削除]-[相殺伝票データー括削除]メニュー
	※[相殺伝票データー括削除]メニューは、今回
	のバージョンで追加されたメニューです。
	使用するには、[権限管理]メニューで利用者
	ごとにメニュー権限を設定してください。

● 帳票別プリンタ登録できる帳票が追加されました。

以下の帳票について、初期値として表示するプリンタをメインメニューの[導入処理]-[運用 設定]-[帳票別プリンタ登録]メニューで登録できるようになりました。 これにより、[プリンタ設定]ページで初期値として表示される内容が、以下のとおり変更に なります。

変更前	変更後
全項目とも、前回の印刷時に設定した内容 容 ※初回起動時は、「通常使うプリンタ」 の内容が表示されます。	メインメニューの[導入処理]-[運用設 定]-[帳票別プリンタ登録]メニューでプ リンタが登録されているかによって、異 なります。 〇登録済みの場合 全項目とも、常に帳票別プリンタ登録 の内容 ※帳票別プリンタ登録が利用者ごとの 設定であれば、印刷時の「サイズ」

「印刷の向き」「余白・位置調整」
「倍率」の変更は、帳票別プリンタ
登録に反映します。
〇未登録の場合
「プリンタ名」「給紙方法」は、常に
「通常使うプリンタ」の内容
「サイズ」「印刷の向き」「余白・位
置調整」は、前回の印刷時に設定した
内容

注意

この機能アップのため、当バージョンにバージョンアップすると、以前のバージョンで設定 した内容が初期値として表示されなくなります。

帳票を印刷する前に、メインメニューの[導入処理]-[運用設定]-[帳票別プリンタ登録]メニ ューで初期値として表示するプリンタを登録してください。

※[帳票別プリンタ登録]メニューの登録をしない場合は、常に「通常使うプリンタ」が初期 値として表示されます。

≪ 対象帳票 ≫

- ・相殺消込対象リスト(新:相殺伝票集計単位リスト・消込単位リスト[取引先別]([債 権管理]-[相殺処理]-[相殺消込]メニュー))
- ・個別相殺消込対象リスト(新:消込単位リスト[明細別]([債権管理]-[相殺処理]-[相 殺消込]メニュー))
- ・相殺伝票リスト([債権管理]-[相殺処理]-[相殺伝票承認]メニュー)
- ・相殺未承認リスト(新:相殺伝票未承認リスト([債権管理]-[相殺処理]-[相殺伝票承認]メニュー))
- ・相殺伝票([債権管理]-[相殺処理]-[相殺伝票承認]メニュー)
- 相殺消込履歴リスト(新:相殺伝票承認済リスト([債権管理]-[相殺処理]-[相殺伝票
 承認]メニュー))



財務会計システム 勘定奉行VERP

機能アップガイド


【全般】

入金消込時に、差額を任意の科目で3つまで、入金伝票に計上できるようになりました(消込調整額)。

※詳細は、4ページをご参照ください。

商品を入力しなくても、請求締処理が利用できるようになりました。 ※詳細は、4ページをご参照ください。

く『債権管理Proオプション』をお使いの場合>

各メニューで表示する商品の項目名を、「商品」「品目」のどちらにするかを設定できるよ うになりました。

【設定箇所】

[導入処理]-[運用設定]-[債権債務運用設定]メニューの[名称設定]ページ 【共通マスター 名称設定】「商品」

<『債権管理Proオプション』をお使いの場合>

工事進行基準のプロジェクトの消費税額を、完成時に一括計上する場合の税区分に対応しま した。

※詳細は、4ページをご参照ください。

< 『勘定奉行[個別原価管理編]』をお使いの場合>

クイックメニューにコピー機能(クリップボード)が追加されました。 ※詳細は、5ページをご参照ください。

<「OMSS」/『奉行V ERP8』をお使いの場合>

【導入処理】

≪債権債務機能設定≫

画面構成を見直し、項目の配置が変更されました。

O[科目設定]ページが分れ、[債権科目設定]ページと[入金科目設定]ページになりました。

O[伝票設定]ページにあった、消費税差金・手数料の部門設定、明細設定が[入金科目設定] ページに移動しました。

O[請求仕訳設定]ページの名称が、[締処理設定]ページに変更されました。

【債権管理】

≪債権データ抽出≫

部門やセグメント・プロジェクトなど、画面に表示できる項目が増えました。 ※セグメントは、『伝票項目拡張オプション』をお使いの場合に使用できるマスターです。 ※プロジェクトは、『勘定奉行[個別原価管理編]』をお使いの場合に使用できるマスターで す。

【設定箇所】

[導入処理]-[運用設定]-[債権債務運用設定]メニューの[債権基本設定]ページ 「債権デー タ抽出の表示形式」

「債権データ抽出の表示形式」を「1:選択形式」に設定すると、[債権データ抽出 - 条件設定] 画面に[項目選択] ページが追加され、画面に表示する項目を自由に選択できるようになり ます。

回収予定日を一括変更できるようになりました。

上述の「債権データ抽出の表示形式」が「1:選択形式」の場合に、[一括変更]([F7] キー)で回収予定日を一括変更できます。 ≪締単位入金消込≫ Windowsファンクションの配置が変更されました。 「個別消込」「F7]キー→「F9]キー ・[一括変更] [F9] キー→ [F7] キー 《一括入金消込》 以下の集計単位が追加されました。 「セグメント1別」「セグメント2別」「プロジェクト別」「サブプロジェクト別」 ※セグメントは、『伝票項目拡張オプション』をお使いの場合に使用できるマスターです。 ※プロジェクトは、『勘定奉行[個別原価管理編]』をお使いの場合に使用できるマスターで す。 検索対象の絞込条件が追加されました。 ○[基本条件]ページで、以下の絞込条件が追加されました。 「証憑No.」「担当者」・「担当者区分」・「債権区分コード」・「債権区分名」・「任意 項目コード」・「任意項目名」・「商品コード」・「商品名」・「商品区分1」・「商品 区分2」・「商品区分3」・「商品区分4」・「商品区分5」 ○[詳細条件]ページで、以下の絞込条件が追加されました。 「セグメント1」・「セグメント1グループ」・「セグメント2」・「セグメント2グル ープ」・「プロジェクト」・「プロジェクト区分」・「サブプロジェクト」・「サブプロ ジェクト区分口 ※セグメントは、『伝票項目拡張オプション』をお使いの場合に使用できるマスターです。 ※プロジェクトは、『勘定奉行[個別原価管理編]』をお使いの場合に使用できるマスターで す。 O[摘 要]ページ、[登録情報]ページ、[利用情報]ページ、[付 箋]ページ、[消費税]ペー ジが追加されました。 Windowsファンクションの配置が変更されました。 ・ [個別消込] [F7] キー→ [F9] キー ・[一括変更] [F9] キー→ [F7] キー ≪個別入金消込≫ Windowsファンクションの配置が変更されました。 ・ [個別消込] [F7] キー→ [F9] キー Windowsファンクションの名称と配置が変更されました。 ・ [摘要変更] [F9] キー→ [一括変更] [F7] キー ≪請求先元帳≫ [条件設定画面の変更] [基本条件]ページの集計範囲の条件項目がリストから選択する形式になりました。 [基本条件2]ページで、複数の債権科目を指定して集計できるようになりました。 [詳細条件]ページで設定していた債権明細、入金明細、計行の出力項目の設定は、[表示設 定]ページに移動しました。 [表示設定]ページで設定していた表示順の設定は、[出力順]ページに移動しました。 [画面表示の変更] 見出し部分に、集計範囲の情報が出力されるようになりました。 各項目の列幅をマウス操作で変更できるようになりました。

画面右上のアイコンをクリックし、明細の高さを「標準」「小」「最小」の中から選択できるようになりました。

[印刷の変更]

帳票別プリンタ登録ができるようになりました.

※詳細は、6ページをご参照ください。

集計結果を画面表示した後で、[印刷等] ([F2] キー)から印刷した場合には、画面に 表示されている請求先の集計結果だけが出力されるようになりました。

見出し部分に、集計範囲の情報が出力されるようになりました。

網掛け印刷、フォントサイズの指定、行間補正ができるようになりました。

会社名のフォントサイズが8→9に変更されました。

[転送の変更]

集計結果を画面表示した後で、[印刷等] ([F2] キー)から転送した場合には、画面に 表示されている請求先の集計結果だけが出力されるようになりました。

見出し部分に、集計範囲の情報が出力されるようになりました。

見出しの出力順が変更されました。

変更前 「集計期間」→「会社名」

変更後 「会社名」→「集計期間」

『奉行V ERP8』をお使いで、「OMSS」にご加入の場合に、罫線や色を付けてExcelファ イルに出力できるようになりました。

≪債権残高確認書≫

出力する請求先名を選択できるようになりました。

【設定箇所】 [債権残高確認書 - 印刷条件設定]画面の[出力設定]ページの「請求先名称」

【随時処理】

≪処理制限期間設定≫

※新メニュー名:[処理期間制限]メニュー

メニュー名が変更されました。

変更前

[随時処理]-[処理制限期間設定]メニュー

変更後

[随時処理]–[処理期間制限]メニュー

別の利用者の制限を複写して設定できるようになりました。

利用者リストには、利用者ごとの制限が設定されいる利用者だけが表示されるようになりました。

帳票別プリンタ登録ができるようになりました。

※詳細は、6ページをご参照ください。

印刷、転送で、出力対象の利用者を絞り込めるようになりました。

印刷、転送で、すべての処理の制限内容を一度に出力できるようになりました。

操作ログの出力内容が変更されました。

入金消込時に、差額を任意の科目で3つまで、入金伝票に計上できるようになりました (消込調整額)。

入金消込時に、未入金金額(債権金額)と入金金額の差額を処理できる項目「消込調整額」が追加されました。 割引がある場合や、一部の金額が差し引かれて入金される場合など、消込時の差額の処理に使用できます。 消込調整額は、3つまで項目を追加でき、項目の名称も任意の名称に変更できます。

▼例

売上割引があったため、割引分が差し引かれて入金された場合

[一括入金消込]画面

未入金金額(A-E	3-C)	人金合計	(D+E+)	F+G)			浦込金額	
ブラス債権(A)		入金金額	(D)				過入金(入金-消込)	<u>, </u>
入金済金額(B)	マイナス債権(C) 手数料等	(E)	肖費税差金(F)	割引額(G	>	債権残(未入金-消	iA)
	300,00	0				291,000	300,0	000
	300,00	0				291,000	-9,0	000
0		0	0		0	0		0

未入金金額(A-E	3-C)		入金合計 (D+E	E+F+G)			浦込金	24
ブラス債権(A)			入金金額(D)			-	過入金	(入金-消込)
入金済金額(B)	マイナス係	観袖(C)	手数料等(E)	清費税差金(F)	割引額(G	Ð	債権残	(未入金-消込)
		300,000				300,000	•	300,000
	割引額	()消入調	周整額)を入力	して調整します。	1	291,000		0

以下のような入金伝票が作成できます。

借さ	5	貸方		
当座預金	291, 000	売掛金	300, 000	
※回収科目です。		※債権科目です。		
売上割引	9, 000			
※消込調整額科目-借				
方です。				

詳細は、操作説明の「消費税差金・消込調整額」をご参照ください。

● 商品を入力しなくても、請求締処理が利用できるようになりました。

<『債権管理Proオプション』をお使いの場合>

いままでは請求締処理を利用するには商品の入力が必要でしたが、これからは商品を入力しなくても請求締処理 が利用できるようになりました。

【設定箇所】

[導入処理]-[運用設定]-[債権債務運用設定]メニューの[請求支払設定]ページ 「商品の利用有無」

参考

運用途中でも設定を変更できます。
 『債権管理Proオプション』で商品を管理する必要がない場合は、商品の利用有無を「0:利用しない」に設定してください。
 「0:利用しない」に設定すると、[導入処理]-[商品登録]-[商品登録]メニューなど、商品関連のメニューが表示されなくなります。
 また、債権伝票で商品関連の項目が表示されなくなり、債権伝票に商品を入力する必要がなくなります。

なお、請求書を印刷する場合は、商品の入力が必要となります。

工事進行基準のプロジェクトの消費税額を、完成時に一括計上する場合の税区分に対応しました。 < 『勘定奉行[個別原価管理編]』をお使いの場合>

各メニューで、工事進行基準のプロジェクトの消費税額を、完成時に一括計上する場合専用の税区分が使用でき るようになりました。

※工事進行基準のプロジェクトの消費税額を完成時に一括計上する場合専用の税区分の詳細は、

『勘定奉行[個別原価管理編]』の操作説明の「仕訳例:工事進行基準適用時の消費税計上方法がプロジェクト の完成時に一括計上」をご参照ください。

≪OMSS業務支援サービス≫

クイックメニューにコピー機能(クリップボード)が追加されました。
 <「OMSS」/『奉行V ERP8』をお使いの場合>

画面の表示内容をコピーして、企業独自のひな形(Excel)に貼り付けて利用できるようになりました。 ▼イメージ図





B	0	D	Ε	F	G	H
		<u>請求</u> 9 平成263	E別債権残高一覧 14月1日~平成27年3月	1 <u>8</u>		
1	請求先コード	請求先后1	释超线案	涌込金額	编辑全部	编辑技术
	1 2	大平洋食品株式会社	915000	47572090	357050821	21039272
	24	*式会社岩手屋業	980000	105141000	198584405	9442340
		#式会社顶城電機	74000	71835840	80353440	859160
	4 1	F馬事祝极特式会社	25000	3493500	63815440	6035694
-	5 4	自主推事件式会社	50600	-69719190	175312135	24508192
	.64	東式会社千篇デンキ		771200	05655221	8489402
	70	<u>京事祝機時売株式会社</u>	496600	41,961,600	78564176	3772117
	013	中原川陸崖株式会社	960000	10074737	34220249	2511251
	914	自治工業性的安住	60000	17265292	23940050	10094620
	1014	日本開発構成支援	- 00000	450000	44040190	4,90/019
	110	の原電視線学校大正任	9.00.00		1410/420	171042
	12	B(C) PE # 18 (F (-) 24		-50000	674,049,001	E1+060/
-	14	「おいまやん様の会社	0		47769195	4776511
	164	#式会社広島期間	0	~46500	41 891 752	4193825
	17[9	いう高杉株式会社	Ó	-235224	2716(652	2739577
	10.4	*式会社福岡屋	0	-780000	106860510	10764051
	201	#式会社慶児島文具	0	-73430	59012396	5900583
	21.3	新拉屋百窠店株式会社	. 0	-2847401	66535909	6938331
	22	所理292-株式会社	.0	-16200	54475560	5449176
	23 1	-SHOP株式会社	. 0		45594060	4559405
-	24	東京国際物质株式会社	. 9	0	760800	76080
	25 2	1日297日株式会社		0	1120800	112000
	201	サデアイン株式会社	0	-500000	31 20000	362000
	1011	「大田村」の田屋東		9	2000	200
	1000	「小原用業務があた	0	0	100,000	108000
	+0714	1	0	9	124380	124,8
	+00	いは朝鮮などの行	0	8	21.0640	7100
	1.0010	ATTICK THE PERSON AND A DECK	V	VI.	7350452	1102

詳細は、操作説明の「画面の表示内容を企業独自のひな形(Excel)にコピーして利用する」をご参照ください。

● 帳票別プリンタ登録ができるようになりました。

以下の帳票について、初期値として表示するプリンタをメインメニューの[導入処理]-[運用設定]-[帳票別プリ ンタ登録]メニューで、登録できるようになりました。

これにより、[プリンタ設定]ページで初期値として表示される内容が、以下のとおり変更になります。 ≪ 対象帳票 ≫

・請求先元帳([債権管理]-[管理帳票]-[請求先元帳]メニュー)

・処理期間制限リスト([随時処理]-[処理期間制限]メニュー)

変更前	変更後
全項目とも、前回の印刷時に設定した内容 ※初回起動時は、「通常使うプリンタ」の内容 が表示されます。	 メインメニューの[帳票別プリンタ登録]メニュ ーでプリンタが登録されているかによって、異 なります。 〇登録済みの場合 全項目とも、常に帳票別プリンタ登録の内容 ※帳票別プリンタ登録が利用者ごとの設定で あれば、印刷時の「サイズ」「印刷の向 き」「余白・位置調整」「倍率」の変更 は、帳票別プリンタ登録に反映します。 〇未登録の場合 「プリンタ名」「給紙方法」は、常に「通常 使うプリンタ」の内容 「サイズ」「印刷の向き」「余白・位置調 整」は、前回の印刷時に設定した内容

注意

この機能アップのため、当バージョンにバージョンアップすると、以前のバージョンで設定した内容が初期 値として表示されなくなります。

帳票を印刷する前に、メインメニューの[導入処理]-[運用設定]-[帳票別プリンタ登録]メニューで、初期値 として表示するプリンタを登録してください。

※[帳票別プリンタ登録]メニューの登録をしない場合は、常に「通常使うプリンタ」が初期値として表示されます。



財務会計システム 勘定奉行V ERP

機能アップガイド



変更内容一覧

【メニュー体系】

メニューの名称および構成が変更されました。 ※詳細は、16ページをご参照ください。

【全般】

帳票別プリンタ登録できる帳票が追加されました。

※詳細は、18ページをご参照ください。

回収部門指定([導入処理]-[決済方法登録]-[回収方法登録]メニューの[基本]ページで設定)の「1:固定値を指定する」「2:初期値を指定する」が統合され、「1:指定する」に変

更されました。

※「1:固定値を指定する」に設定していた場合は、指定した部門は、固定値ではなく初期値 になります。

「2:初期値を指定する」に設定していた場合は、指定した部門は初期値のままで、「1: 指定する」にコンバートされます。

【関連メニュー】

- ・[導入処理]-[決済方法登録]-[回収方法登録]メニュー
- ・[導入処理]-[残高入力]-[前受金残高入力]メニュー
- ・[債権管理]-[入金処理]-[FB入金処理]-[FB入金情報作成]メニュー
- ・[債権管理]-[入金処理]-[入金情報登録]メニュー
- ・[債権管理]-[受取手形処理]-[受取手形入力]メニュー
- ・[債権管理]-[ファクタリング処理]-[ファクタリング債権入力]メニュー
- ・[債権管理]-[電子記録債権処理]-[電子記録債権入力]メニュー
- ・[随時処理]-[汎用データ作成]-[マスターデータ作成]-[決済方法データ作成]-[回収方法デ ータ作成]メニュー
- ・[随時処理]-[汎用データ受入]-[マスターデータ受入]-[決済方法データ受入]-[回収方法デ ータ受入]メニュー
- ・[随時処理]-[汎用データ作成]-[マスターデータ作成]-[残高データ作成]-[前受金残高デー タ作成]メニュー
- ・[[随時処理]-[汎用データ受入]-[債権データ受入]-[入金情報データ受入]メニューー

・[自動実行管理]-[汎用データ受入]-[自動実行入金情報データ受入]メニュー

入金消込の取消時に、部門がクリアされる範囲が変更されました。

ステータスが「1:入金」で、部門が空欄の入金情報については、入金消込時に相手債権の1 行目の部門がセットされます。

この入金消込を取り消した場合は、入金情報にセットされた部門もクリアされます。

しかし、いままでは、入金承認時に入金仕訳にジャンプして部門を手修正した場合は、この 入金消込を取り消しても入金情報の部門はクリアされませんでした。

これからは、この場合も部門がクリアされるようになりました。

汎用データ作成で、処理日時を出力した際に不要なスペースが出力されなくなりました。

▼例

変更前

2014 / 04 / 17 10 : 50 : 45

変更後

2014/04/17 10:50:45

【対象項目】

- 新規登録日時
- 修正登録日時
- 1次承認日時
- 最終承認日時
- 【関連メニュー】
- ・[随時処理]-[汎用データ作成]-[マスターデータ作成]-[残高データ作成]-[債権残高データ 作成]メニュー
- ・[[随時処理]-[汎用データ受入]-[債権データ受入]-[債権伝票データ作成]メニューー
- ・[自動実行管理]-[汎用データ作成]-[自動実行債権伝票データ作成]メニュー

Office連携サービスの機能が強化されました。(テンプレート・パスワード)

<「OMSS」/『奉行V ERP8』をお使いの場合>

※詳細は、19ページをご参照ください。

【債権管理】

≪FB入金受信データ受入≫

一部の全角文字が含まれていても受け入れできるようになるなど、受け入れできるデータの
 条件が緩和されました。

≪FB入金外部ファイル受入≫

一部の全角文字が含まれていても受け入れできるようになるなど、受け入れできるデータの
 条件が緩和されました。

≪入金情報登録≫

ステータスが「1:入金」の入金情報でも、セグメント1・セグメント2・プロジェクト・サ ブプロジェクトを入力できるようになりました。

ステータスが「1:入金」「3:非連結」「5:対象外」で、入金金額がO円の入金情報を登録 できるようになりました。

≪締単位入金消込≫

[フローに関する変更]

前受金での消込ができるようになりました。

[条件設定画面の変更]

検索対象の絞込条件が追加されました。

※この機能追加に伴い、[基本条件]ページの絞込条件項目は、リストから選択する形式になりました。

[自動消込設定]ページの設定は、[締単位入金消込 - 設定]画面の[全選択設定]ページに移動 しました。

[表示設定]ページで、以下の項目が変更されました。

・摘要反映

⇒ [設定] ([F3] キー) [締単位入金消込 - 設定]画面の[消込設定]ページに移動しま した。

・マイナス請求書抽出

⇒項目が廃止されました。

[基本条件]ページで請求金額の指定ができるようになりました。

- マイナス請求書を抽出しない場合は、請求金額の範囲を「0~」と指定してください。
- ・名称項目の拡張表示

⇒項目が廃止され、必ず拡張表示されるようになりました。

ステータスが「3:非連結」の入金情報での消込について、作成する入金伝票の伝票日付の初 期値を設定できるようになりました。

【設定箇所】

[締単位支払消込 - 条件設定]画面の[表示設定]ページの「入金日付設定」

請求先が所属する取引先グループを表示するかを設定できるようになりました。 【設定箇所】

[締単位支払消込 - 条件設定]画面の[表示設定]ページの「取引先グループ表示」

取引先グループを使用している場合でも、債権計上の請求先以外の入金情報では消込ができ ないようにすることができるようになりました。

【設定箇所】

[締単位支払消込 - 条件設定]画面の[表示設定]ページの「入金情報の選択方法」

[出力順]ページで、検索結果の並び順を詳細に設定できるようになりました。

[項目選択]ページが追加され、表示する請求先名を「請求先名1」「請求先名2」「請求先 名1・2」「請求先略称」から選択できるようになりました。

[メイン画面の変更]

項目名、項目の配置が変更されました。

自動消込の機能は、[自動消込] ([F7] キー)ではなく、[全選択] ([F5] キー) で実行できるようになりました。

いままでは、 [全選択] と [全解除] は [F5] キーと [F6] キーとに分かれていました が、 [F5] キー1つになり、押すたびに [全選択] と [全解除] が切り替わるようになり ました。

[設定]([F3]キー)が追加され、摘要の反映方法や、一部入金や過入金を認めるかどうかなど、消込条件を消込画面で切り替えられるようになりました。

一部入金の債権にチェックを付けた場合に、いままでは消込金額の初期値として、未入金金額が表示されていましたが、入金合計を表示できるようになりました。

【設定箇所】

[締単位入金消込 - 設定]画面の[消込設定]ページの「消込金額初期設定」

[印刷・転送の変更]

出力設定ができる項目が追加されました。

また、印刷時のフォントサイズを指定できるようになりました。

※この機能追加に伴い、[詳細設定]ページが追加され、マスターコードの出力設定は[詳細設 定]ページに移動しました。

帳票タイトルの初期値が変更されました。

「請求書未入金リスト」→「未消込請求書リスト」

転送

・金額は「数値」、日付は「日付」の書式で出力されるようになりました。

・合計行と区別できるように、明細の出力開始位置が右に1列移動しました。

・以下の項目の名称が変更されました。

・請求先 → 請求先名 1 / 請求先名 2 / 請求先略称のいずれか([項目選択]ページで設定 された名称が表示されます。)

≪一括入金消込≫

[フローに関する変更]

前受金での消込ができるようになりました。

[条件設定画面の変更]

指定できる集計単位が追加されました。

また、集計単位の組み合わせを指定できるようになりました。

※この機能追加に伴い、集計単位の設定方法が変更されました。

検索対象の絞込条件が追加されました。

※この機能追加に伴い、[基本条件]ページの絞込条件項目は、リストから選択する形式になりました。

また、[詳細条件]ページが追加されました。

[自動消込設定]ページの設定は、[一括入金消込 - 設定]画面の[全選択設定]ページに移動しました。

[表示設定]ページで、以下の項目が変更されました。

・摘要反映

⇒ [設定] ([F3] キー) [一括入金消込 - 設定]画面の[消込設定]ページに移動しました。

・マイナス債権抽出

⇒項目が廃止されました。

[基本条件]ページで債権金額の指定ができるようになりました。

マイナス債権を抽出しない場合は、債権金額の範囲を「0~」と指定してください。

・消込不可データ表示

⇒「消込ができないデータの表示」に名称が変更されました。

・マイナス債権のみでの消込

⇒廃止され、必ずマイナス債権だけでの消込ができるようになりました。

自動選択時入金情報指定

⇒ [設定] ([F3] キー) [一括入金消込 - 設定]画面の[全選択設定]ページに移動しま した。

また、「複数入金情報がある債権の選択」に名称が変更されました。

一括消込表示

⇒[基本条件]ページの集計単位に移動しました。

・集計単位(請求先別/取引先グループ別)

⇒[基本条件]ページの集計単位に移動しました。(請求先別/優先取引先別)

・名称項目の拡張表示

⇒項目が廃止され、必ず拡張表示されるようになりました。

ステータスが「3:非連結」の入金情報での消込について、作成する入金伝票の伝票日付の初 期値を設定できるようになりました。

【設定箇所】

[一括入金消込 - 条件設定]画面の[表示設定]ページの「入金日付設定」

請求先が所属する取引先グループを表示するかを設定できるようになりました。

【設定箇所】

[一括入金消込 - 条件設定]画面の[表示設定]ページの「取引先グループ表示」

取引先グループを使用している場合でも、債権計上の請求先以外の入金情報では消込ができ ないようにすることができるようになりました。

【設定箇所】

[一括入金消込 - 条件設定]画面の[表示設定]ページの「入金情報の選択方法」

[表示設定2]ページの設定は、[表示設定]ページに移動しました。

[出力順]ページで、検索結果の並び順を詳細に設定できるようになりました。

[項目選択]ページが追加され、表示する請求先名を「請求先名1」「請求先名2」「請求先 名1・2」「請求先略称」から選択できるようになりました。

[メイン画面の変更]

項目名、項目の配置が変更されました。

未入金金額・入金合計の計算方法が、個別入金消込と統一されました。

変更前

・未入金金額 = プラス債権 - 入金済金額

・入金金額合計 = 入金金額 + 手数料等 + 消費税差金 + マイナス債権

変更後

・未入金金額 = プラス債権 – 入金済金額 – マイナス債権

・入金金額合計 = 入金金額 + 手数料等 + 消費税差金

※マイナス債権金額が、入金金額合計ではなく、未入金金額の対象になりました。

自動消込の機能は、[自動消込] ([F7]キー)ではなく、[全選択] ([F5]キー) で実行できるようになりました。

いままでは、 [全選択] と [全解除] は [F5] キーと [F6] キーとに分かれていました が、 [F5] キー1つになり、押すたびに [全選択] と [全解除] が切り替わるようになり ました。

[設定]([F3]キー)が追加され、摘要の反映方法や、一部入金や過入金を認めるかどうかなど、消込条件を消込画面で切り替えられるようになりました。

ー部入金の債権にチェックを付けた場合に、いままでは消込金額の初期値として、未入金金 額が表示されていましたが、入金合計を表示できるようになりました。

【設定箇所】

[一括入金消込 - 設定]画面の[消込設定]ページの「消込金額初期設定」

[印刷・転送の変更]

出力設定ができる項目が追加されました。

また、印刷時のフォントサイズを指定できるようになりました。

※この機能追加に伴い、[詳細設定]ページが追加され、マスターコードの出力設定は[詳細設 定]ページに移動しました。

帳票タイトルの初期値が変更されました。

「未入金集計リスト」→「未消込債権集計リスト」

転送

・金額は「数値」、日付は「日付」の書式で出力されるようになりました。

・合計行と区別できるように、明細の出力開始位置が右に1列移動しました。

・以下の項目の名称が変更されました。

・請求先 → 請求先名 1/請求先名 2/請求先略称のいずれか([項目選択]ページで設定 された名称が表示されます。)

≪個別入金消込≫

[フローに関する変更]

消込の修正・取消機能が追加されました。

前受金での消込ができるようになりました。

[条件設定画面の変更]

検索対象の絞込条件が追加されました。

※この機能追加に伴い、[基本条件]ページの絞込条件項目は、リストから選択する形式にな

りました。

また、[詳細条件]ページ、[摘 要]ページ、[登録情報]ページ、[利用情報]ページ、[付 箋]ページ、[消費税]ページが追加されました。

[表示設定]ページで、以下の項目が変更されました。

- 摘要反映
- ⇒ [設定] ([F3] キー) [個別入金消込 設定]画面の[消込設定]ページに移動しました。
- ・マイナス債権抽出
 - ⇒項目が廃止されました。

[基本条件]ページで債権金額の指定ができるようになりました。

マイナス債権を抽出しない場合は、債権金額の範囲を「0~」と指定してください。

- ・グループ間消込
 - ⇒「入金情報の選択方法」に名称が変更されました。

グループ間消込を使用しない場合は「請求先単位」に、グループ間消込を使用する場合 は「取引先グループ単位」に設定します。

・名称項目の拡張表示

⇒項目が廃止され、必ず拡張表示されるようになりました。

・過入金消込時のメッセージ表示

⇒項目が廃止され、必ずメッセージが表示されるようになりました。

ステータスが「3:非連結」の入金情報での消込について、作成する入金伝票の伝票日付の初 期値を設定できるようになりました。

【設定箇所】

[個別入金消込 - 条件設定]画面の[表示設定]ページの「入金日付設定」

[表示設定2]ページの設定は、[表示設定]ページに移動しました。

[出力順]ページで、債権伝票の表示基準の登録順について、最終更新順/新規登録順の切替 機能が追加されました。

また、入金情報の並び順を設定できるようになりました。

[項目選択]ページが追加され、以下の設定ができるようになりました。

- ・入金情報について、表示する項目、項目の並び順を設定できるようになりました。
- ・債権伝票について、任意項目や商品などを消込画面に表示できるようになりました。
- ・表示する請求先名を「請求先名1」「請求先名2」「請求先名1・2」「請求先略称」か ら選択できるようになりました。

※この機能追加に伴い、セグメント1・セグメント2・プロジェクト・サブプロジェクトの 出力は、[項目選択]ページで設定するようになりました。

[メイン画面の変更]

項目名、項目の配置が変更されました。

自動選択の機能は、[自動選択] ([F3]キー)ではなく、[全選択] ([F5]キー) で実行できるようになりました。

[設定] ([F3] キー)が追加され、摘要の反映方法など、消込条件を消込画面で切り替 えられるようになりました。

消込実行後に[仕訳処理]画面を表示して、作成する仕訳伝票の確認・修正ができるようになりました。

【設定箇所】

[個別入金消込 - 設定]画面の[消込設定]ページの「入金消込後の伝票確認」

[印刷・転送の変更]

帳票タイトルの初期値が変更されました。

「未入金リスト」→「未消込債権明細リスト」

印刷レイアウトが[債権管理]-[売上債権処理]-[債権伝票入力]メニューの債権伝票リストと 同等のレイアウトになりました。

出力設定ができる項目が追加されました。

また、印刷時のフォントサイズを指定できるようになりました。

※この機能追加に伴い、[詳細設定]ページが追加され、マスターコードの出力設定は[詳細設 定]ページに移動しました。

未消込入金情報リストが印刷できるようになりました。

※[個別入金消込 - 条件設定]画面の[基本条件]ページにある「抽出基準」によって、印刷 する帳票が切り替わります。

いままでの未入金リスト(新:未消込債権明細リスト)を印刷する場合は、抽出基準を 「債権伝票」に設定します。

新しく追加された未消込入金情報リストを印刷する場合は、抽出基準を「入金情報」に設定します。

転送

・金額は「数値」、日付は「日付」の書式で出力されるようになりました。

・合計行と区別できるように、明細の出力開始位置が右に1列移動しました。

- ・以下の項目の名称が変更されました。
 - ・請求先 → 請求先名 1 /請求先名 2 /請求先略称のいずれか([項目選択]ページで設 定された名称が表示されます。)
 - ・伝票No. → 伝票No.
 - ・勘定科目コード → 債権科目コード
 - ・勘定科目名 → 債権科目名
 - ・補助科目コード → 債権補助科目コード
 - ・補助科目名 → 債権補助科目名

《入金消込修正》

[フローに関する変更]

前受金消込の修正・取消ができるようになりました。

ステータスが「2:仮受金」「3:非連結」「4:前受金」で、未承認の入金情報の取消機能が 廃止されました。

※ステータスが「2:仮受金」「3:非連結」「4:前受金」で、未承認の入金情報の取消は、 [債権管理]-[入金処理]-[入金情報登録]メニューで行います。

※この変更は、仮受金/非連結入金/前受金([導入処理]-[運用設定]-[債権債務運用設定]メ ニューの[債権基本設定]ページで設定)が「1:承認する」の場合に影響がある変更です。

[条件設定画面の変更]

検索対象の絞込条件が追加されました。

※この機能追加に伴い、以下のとおり変更されました。

- ・[基本条件]ページの絞込条件項目は、リストから選択する形式になりました。
- ・[セグメント]ページ、[プロジェクト]ページは、[詳細条件]ページに統合されました。
- ・[基本条件2]ページ、[摘 要]ページ、[利用情報]ページが追加されました。

[基本条件]ページで、以下の項目が変更されました。

- ・「範囲指定」
 - ⇒「入金伝票」に名称が変更されました。
- ・消込日付

⇒「入金日付」に名称が変更されました。

[出力順]ページで、検索結果の並び順を詳細に設定できるようになりました。

[項目選択]ページが追加され、出力する項目、項目の並び順を設定できるようになりました。

[メイン画面の変更]

消込対象の債権伝票の情報も表示されるようになりました。

※この機能追加に伴い、債権伝票にジャンプする際の操作は、対象の債権伝票を選択して [債権伝票]([F9]キー)を押すようになりました。

[入金伝票]([F8]キー)が追加され、作成する仕訳伝票の確認・修正ができるように なりました。

マイナス債権だけでの消込の回収方法の表示が変更されました。

変更前

「マイナス債権」

変更後

[-]

※[項目選択]ページで、「マイナス債権」を出力項目に設定することで、消込したマイナ ス債権金額を確認できるようになりました。

≪入金承認≫

※新メニュー名:[入金伝票承認]メニュー

[フローに関する変更]

承認取消機能が追加されました。

入金伝票承認([導入処理]-[運用設定]-[債権債務運用設定]メニューの[債権基本設定]ページ で設定)が「2:2段階承認」の場合に、1次承認権限者が1次承認済の伝票の承認を取り消 せるようになりました。

[条件設定画面の変更]

検索対象の絞込条件が追加されました。

※この機能追加に伴い、以下のとおり変更されました。

- ・[基本条件]ページの絞込条件項目は、リストから選択する形式になりました。
- ・[セグメント]ページ、[プロジェクト]ページは、[詳細条件]ページに統合されました。
- ・[基本条件2]ページ、[摘 要]ページ、[登録情報]ページ、[利用情報]ページが追加されました。

[基本条件]ページで、以下の項目が変更されました。

・「範囲指定」

⇒「入金伝票」に名称が変更されました。

・「伝票日付」

⇒「入金日付」に名称が変更されました。

・「承認状態」(入金伝票承認([導入処理]-[運用設定]-[債権債務運用設定]メニューの[債 権基本設定]ページで設定)が「2:2段階承認」の場合)

⇒指定方法が変更されました。

[出力順]ページで、検索結果の並び順を詳細に設定できるようになりました。

[項目選択]ページが追加され、出力する項目、項目の並び順を設定できるようになりました。

[メイン画面の変更]

1件の伝票情報は、すべての項目が2行で横並びに表示されるようになりました。

Windowsファンクションの名称が変更されました。

・ [入金仕訳] ([F8] キー) → [入金伝票] ([F8] キー)

表示項目の「伝票種類」が廃止されました。

新しく追加された表示項目、「入金ステータス」と「登録区分」で確認ができるようになり ました。

入金伝票承認([導入処理]-[運用設定]-[債権債務運用設定]メニューの[債権基本設定]ページ で設定)が「2:2段階承認」の場合に、画面の右上に表示される「選択承認件数」の表示が 変更されました。

変更前

チェックを付けた明細件数 + チェックを付けていない1次承認済の明細件数

変更後

チェックを付けた明細件数

前受金消込の入金伝票には、「入金金額」に 前受金の入金金額が表示されていましたが、 表示されなくなりました。

仕訳伝票のシステム自動付番 (メインメニューの[導入処理]-[会計期間設定]-[会計期間設 定]メニューの[伝票設定]ページで設定)が「0:使用しない」の場合に、作成する仕訳伝票 の伝票No.の付番方法を指定できるようになりました。

作成する入金伝票について、部門別税区分表示機能に対応しました。

マイナス債権だけでの消込の回収方法の表示が変更されました。

変更前

「マイナス債権消込」

変更後

Г-J

※[項目選択]ページで、「マイナス債権」を出力項目に設定することで、消込したマイナ ス債権金額を確認できるようになりました。

[印刷・転送の変更]

印刷形式の名称が変更されました。

・「明細リスト」→「伝票リスト」

・「伝票リスト」→「未承認リスト」

印刷形式に「承認済リスト」が追加されました。

【設定箇所】

[入金伝票承認 - 条件設定]画面の[基本条件]ページの「処理区分」を「取消」に設定しま す。

出力設定ができる項目が追加されました。

また、印刷時のフォントサイズを指定できるようになりました。

※この機能追加に伴い、[詳細設定]ページが追加され、マスターコードの出力設定は[詳細設 定]ページに移動しました。

明細リスト(新:伝票リスト)の印刷

- ・消費税納税額の計算方法(メインメニューの[導入処理]-[消費税基本登録]-[消費税基本登録] 録]メニューの[基本設定]ページで設定)が「1:簡易課税」の場合に、事業区分が出力で きるようになりました。
- ・整理仕訳の管理方法(メインメニューの[導入処理]-[会計期間設定]-[会計期間設定]メニ ューの[伝票設定]ページで設定)が「1:日常仕訳と区別する」の場合に、整理区分が出力 されるようになりました。
- ・帳票タイトルは、半角20文字までは文字の大きさが自動調節されるようになりました。

 小計行の下に罫線が印字されるようになりました。 内税の場合に、消費税金額の前に付く括弧の位置が変更されました。 伝票リスト (新:未承認リスト)の印刷 ・日付の表記が変更されました。 「伝票日付」→「入金日付」に名称が変更されました。 「伝票種類」→項目が廃止され、「入金ステータス」「登録区分」が出力されるようにな りました。 「承認状況」→「承認状態」に名称が変更されました。 入金日付・回収方法・請求先は、タイトルが左詰めになりました。 ・入金日付・回収方法・請求先は、小計単位ごとに最初の行にだけ出力されていましたが、 すべての行に出力されるようになりました。 ・入金日付・回収方法・請求先は、「出力順」ページで優先されている項目順に出力されるよ うになりました。 単票入金伝票の印刷 ・セグメント1・セグメント2・プロジェクト・サブプロジェクトが出力できるようになり ました。 【設定箇所】 [入金伝票承認 - 印刷条件設定]画面の[詳細設定]ページ ・消費税納税額の計算方法(メインメニューの[導入処理]-[消費税基本登録]-[消費税基本登 録]メニューの[基本設定]ページで設定)が「1:簡易課税」の場合に、事業区分が出力で きるようになりました。 ・整理仕訳の管理方法(メインメニューの[導入処理]-[会計期間設定]-[会計期間設定]メニ ューの[伝票設定]ページで設定)が「1:日常仕訳と区別する」の場合に、整理区分が出力 されるようになりました。 ・税区分・事業区分・税率の出力有無によって、勘定科目と補助科目の印字可能領域が変わ るようになりました。 ・タイトル行の「借 方 請求先」「貸 方 請求先」が廃止されました。 ・帳票タイトルが半角23文字以上でも出力できるようになりました。(文字の大きさが自動調) 節されます。) ・会社名が、半角39文字以上でも出力できるようになりました。(文字の大きさが自動調節さ) れます。) ・会社名を印字する/しないに関わらず、会社名の下の罫線が出力されなくなりました。 内税の場合に、消費税金額の前に付く括弧の位置が変更されました。 転送 ・出力する項目は、[入金伝票承認 - 条件設定]画面の[項目選択]ページで設定できるように なりました。 金額は「数値」、日付は「日付」の書式で出力されるようになりました。 ・合計行と区別できるように、明細の出力開始位置が右に1列移動しました。 ・合計行の前の空白行が出力されなくなりました。 ・小計行、合計行の出力有無を、[入金伝票承認 - 印刷条件設定]画面の[基本設定]ページで 設定できるようになりました。 ≪仮受金処理≫ ※新メニュー名:[仮受金振替]メニュー

[フローに関する変更]

ステータスが「2:仮受金」の入金情報の取消機能が廃止されました。

※ステータスが「2:仮受金」の入金情報の取消は、以下のメニューで行います。

- ・仮受金/非連結入金/前受金が「0:承認しない」の場合⇒[債権管理]-[入金処理]-[入金 情報登録]メニューで行います。
- ・仮受金/非連結入金/前受金が「1:承認する」の場合⇒ [債権管理]-[入金処理]-[入金 伝票承認]メニューで承認を取り消してから、[債権管理]-[入金処理]-[入金情報登録] メニューで行います。

仮受金振替の取消機能が追加されました。

[条件設定画面の変更]

検索対象の絞込条件が追加されました。

※この機能追加に伴い、以下のとおり変更されました。

- ・[基本条件]ページの絞込条件項目は、リストから選択する形式になりました。
- ・[詳細条件]ページの設定方法が変更されました。

・[登録情報]ページ、[摘 要]ページが追加されました。

[基本条件]ページで、以下の項目が変更されました。

「作成区分」

⇒[登録情報]ページに移動しました。

[出力順]ページで、検索結果の並び順を詳細に設定できるようになりました。

[項目選択]ページが追加され、出力する項目、項目の並び順を設定できるようになりました。

[メイン画面の変更]

以下のとおり、項目名が変更されました。

- 「処理内容」→「振替区分」
- 「処理日付」→「振替日付」
- 「処理金額」→「振替金額」
- 「貸方勘定科目名」→「振替科目」
- 「貸方補助科目名」→「振替補助科目」

「他科目振替」→「他科目」に名称が変更されました。

振替区分(返金/次月充当/他科目振替)の指定方法が変更されました。

変更前

振替区分ごとの入力欄(3行)が表示され、使用する振替区分の入力欄に振替内容を入力 していました。

変更後

振替区分初期表示([仮受金振替 - 条件設定]画面の[表示設定]ページで設定)で設定した 振替区分の入力欄(1行)だけが表示されます。

他の振替区分を使用する場合は、振替区分を変更して振替内容を入力します。

複数の振替区分を使用する場合は、1つ目の振替区分の振替金額を入力すると、自動的に 行が追加され、次の振替区分の入力欄が表示されます。

振替対象が明確になるように、振替対象には選択欄にチェックを付けてから振替内容を入力 するようになりました。

複数の振替区分を使用する場合は、次に入力する振替区分の振替金額に、入力済みの振替内 容と仮受金金額の差額が初期表示されるようになりました。

[仮受金仕訳]([F8]キー)を押して[仕訳処理]画面を開かなくても、メイン画面に以下の項目を表示して入力できるようになりました。

・振替部門

・振替セグメント1/振替セグメント2

・振替プロジェクト/振替サブプロジェクト

 振替摘要 【設定箇所】 [仮受金振替 - 条件設定]画面の[項目選択]ページ 他科目振替の場合に、複数明細の他科目振替をする際の操作方法が変更されました。 変更前 [仮受金仕訳] ([F8] キー)を押して[仕訳処理]画面を開き、[仕訳処理]画面で明細 を追加していました。 変更後 メイン画面で1つ目の振替明細の振替金額を入力すると、自動的に行が追加され、次の振 替明細を入力できるようになりました。 次月充当の場合に、[仮受金仕訳] ([F8] キー)を押して[仕訳処理]画面を開かなくて も、メイン画面上で振替科目を変更できるようになりました。 以下のWindowsファンクションが追加されました。 [差額] ([F6] キー) [入金伝票] ([F7] キー) 「一括変更」([F9]キー) Windowsファンクションの名称が変更されました。 「仮受金仕訳」([F8] キー)→ [振替伝票]([F8] キー) 画面の右上に、以下の項目が表示されるようになりました。 「対象件数」:検索結果の仮受金の件数 「選択件数」:振替対象として、選択欄にチェックを付けた仮受金の件数 仕訳伝票のシステム自動付番 (メインメニューの[導入処理]-[会計期間設定]-[会計期間設 定]メニューの[伝票設定]ページで設定)が「0:使用しない」の場合に、作成する仕訳伝票 の伝票No.の付番方法を指定できるようになりました。 [印刷・転送の変更] 出力する項目、項目の並び順を設定できるようになりました。 【設定箇所】 [仮受金振替 - 条件設定]画面の[項目選択]ページ 出力する項目が多い場合に、1明細を2段で印刷できるようになりました。 【設定箇所】 [仮受金振替 - 印刷等条件設定]画面の[基本設定]ページ 出力設定ができる項目が追加されました。 また、印刷時のフォントサイズを指定できるようになりました。 ※この機能追加に伴い、[詳細設定]ページが追加され、マスターコードの出力設定は[詳細設 定]ページに移動しました。 処理内容コードは、出力されなくなりました。 以下の印刷オプションが指定できるようになりました。 ・網掛け印刷する ・間隔を補正する 複数明細の他科目振替をした場合に、すべての明細の振替内容が出力されるようになりまし た。 転送 ・金額は「数値」、日付は「日付」の書式で出力されるようになりました。 ・合計行と区別できるように、明細の出力開始位置が右に1列移動しました。

·合計行の前の空白行が出力されなくなりました。

・小計行、合計行の出力有無を、[仮受金振替 - 印刷条件設定]画面の[基本設定]ページで設 定できるようになりました。

≪前受金消込≫

通常の入金と同様に、以下のメニューから消込ができるようになったため、メニューが廃止 されました。

- ・[債権管理]-[入金処理]-[締単位入金消込]メニュー
- ・[債権管理]-[入金処理]-[一括入金消込]メニュー
- ・[債権管理]-[入金処理]-[個別入金消込]メニュー
- ※前受金消込リストの印刷・転送は、[個別入金消込]メニューで抽出基準([個別入金消込 条件設定]画面の[基本条件]ページで設定)を「入金情報」、入金種類([個別入金消込 – 条件設定]画面の[基本条件]ページで設定)を「前受金」に設定して行います。

≪前受金消込修正≫

通常の入金と同様に、[債権管理]-[入金処理]-[入金消込修正]メニューで修正できるように なったため、メニューが廃止されました。

≪債権伝票履歴≫

以下のとおり、項目名が変更されました。

- ・「債権勘定科目コード」→「債権科目コード」
- 「債権勘定科目名」→「債権科目名」
- 「売上勘定科目コード」→「売上科目コード」
- 「売上勘定科目名」→「売上科目名」

Ver.2.04以前のバージョンと同様のレイウアトで印刷できるようになりました。

【設定箇所】

[債権伝票履歴 - 印刷等条件設定]画面の[基本条件]ページの「形式選択」を「債権伝票履歴 リスト」に設定します。

※債権伝票表示単位([債権伝票履歴 - 条件設定]画面の[基本条件]ページで設定)が「伝 票単位」の場合にだけ設定できます。

入金伝票について、以下の項目を出力できるようになりました。

手数料等・新規登録日時・新規登録者名・修正登録日時・修正登録者名・1次承認日時・1 次承認者名・最終承認日時・最終承認者名

【設定箇所】

[項目選択]ページ

≪入金情報履歴≫

入金情報の履歴は、[債権管理]-[入金処理]-[入金情報登録]メニューで参照できるようになったため、メニューが廃止されました。

- ステータスが「3:非連結」「4:前受金」の入金情報の取消は、以下のメニューで行えます。
- ・仮受金/非連結入金/前受金が「0:承認しない」の場合⇒[債権管理]-[入金処理]-[入金情 報登録]メニューで行います。
- ・仮受金/非連結入金/前受金が「1:承認する」の場合⇒ [債権管理]-[入金処理]-[入金伝票 承認]メニューで承認を取り消してから、[債権管理]-[入金処理]-[入金情報登録]メニュー で行います。

≪入金消込履歴≫

※新メニュー名:[入金伝票履歴]メニュー

[フローに関する変更]

入金消込の承認取消機能が廃止されました。 また、承認だけを取り消す機能と、同時に消込まで取り消す機能は、別のメニューで実行す るようになり、取消範囲が明確になりました。 承認だけの取消⇒ [債権管理]-[入金処理]-[入金伝票承認]メニュー 承認+消込の取消⇒[随時処理]-[データー括削除]-[債権データー括削除]-[入金伝票データ ー括削除]メニュー ※[入金伝票データー括削除]メニューは今回のバージョンで追加されたメニューです。 使用するには、[権限管理]メニューで利用者ごとにメニュー権限を設定してください。 [条件設定画面の変更] 以下の絞込条件項目が廃止されました。 債権伝票日付 債権伝票No. 債権科目の部門 ・債権科目のセグメント1/セグメント2 ・債権科目のプロジェクト/サブプロジェクト ※[債権伝票履歴]メニューで、上記の絞込条件を指定できます。 検索対象の絞込条件が追加されました。 ※この機能追加に伴い、以下のとおり変更されました。 「基本条件」ページの絞込条件項目は、リストから選択する形式になりました。 ・[詳細条件]ページの設定方法が変更されました。 ・[登録情報]ページ、[摘 要]ページが追加されました。 [利用情報]ページの「処理内容」の検索対象が変更されました。 変更前 「最終承認」を付与することで作成された仕訳伝票の処理内容 変更後 入金消込の処理内容 ※これにより、消込者、承認者(一次承認・最終承認)などを指定して絞り込めるようになり ました。 ただし、作成された仕訳伝票の修正に関する条件は指定できなくなりました。 [出力順]ページで、検索結果の並び順を詳細に設定できるようになりました。 ※この機能追加に伴い、当バージョンにバージョンアップすると、以前のバージョンで設定 した並び順が初期化されます。 [項目選択]ページが追加され、出力する項目、項目の並び順を設定できるようになりまし た。 [メイン画面の変更] 消込対象の債権伝票も表示されるようになりました。 集計対象に以下のデータが追加されました。 ・[債権管理]-[相殺処理]-[債権振替相殺処理]メニューで振替済みのマイナス債権 表示項目の「伝票種類」と「消込区分」が統合され、名称が「登録区分」に変更されまし た。 変更前 伝票種類(非連結消込/前受金) ·消込区分(通/締) 変更後 ・登録区分(個別・一括消込/締単位消込/前受金消込/相殺消込/債権振替相殺処理)

マイナス債権だけでの消込の回収方法の表示が変更されました。

変更前

「マイナス債権消込」

変更後

Г-J

※[項目選択]ページで、「マイナス債権」を出力項目に設定することで、消込したマイナ ス債権金額を確認できるようになりました。

[印刷・転送の変更]

消込対象の債権伝票も出力されるようになりました。

※いままでのレイアウトで印刷・転送する場合は、[債権管理]-[入金処理]-[入金伝票承認] メニューで処理区分を「取消」に設定して行います。

「債権出力設定」が廃止されました。

※必ず債権情報が出力されるようになりました。

転送で、金額は「数値」、日付は「日付」の書式で出力されるようになりました。

≪仮受金処理履歴≫

仮受金処理履歴の参照・取消は、[債権管理]-[入金処理]-[仮受金振替]メニューで行えるようになったため、メニューが廃止されました。

● メニューの名称および構成が変更されました。

注意

機能アップによって新しく追加されたメニューが画面に表示されない場合は、[権限 管理]メニューで利用者ごとにメニュー権限を設定してください。

以下のとおり、各メニューに機能が追加されました。

[債権管理]─[入金処理] ─[締単位入金消込]メニュー	前受金消込ができるようになりました。
[債権管理]−[入金処理] - [一括入金消込]メニュー	前受金消込ができるようになりました。
[債権管理]-[入金処理] - [個別入金消込]メニュー	前受金消込ができるようになりました。 また、消込の修正と取消ができるようになりまし た。
[債権管理]-[入金処理] - [入金消込修正]メニュー	前受金消込の修正と取消ができるようになりました。
[債権管理]-[入金処理] - [入金承認]メニュー	承認の取消ができるようになりました。
[債権管理]−[入金処理] −[仮受金処理]メニュー	仮受金処理の取消ができるようになりました。
[債権管理]−[履歴管理] -[入金消込履歴]メニュー	消込対象の債権伝票が参照できるようになりまし た。

このため、以下のとおりメニューの名称および構成が変更されました。

変更前	変更後
[債権管理]-[前受金処理] - [前受金消込]メニュー	メニューが廃止されました。 前受金での消込も、通常入金と同様に、以下のい ずれかのメニューで行えるようになりました。 ・[債権管理]-[入金処理]-[締単位入金消込]メニ ュー ・[債権管理]-[入金処理]-[一括入金消込]メニュ ー ・[債権管理]-[入金処理]-[個別入金消込]メニュ
	ー また、前受金消込リストの印刷は、[債権管理]- [入金処理]-[個別入金消込]メニューで行えるよう になりました。
[債権管理]-[前受金処理] - [前受金消込修正]メニュー	メニューが廃止されました。 前受金での消込も、通常入金と同様に、[債権管 理]-[入金処理]-[入金消込修正]メニューで行える ようになりました。
[債権管理]-[入金処理] - [入金承認]メニュー	[債権管理]-[入金処理] - [入金伝票承認]メニュー に名称が変更されまし

 【債権管理]-[入金処理] -[仮受金類]メニュー (債権管理]-[人金処理] -[仮受金類]メニューに名称が変更されました。 た、ステータス「2: 仮受金」の入金情報の取消 機能は廃止され、以下のメニューで行えるようになりました。 ○(反愛金,非連結入金/前受金が「0: 承認しない」の場合 ⇒(債権管理]-[入金処理]-[入金信報登録]メニ ュー ○(反愛金,非連結入金/前受金が「1: 承認する」の 場合 ⇒(債権管理]-[入金処理]-[入金情報登録]メニューで承認を取り消してから、[債権管理]- [入金処理]-[入金処理]-[入金処理]-[入金処理]-[入金処理]- [人金情報2]メニュー (債権管理]-[入金処理]-[入金処理]-[入金処理]-[入金処理]- [人金情報2]メニューで参照できます。 また、ステータス「3: 非連結」「4: 前受金」の 入金情報の原油は、以下のメニューで行えるよう こなりました。 ○(反愛金/非連結入金/前受金が「0: 承認しない」 の場合 ⇒(債権管理]-[入金処理]-[入金情報登録]メニ ューで ○(反愛金/非連結入金/前受金が「1: 承認する」の ス金情報の取消は、以下のメニューで行えるよう こなりました。 ○(反愛金/非連結入金/前受金が「1: 承認する」の 場合 ⇒(債権管理]-[入金低理]-[入金情報登録]メニ ューで ○(反愛金/非連結入金/前受金が「1: 承認する」の 場合 ⇒(債権管理]-[入金低理]-[入金伝票承認]メニ ューで ○(反愛金/非連結入金/前受金が「1: 承認する」の 場合 ⇒(債権管理]-[入金伝票承認]メニ ューで ○(反愛金/非連結入型)-[八金伝票承認]メニ ューで ○(反愛金/非連結入金)前受金が「1: 承認する」の ⇒(債権管理]-[入金伝票承認]メニ ューで ○(反愛金/非連結入金/前受金が「1: 承認する」の ⇒(債権管理]-[入金処理]-[入金伝票承認]メニ ューで ○(反愛金/非連結入金/前受金が「1: 承認する」の ○(反愛金/非連結入金/前受金) ○(反愛金/非連結入金) ○(○(反愛金/非連結 (」))) ○(○(○(○(○(○(○(○(○(○(○(○(○(○(○(○(○(○(○(<i>t</i>
-[仮受金処理]メニュー -[仮受金処理]メニューに名称が変更されました。 また、ステータス [2: 仮受金」の入金情報の取消 機能は廃止され、以下のメニューで行えるように なりました。 ○ 仮受金/非連結入金/前受金が「0: 承認しない」 の場合 ⇒ [(債権管理]-[入金処理]-[入金情報登録]メニュー ○ (仮受金/非連結入金/前受金が「1: 承認する」の 場合 □ ([債権管理]-[入金処理]-[入金伝票承認]メニューでステー タスを取り消してから、[(債権管理]- [入金加理]-[入金処理] -[入金満込数定]メニュー -[入金情報の取消は、以下のメニューで不行えるよう になりました。 ○ (低権管理]-[ス金処理] -[入金情報の閲選]メニューで参照できます。 また、ステータス [3: 非連結」「4: 前受金」の 入金情報の取消は、以下のメニューで行えるよう こなりました。 ○ (低権管理]-[入金処理]-[入金処理]-[入金情報登録]メニ ュー ○ (仮受金/非連結入金/前受金が「0: 承認しない」 の場合 □ (債権管理]-[入金処理]-[入金処理]-[入金情報の取消は、以下のメニューで行えるよう こなりました。 ○ (低権管理]-[入金処理]-[入金情報登録]メニ ュー ○ (仮受金/非連結入金/前受金が「1: 承認する」の 場合 □ (債権管理]-[入金処理]-[入金情報登録]メニ ュー ○ (仮受金/非連結入金/前受金が「1: 承認する」の 場合 □ (債権管理]-[入金処理]-[入金伝票承認]メニ ュー ○ (仮受金/非連結入金/前受金が「1: 承認する」の 場合 □ (債権管理]-[入金処理]-[入金伝票承認]メニ ュー ○ (仮受金/非連結入金/前受金が「1: 承認する」の 場合 □ ([債権管理]-[入金処理]-[八金伝票承認]メニ ュー ○ ((「種管理]-[入金伝票承認]) ([(債権管理]-[八金処理]-[-(()())])) □ (「())] □ (「())] □ (「())] □ (「())] □ (「())] □ (()) □ (□ (())) □ (□ (())) □ (□ (())) □ (□ (())) □ (□ (())) □ (□ (())) □ (□ (())) □ (□ (())) □ (□ (())) □ (□ (())) □ (□ (())) □ (□ (())) □ (□ (())) □ (□ (())) □ (□ (())) □ (□ (())) □ (□ (())) □ (□ (())) □ (□ (())) □ (□ (())) □ (□ (())) □ (□ (())) □ (□ (())) □ (□ (())) □ (□ (())) □ (□ (())) □ (□ (())) □ (□ (())) □ (□ (())) □ (□ (())) □ (□ (())) □ (□ (())) □ (□ (())) □ (□ (())) □ (□ (())) □ (□ (())) □ (□ (())) □ (□ (())) □ (□ (())) □ (□ (())) □ (()) □ (()) □ (()) □ (()) □ (()) □ (()) □ (()) □ (()) □ (()) □ (()) □ (()) □ (()) □ (()) □ (()) □ (()) □ (()) □ (()) □ (()) □ (()) □ (()) □ (()) □ (()) □ (()) □ (()) □ (()) □ (()) □ (()) □ (()) □ (()) □ (()) □ (()) □ (()) □ (()) □ (()) □ (()) □ (()) □ (()) □ (()) □ (()) □ (()) □ (()) □ (()) □ (()) □ (()) □ (()) □ (()) □ (()) □ (()) □ (()) □ (()) □ (()) □ (()) □ (()) □ (()) □ (()) □ (()) □ (()) □ (()) □ (()) □ (()) □ (()) □ (()) □ (()) □ (()) □ (()) □ (()) □ (()) □ (()) □ (()) □ (()) □ (()) □ (()) □ (()) □ (()) □ (()) □ (()) □ (()) □ (()) □ (()) □ (()) □ (()) □ (()) □ (()) □ (()) □ (()) □ (()) □ (()) □ (()) □ (()) □ (()) □ (()) □ (()) □ (()) □ (()) □ (()) □ (()) □ (()) □ (()) □ (()) □ (()) □ (()	[債権管理]-[入金処理]	[債権管理]-[入金処理]
また、ステータス「2: 仮受金」の入金情報の取消 機能は廃止され、以下のメニューで行えるようになりました。 ○仮受金/非連結入金/前受金が「0: 承認しない」 の場合 > [債権管理]-[入金処理]-[入金情報登録]メニュー ○の受金/非連結入金/前受金が「1: 承認する」の 場合 > ○(債権管理]-[入金処理]-[入金伝票承認]メニ ューで承認を取り消してから。[債権管理]- [入金加型]-[入金伝票承認]メニューでステー タスを取り消してす。 [債権管理]-[入金処理]-[入金処理]-[入金処理]-[入金処理]-[入金処理]- [人金情報の置歴は、[債権管理]-[入金処型]-[入金 信報登録]メニューで参照できます。 また、ステータス「3: 非連結」「4: 前受金」の 入金情報の取消は、以下のメニューで行えるよう になりました。 (債権管理]-[入金処理]-[入金小型]-[入金人間できます。 また、ステータス「3: 非連結」「4: 前受金」の 入金情報の取消は、以下のメニューで行えるよう になりました。 ○仮受金/非連結入金/前受金が「0: 承認しない」 の場合 > [債権管理]-[入金処理]-[入金処理]-[入金情報登録]メニ ューで ○仮愛金/非連結入金/前受金が「1: 承認する」の 場合 > ○[債権管理]-[入金処理]-[入金価票承認]メニ ューで ○仮愛金/非連結入金/前受金が「1: 承認する」の 場合 > ○[債権管理]-[入金処理]-[八金信報登録]メニ ューで ○の受金/非連結入の前見金が「1: 承認する」の 場合 > ○[債権管理]-[入金処理]-[八金伝票承認]メニ ューで ○の変差のり消してから、[債権管理]-[入金処理] -[入金信報登録]メニューでえテータスを取り消します。 [債権管理]-[风金処理] -[入金伝票承認]メニ コーで ○の取消機能は廃止されました。 第込を同意回」 ○承認[」シューで行えるようになりました。 ○承認[」シューで行えるようになりました。 ○承認[」シューで行えるようになりましした。 ○承認[」]-[二の処理]-[二の一の ○承認[」」」 ○承認[」」」 ○「人会に票承認]」	-[仮受金処理]メニュー	[仮受金振替]メニュー に名称が変更されました。
 機能は廃止され、以下のメニューで行えるようになりました。 ○仮受金/非連結入金/前受金が「0: 承認しない」の場合 ⇒[債権管理]-[入金処理]-[入金情報登録]メニュー ○の優愛金/非連結入金/前受金が「1: 承認する」の場合 ⇒[債権管理]-[入金処理]-[入金伝票承認]メニューで承認を取り消してから、[債権管理]-[入金処理]-[入金伝票承認]メニューでステレクシスを取り消します。 [債権管理]-[人金処理] -[白動入金消込設定]メニュー (債権管理]-[人金処理] -[人金情報優麗]メニューでる称が変更されました。 ス全情報の度信は、[債権管理]-[入金処理]-[入金 (債権管理]-[入金処理]-[人金処理]-[人金処理]-[人金処理]-[人金処理]-[人金処理]-[人金処理]-[人金処理]-[人金処理]-[人金処理]-[人金処理]-[人金処理]-[人金処理]-[人金処理]-[人金処理]-[人金情報の度信は、[債権管理]-[入金処理]-[人金処理]-[人金処理]-[人金処理]-[人金(清報登録]メニューで考知の取消は、以下のメニューで行えるよう ○仮受金/非連結入金/前受金が「1: 承認する」の場合 ⇒[債権管理]-[入金処理]-[人金処理]-[人金処理]-[人金処理]-[人金処理]-[人金処理]-[人金処理]-[人金処理]-[人金処理]-[人金処理]-[人金処理]-[人金処理]-[人金処理]-[人金処理]-[人金処理]-[人金処理]-[人金処理]-[人金処理]-[人金処理]-[人金処理]-[人金処理]-[人金処理]-[人金処理]-[人金処理]]-[人金処理]-[人金処理]-[人金処理]-[人金処理]-[人金処理]-[人金処理]]-[人金処理]-[人金処理]-[人金処理]]-[人金処理]-[人金処理]-[人金処理]-[人金処理]]-[人金処理]-[人金処理]-[人金処理]-[人金処理]]-[人金処理]-[人金処理]]-[人金処理]-[人金処理]]-[人金処理]-[人金処理]]-[人金処理]-[人金処理]-[人金処理]]-[人金処理]-[人金処理]]-[人金処理]-[人金処理]-[人金処理]-[人金処理]]-[人金処理]]-[人金処理]-[人金処理]]-[人金処理]-[人金処理]]-[人金処理]-[人金処理]]-[人金処理]]-[人金処理]]-[人金処理]]-[人金処理]]-[人金処理]]-[人金処理]]-[人金処理]]-[人金処理]]-[人金処理]]-[人金処理]]-[人金処理]]-[人金処理]]-[人金処理]]-[人金処理]]-[人金処理]]-[人金処理]]-[人金処理]]-[人金処理]]-[人金処理]]-[人金処理]]-[人金処理]]-[人金処理]]-[人金処理]]-[人金処理]]-[人金処理]]-[人金処理]]-[人金処理]]-[人金処理]]-[人金処理]]-[人金処理]]-[人金処理]]-[人金処理]]-[人金処理]]-[人金処理]]-[人金処理]]-[人金処理]]-[人金処理]]-[人金処理]]-[人金処理]]-[人金処理]]-[人金処理]]-[人金処理]]-[人金処理]]-[人金処理]]-[人金処理]]-[人金処理]]-[人金処理]]-[人金処理]]-[(人金処理]]-[人金処理]]-[人金処理]]-[人金処理]]-[人金処理]]-[人金処理]]-[人金処理]]-[人金処理]]-[人金処理]]-[人金処理]]-[人金処理]]-[人金処理]]-[人金処理]]-[人金処理]]-[人金処理]]-[人金処理]]-[人金処理]]-[人金処理]]-[人金処理]]-[人金処理]]-[人管管]]]-[(基ペ算]]-[(債管理]-[[基の単]]-[((債管理])-[(債管理]]-[((債管])-[[[また、ステータス「2:仮受金」の入金情報の取消
なりました。 ○仮受金/非連結入金/前受金が「0:承認しない」の場合 ⇒[債権管理]-[入金処理]-[入金債報登録]メニュー □ ○仮受金/非連結入金/前受金が「1:承認する」の場合 ⇒[債権管理]-[入金処理]-[入金伝票承認]メニューでス示記したから。[債権管理]-[人金処理]-[人金処理]]-[人金処理]]-[人金処理]]-[人金処理]]-[人金処理]]-[人金処理]]-[人金処理]]-[人金処理]]-[人金処理]]-[人金焼害型]-[人金処理]]-[人金処理]]-[人金処理]]-[人金焼零置)をなり消します。 [債権管理]-[優歴管理] -[人金情報@履歴]メニューでを照できます。 -[人金情報履歴]メニュー メニューが廃止されました。 人会情報の履歴[メニューで考認できます。 オニューでを照できます。 「債権管理]-[人金処理]-[人金処理]-[人金 -[人金情報登録]メニューで行えるよう 「(債権管理]-[人金処理]]-[人金情報登録]メニューで行えるよう こなりました。 ○仮受金/非連結入金/前受金が「0:示認しない」の場合 ⇒[債権管理]-[人金処理]-[人金情報登録]メニューで →[債権管理]-[人金処理]-[人金情報登録]メニューで - この ○仮受金/非連結入金/前受金が「1:示認する」の 場合 >○(板受金/非連結入金/前受金が「0:示認しない」の場合 ⇒[債権管理]-[人金処理]-[人金情報登録]メニューで →[債権管理]-[人金処理]-[人金情報登録]メニューで - この ○仮受金/非連結入金/前受金が「1:示認する」の 場合 □ -[債権管理]-[人金処理]-[人金情報登録]メニューで →[債権管理]-[人金処理]-[人金情報登録]メニューで - この →[債権管理]-[人金小型]-[人金情報登録]メニュー - この ○(広要本取り消します。 - (債権管理]-[人金処理]-[人金気票承認]メニュー -[人本(転換置)] - 二 - この -[人本(転換置)] - 二 - この -[人本(転換置)] - 二 - こ ○(本(転換置)] <th></th> <th>機能は廃止され、以下のメニューで行えるように</th>		機能は廃止され、以下のメニューで行えるように
○仮受金/非連結入金/前受金が「0: 承認しない」の場合 ⇒[債権管理]-[入金処理]-[入金情報登録]メニュー ○の受金/非連結入金/前受金が「1: 承認する」の場合 ⇒[債権管理]-[入金処理]-[入金伝票承認]メニュー □の安逸を取り消してから、[債権管理]-[入金処理]-[入金伝票承認]メニューで承認を取り消してから、[債権管理]-[人金処理] -[自動入金消込設定]メニュー [債権管理]-[入金処理] -[日勤入金消込設定]メニュー [債権管理]-[乙金処理] -[人金情報優歴]メニューでを照できます。 「た。 「債権管理]-[尿虚管理] -[入金情報優歴]メニューで参照できます。 「た、ステータス「3: 非連結」「4: 前受金」の入金情報の取消は、以下のメニューで行えるよう こなりました。 ○仮受金/非連結入金/前受金が「0: 承認しない」の場合 ⇒[債権管理]-[入金処理]-[入金価報登録]メニューで ○仮受金/非連結入金/前受金が「0: 承認しない」の場合 ⇒[債権管理]-[入金処理]-[入金伝票承認]メニューで ○個学金/連結入金/前受金が「1: 承認する」の 場合 ⇒[債権管理]-[入金処理]-[入金伝票承認]メニューで ○個学金/連結入金/前受金が「1: 承認する」の 場合 ⇒[債権管理]-[人金処理]-[入金伝票報記]メニューで アぶどを取り消してから、[債権管理]-[人金処理]-[入金伝票承認]メニューで アぶを取り消してから、[債権管理]-[人金処理] ○人会事題[メニューで アぶどを取り消してから、[債権管理]-[人会の □ 「人会伝票履歴]メニューでのそろるようになりました。 取り消しまっ [債権管理]-[人会の 「人会無理[個]」 「人会会理] 「人会」 「人会会理] ○(人		なりました。
○場合 >[(債権管理]-[入金処理]-[入金信報登録]メニュー ○低受金/非連結入金/前受金が「1: 承認する」の 場合 >((債権管理]-[入金処理]-[入金伝票承認]メニ ューで承認を取り消してから、[債権管理]- [入金加理]-[入金処理]-[入金処理]- -[入金捕報履歴]メニュー [(債権管理]-[入金処理]-[入金処理]-[入金処理]- -[入金捕報履歴]メニュー -[(債権管理]-[入金処理]- -[入金情報履歴]メニューで参照できます。 また、ステータス「3: 非連結」「4: 前受金」の 入金情報の取消は、以下のメニューで行えるよう になりました。 ((債権管理]-[入金処理]-[入金(情報登録]メニューで参照できます。 また、ステータス「3: 非連結」「4: 前受金」の 入金情報の取消は、以下のメニューで行えるよう になりました。 ○低受金/非連結入金/前受金が「0: 承認しない」 の場合 ○[(債権管理]-[入金処理]-[入金債報登録]メニ ューで 承認を取り消してから、[(債権管理]-[入金処理]-[入金処 理]-[八金情報登録]メニューでステータスを 取り消します。 ((債権管理]-[二、金(債報登録])メニューでステータスを 取り消します。 [(債権管理]-[二、金(債報登録])メニューでステータスを 取り消します。 ((債権管理]-[二、金(債報登録])メニューでステータスを 取り消します。 ((債権管理]-[二、金(債報登録])メニューでステータスを 取り消します。 ((債権管理]-[二、金(債報登録])メニューで 示認を取り消します。 ((債権管理]-[二、金(位)]) ((債権管理]-[二、金(位)]) ○(広気原歴]) -[(人債報管理]-[二、金(位)]) (債権管理]-[二、金(位)]) ○(広気環歴歴]) -[(人債報管理]-[二、金(位)]) : : : : : : : : : : : : : : : : : :		○仮受金/非連結入金/前受金が「0:承認しない」
⇒[債権管理]-[入金処理]-[入金処理]-[入金伝票承認]メニュー ○仮受金/非連結入金/前受金が「1:示認する」の場合 ⇒[債権管理]-[入金処理]-[入金伝票承認]メニューで示認を取り消してから、[債権管理]-[入金処理]-[入金処理]-[入金処理]-[入金処理]-[入金処理]-[入金処理]-[入金拠型]-[入金拠型]-[入金拠型]-[入金拠型]-[入金間報の履歴は、[債権管理]-[入金処理]-[入金情報の履歴]メニューで参照できます。また、ステータス「3:非連結」「4:前受金」の入金情報の取消は、以下のメニューで行えるよう 「債権管理]-[履歴管理] -[入金情報履歴]メニュー ○仮受金/非連結入金/前受金が「1:示認する」の ※ニューが廃止されました。 人金情報の取消に、以下のメニューで行えるよう こなりました。 ○仮受金/非連結入金/前受金が「0:示認しない」の場合 ⇒[債権管理]-[入金処理]-[入金情報登録]メニューで の優全 ○(債権管理]-[入金処理]-[入金価報登録]メニューで の服金 ○(債権管理]-[入金価報登録]メニューで行えるよう ○広受金/非連結入金/前受金が「1:示認する」の 少二 ○仮受金/非連結入金/前受金が「1:示認する」の 少消して入金(情報登録]メニューでのテラムを ○仮受金/非連結入金/前受金が「1:示認する」の ⇒[債権管理]-[入金処理]-[入金(振興登録]メニューで ○仮受金/非連結入金/前受金が「1:示認する」の ⇒[債権管理]-[入金(加速]-[入金(加速])] ○の取消してから、[債権管理]-[入金(加速]] -[入金(市場登録])メニューでのステータスを 取り消します。 [債権管理]-[履歴管理] -[人気会(市場歴)] ○(人気令運]] -[入金(市場登録]]メニューで ○(人営管理]-[履歴管理] ○(人営管理]] ○(人営管理]] ○(人会運)] ○(人営管理]]		の場合
ユー ○仮受金/非連結入金/前受金が「1:承認する」の 場合 ○[債権管理]-[入金処理]-[入金処理]-[入金伝票承認]メニ ユーで承認を取り消してから、[債権管理]- [入金加理]-[入金処理] -[自動入金消込設定]メニュー -[自動入金消込設定]メニュー -[人金情報燈躍]-[人金処理] -[人金情報燈躍]-[人金処理] -[人金情報燈躍]メニューでる称が変更されました。 (債権管理]-[履歴管理] -[人金情報燈躍]メニューで参照できます。 また、ステータス「3:非連結」「4:前受金」の 入金情報の取消し、以下のメニューで行えるよう になりました。 ○仮受金/非連結入金/前受金が「0:承認しない」 の場合 ○[債権管理]-[入金伽理]-[入金情報登録]メニ ユーで ○仮受金/非連結入金/前受金が「1:承認する」の 場合 ○[債権管理]-[入金伽理]-[入金情報登録]メニ ユーで -Qの受金/非連結入金/前受金が「1:承認する」の 小金情報の取消してから、[債権管理]-[入金情報登録]メニ ユーで -[人金情報登録]メニューでステータスを 取り消します。 [債権管理]-[入金情報登録]メニ ユーで -Qの受金/非連結入金/前受金が「1:承認する」の 小金信報管理]-[入金債報登録]メニューでステータスを 取り消します。 [債権管理]-[入金恒報登録]メニューでステータスを 取り消します。 [債権管理]-[次金処理] -[人金備報登]メニューでステータスを 取り消します。 [債権管理]-[次金処理] -[人金債業優選]メニューでステータスを 取り消します。 [債権管理]-[次金振要整]メニューで -[人価報管理]-[次金振要整]メニューで -[人価報管理]-[次金振要要]メニューで -[人価報管理]-[人価報告理]-[人価報告理]-[人金処理] -[人価報管理]-[次金元報] -[人価報管理]-[次金元報] -[人価報管理]-[人価報告理] -[人価報管理]-[人価報] -[人価報管理]-[人価報要]		⇒[債権管理]-[入金処理]-[入金情報登録]メニ
○仮受金/非連結入金/前受金が「1:承認する」の 場合 ⇒ 〔債権管理]-〔入金処理]-〔入金低栗承認]メニ ューで承認を取り消してから、〔債権管理]- 〔入金加型]-〔入金伽理]- 〔入金情報意味]メニューでるないない」 (債権管理]-〔履歴管理] -[自動入金消込設定]メニュー -[「入金情報履歴]メニュー (債権管理]-〔入金処理] -[「入金情報履歴]メニュー (債権管理]-〔入金処理] -[入金情報履歴]メニュー (債権管理]-〔入金処理] -[入金情報履歴]メニュー (債権管理]-〔入金処理] -[入金情報履歴]メニュー (債権管理]-〔入金処理]-〔入金処理]-〔入金処理]-〔入金処理]-〔入金 ○仮受金/非連結入金/前受金が「0:承認しない」 の場合 ⇒ 〔債権管理]-〔入金処理]-〔入金伝栗承認]メニ ューで 承認を取り消してから、〔債権管理]-〔入金処理]-〔入金気栗承認]メニ ューで -「②の受金/非連結入金/前受金が「1:承認する」の 場合 ○〔債権管理]-〔入金処理]-〔入金伝栗承認]メニ ューで -「③ -「 -〔人金情報登録]-〔二 -「 -「 -「 - 〔 - 〔 - 〔 - 〔 - 〔 - 〔 - 〔 - 〔 - 〔 - 〔 - 〔 - 〔 - 〔 - 〔 - 〔 <tr< th=""><th></th><th><u>а</u>—</th></tr<>		<u>а</u> —
場合 ⇒ [債権管理]-[入金処理]-[入金位票承認]メニ		○仮受金/非連結入金/前受金が「1:承認する」の
 ⇒ [債権管理]-[人金処理]-[人金伝果承認]メニューで承認を取り消してから、[債権管理]- [人金処理]-[人金情報登録]メニューでステータスを取り消してから、[債権管理]- [人金加辺]-[人金情報登録]メニューでステータスを取り消してから、[債権管理]- [人金情報閲歴]メニュー [債権管理]-[反金処理] -[人金情報履歴]メニュー (債権管理]-[履歴管理] -[人金情報履歴]メニュー ※ ニューが廃止されました。 人金情報の取消は、以下のメニューで行えるよう (広りました。 ○仮受金/非連結入金/前受金が「1:承認する」の 場合 ⇒ [債権管理]-[人金処理]-[人金債報登録]メニューで ○仮受金/非連結入金/前受金が「1:承認する」の 場合 ⇒ [債権管理]-[人金処理]-[人金伝票承認]メニ ュー ○ (低量管理]-[人金処理]-[人金位票承認]メニ ューで 承認を取り消してから、[債権管理]-[人金処理]-[人金位 理]-[人金情報登録]メニューでステータスを 取り消します。 [債権管理]-[履歴管理] -[人金備基登録]メニューでステータスを 取り消します。 [債権管理]-[履歴管理] -[人金備第登]メニューで 承認を取り消してから、[債権管理]-[人金処 理]-[人金情報登録]メニューで行えるようになりました。 第込の取消機能は廃止されました。 取消は、以下のメニューで行えるようになりました。 (人権管理]-[人金処理] -[人金伝票承認]メニュー ○承認だけを取り消す場合 [随時処理]-[人金処理] -[人金伝票承認]メニュー ○承認だけを取り消す場合 [随時処理]-[アーター括削除]-[債権データー括 削除] 		场台
ユーで家該を取り消してから、[復権管理]- [入金処理] - [入金焼理] -[信輸入金消込設定]メニュー -[信輸入金消込設定]メニュー -[「入金消込設定]メニュー -[人金消込設定]メニュー -[人金消入設定]メニュー -[人金消込設定]メニュー -[人金消入設定]メニュー -[人金消入設定]メニュー -[人金消入設定]メニュー -[人金消入設定]メニュー -[人金消入設定]メニュー -[人金清和設定]メニュー -[人金情報度歴]メニュー -[人金情報度歴]メニュー -[人金情報度歴]メニュー -[人金情報度歴]メニュー -(人金情報度歴]メニュー -(人金情報度世) -(人金情報登録]メニュー の場合 >[債権管理]-[入金加理]-[入金信報登録]メニュー の仮会 >[債権管理]-[入金処理]-[入金処理]-[入金伝票承認]メニュー -(人金信報管理]-[人金伝票承認]メニュー の仮会 >[債権管理]-[履歴管理]- [入金小算承認」メニュー -[人備権管理]-[履歴管理]- [人金仕票理証] -[人価権管理]-[履歴管理] -[人金情報登録]メニュー -[人価権管理]-[履歴管理] -[人価権管理]-[履歴管理] -[人価権管理]-[履歴管理] -[人価権管理]-[人金処理] -[人価報管理] -[人価権管理] -[人価報管理] -[人価報管理] -[人価報管理] -[人価報管理] </th <th></th> <th> ⇒[債権管理]-[人金処理]-[人金伝票承認]メニ</th>		⇒[債権管理]-[人金処理]-[人金伝票承認]メニ
[(大金処理] -(人金和以消します。 [(債権管理]-[人金処理] -[自動入金消込設定]メニュー [(人金知以消します。 [(債権管理]-[人金処理] -(人金消込設定]メニューにス本が変更されまし た。 [(債権管理]-[(履歴管理]] -(入金情報履歴]メニュー メニューが廃止されました。 入金情報の履歴は、[(債権管理]-[人金処理]-(入金 情報登録]メニューで参照できます。 また、ステータス「3:非連結」「4:前受金」の 入金情報の取消は、以下のメニューで行えるよう になりました。 ○仮受金/非連結入金/前受金が「0:承認しない」 の場合 > [(債権管理]-[人金処理]-[人金(構報登録]メニ ュー ○仮受金/非連結入金/前受金が「1:承認する」の 場合 > [(債権管理]-[人金処理]-[人金(無罪承認]メニ ュー ○仮受金/非連結入金/前受金が「1:承認する」の 場合 > [(債権管理]-[人金処理]-[人金(無罪承認]メニ ューで 承認を取り消してから、[(債権管理]-[人金処 理]-[人金情報登録]メニューでステータスを 取り消します。 [(債権管理]-[履歴管理]] -[入金満算展歴]メニュー [(債権管理]-[(履歴管理]) -([人金伝票履歴]]メニューに名称が変更されまし た。) 消込の取消機能は廃止されました。 取消は、以下のメニューで行えるようになりまし た。 ○承認だけを取り消す場合 [(債権管理]-[人金処理] -(人金伝票原配]メニュー ○承認だけを取り消す場合 [(随時処理]-[データー括削除]-[(債権データー括 削除]		ユーで承認を取り消してから、[慎権官理]-
● ス と R W J A C & S J. [債権管理]-[入金処理] -[自動入金消込設定]メニュー [債権管理]-[履歴管理] -[入金情報履歴]メニュー (債権管理]-[履歴管理] -[入金情報履歴]メニュー シニューが廃止されました。 (債権管理]-[履歴管理] -[入金情報履歴]メニューで参照できます。 また、ステータス「3:非連結」「4:前受金」の 入金情報の履歴は、[債権管理]-[入金処理]-[入金(理)] ○仮受金/非連結入金/前受金が「0:承認しない」の場合 ⇒ [債権管理]-[入金処理]-[入金(理)]-[入金(理)] ○仮受金/非連結入金/前受金が「1:承認する」の 場合 ⇒ [債権管理]-[入金処理]-[入金(理)]-[入金(理)] コーで 承認を取り消してから、[債権管理]-[入金処 理]-[入金情報登録]メニューでステータスを 取り消します。 [債権管理]-[履歴管理] -[入金清報登録]メニューでの未認を取り消してから、[債権管理]-[入金処 ・ (債権管理]-[履歴管理] -[入金清報登録]メニューで 承認を取り消してから、[債権管理]-[入金処 理]-[入金清報登録]メニューでステータスを 取り消します。 [債権管理]-[履歴管理] -[入金清報登録]メニュー -[入金清報登録]メニュー -[入金清報登録]メニュー -[入金清報登録]メニュー ○ののの、 -[人債権管理]-[履歴管理] -[人音権管理]-[及金規算] -[人音権管理]-[及金属電] ・ (人債権管理] ・ (人債権管理] <th></th> <th>【八金処理」-【八金恒報登録】メーユー じスナー ねった取り消します</th>		【八金処理」-【八金恒報登録】メーユー じスナー ねった取り消します
 【債権管理]-【入金/// 入金/// 入金/// スームー 「債権管理]-【履歴管理] -[入金/// 私間報題)メニュー (債権管理]-[【履歴管理] -[入金/// 私間報題)メニューで参照できます。 また、ステータス「3:非連結」「4:前受金」の 入金情報の限歴は、【債権管理]-【入金処理]-【入金 (人金/// 小型) (人金/// 小		
- 「日朝人並消込設定」メニュー - 「人並消込設定」メニューに名称が変更されました。 - 「人並消報履歴]メニュー - 「人並消報履歴]メニュー - 「人並情報履歴]メニュー - 「人並情報履歴]メニュー - 「人並情報履歴]メニュー - 「人並情報の限度は、[債権管理]-[人金処理]-[人金 情報登録]メニューで参照できます。 また、ステータス「3:非連結」「4:前受金」の 人金情報の取消は、以下のメニューで行えるよう [こなりました。 - ○仮受金/非連結入金/前受金が「0:承認しない] の場合 ⇒ [債権管理]-[人金処理]-[人金仕職]-[人金仕職]・(人金仕職)・ - ○ (低受金/非連結入金/前受金が「1:承認する」の 場合 ⇒ [債権管理]-[人金処理]-[人金処理]-[人金仕職]・ - ○ (低受金/非連結入金/前受金が「1:承認する」の - ○ (低受金/非連結入金/前受金が「1:承認する」)の - 湯合 - ○ (低受金/非連結入金/前受金が「1:承認する」の - ○ (低受金/非連結入金/前受金が「1:承認する」の - ○ (低受金/非連結入金/前受金が「1:承認する」の - ○ (低受金/非連結入金/前受金が「1:承認する」の - ○ (低受金/非連結入金/前受金が「1:承認する」)の - 湯合 - ○ (低受金の」)- ○ (低受金の」)- ○ (低受金の」)- ○ (低受金の」)- ○ (低使管理]-[入金処理]-[入金処理]-[入金処理]-[入金処理]-[入金処理]-[入金処理]-[人金処理]-[人金処理]-[人金へ一一一〇-(元会へ一一一〇-(元会へ一一一一〇-(元会へ一一一一一一一一〇-(元会へ一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一		
 [債権管理]-[履歴管理] -[入金情報履歴]メニュー メニューが廃止されました。 入金情報の履歴は、[債権管理]-[入金処理]-[入金 情報登録]メニューで参照できます。 また、ステータス「3:非連結」「4:前受金」の 入金情報の取消は、以下のメニューで行えるよう になりました。 ○仮受金/非連結入金/前受金が「0:承認しない」の場合 ⇒[債権管理]-[入金処理]-[入金情報登録]メニュー ○ (仮受金/非連結入金/前受金が「1:承認する」の 場合 ⇒[債権管理]-[入金処理]-[入金伝票承認]メニューで 承認を取り消してから、[債権管理]-[入金処 理]-[入金情報登録]メニューでステータスを 取り消します。 [債権管理]-[履歴管理] -[入金満込履歴]メニュー (債権管理]-[履歴管理] -[入金伝票履歴]メニューに名称が変更されました。 取消は、以下のメニューで行えるようになりました。 取消は、以下のメニューで行えるようになりました。 取消は、以下のメニューで行えるようになりました。 (債権管理]-[入金処理] -[入金伝票承認]メニュー ○承認だけを取り消す場合 [債権管理]-[入金処理] -[入金伝票承認]メニュー ○承認と消込を同時に取り消す場合 [随時処理]-[データー括削除]-[債権データー括 削除] 	「[自動入並消込設定」メーユー	
 -[入金情報履歴]メニュー 入金情報の履歴は、[債権管理]-[入金処理]-[入金 情報登録]メニューで参照できます。 また、ステータス「3:非連結」「4:前受金」の 入金情報の取消は、以下のメニューで行えるよう になりました。 ○仮受金/非連結入金/前受金が「0:承認しない」 の場合 ⇒[債権管理]-[入金処理]-[入金情報登録]メニ ュー ○仮受金/非連結入金/前受金が「1:承認する」の 場合 ⇒[債権管理]-[入金処理]-[入金伝票承認]メニ ューで 承認を取り消してから、[債権管理]-[入金処 理]-[入金情報登録]メニューでステータスを 取り消します。 [債権管理]-[履歴管理] -[入金浦込履歴]メニュー -[入金満覧歴]メニュー -[入金伝票履歴]メニューで行えるようになりました。 取消は、以下のメニューで行えるようになりました。 取消は、以下のメニューで行えるようになりました。 取消は、以下のメニューで行えるようになりました。 取消は、以下のメニューで行えるようになりました。 の承認だけを取り消す場合 [債権管理]-[入金処理] -[入金伝票承認]メニュー ○承認と消込を同時に取り消す場合 [随時処理]-[データー括削除]-[債権データー括 削除] 	[債権管理]-[履歴管理]	メニューが廃止されました。
情報登録]メニューで参照できます。 また、ステータス「3:非連結」「4:前受金」の 入金情報の取消は、以下のメニューで行えるよう になりました。 〇仮受金/非連結入金/前受金が「0:承認しない」 の場合 ⇒[債権管理]-[入金処理]-[入金情報登録]メニ ュー 〇仮受金/非連結入金/前受金が「1:承認する」の 場合 ⇒[債権管理]-[入金処理]-[入金伝票承認]メニ ューで 承認を取り消してから、[債権管理]-[入金処 理]-[入金情報登録]メニューでステータスを 取り消します。 [債権管理]-[履歴管理] -[入金清設履歴]メニューでステータスを 取り消します。 [債権管理]-[履歴管理] -[入金伝票履歴]メニューに名称が変更されました。 取消は、以下のメニューで行えるようになりました。 取消は、以下のメニューで行えるようになりました。 取消は、以下のメニューで行えるようになりました。 の承認だけを取り消す場合 [債権管理]-[入金処理] -[入金伝票承認]メニュー ○承認だけを取り消す場合 [債権管理]-[入金処理] -[入金伝票承認]メニュー ○承認だけを取り消す場合 [債権管理]-[大金処理] -[人金伝票承認]メニュー ○承認だけを取り消す場合 [債権管理]-[大金処理] -[人金伝票承認]メニュー ○承認たけを取り消す場合 [頃時処理]-[データー括削除]-[債権データー括削除]	-[入金情報履歴]メニュー	入金情報の履歴は、[債権管理]-[入金処理]-[入金
 また、ステータス「3:非連結」「4:前受金」の 入金情報の取消は、以下のメニューで行えるよう になりました。 ○仮受金/非連結入金/前受金が「0:承認しない」 の場合 ⇒ [債権管理]-[入金処理]-[入金情報登録]メニ ュー ○仮受金/非連結入金/前受金が「1:承認する」の 場合 ⇒ [債権管理]-[入金処理]-[入金伝票承認]メニ ューで 承認を取り消してから、[債権管理]-[入金処 理]-[入金情報登録]メニューでステータスを 取り消します。 [債権管理]-[履歴管理] -[入金満込履歴]メニューに名称が変更されました。 取消は、以下のメニューに名称が変更されました。 取消は、以下のメニューで行えるようになりました。 取消は、以下のメニューで行えるようになりました。 ⑦承認だけを取り消す場合 [債権管理]-[入金処理] -[入金伝票承認]メニュー ○承認と消込を同時に取り消す場合 [随時処理]-[データー括削除]-[債権データー括 削除] 		情報登録]メニューで参照できます。
 入金情報の取消は、以下のメニューで行えるよう になりました。 ○仮受金/非連結入金/前受金が「0:承認しない」 の場合 ⇒[債権管理]-[入金処理]-[入金情報登録]メニ ュー ○仮受金/非連結入金/前受金が「1:承認する」の 場合 ⇒[債権管理]-[入金処理]-[入金伝票承認]メニ ューで 承認を取り消してから、[債権管理]-[入金処 理]-[入金情報登録]メニューでステータスを 取り消します。 [債権管理]-[履歴管理] -[入金清込履歴]メニューでステータスを 取り消します。 [債権管理]-[履歴管理] -[入金伝票履歴]メニューに名称が変更されました。 潤込の取消機能は廃止されました。 取消は、以下のメニューで行えるようになりまし た。 ○承認だけを取り消す場合 [債権管理]-[入金伝票承認]メニュー ○承認と消込を同時に取り消す場合 [随時処理]-[データー括削除]-[債権データー括 削除] 		また、ステータス「3:非連結」「4:前受金」の
 になりました。 ○仮受金/非連結入金/前受金が「0:承認しない」の場合 ⇒[債権管理]-[入金処理]-[入金情報登録]メニュー ○仮受金/非連結入金/前受金が「1:承認する」の場合 ⇒[債権管理]-[入金処理]-[入金伝票承認]メニューで 承認を取り消してから、[債権管理]-[入金処理]-[入金処理]-[入金情報登録]メニューでステータスを 取り消します。 [債権管理]-[履歴管理] -[入金満込履歴]メニュー (債権管理]-[履歴管理] -[入金伝票履歴]メニューに名称が変更されました。 取消は、以下のメニューに名称が変更されました。 取消は、以下のメニューで行えるようになりました。 ○承認だけを取り消す場合 [債権管理]-[入金処理] -[入金伝票承認]メニュー ○承認だけを取り消す場合 「債権管理]-[アーター括削除]-[債権データー括削除] 		入金情報の取消は、以下のメニューで行えるよう
 ○仮受金/非連結入金/前受金が「0:承認しない」の場合 ⇒[債権管理]-[入金処理]-[入金情報登録]メニュー ○仮受金/非連結入金/前受金が「1:承認する」の場合 ⇒[債権管理]-[入金処理]-[入金伝票承認]メニューで 承認を取り消してから、[債権管理]-[入金処理]-[入金処理]-[入金処理]-[入金焼票承認]メニューで 「え金情報登録]メニューでステータスを 取り消します。 [債権管理]-[履歴管理] -[入金情報登録]メニューでステータスを 取り消します。 [債権管理]-[履歴管理] -[入金伝票履歴]メニューに名称が変更されました。 取消は、以下のメニューで行えるようになりました。 ○承認だけを取り消す場合 [債権管理]-[入金処理] -[入金伝票承認]メニュー ○承認と消込を同時に取り消す場合 [随時処理]-[データー括削除]-[債権データー括削除] 		になりました。
の場合 ⇒ [債権管理]-[入金処理]-[入金情報登録]メニュー ○仮受金/非連結入金/前受金が「1:承認する」の場合 ⇒ [債権管理]-[入金処理]-[入金伝票承認]メニューで 承認を取り消してから、[債権管理]-[入金処 理]-[入金情報登録]メニューでステータスを 取り消します。 [債権管理]-[履歴管理] -[入金浦込履歴]メニュー [債権管理]-[履歴管理] -[人金伝票履歴]メニューに名称が変更されました。 取消は、以下のメニューに名称が変更されました。 取消は、以下のメニューで行えるようになりました。 の承認だけを取り消す場合 [債権管理]-[入金処理] -[入金伝票承認]メニュー ○承認と消込を同時に取り消す場合 [随時処理]-[データー括削除]-[債権データー括削除]		○仮受金/非連結入金/前受金が「0:承認しない」
 ⇒[債権管理]-[入金処理]-[入金情報登録]メニュー ○仮受金/非連結入金/前受金が「1:承認する」の場合 ⇒[債権管理]-[入金処理]-[入金伝票承認]メニューで 承認を取り消してから、[債権管理]-[入金処理]-[入金処理]-[入金気票承認]メニューで 承認を取り消してから、[債権管理]-[入金処 理]-[入金情報登録]メニューでステータスを 取り消します。 [債権管理]-[履歴管理] -[入金伝票履歴]メニューに名称が変更されました。 潤込の取消機能は廃止されました。 取消は、以下のメニューで行えるようになりました。 の承認だけを取り消す場合 [債権管理]-[入金処理] -[入金伝票承認]メニュー ○承認と消込を同時に取り消す場合 [随時処理]-[データー括削除]-[債権データー括削除] 		の場合
 ユー ○仮受金/非連結入金/前受金が「1:承認する」の 場合 ⇒ [債権管理]-[入金処理]-[入金伝票承認]メニ ューで 承認を取り消してから、[債権管理]-[入金処 理]-[入金情報登録]メニューでステータスを 取り消します。 [債権管理]-[履歴管理] -[入金清込履歴]メニュー 【債権管理]-[履歴管理] -[入金伝票履歴]メニューに名称が変更されまし た。 消込の取消機能は廃止されました。 取消は、以下のメニューで行えるようになりまし た。 ○承認だけを取り消す場合 [債権管理]-[入金伝票承認]メニュー ○承認と消込を同時に取り消す場合 [随時処理]-[データー括削除]-[債権データー括 削除] 		⇒[債権管理]-[入金処理]-[入金情報登録]メニ
 ○仮受金/非連結入金/前受金が「1:承認する」の場合 ⇒[債権管理]-[入金処理]-[入金伝票承認]メニューで 承認を取り消してから、[債権管理]-[入金処 理]-[入金情報登録]メニューでステータスを 取り消します。 [債権管理]-[履歴管理] -[入金満込履歴]メニュー [債権管理]-[履歴管理] -[入金伝票履歴]メニューに名称が変更されまし た。 消込の取消機能は廃止されました。 取消は、以下のメニューで行えるようになりまし た。 の承認だけを取り消す場合 [債権管理]-[入金処理] -[入金伝票承認]メニュー の承認だけを取り消す場合 [債権管理]-[入金処理] -[入金伝票承認]メニュー の承認と消込を同時に取り消す場合 [随時処理]-[データー括削除]-[債権データー括 削除] 		
 場合 ⇒[債権管理]-[入金処理]-[入金伝票承認]メニューで 承認を取り消してから、[債権管理]-[入金処 理]-[入金情報登録]メニューでステータスを 取り消します。 [債権管理]-[履歴管理] -[入金清報登録]メニューでステータスを 取り消します。 [債権管理]-[履歴管理] -[入金伝票履歴]メニューに名称が変更されました。 消込の取消機能は廃止されました。 取消は、以下のメニューで行えるようになりまし た。 ○承認だけを取り消す場合 [債権管理]-[入金処理] -[入金伝票承認]メニュー ○承認だけを取り消す場合 [債権管理]-[入金処理] -[入金伝票承認]メニュー 		〇仮受金/非連結入金/前受金が「1:承認する」の
 ⇒[債権管理]-[人金仏異承認]メニューで 承認を取り消してから、[債権管理]-[入金処 理]-[入金情報登録]メニューでステータスを 取り消します。 [債権管理]-[履歴管理] -[入金清込履歴]メニュー -[入金伝票履歴]メニューに名称が変更されました。 消込の取消機能は廃止されました。 取消は、以下のメニューで行えるようになりました。 取消は、以下のメニューで行えるようになりました。 ○承認だけを取り消す場合 [債権管理]-[入金処理] -[入金伝票承認]メニュー ○承認と消込を同時に取り消す場合 [随時処理]-[データー括削除]-[債権データー括 削除] 		
		│ →[債権官理]-[人金処理]-[人金伝票承認]メニ │で
(債権管理]-[履歴管理] -[入金消込履歴]メニュー [債権管理]-[履歴管理] -[入金消込履歴]メニュー (債権管理]-[履歴管理] -[入金伝票履歴]メニューに名称が変更されました。 取消は、以下のメニューに名称が変更されました。 取消は、以下のメニューで行えるようになりました。 の承認だけを取り消す場合 [債権管理]-[入金伝票承認]メニュー O承認だけを取り消す場合 [随時処理]-[データー括削除]-[債権データー括削除]-[債権データー括削除]		▲ て みっていじょう ひん 「信佐答理」-「♪ 全加
正して証明報量は) ーーン でパックバーで取り消します。 [債権管理]-[履歴管理] -[入金消込履歴]メニュー [債権管理]-[履歴管理] -[入金伝票履歴]メニューに名称が変更されました。 消込の取消機能は廃止されました。 取消は、以下のメニューで行えるようになりました。 の承認だけを取り消す場合 [債権管理]-[入金伝票承認]メニュー 〇承認と消込を同時に取り消す場合 [随時処理]-[データー括削除]-[債権データー括削除]		□ □□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□
[債権管理]-[履歴管理] -[入金消込履歴]メニュー [債権管理]-[履歴管理] -[入金伝票履歴]メニューに名称が変更されまし た。 消込の取消機能は廃止されました。 取消は、以下のメニューで行えるようになりまし た。 O承認だけを取り消す場合 [債権管理]-[入金処理] -[入金伝票承認]メニュー O承認と消込を同時に取り消す場合 [随時処理]-[データー括削除]-[債権データー括 削除]		取り消します。
-[入金消込履歴]メニュー -[入金消込履歴]メニュー -[入金伝票履歴]メニューに名称が変更されました。 消込の取消機能は廃止されました。 取消は、以下のメニューで行えるようになりまし た。 O承認だけを取り消す場合 [債権管理]-[入金処理] -[入金伝票承認]メニュー O承認と消込を同時に取り消す場合 [随時処理]-[データー括削除]-[債権データー括 削除]		
た。 消込の取消機能は廃止されました。 取消は、以下のメニューで行えるようになりました。 ○承認だけを取り消す場合 [債権管理]-[入金処理] -[入金伝票承認]メニュー ○承認と消込を同時に取り消す場合 [随時処理]-[データー括削除]-[債権データー括 削除]	-「入金消入履歴]メニュー	
 消込の取消機能は廃止されました。 取消は、以下のメニューで行えるようになりました。 〇承認だけを取り消す場合 [債権管理]-[入金処理] -[入金伝票承認]メニュー 〇承認と消込を同時に取り消す場合 		t=.
取消は、以下のメニューで行えるようになりました。 ○承認だけを取り消す場合 [債権管理]-[入金処理] -[入金伝票承認]メニュー ○承認と消込を同時に取り消す場合 [随時処理]-[データー括削除]-[債権データー括 削除]		消込の取消機能は廃止されました。
た。 〇承認だけを取り消す場合 [債権管理]-[入金処理] -[入金伝票承認]メニュー 〇承認と消込を同時に取り消す場合 [随時処理]-[データー括削除]-[債権データー括 削除]		取消は、以下のメニューで行えるようになりまし
 ○承認だけを取り消す場合 [債権管理]-[入金処理] -[入金伝票承認]メニュー ○承認と消込を同時に取り消す場合 [随時処理]-[データー括削除]-[債権データー括 削除] 		<i>t</i> =.
[債権管理]-[入金処理] -[入金伝票承認]メニュー 〇承認と消込を同時に取り消す場合 [随時処理]-[データー括削除]-[債権データー括 削除]		〇承認だけを取り消す場合
-[入金伝票承認]メニュー 〇承認と消込を同時に取り消す場合 [随時処理]-[データー括削除]-[債権データー括 削除]		[債権管理]-[入金処理]
○承認と消込を同時に取り消す場合 [随時処理]-[データー括削除]-[債権データー括 削除]		-[入金伝票承認]メニュー
[随時処理]-[データー括削除]-[債権データー括 削除]		○承認と消込を同時に取り消す場合
削除]		[随時処理]-[データー括削除]-[債権データー括
		削除]

	−[入金伝票データー括削除]メニュー
	※[随時処理]-[データー括削除]-[債権データ
	ー括削除]-[入金伝票データー括削除]メニュ
	ーは、今回のバージョンで追加されたメニュ
	ーです。
	使用するには、[権限管理]メニューで利用者
	ごとにメニュー権限を設定してください。
	また、入金消込履歴リストの印刷は、[債権管理]-
	[入金処理]-[入金伝票承認]メニューで行えるよう
	になりました。
[債権管理]-[履歴管理]	メニューが廃止されました。
-[仮受金処理履歴]メニュー	仮受金処理履歴の参照と取消は、[債権管理]-[入
	金処理]-[仮受金振替]メニューで行えるようにな
	りました。

● 帳票別プリンタ登録できる帳票が追加されました。

以下の帳票について、初期値として表示するプリンタをメインメニューの[導入処理]-[運用 設定]-[帳票別プリンタ登録]メニューで登録できるようになりました。

これにより、[プリンタ設定]ページで初期値として表示される内容が、以下のとおり変更に なります。

変更前	変更後
変更前 全項目とも、前回の印刷時に設定した内容 ※初回起動時は、「通常使うプリンタ」 の内容が表示されます。	変更後 [帳票別プリンタ登録]メニューでプリン タが登録されているかによって、異なり ます。 〇登録済みの場合 全項目とも、常に帳票別プリンタ登録 の内容 ※帳票別プリンタ登録が利用者ごとの 設定であれば、印刷時の「サイズ」 「印刷の向き」「余白・位置調整」 「倍率」の変更は、帳票別プリンタ 登録に反映します。 〇未登録の場合 「プリンタ名」「給紙方法」は、常に
	「通常使うプリンタ」の内容
	「サイズ」「印刷の向き」「余白・位 置調整」は、前回の印刷時に設定した
	内容

注意

この機能アップのため、当バージョンにバージョンアップすると、以前のバージョンで設定した内容が初期値として表示されなくなります。

帳票を印刷する前に、[帳票別プリンタ登録]メニューで初期値として表示するプリンタを登録してください。

※[帳票別プリンタ登録]メニューの登録をしない場合は、常に「通常使うプリンタ」が初期 値として表示されます。

≪ 対象帳票 ≫

- ・請求書未入金リスト(新:未消込請求書リスト([債権管理]-[入金処理]-[締単位入金 消込]メニュー))
- ・未入金集計リスト(新:未消込債権集計リスト([債権管理]-[入金処理]-[一括入金消込]メニュー))
- ・未入金リスト(新:未消込債権明細リスト([債権管理]-[入金処理]-[個別入金消込]メニュー))
- ・前受金消込リスト(新:未消込入金情報リスト([債権管理]-[入金処理]-[個別入金消込]メニュー))
- ・入金伝票リスト([債権管理]-[入金処理]-[入金伝票承認]メニュー)
- ・入金未承認リスト([債権管理]-[入金処理]-[入金伝票承認]メニュー)
- ・入金伝票([債権管理]-[入金処理]-[入金伝票承認]メニュー)
- ・入金消込履歴リスト(新:入金承認済リスト([債権管理]-[入金処理]-[入金伝票承認]
 メニュー))
- ・仮受金リスト(新:仮受金振替リスト([債権管理]-[入金処理]-[仮受金振替]メニュ —))
- ・仮受金処理履歴リスト(新:仮受金振替リスト([債権管理]-[入金処理]-[仮受金振替] メニュー))
- Office連携サービスの機能が強化されました。(テンプレート・パスワード)
 <「OMSS」/『奉行V ERP8』をお使いの場合>

参考

- 〇「OMSS」や「業務支援サービス」の詳細については、以下のサイトをご確認くださ い。
 - http://www.obc.co.jp/click/omss/
- 〇「業務支援サービス」は、「OMSS」の契約期間中に利用できるサービスです。 「OMSS」の契約期間が終了した時点で、「業務支援サービス」も利用できなくなりますので、ご注意ください。

OExcelピボットグラフのテンプレート機能

ピボットグラフを作成した後、分析しやすいようにExcel上でデザインを変更した場合に、 次回以降も同じデザインで作成できます。

当システムでは、同じメニューの同条件で作成したピボットグラフのファイルをテンプレー トとして指定すると、毎回独自のデザインでピボットグラフが作成できます。

≪ 関連メニュー ≫

・[債権管理]-[管理帳票]-[滞留債権年齡表]メニュー

OOutlook メールのテンプレート機能

当システムでは、作成したPDFやピボットグラフをMicrosoft Outlookのメールに添付して送 信する際に、宛先や件名、メール本文が毎回同じ場合は、Microsoft Outlookで保存したテ ンプレートを利用できます。

Oパスワード機能

当システムでは、作成したPDFやピボットグラフにパスワードを設定できます。

- PDF英作設支 出力設定	HETHER
(1903) A4	
セキュリティ 図パスワードを検定する ①「パスワードを	▶ E設定する」に
出力時の動作 チェックを付け	ナます。
POFファイル を出力する ・	
出力先ファイル名	
■ 出力したファイルを聞く ■ 出力先のフォルダを聞く	/(スワード設定
【参篇】ボタンをクリックし、ファイルの出力先とファイル名を設定し	パスワード パスワードの確認入力
	QK ++>t6
	 ②[出力開始]ボタンをクリックすると、 [パスワード設定]画面が開きます。 PDF やビボットグラフに設定する パスワードを入力します。



財務会計システム 勘定奉行VERP

機能アップガイド



≪FB入金処理≫ 受入元のFBデータと同じ並び順で、FB入金データを表示できるようになりました。 2 受入元のFBデータと同じ並び順で、FB入金データを受け入れできるようになりました。 FB入金データを受け入れる際に、マッチングできないデータについても仮の請求先を割り 当てて、すべての入金情報を作成できるようになりました。 FB入金処理で作成した入金情報の請求先について、[入金情報登録]メニューで別の請求先 3 に変更した際に、変更後の請求先のマッチング情報を更新できるようになりました。

≪FB入金処理≫

受入元のFBデータと同じ並び順で、FB入金データを表示できるようになりました。

[出力順]ページが追加され、FB入金データの並び順を詳細に設定できるようになりました。

表示基準の「登録順」を一番上に設定することで、受入元のFBデータと同じ並び順で表 示することができます。

≪ 関連メニュー ≫

- ・[債権管理]-[入金処理]-[FB入金処理]-[FB入金情報作成]メニュー
- ・[債権管理]-[入金処理]-[FB入金処理]-[FB入金データ確認表]メニュー
- ・[債権管理]-[入金処理]-[FB入金処理]-[FB入金データ削除]メニュー
- ●受入元のFBデータと同じ並び順で、FB入金データを受け入れできるようになりました。
 - ※この機能は、[債権管理]-[入金処理]-[FB入金処理]-[FB入金処理設定]メニューの [基本設定]ページの「入金情報作成方法」が「1:確認せずに作成する」の場合に有効な 機能です。

いままでは、必ず、日付別会社銀行別に、請求先順(口座番号順・振込依頼人名順)に並べ 替えて受け入れられていましたが、FBデータと同じ並び順のままで受け入れができるよ うになりました。

- 【設定方法】:[債権管理]-[入金処理]-[FB入金処理]-[FB入金処理設定]メニューの [基本設定]ページで、「FB入金データ受入順」を「1:FB入金データ 順」に設定します。
- FB入金データを受け入れる際に、マッチングできないデータについても仮の請 求先を割り当てて、すべての入金情報を作成できるようになりました。

※この機能は、[債権管理]-[入金処理]-[FB入金処理]-[FB入金処理設定]メニューの [基本設定]ページの「入金情報作成方法」が「1:確認せずに作成する」の場合に有効な 機能です。

いままでは、マッチングできないデータについては、[マッチング失敗データー覧]画面ま たは[入金情報登録 - 入金情報未作成FBデーター覧]画面で、1つずつ請求先を手動で 割り当てて入金情報を作成する必要がありました。

これからは、仮の請求先を自動的に一括で割り当てて入金情報を作成できるようになりました。

これにより、マッチング失敗による入金情報の作成漏れが防げるようになりました。

【設定方法】: [債権管理]-[入金処理]-[FB入金処理]-[FB入金処理設定]メニューの [基本設定]ページで、「請求先スポット割り当て」を「1:使用する」に 設定します。 FB入金処理で作成した入金情報の請求先について、[入金情報登録]メニューで別の請求先に変更した際に、変更後の請求先のマッチング情報を更新できるようになりました。

[債権管理]-[入金処理]-[入金情報登録]メニューで、FB入金処理で作成した入金情報の 請求先を別の請求先に変更した際に、変更後の請求先の請求先振込情報([導入処理]-[取 引先登録]-[取引先登録]メニューの[請求先振込]ページ)に、FB入金データの口座番 号・振込依頼人名(カナ)を自動で追加できるようになりました。

これにより、前述の「請求先スポット割り当て」を使用している場合に、次回以降の受入 時には変更後の請求先にマッチングできるようになります。

【設定方法】: [入金情報登録 - 設定]画面の[運用設定]ページで、「請求先振込の自動 更新」を「使用する」に設定します。



財務会計システム 勘定奉行VERP

機能アップガイド



≪法改正情報≫	
平成26年4月施行消費税8%改正に対応しました。	2
≪入金情報登録≫	
[入金情報登録]メニューで、「手数料等」が入力できるようになりました。	2
入金情報の未処理金額が参照できるようになりました。	3
≪商蔵奉行連動≫	
メニューの構成が変更されました。	3

≪法改正情報≫

● 平成26年4月施行消費税8%改正に対応しました。

平成26年4月施行消費税8%改正に伴い、下記の項目に対応しました。

債権伝票・入金伝票・汎用データ受入

〇新税率の施行日(平成26年4月1日)を基準とし、伝票日付から消費税率8%と 5%を自動判定します。

〇消費税率引き上げ後でも、旧税率5%が適用される「経過措置」にも対応していま す。

納品書

〇税率を印字することで、経過措置にもとづく返品処理や、取引先への適用税率の通知に対応しています。

請求書

- <『債権管理Proオプション』をお使いの場合>
 - ○税率を印字することで、経過措置にもとづく返品処理や、取引先への適用税率の通 知に対応しています。
 - O施行日前後の取引が混在する請求書に、税率ごとの課税対象額と消費税額を印字で きます。

≪入金情報≫

● [入金情報登録]メニューで、「手数料等」が入力できるようになりました。

[導入処理]-[運用設定]-[債権債務運用設定]メニューの[債権基本設定]ページにあった 「入金情報登録手数料入力」の設定が廃止されました。

変更前	変更後
項目「入金情報登録手数料入力」 設定値「0:入力しない」「1:入力 する」	項目を廃止 必ず、「1:入力する」の設定で動作する ようになります。 ※したがって、以前のバージョンで「0: 入力しない」に設定していた場合にだ け、今回の変更の影響があります。

これにより、[債権管理]-[入金処理]-[入金情報登録]メニューでは、必ず「手数料等」欄 が表示され、前受金・仮受金・非連結の入金伝票にも振込手数料を計上できるようになり ました。

さらに、[入金情報登録 - 条件設定]画面の[項目選択]ページで設定する出力項目に「入 金合計額」が追加され、「入金金額」+「手数料等」の金額を参照することもできるよう になりました。

この変更に伴い、[債権管理]-[履歴管理]-[入金情報履歴]メニューでは、「入金金額」で はなく、「入金合計」が表示されるようになりました。 「入金合計」には、入金消込時に入力した「手数料等」の金額が含まれます。

● 入金情報の未処理金額が参照できるようになりました。

[入金情報登録 - 条件設定]画面の[項目選択]ページで設定する出力項目に「未処理金額」が追加され、未消込の入金金額を参照できるようになりました。 検索条件にも「未処理金額」が追加され、「未処理金額」で入金情報を抽出することもできます。

≪ 関連メニュー ≫

- ・[随時処理]-[汎用データ作成]-[債権データ作成]-[入金情報データ作成]メニュー
- ・[自動実行管理]-[汎用データ作成]-[自動実行入金情報データ作成]メニュー

≪商蔵奉行連動≫

メニューの構成が変更されました。
 く『債権管理Proオプション』をお使いの場合>

『資金管理オプション』の[商蔵奉行連動]メニューと区別するために、中間メニューの表示が追加されました。

変更前	変更後
[随時処理]-[商蔵奉行連動]-[連動	[随時処理]-[商蔵奉行連動]-[債権債務管
初期設定]メニュー	理] −[連動初期設定]メニュー
[随時処理]-[商蔵奉行連動]-[売上	[随時処理]-[商蔵奉行連動]-[債権債務管
伝票データ受入]メニュー	理] -[売上伝票データ受入]メニュー
[随時処理]-[商蔵奉行連動]-[入金	[随時処理]-[商蔵奉行連動]-[債権債務管
伝票データ作成]メニュー	理] -[入金伝票データ作成]メニュー



財務会計システム 勘定奉行VERP

機能アップガイド


【全般】

「OMSS OBCメンテナンスサポートサービス」の「業務支援サービス」に対応しました。2た。第電子記録債権の管理ができるようになりました。8取引先の検索条件が追加されました。9データ領域の環境構築をする際の操作方法が変わりました。9

注意

機能アップによって新しく追加されたメニューが画面に表示されない場合は、[権限管理]メニューで利用 者ごとにメニュー権限を設定してください。

「OMSS OBCメンテナンスサポートサービス」の「業務支援サービス」に対応しました。

「OMSS OBCメンテナンスサポートサービス(以下、OMSS)」にご加入いただいているお 客様向けに、当システムを活用して業務生産性や情報活用の向上を支援する「業務支援サービス」を ご用意しました。

また、新たに「OMSS+」というサービスも用意しています。「OMSS」にご加入いただいてい るお客様が、製品や業務カテゴリごとに、さらに充実した便利さを追求いただくにあたり、お客様が 選択できるサービスです。

「OMSS」や「業務支援サービス」の詳細については、以下のサイトをご確認ください。

http://www.obc.co.jp/click/omss/

注意

- 〇「業務支援サービス」は、「OMSS」の契約期間中に利用できるサービスです。 「OMSS」の契約期間が終了した時点で、「業務支援サービス」も利用できなくなりますので、ご注意ください。
- 〇「OMSS+」は、「OMSS」にご加入いただいているお客様が、別途、追加料金によってご利用いただけるサービスです。

当システムでは、以下の「業務支援サービス」について利用できます。

 参考

 操作説明(ヘルプ)では、以下のように記載しています。

 O「OMSS」の「業務支援サービス」で提供する機能

 OMSS

 または『OMSS』

 O「OMSS+」の「業務支援サービス」で提供する機能

 OMSS

 または『OMSS+』

■Office連携サービス

<「OMSS」/『奉行V ERP8』をお使いの場合> 当システムから「Microsoft Office」に、シームレスに連携する機能を利用できるサービスです。 当システムの基幹データを円滑に情報共有・分析でき、全社的な情報活用による業務生産性の向上を 支援します。

OExcelピボットグラフ連携

当システムの基幹データをもとに、業務情報の集計表(ピボットテーブル)やグラフ(ピボットグ ラフ)に出力でき、ピボット分析ができます。

Excelの専門知識がなくても、簡単な操作だけで次々と切り口を切り換えたり(スライサー)、関 心項目の詳細まで絞り込み(ドリルダウン)して視覚的に分析することで、情報の傾向や問題点を 見つけ出すことができます。

※Microsoft Excel 2010以上が必要です。

<complex-block></complex-block>	Astraction and a second second	6.811	2013 # 10/1 18						
Image:	2141-0 RAPERT - 1282-0 2142-0 1423	新社-建筑元利 - (新妹)- 建式先1最初5~1数场	1-#800919#81						
Image: Section of the sectio	- 7			and the second					
Image:	tett	SARUE	44RILE 24	RUE 24RU	2 (481)				
Image:	- Warren	118,001,410	38,211,00	1.0	P	0			
Image:	- N-YES	94,101,800	100,300		0	9			
Image:	0000001	64, 201, 402	380,000						
Image:	X # 480,047,510 0000001	.0	140.400		0	0			
• • • • • • • • • • • • • • • • • • •	特式会社会社会体系	12,180,800	0		0	0			
**** ***** **** ****** **** ******** ***** ************************************	200XRARS	42,121,800	Ø		P	0			
Image:		14,721,80	. p			-			
Image: State of the s		44,123,800	0	191	0.	L	7		
Image: Section of the section of th	n n n	2 4 9 - P - F		BoytLains - Marsault Soc			A		
************************************	1211 (BAD) BAC		-31-079+ BM F-1	C ESE RE Arrise	P+⊥ 0. Ε	N			
• • • • • • • • • • • • • • • • • • •		1 請求先別港留日	1424-892		- 1	Ľ			
• • • • • • • • • • • • • • • • • • •		- (00 #.W.)	1 (un -0	00000001	.9,28	7			
Image: state in the second state in the second state in the second state is		2 002 大振支信 2 011 电械支信	大臣 N子 干山 刷	00000101	RAAR .				
• 08848/2 • 09848/2 • 01948/2 • 01948/2 • 01948/2 • 01948/2 • 01948/2 • 01948/2 • 01948/2 • 01948/2 • 01948/2 • 01948/2 • 01948/2 • 01948/2 • 01948/2 • 01948/2 • 01948/2 • 01948/2 • 01948/2 • 01948/2 • 01948/2 • 01948/2 • 01948/2 • 01948/2 • 01948/2 • 01948/2 • 01948/2 • 01948/2 • 01948/2 • 01948/2 • 01948/2 • 01948/2 • 01948/2 • 01948/2 • 01948/2 • 01948/2 • 01948/2 • 01948/2 • 01948/2 • 01948/2 • 01948/2 • 01948/2 • 01948/2 • 01948/2 • 01948/2 • 01948/2		8 002 株式支払 10 002 株式支払	87 7	concerved in	PICEN.				
• experime		12	and the second second						
Image:		15 25.000.000	FERS.						
• 049844124 • 049844124 • 049844124 • 049844124 • 049844124 • 049844124 • 049844124 • 049844124 • 049844124 • 049844124 • 049844124 • 049844124 • 049844124 • 049844124 • 049844124 • 049844124 • 049844124 • 049844124 • 049844124 • 049844124 • 049844124 • 049844124 • 049844124 • 049841144 • 0498411444444 • 04984114444444 • 0498411444444 • 04984114444444 • 04984114444444 • 04984114444444 • 049841144444444 • 0498411444444444444444444444444444444444		17 18 20.08,000							
Image:		28 15,588,000 27				_			
Image: market		22 10,000,000 23 24 4,000,000				• 837 /	2.8289		
「日本の学校の日本である」 「日本の学校の日本の学校の日本の学校の日本の学校の日本の学校の日本の学校の日本の学校の日本の学校の日本の学校の日本の学校の日本の学校の日本の学校の日本の学校の日本の学校の日本の学校の日本の学校の日本の学校の日本の学校の日本の学校の日本の学校の日本の学校の日本の学校の日本の学校の日本の学校の日本の学校の日本の学校の日本の学校の日本の学校の日本の学校の日本の学校の日本の学校の日本の学校の日本の学校の日本の学校の日本の学校の日本の学校の日本の学校の日本の学校の日本の学校の日本の学校の日本の学校の日本の学校の日本の学校の日本の学校の日本の学校の日本の学校の日本の学校の日本の学校の日本の学校の日本の学校の日本の学校の日本の学校の日本の学校の日本の学校の日本の学校の日本の学校の日本の学校の日本の学校の日本の学校の日本の学校の日本の学校の日本の学校の日本の学校の日本の学校の日本の学校の日本の学校の日本の学校の日本の学校の日本の学校の日本の学校の日本の学校の日本の学校の日本の学校の日本の学校の日本の学校の日本の学校の日本の学校の日本の学校の日本の学校の日本の学校の日本の学校の日本の学校の日本の学校の日本の学校の日本の学校の日本の学校の日本の学校の日本の学校の日本の学校の日本の学校の日本の学校の日本の学校の日本の学校の日本の学校の日本の学校の日本の学校の日本の学校の日本の学校の日本の学校の日本の学校の日本の学校の日本の学校の日本の学校の日本の学校の日本の学校の日本の学校の日本の学校の日本の学校の日本の学校の日本の学校の日本の学校の日本の学校の日本の学校の日本の学校の日本の学校の日本の学校の日本の学校の日本の学校の日本の学校の日本の学校の日本の学校の日本の学校の日本の学校の日本の学校の日本の学校の日本の学校の日本の学校の日本の学校の日本の学校の日本の学校の日本の学校の日本の学校の日本の学校の日本の学校の日本の学校の日本の学校の日本の学校の日本の学校の日本の学校の日本の学校の日本の学校の日本の学校の日本の学校の日本の学校の日本の学校の日本の学校の日本の学校の日本の学校の日本の学校の日本の学校の日本の学校の日本の学校の日本の学校の日本の学校の日本の学校の日本の学校の日本の学校の日本の学校の日本の学校の日本の学校の日本の学校の日本の学校の日本の学校の日本の学校の日本の学校の日本の学校の日本の学校の日本の学校の日本の学校の日本の学校の日本の学校の日本の学校の日本の学校の日本の学校の日本の学校の日本の学校の日本の学校の日本の学校の日本の学校の日本の学校の日本の学校の日本の学校の日本の学校の日本の学校の日本の学校の日本の学校の日本の学校の日本の学校の日本の学校の日本の学校の日本の学校の日本の学校の日本の学校の日本の学校の日本の学校の日本の学校の日本の学校の日本の学校の日本の学校の日本の学校の日本の学校の日本の学校の日本の学校の日本の学校の日本の学校の日本の学校の日本の学校の日本の学校の日本の学校の日本の学校の日本の学校の日本の学校の日本の学校の日本の学校の日本の学校の日本の学校の日本の学校の日本の学校の日本の学校の日本の学校の日本の学校の日本の学校の日本の学校の日本の学校の日本の学校の日本の学校の日本の学校の日本の学校の日本の学校の日本の学校の日本の学校の日本の学校の日本の学校の日本の学校の日本の学校の日本の学校の日本の学校の日本の学校の日本の学校の日本の学校の日本の学校の日本の学校の日本の学校の日本の学校の日本の学校の日本の学校の日本の学校の日本の学校の日本の学校の日本の学校の日本の学校の日本の学校の日本の学校の日本の学校の日本の学校の日本の学校の日本の学校の日本の学校の日本の学校の日本の学校の日本の学校の日本の学校の日本の学校の日本の学校の日本		15 4				• 617 /	2009		
山田市 山田 山田 山田 山田		23 CH4	5634 Packet	SSIBER R	Retail Net	10			
・の時等条件起た ・の時等 ・の時間 ・の目		and a second sec	11499	Contraction and Contraction of Contr					
「「「」」」」」」 「」」」」」」 「」」」」」」 ************************************		10		1011	1.0				
「日本の学校のの目前の目前の目前の目前の目前の目前の目前の目前の目前の目前の目前の目前の目前		201 BPS - 2 18485	CHARLES	101 F.I.					
************************************		20 20 20 20 20 20 20 20 20 20 20 20 20 2		001.04Z			_		
1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1		20 20 20 20 20 20 20 20 20 20		100 年日 11 / 建築機構 白田 / 3 27540,700 8534,000	32 68 5,529,500 5,573,000		T.		
		875	- 2462) - 	101 # 2 101 # 2 17 / # 2 # 2 17 / # 2 # 2 17 / # 2 # 2 17 / #	362 84 5,879,500 5,879,500 5,970,000 2570,000		 T.		
		#PM _2 MR444 #PM _2 MR444 ### 1954.4 ### 1954.4 #### 1964.4 #### 1964.4 #### 1964.4 #### 1964.4 #### 1964.4 #### 1964.4 #### 1964.4 #### 1964.4 #### 1964.4 #### 1964.4 #### 1964.4 #### 1964.4 #### 1964.4 #### 1964.4 #### 1964.4 #### 1964.4 #### 1964.4 #### 1964.4 #### 1964.4 #### 1964.4 #### 1964.4 #### 1964.4 #### 1964.4 #### 1964.4 #### 1964.4 #### 1964.4 #### 1964.4 ###############################	 (第888年1年) (第888年) (第888年)	14.580,700	\$2.00 5,875,000 5,875,000 5,875,000 5,875,000 6,583,500 6,583,500 6,583,500 104		r		
PBB2年 フリンタ設定 体景クイトル (1) PBB2年 (1) PBB2年 (1) PBB2年 (1) PBB2年 (1) PBF(E) (1)		ВРК _2 35445 1 12>54 3 5001 Аб -661 −8 4 000000 7 6 000000000 7 6 0000000 7 6 000000 7 6 0000000 7 6 0000000 7 6 0000000 7 6 000000000000000000000000000000000000	******** ******* #******* #****** #******	11 m 01 #2 17 /#2 #8 15 /#2 #8 16 /#2 #8 17 /#2 #8 16 /#2 #8	35 C 814 5,975,500 5,975,000 5,975,000 1,570,000 4,540,500 0,541,500 1,570,000 1,570,000 1,570,000 1,570,000 1,570,000 1,570,000 1,570,000 1,570,000 1,570,000 1,570,000 1,570,000 1,570,000 1,570,000 1,570,000 1,570,000 1,570,000 1,570,000 1,570,000 1,570,000 1,570,000 1,570,000 1,570,000 1,570,000 1,570,000 1,570,000 1,570,000 1,570,000 1,570,000 1,570,000 1,570,000 1,570,000 1,570,000 1,570,000 1,570,000 1,570,000 1,570,000 1,570,000 1,570,000 1,570,000 1,570,000 1,570,000 1,570,000 1,570,000 1,570,000 1,570,000 1,570,000 1,570,000 1,570,000 1,570,000 1,570,000 1,570,000 1,570,000 1,570,000 1,570,000 1,570,000 1,570,000 1,570,000 1,570,000 1,570,000 1,570,000 1,570,000 1,570,000 1,570,000 1,570,000 1,570,000 1,570,000 1,570,000 1,570,000 1,570,000 1,570,000 1,570,000 1,570,000 1,570,000 1,570,000 1,570,000 1,570,000 1,570,000 1,570,000 1,570,000 1,570,000 1,570,000 1,570,000 1,570,000 1,570,000 1,570,000 1,570,000 1,570,000 1,570,000 1,570,000 1,570,000 1,570,000 1,570,000 1,570,000 1,570,000 1,570,000 1,570,000 1,570,000 1,570,000 1,570,000 1,570,000 1,570,000 1,570,000 1,570,000 1,570,000 1,570,000 1,570,000 1,570,000 1,570,000 1,570,000 1,570,000 1,570,000 1,570,000 1,570,000 1,570,000 1,570,000 1,570,000 1,570,000 1,570,000 1,570,000 1,570,000 1,570,000 1,570,000 1,570,000 1,570,000 1,570,000 1,570,000 1,570,000 1,570,000 1,570,000 1,570,000 1,570,000 1,570,000 1,570,000 1,570,000 1,570,000 1,570,000 1,570,000 1,570,000 1,570,000 1,570,000 1,570,000 1,570,000 1,570,000 1,570,000 1,570,000 1,570,000 1,570,000 1,570,000 1,570,000 1,570,000 1,570,000 1,570,000 1,570,000 1,570,000 1,570,000 1,570,000 1,570,000 1,570,000 1,570,000 1,570,000 1,570,000 1,570,000 1,570,000 1,570,000 1,570,000 1,570,000 1,570,000 1,570,000 1,570,000 1,570,000 1,570,000 1,570,000 1,570,000 1,570,000 1,570,000 1,570,000 1,570,000 1,570,000 1,570,000 1	0.2 HPK -			
中国新聞 中国新聞 中国新聞 中国新聞 ● 「梦べて」 ● 「夢べて」 ● 「夢べて」 ● 「夢べて」 ● 「夢び(E) ● 「鼓励新定 魚 初 ~ 泉 律 ● 「夢び(E) ● 「夢び(E) ● 「夢び(E) ● 「鼓励新定 魚 初 ~ 泉 律 ● 「夢び(E) ● 「夢び(E) ● 「夢び(E) ● 「夢び(E) ● 「夢べて」 ● 「夢び(E) ● 「夢び(E) ● 「夢び(E) ● 「夢び(E) ● 「夢び(E) ● 「聞かざの事する 2013 年 ® 月 20 日 ジ 出力者情報を印字 ■ 「「OM S S 』 にご 加入の 場合に、 ○ 会社名を印字する ● 「講知日: 「講び * い] ボタンを ク リ い ク して、 ● 「講知日: 「講び * い] ボタンを ク リ い ク して、 ● 常調素を補正する ● 「御田(白) ● 「「」、・・・」 ● 「夢ひを ク リ い ク して、 ● 「「「」、 ● 「「」」 ● 「「」 ● 「」 ● 「「」 ● 「」 ● 「」 ● 「」 ● 「「」 ● 「」 ● 「」 ● 「」 ● 「」 ● 「」 ● 「」 ● 「」 ● 「」 ● 「」 ● 「」 ● 「」 ● 「」 ● 「」 ● 「」 ● 「」 ● 「」 ● 「」 ● 「」 ● 「」 ● 「」 ● 「」 ● 「」 ● 「」 ● 「」 ● 「」 ● 「」	- 印刷菁柴件设	BPK → 2 MBARE BPK → 2 MBARE BPK → 2 MBARE SOOT # 6 GOT # 7 GOT # 1 SOOT # 7	 (1) (1)	00,42 01,4264 0.07/3 75340,000 4,554,000 4,540,000 14540,000 14540,000	3,02,044 5,02,500 5,42,500 3,401,00 1,570,000 6,503,500 6,503,500 7,41	D3 III% (-			
1700月値(1) 1700月値(1) 1700月値(1) 1700月値(1) 1000月前前 1000月前前 1000月前前 1000月前前 1000月前前 1000月前前 1000月前前 1000月前前 1000月前前 1000月前前 1000月前前 1000月前 1000月前 1000月 1000月 1000月 100月<	 ・印刷等条件設 印刷装置 ラリンク部金 	ВРК 22 ИВАКК 1 172×64 1 0001 АД 1 000000 X 0 00000 X 0 000000 X 0 000000 X 0 00000 X 0 000000 X 0 00000 X 0 0000000 X 0 00000 X 0 000000 X 0 000000 X 0 00000000 X 0 0000000000	. ##### . 	14.580,700	1,5,27,5,000 5,675,500 5,675,500 6,583,500 6,583,500 6,583,500 7,4 1,1 1,1 1,1 1,1 1,1 1,1 1,1 1,1 1,1 1	ga 10% o	÷		
印刷紙面 ● すべて] ● 軟面指定 魚 初 ~ 泉 後 ● 水ージ指定 印刷オブション ● 日付を印字する ② タ社名を印字する ② 会社名を印字する ● 離園主する ● 補助け激度を指定 ● 間構を補正する ● 1ページと3~5ページを印刷する場合は、「ページ指定」を選択し、「1.3・5」と入力しま ● 1ページと3~5ページを印刷する場合は、「ページ指定」を選択し、「1.3・5」と入力しま	- 印刷等条件設 10期数定 プリンク設定	ВРК 2 28848. 1 19>44 1 19>	******** ********* ********** ********	TU # en #23 17 / #12 ## 25 545,700 8.554,000 4.544,000 14.540,700 14.540,700	100 00 100 00	1 2.2 Hes. c			
印刷細細 ● すべて ● 減回指定 ● ベージ指定 印刷オブション 日付を印字する 2013 年 0 月 20 日 ② 出力者情報を印字 ③ ベージ番号を印字する ③ 会社名を印字する ■ 織制力印刷する → 織制力適度を指定 ■ 織制力印刷する → 織制力適度を指定 ■ 織制力印刷する → 織制力適度を指定 ■ 織制力印刷する → 織制力適度を指定 ■ 織制力印刷する → 術 ット] ボタンをクリックして、 業務情報の集計表やグラフに出力でき ビボット分析ができます。 ・ ボット・分析ができます。 ・ ボット・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	- 印刷等条件設 印刷設定 特売タイトル	2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	- 単単称目 - - 一 自日 - 不 自日 - 一 - 一 - 一 - 一 - 一 - 一 - 一 - 一	TL # en:#2 27.342.65 27.340,000 8.354,000 4.874,000 14.540,700 14.540,700	3,278,300 5,878,300 5,878,300 5,878,500 6,583,500 6,583,500 174 114	E I INN ()	EDBI(2 7'bt's-(
 ● 様回指定 ● 様回指定 ● 様の指定 ● 様の指定 ● 様の指定 ● 様の指定 ● 様の指定 	- 印刷等条件設 印刷設定 「ブリンク設定 「希示タイトル」	27%	*####1・ ・ 本利 平市協大市式会社 素列集市大会社 会社工作工作日常業 利用中部所 17 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10	14 40 40 40 40 40 40 40 40 40 40 40 40 40	(周辺 部項 (点の) 2000 (点の) 2000 (点の) 2000 (点の) 2000 (点の) 2000 (点の) 2000 (二) 1 (二) 1	第1 第1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	Engice 7'bt's=(
 ・ 転回指定 ・ ・ ページ指定 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	- 印刷等条件設 印刷設定 プリンク設定 「株式タイトル 「株式タイトル 「外国の第三」「中国の 印刷範囲	ВРИ 22 ИВАНИ 1 179% 4 1 179% 4 1 0000 4 45 	- #####	TL = en +23 22 +34 000 23 +000 3890,000 14 580,700	ショーマン (第二日本日本) (第二日本日本) (第二日本日本日本日本日本日本日本日本日本日本日本日本日本日本日本日本日本日本日本	(回)() (回)() (回)() (回)() (回)() (回)() (回)() (回)() (回)() (回)() (回)() (回)() (回)() (回)() (回)() (回)() (回)() (回)() (回)() (回)() (回)() (回)() (回)() (回)() (回)() (回)() (回)() (回)() (回)() (回)() (回)() (回)() (回)() (回)() (□)() (□)() (□)() (□)() (□)() (□)() (□)() (□)() (□)() (□)() (□)() (□)() (□)() (□)() (□)() (□)() (□)() (□)() (□)() (□)() (□)() (□)() (□)() (□)() (□)() (□)() (□)() (□)() (□)() (□)() (□)() (□)() (□)() (□)() (□)() (□)() (□)() (□)() (□)() (□)() (□)() (□)() (□)() (□)() (□)() (□)() (□)() (□)() (□)() (□)() (□)() (□)() (□)() (□)() (□)() (□)() (□)() (□)() (□)() (□)() (□)() (□)() (□)() (□)() (□)() (□)() (□)() (□)() (□)() (□)() (□)() (□)() (□)() (□)() (□)() (□)() (□)() (□)() (□)() (□)() (□)() (□)() (□)() (□)() (□)() (□)() (□)() (□)() (□)() (□)() (□)() (□)() (□)() (□)() (□)() (□)() (□)() (□)() (□)() (□)() (□)() (□)() (□)() (□)() (□)() (□)() (□)() (□)() (□)() (□)() (□)() (□)() (□)() (□)() (□)() (□)() (□)() (□)() (□)() (□)() (□)() (□)() (□)() (□)() (□)() (□)() (□)() (□)() (□)() (□)() (□)() (□)() (□)() (□)() (□)() (□)() (□)() (□)() (□)() (□)() (□)() (□)() (□)() (□)() (□)() (□)() (□)() (□)() (□)() (□)() (□)() (□)() (□)() (□)() (□)() (□)() (□)()) (□)() (□)()) (□)() (□)()) (□)()) (□)()) (□)()) (□)()) (□)()) (□)()) (□)()) (□)()) (□)()) (□)()) (□)()) (□)()) (□)()) (□)()) (□)()) (□)()) (□)()) (□)()) (□)()) (□)()) (□)()) (□)()) (□)()) (□)()) (□)()) (□)()) (□)()) (□)()) (□)	En@(c) 7'bt'a-(
 ○ ページ指定 印刷オブション 目付を印字する 2013 年 0 月 20 日 ② 出力者情報を印字する ③ 常期子の関する ● 開始に消費を指定する ● 開始に満定を指定 ■ 日本の中する ■ 日本の中する	 ・ 印刷等条件設 印刷数定 ブリンタ設定 希菜タイトル (本数) ● 「すべて」 	#Ps _2 stats #Ps _2 stats #Ps _2 stats #Ps _4 soot A5 -off ¬P concrost x concrost x soot A6 -off ¬P concrost x soot A6 -off ¬P concrost x soot A6 concrost x soot A6 concrost x conconcrot x conconcrot x conconcrot x conconcrot x	- ##881 - - 内部の代表の 年月間の代表の 年月間の代表の に の代表の の代表の の代表の の代表の の代表の の代表の の代表の の代表の の代表の の代表の の代表の の代表の の代表の の代表の の代表の の代表の の代表の の代表の の代表の の代表の の代表の の代表の の代表の の代表の の代表の の代表の の代表の の代表の の代表の の代表の の代表の の代表の の代表の の代表の の代表の の代表の の代表の の代表の の代表の の代表の の代表の の代表の の代表の の代表の の代表の の代表の の代表の の代表の の代表の の代表の の代表の の代表の の代表の の代表の の代表の の代表の の代表の の代表の の代表の の代表の の代表の の代表の の代表の の代表の の代表の の代表の の代表の の代表の の代表の の代表の の代表の の代 の代表の の代表の の代 の代 の代 の代 の代 の代 の代 の代 の代 の	TU # en #23 17 / 1912 ISB 028 / 1 72 545 400 8390,000 14580,700 14580,700	ボロ 和田 (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1)	「日本」 inex co	Enili(P 7'Lt'a-(POF(E).		
印刷オジョン ■日付を印字する 2013 年 8 月 20 日 図出力者情報を印字 図 ページ番号を印字する ■構設け印刷する ■構設け濃度を指定 ■ 離婚を補正する 補正値(点) 『OMSS』にご加入の場合に、 [L°ボット] ボタンをクリックして、 業務情報の集計表やグラフに出力でき ビボット分析ができます。 M 1ページと3~5ページを印刷する場合は、「ページ指定」を選択し、「1.3・5」と入力しま す。	 ・ 印刷等条件設 ・ 印刷等条件設 ・ 「リンク別定 ・ 「リンク別定 ・ 「リンク別定 ・ 「リンク別定 ・ 「リーンク別定 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	日本 日本 日本 日本 日本 日本 日本 日本 日本 日本	 ##### · · * #### · · * #### · · · * ##### · · · · · * ##### · · · · · · · · * ##### · · · · · · · · · · · · · · · · * ##### · · · · · · · · · · · · · · · ·	TL = = en; ≠2 27.540,700 8.534,000 4.844,000 14.540,700 14.540,700	(第2 前日 第2 前日 第37 3.000 5.87 3.000 5.87 3.000 6.58 3.500 6.58 3.500 1.7 (単辺県	Rid (N)	Enibi(E 7'Lt'3-(PDF(E) #232(E).		
 □ 日付を印字する 2013 年 0 月 20 日 図出力者情報を印字 『OMSS』にご加入の場合に、 ひかまは名を印字する 副期日印刷する 副期日印刷する 副期日印刷する 副期日日刷する 副期日日刷する 副期日日刷する 副期日日刷する 副期日日刷する 副期日日刷する 副期日日刷する 副期日日刷する 副期日日刷する ことをクリックして、 業務情報の集計表やグラフに出力でき ビボット分析ができます。 	 ・ 印刷等条件設 印刷設定 ブリンク設定 株果タイトル 「中刷版回 「すべて」 ● 範囲指定 ● ページ指定 	日本 日本 日本 日本 日本 日本 日本 日本 日本 日本	 ####1 · ** 曲 ** = ** =	TLI III en: #20 22 / #42.66 6.20 / J 25.940,000 8.594,000 4.074,000 3.980,000 14.580,700 14.580,700	ボロ 前日 「あたち 500 5,875,500 5,875,500 5,875,500 4,585,500 4,585,500 10 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11	日本 100% (つ) 所直(N)	Engi(P 7'Lt's-(PDF(E) E32(E). t'%'ph(X)		1
マページ番号を印字する 構御け印刷する 『OMSS』にご加入の場合に、 マ会社名を印字する 構御け印刷する 「と*木*ット] ボタンをクリックして、 「開稿を補正する 補正値(a) ボット分析ができます。	- 印刷等条件設 印刷設定 フリンク設定 株型タイトル 印刷版画 ④ (すべて) ● 範囲指定 ● ページ指定 印刷にすっい。	##11	- ##### - 7 / 個大明式会社 東京市長会社 2 / 個小品店 つい 1 / 自己 1 / 自 1 / 自	•••• ••• ••• •• ••• •• ••• •• •• •• •• •• •• •• •• •• •• •• •• •• •• •• •• •• •• •• •• •• •• •• •• •• •• •• •• •• •• •• •• •• •• •• •• •• •• •• •• •• •• •• •• •• •• •• •• •• •• •• •• •• •• •• •• •• •• •• •• • ••	ボロ 和田 ボロ 和 和 和 和 和 和 和 和 和 和 和 和 和 和 和 和 和 和 和 和 和 和 和 和 和 和 和 和 和 和 和 和 和 和 和 和 和 和 和 和 和 和 和 和 和 和 和 和 和 和 和	9(d) (N)	ED時(但 フ*は*3~(PDF(E) を設定(E). と***っト(3)		1
図 会社名を印字する ■構御け印刷する [L*ホ*ット] ボタンをクリックして、 ・補助け渡貨を指定 [L*i*ット] ボタンをクリックして、 ・補助は渡貨を指定 ※務情報の集計表やグラフに出力でき ・補正値(点) ビボット分析ができます。 ・ハージと3~5ページを印刷する場合は、「ページ指定」を選択し、「1.8-5」と入力しま ・トン国	 ・ 印刷等条件設 の制設定 ブリンタ設定 結果タイトル 印刷版画 「すべて」 ・ 範囲指定 ・ ページ指定 印刷オブション □ 日付き印本する 	日本 日本 日本 日本 日本 日本 日本 日本 日本 日本	· #### · · · · · · · · · · · · · · · ·	 モレーキ目 ローチ目目 ローチ目 ローチョ ローチョ	ボロ 40 m ボロ 40 m ボロ 40 m ボロ 40 m ボロ 50 m	1 2.2 ines (つ) 所直(N)	EnB(E 7'Lt'a=(PDF(E). #E32t(E). t'#'a+(3)		1
 ■ 機能は濃度を指定 ■ 機能は濃度を指定 ■ 機能は濃度を指定 ■ 機能を補正する ● 構造(値) ■ 総構を補正する ● 構造(値) ● 構造(値)	 ・ 印刷等発件設 印刷数定 ブリンタ設定 希菜タイトル 印刷数回 「すべて」 ・ 飯田指定 ・ ページ指定 印刷オブション ・ 日付を印字する マページ番号を印字す 	日本 日本 日本 日本 日本 日本 日本 日本 日本 日本	- ####1 - - #### / 	 	200 чи 3073000 5073000 6383500 6383500 1741 1700 1700 1700 1700 1700 1700 1700 1700 1700 1700 1700 1700 1700 1700 1700 1700 1700 1700 1700 1700 1700 1700 1700 1700 1700 1700 1700 1700 1700 1700 1700 1700 1700 1700 1700 1700 1700 1700 1700 1700 1700 1700 1700 1700 1700 1700 1700 1700 1700 1700 1700 1700 1700 1700 1700 1700 1700 1700 1700 1700 1700 1700 1700 1700 1700 1700 1700 1700 1700 1700 1700 1700 1700 1700 1700 1700 1700 1700 1700 1700 1700 1700 1700 1700 1700 1700 1700 1700 1700 1700 1700 1700 1700 1700 1700 1700 1700 1700 1700 1700 1700 1700 1700 1700 1700 1700 1700 1700 1700 1700 1700 1700 1700 1700 1700 1700 1700 1700 1700 1700 1700 1700 1700 1700 1700 1700 1700 1700 1700 1700 1700 1700 1700 1700 1700 1700 1700 1700 1700 1700 1700 1700 1700 1700 1700 1700 1700 1700 1700 1700 1700 1700 1700 1700 1700 1700 1700 1700 1700 1700 1700 1700 1700 1700 1700 1700 1700 1700 1700 1700 1700 1700 1700 1700 1700 1700 1700 1700 1700 1700 1700 1700 1700 1700 1700 1700 1700 1700 1700 1700 1700 1700 1700 1700 1700 1700 1700 1700 1700 1700 1700 1700 1700 1700 1700 1700 1700 1700 1700 1700 1700 1700 1700 1700 1700 1700 1700 1700 1700 1700 1700 1700 1700 1700 1700 1700 1700 1700 1700 1700 1700 1700 1700 1700 1700 1700 1700 1700 1700 1700 1700 1700 1700 1700 1700 1700 1700 1700 1700 1700 1700 1700 1700 1700 1700 1700 1700 1700 1700 1700 1700 1700 1700 1700 1700 1700 1700 1700 1700 1700 1700 1700 1700 1700 1700 1700 1700 1700 1700 1700 1700 1700 1700 1700 1700 1700 1700 1700 1700 1700 1700 1700 1700 1700 1700 1700 1700 1700 1700 1700 1700 1700 1700 1700 1700 1700 1700 1700 1700 1700 1700 1700 1700 1700 1700 1700 1700 1700 1700 1700 1700 1700 1700 1700 1700 1700 1700 1700 1700 1700 1700 1700 170	SSJ	ED時(E) フリレビュー(PDF(E). してずっト(2) こご力の入の	■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■]
■ 離臨を擁正する 補正値(a) 業務情報の集計表やグラフに出力でき ビボット分析ができます。 例 1ページと3~5ページを印刷する場合は、「ページ指定」を選択し、「1.3・5」と入力しま す。 キンは	 ・ 印刷等条件設 印刷設定 ブリンタ設定 第三タイトル 「中国町町 「すべて」 ・ 戦闘指定 ・ ページ指定 印刷オブション ・ 日付を印字する マージ番号を印字する マージ番号を印字する マージ番号を印字する 	日本 日本 日本 日本 日本 日本 日本 日本 日本 日本	・ ####1 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	 HU 単 HT 単	жена 5.473.000 5.473.000 5.475.000 6.583.500 6.583.500 1741 1741 1700 1741 1700 1741 1700 1741 1700 1741 1700 1741 1700 1741 1700 1741 1700 1741 1700 1741 1700 1741 1700 1741 1700 1741 1700 1741 1700 1741 1700 1741 1700 1741 1700 1741 1700 1741 1700 1741 1700 1741 1700 1741 1700 1741 1700 1741 1741 1741 1741 1741 1741 1741 1741 1741 1741 1741 1741 1741 1741 1741 1741 1741 1741 1741 1741 1741 1741 1741 1741 1741 1741 1741 1741 1741 1741 1741 1741 1741 1741 1741 1741 1741 1741 1741 1741 1741 1741 1741 1741 1741 1741 1741 1741 1741 1741 1741 1741 1741 1741 1741 1741 1741 1741 1741 1741 1741 1741 1741 1741 1741 1741 1741 1741 1741 1741 1741 1741 1741 1741 1741 1741 1741 1741 1741 1741 1741 1741 1741 1741 1741 1741 1741 1741 1741 1741 1741 1741 1741 1741 1741 1741 1741 1741 1741 1741 1741 1741 1741 1741 1741 1741 1741 1741 1741 1741 1741 1741 1741 1741 1741 1741 1741 1741 1741 1741 1741 1741 1741 1741 1741 1741 1741 1741 1741 1741 1741 1741 1741 1741 1741 1741 1741 1741 1741 1741 1741 1741 1741 1741 1741 1741 1741 1741 1741 1741 1741 1741 1741 1741 1741 1741 1741 1741 1741 1741 1741 1741 1741 1741 1741 1741 1741 1741 1741 1741 1741 1741 1741 1741 1741 1741 1741 1741 1741 1741 1741 1741 1741 1741 1741 1741 1741 1741 1741 1741 1741 1741 1741 1741 1741 1741 1741 1741 1741 1741 1741 1741 1741 1741 1741 1741 1741 1741 1741 1741 1741 1741 1741 1741 1741 1741 1741 1741 1741 1741 1741 1741 1741 1741 1741 1741 1741 1741 1741 1741 1741 1741 1741 1741 1741 1741 1741 1741 1741 1741 1741 1741 1741 1741 1741 1741 1741 1741 1741 1741 1741 1741 1741 1741 1741 1741 1741 1741 1741 1741 1741 1741 1741 1741 1741 1741 1741 1741 1741 1741 1741 1741 1741 1741 1741 1741 1741 1741 1741 1741 1741 1741 1741 174	SS]]	印刷(E 7)比's-(戸DF(E). 転送(E). して方日入の ボタン・た		
 間隔を補正する 補正値(点)< ビボット分析ができます。 例 1ページと3~5ページを印刷する場合は、「ページ指定」を選択し、「1.3・5」と入力します。 キャンは 	 ・ 印刷等条件設 印刷設定 ブリンタ設定 株示タイトル 「印刷版団 ● 「すべて」 ● 岐回指定 ● ベージ指定 印刷パブション □ 日付を印字する 図 ページ番号を印字する 図 ページ番号を印字する 図 ページ番号を印字する 図 ページ番号を印字する 	日本 日本 日本 日本 日本 日本 日本 日本 日本 日本	· ####1 · · #### · · * All · * All · * All · * All · * All · * All ·	 (1) 第 <	асана 5.475.000 5.475.000 5.475.000 4.585.000 4.585.000 4.585.000 1.7*1 1.1 1.1 1.1 1.1 1.1 1.1 1.1 1	الم	 En駒(E) アルビュー(PDF(E). 軽送(E). ビボーか(2) こご力加入の ボタンを 	 D場合IC、 クリックI 	<u>ן</u> שרג
例 1ページと3~5ページを印刷する場合は、「ページ指定」を選択し、「1,3-5」と入力しま す。 1+24	 ・ 印刷等条件設 印刷設定 ブリンク設定 株素タイトル 「「「「不て」 ・ 範囲指定 ・ ページ指定 印刷打ブション ・ 日付を印字する マページ番号を印字する マページ番号を印字する マページ番号を印字する 	■10×6 10×6 1000 AG 1000	- ####1 - - ##### - F /##太子社 ##### / 5 ###### · - - - - - - - - - - - - -	 HU 単 (m) 半回 A (M) (M) (M) (M) (M) (M) (M) (M) (M) (M)	#2## #### ##### ###### ###### #######	SS』 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「		 D場合IC、 クリックI フIこ出力 	<u>し</u> して、
例 1ページと3~5ページを印刷する場合は、「ページ指定」を選択し、「1.8-5」と入力しま す。 キンは		■ 10×4 10×4 	· #### · · · · · · · · · · · · · · · ·	 HU 単 (1) 単数 H / 単数 H / 単数 H / 単数 H / H / H H / H / H<td>まままでの 5.573500 5.573500 5.573500 5.573500 5.573500 5.573500 5.573500 5.573500 5.573500 5.573500 5.573500 5.573500 5.573500 5.573500 5.573500 5.573500 5.573500 5.573500 5.573500 5.573500 5.573500 5.573500 5.573500 5.573500 5.573500 5.573500 5.573500 5.573500 5.573500 5.573500 5.573500 5.573500 5.573500 5.573500 5.573500 5.573500 5.573500 5.573500 5.573500 5.573500 5.573500 5.573500 5.573500 5.573500 5.573500 5.573500 5.573500 5.573500 5.573500 5.573500 5.573500 5.573500 5.573500 5.573500 5.573500 5.573500 5.573500 5.573500 5.573500 5.573500 5.573500 5.573500 5.573500 5.573500 5.573500 5.573500 5.573500 5.573500 5.575500 5.575500 5.575500 5.575500 5.575500 5.575500 5.575500 5.575500 5.575500 5.575500 5.575500 5.575500 5.575500 5.575500 5.575500 5.575500 5.575500 5.575500 5.575500 5.575500 5.575500 5.575500 5.575500 5.575500 5.575500 5.575500 5.575500 5.575500 5.575500 5.575500 5.575500 5.575500 5.575500 5.575500 5.575500 5.575500 5.575500 5.575500 5.575500 5.575500 5.575500 5.575500 5.575500 5.575500 5.575500 5.575500 5.575500 5.575500 5.575500 5.575500 5.575500 5.575500 5.575500 5.575500 5.575500 5.575500 5.575500 5.575500 5.575500 5.575500 5.575500 5.575500 5.575500 5.575500 5.575500 5.575500 5.575500 5.575500 5.575500 5.575500 5.575500 5.575500 5.575500 5.575500 5.575500 5.575500 5.575500 5.575500 5.575500 5.575500 5.575500 5.575500 5.575500 5.575500 5.575500 5.575500 5.575500 5.575500 5.575500 5.575500 5.575500 5.575500 5.575500 5.575500 5.575500 5.575500 5.575500 5.575500 5.575500 5.575500 5.575500 5.575500 5.575500 5.575500 5.575500 5.575500 5.575500 5.575500 5.575500 5.575500 5.575500 5.575500 5.575500 5.575500 5.575500 5.575500 5.575500 5.575500 5.575500 5.575500 5.575500 5.575500 5.575500 5.575500 5.575500 5.575500 5.575500 5.575500 5.575500 5.5755000 5.5755000 5.5755000 5.5755000 5.5755000 5.5755000</td><td>1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1</td><td></td><td>NU NU D場合に、 クリック(ラフに出力 す。</td><td></td>	まままでの 5.573500 5.573500 5.573500 5.573500 5.573500 5.573500 5.573500 5.573500 5.573500 5.573500 5.573500 5.573500 5.573500 5.573500 5.573500 5.573500 5.573500 5.573500 5.573500 5.573500 5.573500 5.573500 5.573500 5.573500 5.573500 5.573500 5.573500 5.573500 5.573500 5.573500 5.573500 5.573500 5.573500 5.573500 5.573500 5.573500 5.573500 5.573500 5.573500 5.573500 5.573500 5.573500 5.573500 5.573500 5.573500 5.573500 5.573500 5.573500 5.573500 5.573500 5.573500 5.573500 5.573500 5.573500 5.573500 5.573500 5.573500 5.573500 5.573500 5.573500 5.573500 5.573500 5.573500 5.573500 5.573500 5.573500 5.573500 5.573500 5.575500 5.575500 5.575500 5.575500 5.575500 5.575500 5.575500 5.575500 5.575500 5.575500 5.575500 5.575500 5.575500 5.575500 5.575500 5.575500 5.575500 5.575500 5.575500 5.575500 5.575500 5.575500 5.575500 5.575500 5.575500 5.575500 5.575500 5.575500 5.575500 5.575500 5.575500 5.575500 5.575500 5.575500 5.575500 5.575500 5.575500 5.575500 5.575500 5.575500 5.575500 5.575500 5.575500 5.575500 5.575500 5.575500 5.575500 5.575500 5.575500 5.575500 5.575500 5.575500 5.575500 5.575500 5.575500 5.575500 5.575500 5.575500 5.575500 5.575500 5.575500 5.575500 5.575500 5.575500 5.575500 5.575500 5.575500 5.575500 5.575500 5.575500 5.575500 5.575500 5.575500 5.575500 5.575500 5.575500 5.575500 5.575500 5.575500 5.575500 5.575500 5.575500 5.575500 5.575500 5.575500 5.575500 5.575500 5.575500 5.575500 5.575500 5.575500 5.575500 5.575500 5.575500 5.575500 5.575500 5.575500 5.575500 5.575500 5.575500 5.575500 5.575500 5.575500 5.575500 5.575500 5.575500 5.575500 5.575500 5.575500 5.575500 5.575500 5.575500 5.575500 5.575500 5.575500 5.575500 5.575500 5.575500 5.575500 5.575500 5.575500 5.575500 5.575500 5.575500 5.575500 5.575500 5.575500 5.575500 5.575500 5.5755000 5.5755000 5.5755000 5.5755000 5.5755000 5.5755000	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1		NU NU D場合に、 クリック(ラフに出力 す。	
7 • 1+2tá		田田	- ####1 - 7 / 単元 - 1 /	 モレーキュー ローナルロック キュントのの キュントの キョントの キョントの	3.873.000 3.873.000 3.873.000 5.873.000 5.873.000 5.873.000 5.873.000 5.873.000 5.873.000 5.873.000 5.873.000 5.873.000 5.873.000 5.873.000 5.873.000 5.873.000 5.873.000 5.873.000 5.873.000 5.873.000 5.873.000 5.873.000 5.873.000 5.873.000 5.873.000 5.873.000 5.873.000 5.873.000 5.873.000 5.873.000 5.873.000 5.873.000 5.873.000 5.873.000 5.873.000 5.873.000 5.873.000 5.873.000 5.873.000 5.873.000 5.873.000 5.873.000 5.873.000 5.873.000 5.873.000 5.873.000 5.873.000 5.873.000 5.873.000 5.873.000 5.873.000 5.873.000 5.873.000 5.873.000 5.873.000 5.873.000 5.873.000 5.873.000 5.873.000 5.873.000 5.873.000 5.873.000 5.873.000 5.873.000 5.873.000 5.873.000 5.873.000 5.873.000 5.873.000 5.873.000 5.873.000 5.873.000 5.873.000 5.873.000 5.873.000 5.873.000 5.873.000 5.873.000 5.873.000 5.873.000 5.873.000 5.873.000 5.873.000 5.873.000 5.873.000 5.873.000 5.873.000 5.873.000 5.873.000 5.873.000 5.873.000 5.873.000 5.873.000 5.873.000 5.873.000 5.873.000 5.873.000 5.873.000 5.873.000 5.873.000 5.873.000 5.873.000 5.873.000 5.873.000 5.873.000 5.873.000 5.873.000 5.873.000 5.873.000 5.873.000 5.873.000 5.873.000 5.873.000 5.873.000 5.873.000 5.873.000 5.873.000 5.873.000 5.873.000 5.873.000 5.873.000 5.873.000 5.873.000 5.873.000 5.873.000 5.873.000 5.873.000 5.873.000 5.873.000 5.873.000 5.873.000 5.873.000 5.873.000 5.873.000 5.873.000 5.873.000 5.873.000 5.873.000 5.873.000 5.873.000 5.873.000 5.873.000 5.873.000 5.873.000 5.873.000 5.873.000 5.873.000 5.873.000 5.873.000 5.873.000 5.873.000 5.873.000 5.873.000 5.873.0000 5.873.0000 5.873.0000 5.873.0000 5.873.0000 5.873.0000 5.873.0000 5.873.0000 5.873.0000 5.873.0000 5.873.0000 5.873.0000 5.873.0000 5.873.0000 5.873.00000 5.873.00000 5.873.00000 5.873.00000000000000000000000000000000000	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	ED期(E できます	 D場合に、 クリック(フに出力 	 して、 でき
te)/ts	- 印刷等条件設 の開放定 ゴリンタ設定 株型タイトル 印刷数画 ● 「すべて」 ● 範囲指定 ● ページ指定 印刷灯 ブション ■ 日付を印字する 図 ページ番号を印字する 図 ページ番号を印字する 図 ページ番号を印字する ■ 問題を補正する 例 1ページと3~	日本 日本 日本 日本 日本 日本 日本 日本 日本 日本	・ ####1 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	 HTL = HTL =	#288 3.875.000 5.875.000 5.875.000 5.875.000 5.875.000 5.875.000 5.875.000 5.875.000 5.875.000 5.875.000 5.875.000 5.875.000 5.875.000 5.875.000 5.875.000 5.875.000 5.875.000 5.875.000 5.875.000 5.875.000 5.875.000 5.875.000 5.875.000 5.875.000 5.875.000 5.875.000 5.875.000 5.875.000 5.875.000 5.875.000 5.875.000 5.875.000 5.875.000 5.875.000 5.875.000 5.875.000 5.875.000 5.875.000 5.875.000 5.875.000 5.875.000 5.875.000 5.875.000 5.875.000 5.875.000 5.875.000 5.875.000 5.875.000 5.875.000 5.875.000 5.875.000 5.875.000 5.875.000 5.875.000 5.875.000 5.875.000 5.875.000 5.875.000 5.875.000 5.875.000 5.875.000 5.875.000 5.875.000 5.875.000 5.875.000 5.875.000 5.875.000 5.875.000 5.875.000 5.875.000 5.875.000 5.875.000 5.875.000 5.875.000 5.875.000 5.875.000 5.875.000 5.875.000 5.875.000 5.875.000 5.875.000 5.875.000 5.875.000 5.875.000 5.875.000 5.875.000 5.875.000 5.875.000 5.875.000 5.875.000 5.875.000 5.875.000 5.875.000 5.875.000 5.875.000 5.875.000 5.875.000 5.875.000 5.875.000 5.875.000 5.875.000 5.875.000 5.875.000 5.875.000 5.875.000 5.875.000 5.875.000 5.875.000 5.875.000 5.875.000 5.875.000 5.875.000 5.875.000 5.875.000 5.875.000 5.875.000 5.875.000 5.875.000 5.875.000 5.875.000 5.875.000 5.875.000 5.875.000 5.875.000 5.875.000 5.875.000 5.875.000 5.875.000 5.875.000 5.875.000 5.875.000 5.875.000 5.875.000 5.875.000 5.875.000 5.875.000 5.875.000 5.875.000 5.875.000 5.875.000 5.875.000 5.875.000 5.875.000 5.875.000 5.875.000 5.875.000 5.875.000 5.875.000 5.875.000 5.875.000 5.875.000 5.875.000 5.875.0000 5.875.0000 5.875.0000 5.875.0000 5.875.0000 5.875.0000 5.875.0000 5.875.0000 5.875.0000 5.875.0000 5.875.0000 5.875.0000 5.875.0000 5.875.00000 5.875.00000 5.875.00000 5.875.0000000000000000000000000000000000	SS』 「 新植(型) SS』 ト 分析な 入力しま		■ ■ ■ の場合に、 クリックに ラフに出力 す。	 して、 でき
		第111日日本部の 第111日日本部の 第111日本部の 1111日本部の 1111日本部の 1111日本部の 1111日本部の 1111日本部の 1111日本部の 1111日本部の 1111日本部の 1111日本部の 1111日本部の 1111日本部の 1111日本部の 1111日本部の 1111日本部の 1111日本部の 1111日本部の 1111日本部の 1111日本部の 1111日本部の 1111日本部の 1111日本部の 1111日本部の 1111日本部の 1111日本部の 1111日本部の 1111日本部の 1111日本部の 1111日本部の 1111日本部の 1111日本部の 1111日本部の 1111日本部の 1111日本部の 1111日本部の 1111日本部の 1111日本部の 1111日本部の 1111日本部の 1111日本部の 1111日本部の 1111日本部の 1111日本部の 1111日本部の 1111日本部の 1111日本部の 1111日本部の 1111日本部の 1111日本部の 1111日本部の 1111日本部の 1111日本部の 1111日本部の 1111日本部の 1111日本部の 1111日本部の 1111日本部の 1111日本部の 1111日本部の 1111日本部の 1111日本部の 1111日本部の 1111日本部の 1111日本部の 1111日本部の 1111日本部の 1111日本部の 1111日本部の 1111日本部の 1111日本部の 1111日本部の 1111日本部の 1111日本部の 1111日本部の 1111日本部の 1111日本部の 1111日本部の 1111日本部の 1111日本部の 1111日本部の 1111日本部の 1111日本部の 1111日本部の 1111日本部の 1111日本部の 1111日本部の 1111日本部の 1111日本部の 1111日本部の 1111日本部の 1111日本部の 1111日本部の 1111日本部の 1111日本部の 1111日本部の 1111日本部の 1111日本部の 1111日本部の 1111日本部の 1111日本部の 1111日本部の 1111日本部の 1111日本部の 1111日本部の 1111日本部の 1111日本部の 1111日本部の 1111日本部の 1111日本部の 1111日本部の 1111日本部の 1111日本部の 1111日本部の 1111日本部の 1111日本部の 1111日本部の 1111日本部の 1111日本部の 1111日本部の 1111日本部の 1111日本部の 1111日本部の 1111日本部の 1111日本部の 1111日本部の 1111日本部の 1111日本部の 1111日本部の 1111日本部の 1111日本部の 1111日本部の 1111日本部の 1111日本部の 1111日本部の 1111日本部の 1111日本部の 1111日本部の 1111日本部の 1111日本部の 1111日本部の 1111日本部の 1111日本部の 1111日本部の 1111日本部の 1111日本部の 1111日本部の 1111日本部の 1111日本部の 1111日本部の 1111日本部の 1111日本部の 1111日本部の 1111日本部の 1111日本部の 1111日本部の 1111日本部の 1111日本部の 1111日本部の 1111日本部の 1111日本部の 1111日本部の 1111日本部の 1111日本部の 1111日本部の 1111日本部の 1111日本部の 1111日本部の 1111日本部の 1111日本部の 1111日本部の 1111日本部の 1111日本部の 1111日本部の 1111日本部の 1111日本部の 1111日本部の 1111日本部の 1111日本部の 1111日本部の 1111日本部の 1111日本部の 1111日本部の 1111日本部の 1111日本部の 1111日本部の 1111日本部の 1111日本部の 1111日本 1111日本 1111日本 1111日本 1111日本 1111日本 1111日本 1111日本 1111日本 1111日本 1111日本 1111日本 1111日本 1111日本 1111日本 1111日本 1111日本 1111日本 1111日本 1111日本 1111日本 1111日本 1111日本 1111日本 1111日本 1111日本 1111日本 1111日本 1111日本 1111日本 1111日本 1111日本 1111日本 1111日本 1111日本 1111日本 1111日本 1111日本 1111日本 1111日本 1111日本 1111日本 1111日本 11111日本 11111日本 1111日本 1111日本 1111日本	・ ####1 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	 HU = HT = 100 (100 (100 (100 (100 (100 (100 (10	#2000 5.475.000 5.475.000 5.475.000 5.575.000 5.575.000 5.575.000 5.475.000 5.475.000 5.475.000 5.475.000 5.475.000 5.475.000 5.475.000 5.475.000 5.475.000 5.475.000 5.475.000 5.475.000 5.475.000 5.475.000 5.475.000 5.475.000 5.475.000 5.475.000 5.475.000 5.475.000 5.475.000 5.475.000 5.475.000 5.475.000 5.475.000 5.475.000 5.475.000 5.475.000 5.475.000 5.475.000 5.475.000 5.475.000 5.475.000 5.475.000 5.475.000 5.475.000 5.475.000 5.475.000 5.475.000 5.475.000 5.475.000 5.475.000 5.475.000 5.475.000 5.475.000 5.475.000 5.475.000 5.475.000 5.475.000 5.475.000 5.475.000 5.475.000 5.475.000 5.475.000 5.475.000 5.475.000 5.475.000 5.475.000 5.475.000 5.475.000 5.475.000 5.475.000 5.475.000 5.475.000 5.475.000 5.475.000 5.475.000 5.475.000 5.475.000 5.475.000 5.475.000 5.475.000 5.475.000 5.475.000 5.475.000 5.475.000 5.475.000 5.475.000 5.475.000 5.475.000 5.475.000 5.475.000 5.475.000 5.475.000 5.475.000 5.475.000 5.475.000 5.475.000 5.475.000 5.475.000 5.475.000 5.475.000 5.475.000 5.475.000 5.475.000 5.475.000 5.475.000 5.475.000 5.475.000 5.475.000 5.475.000 5.475.000 5.475.000 5.475.000 5.475.000 5.475.000 5.475.000 5.475.000 5.475.000 5.475.000 5.475.000 5.475.000 5.475.000 5.475.000 5.475.000 5.475.000 5.475.000 5.475.000 5.475.000 5.475.000 5.475.000 5.475.000 5.475.000 5.475.000 5.475.000 5.475.000 5.475.000 5.475.000 5.475.000 5.475.000 5.475.000 5.475.000 5.475.000 5.475.000 5.475.000 5.475.000 5.475.000 5.475.0000 5.475.0000 5.475.0000 5.475.0000 5.475.0000 5.475.0000000000000000000000000000000000	SS』に 「「「」 「「」 「「」 「「」 「」 「」 「」 「」 「		 D場合に、 クリック(フに出力 	】 して、 でき

- ≪ 関連メニュー ≫
 - ・[債権管理]-[管理帳票]-[滞留債権年齡表]メニュー

OExcelへの罫線付出力機能

各帳票をExcelに出力する際に、自動で罫線や項目を色付けして、見やすい資料を作成できます。

an and - preservements	(10.00)
卑鄙症 ヨリンタ諸定	
構成タイトル	state()
	758(g(g))
1140.0020	
金 すべて	
C RENTE (A 11 ~ A 11	#E@ID
0.13-2000	
And an and a second sec	
ロバージ番号を印字する	
図会社名を印字する	
01100-NR-6	医条件投支 医外
出力時定	
ファイルの種類	(
95 9x 92870 02.	a [scel7=4.5
NERMO	1
図 取得を付け!	5 ·
図色を付ける	
- The second	
Record Di	1-4 7 d - 1 3/1 7 5
and the second s	
1011 2 PA AM	ROMSSALSTINT DIBALS Freel LS
	色の付加について設定できます。
	54/45
	10/10/00/00
	(Contraction of the second sec

〇PDF出力機能

各帳票の印刷物を、PDFファイルとして出力できます。

印刷設定 ブリンタ設定 株式タイトル				EUBI(E)	
Hettin (Nise			◆刀馬射值(N)	7"lt'=-(<u>1</u>)	
印刷範囲					
● すべて				PDF(E)	
◎ 範囲指定	最初 ~ 最後			●記述(E)	
〇 ページ指定		j l		[t*\$*of(X)]	
印刷オブション					
日付を印字する 20	13 年 8 月 20 日	🕑 出力者情報を印字する	[OMSS]	にご加入の場合	合に、
☑ ページ番号を印字する			[PDF] 7	ドタンをクリッ	クレて、
💟 会社名を印字する		 ・ ・ ・ ・ ・ ・	PDFファ	イルを出力できる	ます。
🔄 間隔を補正する	(補正値(≜)		【股定(§)】		
例 1ページと3~5ペー す。	ジを印刷する場合は、「パ	ページ指定」を選択し、「1。	8-5」と入力しま	1	
				4+366	
				1174	

OOutlook 連携

自動的にOutlookを起動して、Excel出力した集計表やPDF化した管理資料のファイルを添付して、送信できます。

「ファイルを作成・保存してから、メールに添付して送信する」といった、一連の手間を省くこと ができます。

≫Microsoft	Outlook	2007以上が必要です。
------------	---------	--------------

3171319944498		
 本)・2.8 第128日 第128日 第128日 第128日 第128日 第128日 	(新作)・美田区(10年月) (新作)・美田区(10年月)	
コード 名井	滞留调维年龄表 - 新送条件投定	
	 出力設定 ファイルの種類 ● 転送ファイル ● 転送ファイル ● たxcelファイル 作成形式 ジ 算線を付ける ジ 色を付ける ジ 色を付ける 出力時の動作 単icrosoft 0xt look でメール送信する 添けファイルる 请求売引導給清稽年記表 	
31 μ 9 9 9 1 31 μ 9 9 9 1 31 μ 9 9 9 9 31 μ 9 9 9 9 31 μ 9 9 9 9 9 31 μ 9 9 9 9 9 9 9 9 9 9 9 9 9 9 9 9 9 9 9 9 9 9 9 9 9 9 9 9 9 9 9 9 9 9 9 9 9 9 9 9 9 9 9 9 9 9 9 9 9 9 9 9 9 9 9 9 9 9 9 9 9 9 9 9 9 9 9 9 9 9 9 9 9 9	田田 - メルセージ (7942-8) オプシルシ 御式設定 化型 ・ A・ A・ 田 - 田 - 弓 単語 単語 伊 (F) アイルの 和約 2001	<u>。 まま</u> ファイルの作成と同時に、 新規メールにファイルを 忝付します。
変価 (5) 年名(U): 時付27イル(T): 個	護密先別運輸調査車動表.xixx (10 KB)	10 «

川和線一編集 - 印刷等条件投定		(#16)
印刷設定 ゴリンタ設定		
相称カイトル		ETHERED
	2586(B(S)	77/C'x*([)
17/00/00		
+ T-1T		
O KEEN'E A	27 ~ 最佳	4E.C.(E)
() ページ推開		
印刷オザション		
E Britterts AFA	医事 四 月 手 臣 図 出力者情報を印字する	
口ページ番号き印度する		
N MATRSONA & C		
/	Street and a statement	
(NUMBER OF STREET	10.00
	出力設定	1.0.46688603.3
参考 チェックを付けると、	・ファイルの種類	
	○転送ファイル ● Excelファイル	
	natRist	
	図事業を付ける	
	図色をわける	
	A second street	
	出力時の動作	
	Microsoft Outlack TS-A-Milita	
	Property for the second state of the	
	『OMSS』にご加入の場合に、	出力時
	の動作で「Microsoft Outlook で	メール いた
1	送信する」が進択できます。	IM/128FR(H)
		0

OSharePoint Online 連携

直接「SharePoint Online」のライブラリを指定して、Excel出力した集計表やPDF化した管理資料のファイルを保存できます。

基幹情報を簡単にクラウド上のサイトで共有でき、利用者は時間や場所にとらわれずに、情報を活 用できます。

の 日本			
NEW CONCERNE)		(3/202)	
11-21 CW	3)3期行業(約)	714°s-(1)	
(the section			
# TAT			
RINNY A	10 ~ # 12	#E@@)	
O H - UNE			
(1077mm			
印刷オブション	and the second se		
CHISCHALS WILLS	N TUAM650+10		
2 会社名を印루する			-
(N-188-181 - E35482		and the second
(14+45P		
	35/181A	111 田力園	NID ST
キ チェックを付けると、			
	0 100771W 9 Lice1771W		
	OKRIK		
	※ 野綿を付ける		
	12 BERTS		
	The second s		
	CL/PROVERTS	-	
	Ficrosoft Colleck Extent 5		
	Second and the configuration for the		
	『OMSS』にご加入の場合	に、出力時	
	の動作で「SharePoint Onlin	e ~7 " "	4
1	ロードする」が選択できます	0	000
1		- Alter	1000
			/

〇ダイレクト出力機能(クイックメニュー)

画面表示した帳票を、クイックメニューからワンタッチでダイレクト印刷できます。 また、前述の「Excelピボットグラフ連携」「Excel罫線付出力」「PDF出力」「Outlook連携」 「SharePoint Online連携」についても、ワンタッチでダイレクト出力できます。 出力形式が決まっている帳票は、印刷・転送の条件設定画面を経由せずに直接出力できるため、よ りスピーディーに出力できます。

よって、『参照専用ライセンス』を利用している経営者や営業なども、ワンタッチの簡単な操作 で、基幹情報をすぐに取り出せます。

2013年 4月3	クイック実行			×	
	由 出力	•	ଜ	r	Y
	×-ルで送信 - Outlook	EDRI	ルビュー	PDF	T
相式会社 (・SharePoint Online	Excel	Line Effat	27.169 77.169	à
下用			1,000		
洋一			1,000		7



● 電子記録債権の管理ができるようになりました。

[導入処理]-[決済方法登録]-[回収方法登録]メニューの[基本]ページで回収種別に「8:電子記録債 権」が追加され、電子記録債権を登録できるようになりました。 電子記録債権を登録すると、同時に入金情報が作成されます。 作成した入金情報について、「1:入金」「2:仮受金」「3:非連結」「4:前受金」のステータスを 指定することで、債権との消込管理や、入金伝票(仕訳伝票)の作成ができます。 また、割引や譲渡など、てん末管理、および仕訳作成もできます。

■電子記録債権処理



≪ 新規メニュー ≫

- ・[債権管理]-[電子記録債権処理]-[電子記録債権入力]メニュー
- ・[債権管理]-[電子記録債権処理]-[電子記録債権てん末変更]メニュー
- ・[債権管理]-[電子記録債権処理]-[電子記録債権一括決済]メニュー

■ 取引先の検索条件が追加されました。

取引先を検索する際の絞込条件が追加されました。	
取引先登録 - 検索条件設定	

	•	~	
指定なし			-
基本条件	取引先コード		
请求先基本情報 >	取引先フリガナ	~	
请求先回收方法 🕨	取引先名1	~	
请求先振込情報 🕨	取引先名2	~	
受取手形 +	インデックス		
NER U	郵便番号	~	
撤定なし	住所 1	~	
撤定なし	住所2	~	
確定なし	电站番号 FAX番号	~	
撤軍なし	× ₹1)) ~ (
撤定なし	× € 2 × € 3	~	
指定なし	*	~	
撤定なし	v] []~[
並び順			
コード順	• 0 #10 O f	a.10	

1.0

≪ 関連メニュー ≫

- ・[導入処理]-[取引先登録]-[取引先登録]メニュー
- ・[導入処理]-[取引先登録]-[取引先一括登録]メニュー
- ・[随時処理]-[汎用データ作成]-[マスターデータ作成]-[取引先データ作成]-[取引先データ作 成]メニュー
- ※以下のメニューは、『自動実行管理オプション』をお使いの場合に使用できます。
- ・[自動実行管理]-[汎用データ作成]-[自動実行取引先データ作成]メニュー

● データ領域の環境構築をする際の操作方法が変わりました。

以下の処理をする際に、データ領域の環境構築をする操作方法が変わりました。

〇旧バージョンのプログラムで作成した、バックアップデータの読み込み

バックアップデータを読み込んだ後に、オプションのメニューを開こうとすると、以下のメッセージが表示されます。

そのまま、 [OK] ボタンをクリックして、環境構築を開始してください。

	業務データ領域に対してオブション製品を使用するための環境構 築処理を行います。
1	実行します。よろしいですか?
g	
境構	篇を実行すると、実行前の状態には戻すことができません。

〇今までオプションの運用をしていなかったデータ領域で、オプションの運用開始

[スタート] ボタンをクリックし、 [すべてのプログラム] - [奉行シリーズ] (- [ツール])から、導入ウィザードを起動します。

※ネットワーク版をお使いの場合は、サーバープログラムがセットアップされているコンピュータ で行います。



[次へ] ボタンで、進めます。



設定内容の確認画面で[詳細設定]ボタンをクリックします。

オプションの運用を開始するデータ領域にチェックを付けて、 [OK] ボタンをクリックします。



設定内容の確認画面に戻りますので、そのまま [次へ] ボタンをクリックして、環境構築を開始します。



財務会計システム 勘定奉行VERP

機能アップガイド



【メニュー体系】 メニューの名称および構成が変更されました。 ※詳細は、6ページをご参照ください。 【全般】 帳票別プリンタ登録できる帳票が追加されました。 ※詳細は、6ページをご参照ください。 伝票の検索条件に、以下の絞込条件が追加されました。 「仕訳伝票No.」 【関連メニュー】 ・[債権管理]-[売上債権処理]-[債権伝票入力]メニュー 「債権管理]-「売上債権処理]-「債権伝票承認]メニュー [債権管理]-[相殺処理]-[債権振替相殺処理]メニュー ・[債権管理]-[相殺処理]-[債務振替相殺処理]メニュー ・[債権管理]-[履歴管理]-[債権伝票履歴]メニュー ・[随時処理]-[汎用データ作成]-[債権データ作成]-[債権伝票データ作成]メニュー 「随時処理]-「データー括削除]-「債権データー括削除]-「債権伝票データー括削除]メニュー ・[自動実行管理]-[汎用データ作成]-[自動実行債権伝票データ作成]メニュー 伝票の検索条件に、以下の絞込条件が追加されました。 「締日区分」「請求先名2」「請求先略称」 【関連メニュー】 [導入処理]-[残高入力]-[債権残高入力]メニュー ・[債権管理]-[売上債権処理]-[債権伝票入力]メニュー 「債権管理]-「売上債権処理]-「債権伝票承認]メニュー ・[債権管理]-[相殺処理]-[債権振替相殺処理]メニュー ・[債権管理]-[相殺処理]-[債務振替相殺処理]メニュー ・[債権管理]-[履歴管理]-[債権伝票履歴]メニュー ・[随時処理]-[汎用データ作成]-[マスターデータ作成]-[残高データ作成]-[債権残高データ 作成]メニュー ・[随時処理]-[汎用データ作成]-[債権データ作成]-[債権伝票データ作成]メニュー ・[随時処理]-[データー括削除]-[マスターデーター括削除]-[債権残高データー括削除]メニ - L ・「随時処理]-「データー括削除]-「債権データー括削除]-「債権伝票データー括削除]メニュー ・[自動実行管理]-[汎用データ作成]-[自動実行債権伝票データ作成]メニュー 転送で、合計行と区別できるように、明細の出力開始位置が右に2列移動しました。 【関連メニュー】 ・[債権管理]-[受取手形処理]-[受取手形入力]メニュー 「債権管理]-[受取手形処理]-[受取手形てん末変更]メニュー ・[債権管理]-[受取手形処理]-[受取手形一括決済]メニュー ・[債権管理]-[ファクタリング処理]-[ファクタリング債権入力]メニュー ・[債権管理]-[ファクタリング処理]-[ファクタリング債権てん末変更]メニュー ・[債権管理]-[ファクタリング処理]-[ファクタリング債権一括決済]メニュー 【債権管理】

≪債権伝票入力≫

納品書・請求書の印刷で、1段目と2段目のタイトルをそれぞれ設定できるようになりました。

【設定箇所】

[債権伝票入力 - 印刷条件設定]画面の[詳細設定]ページの「用紙タイトル」

納品書・請求書の印刷で、合計金額に印刷する金額を、「ページごとの合計金額」と「債権 伝票ごとの合計金額」から選択できるようになりました。

【設定箇所】

[債権伝票入力 - 印刷条件設定]画面の[詳細設定]ページの「合計金額」

≪債権伝票承認≫

承認取消機能が追加されました。

※この機能追加に伴い、[債権管理]-[履歴管理]-[債権伝票履歴]メニューの承認取消機能は廃止されました。

1次承認権限者が1次承認を取り消せるようになりました。

検索対象の絞込条件が追加されました。

※この機能追加に伴い、[基本条件]ページの絞込条件項目は、リストから選択する形式になり ました。

債権伝票承認([導入処理]-[運用設定]-[債権債務運用設定]メニューの[債権基本設定]ページ で設定)が「2:2段階承認」の場合に、承認状態の指定方法が変更されました。

※項目の配置も[登録情報]ページ→[基本条件]ページに移動しました。

[消費税]ページで、税率の指定方法が変更されました。

[出力順]ページで、検索結果の並び順を詳細に設定できるようになりました。

画面に出力する項目、項目の並び順を設定できるようになりました。

※この機能追加に伴い、[項目選択]ページが追加されました。

債権伝票の登録履歴、承認履歴を出力できるようになりました。

[債権伝票承認 - 条件設定]画面で前回指定した条件が保持されるようになりました。

消込済みで取り消せない伝票など、実行できない伝票については、あらかじめ警告が表示され、チェックが付けられなくりました。

承認権限がない利用者が画面を開いた際には、承認のチェック欄が表示されなくなりました。

仕訳作成単位([導入処理]-[運用設定]-[債権債務運用設定]メニューの[債権基本設定]ページ で設定)が「2:期間単位」の場合、または仕訳伝票の付番方法が「2:手入力」の場合に、 実行時の仕訳伝票に関する設定画面が統合され、1つの画面で設定できるようになりまし た。

仕訳伝票の重複チェック(メインメニューの[導入処理]-[会計期間設定]-[会計期間設定]メ ニューの[伝票設定]ページで設定)が「1:月度単位チェック」「2:年度単位チェック」 で、重複時登録処理が「1:登録確認表示」の場合に、「伝票No.が重複してもそのまま登録 する」のチェックで前回指定した条件が保持されるようになりました。

[債権伝票承認 - 未処理データー覧]画面に、以下の表示項目が追加されました。 ・請求日付

・金額

印刷・転送で、出力設定できる項目が追加されました。

また、印刷時のフォントサイズを指定できるようになりました。

※この機能追加に伴い、[詳細設定]ページが追加され、マスターコード、セグメント、プロジ

ェクトの出力設定は、[詳細設定]ページに集約されました。
印刷形式の名称が変更されました。
・「明細リスト」→「伝票リスト」
・「伝票リスト」→「未承認リスト」
ューと同様のレイアウト)が追加されました。
【設定箇所】
[債権伝票承認 - 条件設定]画面の[基本条件]ページ
※「処理区分」を「取消」に設定すると印刷できます。
│ │ 明細リスト(新:伝票リスト)の印刷で、以下の設定が追加されました。
・「税率・税区分を印刷する」
「税率だけ印刷」、「税区分だけ印刷」、「税率・税区分を印刷」を指定可能
※消費税の計算方法(メインメニューの[導入処理]-[消費税基本登録]-[消費税基本登録]メ
ニューの【消費税申告書設定】で設定)が「簡易課税」の場合は、以下の設定です。
「税率・税区分・事業区分を印刷する」
「税率だけ印刷」、「税区分・事業区分だけ印刷」、「税率・税区分・事業区分を印刷」
・「履歴を印刷する」
・「日付と利用者の他に時間も印刷する」
明細リスト(新:伝票リスト)の印刷で、小計出力設定の項目の名称が変更されました。
「小計を出力する」→「伝票計を印刷する」
明細リスト(新:伝票リスト)の印刷で、以下の表示形式が変更されました。
・マスターコードが左詰めに変更されました。
・[伝票日付]・[請求日付]・[回収予定]の日付の形式が変更されました。
▼例
▼例 平成25年 4月 5日 → 平成25/ 4/ 5
 ▼例 平成25年 4月 5日 → 平成25/4/5 ・証憑No.にファイルが添付されている場合は、ファイル名が表示されるようになりました。
 ▼例 平成25年 4月 5日 → 平成25/4/5 ・証憑No. にファイルが添付されている場合は、ファイル名が表示されるようになりました。 伝票リスト(新:未承認リスト)の印刷で、行の縦幅が縮小され、1ページに印刷できる明
 ▼例 平成25年 4月 5日 → 平成25/4/5 ・証憑No.にファイルが添付されている場合は、ファイル名が表示されるようになりました。 伝票リスト(新:未承認リスト)の印刷で、行の縦幅が縮小され、1ページに印刷できる明細数が増えました。
 ▼例 平成25年 4月 5日 → 平成25/4/5 ・証憑No.にファイルが添付されている場合は、ファイル名が表示されるようになりました。 伝票リスト(新:未承認リスト)の印刷で、行の縦幅が縮小され、1ページに印刷できる明細数が増えました。 伝票リスト(新:未承認リスト)の印刷
 ▼例 平成25年 4月 5日 → 平成25/4/5 ・証憑No.にファイルが添付されている場合は、ファイル名が表示されるようになりました。 伝票リスト(新:未承認リスト)の印刷で、行の縦幅が縮小され、1ページに印刷できる明細数が増えました。 伝票リスト(新:未承認リスト)の印刷 ・担当者が「0:その他」の場合でも印刷されるようになりました。
 ▼例 平成25年 4月 5日 → 平成25/4/5 ・証憑No.にファイルが添付されている場合は、ファイル名が表示されるようになりました。 伝票リスト(新:未承認リスト)の印刷で、行の縦幅が縮小され、1ページに印刷できる明細数が増えました。 伝票リスト(新:未承認リスト)の印刷 ・担当者が「0:その他」の場合でも印刷されるようになりました。 ・回収方法コードを印刷できるようになりました。
 ▼例 平成25年 4月 5日 → 平成25/4/5 ・証憑No. にファイルが添付されている場合は、ファイル名が表示されるようになりました。 伝票リスト(新:未承認リスト)の印刷で、行の縦幅が縮小され、1ページに印刷できる明細数が増えました。 伝票リスト(新:未承認リスト)の印刷 ・担当者が「0:その他」の場合でも印刷されるようになりました。 ・回収方法コードを印刷できるようになりました。 ・証憑No. にファイルが添付されている場合は、ファイル名が表示されるようになりました。
 ▼例 平成25年 4月 5日 → 平成25/4/5 ・証憑No.にファイルが添付されている場合は、ファイル名が表示されるようになりました。 伝票リスト(新:未承認リスト)の印刷で、行の縦幅が縮小され、1ページに印刷できる明細数が増えました。 伝票リスト(新:未承認リスト)の印刷 ・担当者が「0:その他」の場合でも印刷されるようになりました。 ・回収方法コードを印刷できるようになりました。 ・証憑No.にファイルが添付されている場合は、ファイル名が表示されるようになりました。 単票債権伝票の印刷で、印刷するページを指定できるようになりました。
 ▼例 平成25年 4月 5日 → 平成25/4/5 ・証憑No.にファイルが添付されている場合は、ファイル名が表示されるようになりました。 伝票リスト(新:未承認リスト)の印刷で、行の縦幅が縮小され、1ページに印刷できる明細数が増えました。 伝票リスト(新:未承認リスト)の印刷 ・担当者が「0:その他」の場合でも印刷されるようになりました。 ・回収方法コードを印刷できるようになりました。 ・証憑No.にファイルが添付されている場合は、ファイル名が表示されるようになりました。 単票債権伝票の印刷で、印刷するページを指定できるようになりました。 【設定箇所】
 ▼例 平成25年 4月 5日 → 平成25/4/5 ・証憑No.にファイルが添付されている場合は、ファイル名が表示されるようになりました。 伝票リスト(新:未承認リスト)の印刷で、行の縦幅が縮小され、1ページに印刷できる明細数が増えました。 伝票リスト(新:未承認リスト)の印刷 ・担当者が「0:その他」の場合でも印刷されるようになりました。 ・回収方法コードを印刷できるようになりました。 ・証憑No.にファイルが添付されている場合は、ファイル名が表示されるようになりました。 単票債権伝票の印刷で、印刷するページを指定できるようになりました。 【設定箇所】 【債権伝票承認 - 印刷等条件設定]画面の[印刷設定]ページ
 ▼例 平成25年 4月 5日 → 平成25/4/5 ・証憑No. にファイルが添付されている場合は、ファイル名が表示されるようになりました。 伝票リスト(新:未承認リスト)の印刷で、行の縦幅が縮小され、1ページに印刷できる明細数が増えました。 伝票リスト(新:未承認リスト)の印刷 ・担当者が「0:その他」の場合でも印刷されるようになりました。 ・回収方法コードを印刷できるようになりました。 ・証憑No. にファイルが添付されている場合は、ファイル名が表示されるようになりました。 単票債権伝票の印刷で、印刷するページを指定できるようになりました。 【設定箇所】 【債権伝票承認 - 印刷等条件設定】画面の[印刷設定]ページ 単票債権伝票の印刷で、以下の情報を印刷できるようになりました。
 ▼例 平成25年 4月 5日 → 平成25/4/5 ・証憑No. にファイルが添付されている場合は、ファイル名が表示されるようになりました。 伝票リスト(新:未承認リスト)の印刷で、行の縦幅が縮小され、1ページに印刷できる明細数が増えました。 伝票リスト(新:未承認リスト)の印刷 ・担当者が「0:その他」の場合でも印刷されるようになりました。 ・回収方法コードを印刷できるようになりました。 ・証憑No. にファイルが添付されている場合は、ファイル名が表示されるようになりました。 単票債権伝票の印刷で、印刷するページを指定できるようになりました。 【設定箇所】 【債権伝票承認 - 印刷等条件設定]画面の[印刷設定]ページ 単票債権伝票の印刷で、以下の情報を印刷できるようになりました。 プロジェクト・サブプロジェクト・セグメント1・セグメント2
 ▼例 平成25年 4月 5日 → 平成25/4/5 ・証憑No. にファイルが添付されている場合は、ファイル名が表示されるようになりました。 伝票リスト(新:未承認リスト)の印刷で、行の縦幅が縮小され、1ページに印刷できる明細数が増えました。 伝票リスト(新:未承認リスト)の印刷 ・担当者が「0:その他」の場合でも印刷されるようになりました。 ・回収方法コードを印刷できるようになりました。 ・証憑No. にファイルが添付されている場合は、ファイル名が表示されるようになりました。 単票債権伝票の印刷で、印刷するページを指定できるようになりました。 【設定箇所】 [債権伝票承認 - 印刷等条件設定]画面の[印刷設定]ページ 単票債権伝票の印刷で、以下の情報を印刷できるようになりました。 プロジェクト・サブプロジェクト・セグメント1・セグメント2 【設定箇所】
 ▼例 平成25年 4月 5日 → 平成25/ 4/5 ・証憑No. (ニファイルが添付されている場合は、ファイル名が表示されるようになりました。 伝票リスト(新:未承認リスト)の印刷で、行の縦幅が縮小され、1ページに印刷できる明細数が増えました。 伝票リスト(新:未承認リスト)の印刷 ・担当者が「0:その他」の場合でも印刷されるようになりました。 ・回収方法コードを印刷できるようになりました。 ・証憑No. (ニファイルが添付されている場合は、ファイル名が表示されるようになりました。 単票債権伝票の印刷で、印刷するページを指定できるようになりました。 【設定箇所】 【債権伝票承認 - 印刷等条件設定]画面の[印刷設定]ページ 単票債権伝票の印刷で、以下の情報を印刷できるようになりました。 プロジェクト・サブプロジェクト・セグメント1・セグメント2 【設定箇所】 【債権伝票承認 - 印刷条件設定]画面の[詳細設定]ページ
 ▼例 平成25年 4月 5日 → 平成25/4/5 ・証憑No.にファイルが添付されている場合は、ファイル名が表示されるようになりました。 伝票リスト(新:未承認リスト)の印刷で、行の縦幅が縮小され、1ページに印刷できる明細数が増えました。 伝票リスト(新:未承認リスト)の印刷 ・担当者が「0:その他」の場合でも印刷されるようになりました。 ・回収方法コードを印刷できるようになりました。 ・証憑No.にファイルが添付されている場合は、ファイル名が表示されるようになりました。 単票債権伝票の印刷で、印刷するページを指定できるようになりました。 【設定箇所】 【債権伝票承認 - 印刷等条件設定]画面の[印刷設定]ページ 単票債権伝票の印刷で、以下の情報を印刷できるようになりました。 プロジェクト・サブプロジェクト・セグメント1・セグメント2 【設定箇所】 【債権伝票承認 - 印刷条件設定]画面の[詳細設定]ページ 単票債権伝票の印刷で、以下の設定が追加されました。
 ▼例 平成25年 4月 5日 → 平成25/4/5 ・証憑No.にファイルが添付されている場合は、ファイル名が表示されるようになりました。 伝票リスト(新:未承認リスト)の印刷で、行の縦幅が縮小され、1ページに印刷できる明細数が増えました。 伝票リスト(新:未承認リスト)の印刷 ・担当者が「0:その他」の場合でも印刷されるようになりました。 ・回収方法コードを印刷できるようになりました。 ・証憑No.にファイルが添付されている場合は、ファイル名が表示されるようになりました。 単葉債権伝票の印刷で、印刷するページを指定できるようになりました。 【設定箇所】 【債権伝票承認 - 印刷等条件設定]画面の[印刷設定]ページ 単葉債権伝票の印刷で、以下の情報を印刷できるようになりました。 プロジェクト・サブプロジェクト・セグメント1・セグメント2 【設定箇所】 【債権伝票承認 - 印刷条件設定]画面の[詳細設定]ページ 単葉債権伝票の印刷で、以下の設定が追加されました。 ・「税率・税区分を印刷する」
 ▼例 平成25年 4月 5日 → 平成25/ 4/5 ・証憑No.にファイルが添付されている場合は、ファイル名が表示されるようになりました。 伝票リスト(新:未承認リスト)の印刷で、行の縦幅が縮小され、1ページに印刷できる明細数が増えました。 伝票リスト(新:未承認リスト)の印刷 ・担当者が「0:その他」の場合でも印刷されるようになりました。 ・回収方法コードを印刷できるようになりました。 ・証憑No.にファイルが添付されている場合は、ファイル名が表示されるようになりました。 単票債権伝票の印刷で、印刷するページを指定できるようになりました。 【設定箇所】 [債権伝票承認 - 印刷等条件設定]画面の[印刷設定]ページ 単票債権伝票の印刷で、以下の情報を印刷できるようになりました。 プロジェクト・サブプロジェクト・セグメント1・セグメント2 【設定箇所】 [債権伝票承認 - 印刷条件設定]画面の[詳細設定]ページ 単票債権伝票の印刷で、以下の設定が追加されました。 ・「税率・税区分を印刷する」 「税率が税区分を印刷する」 「税率が税区分を印刷する」 「税率が税区分を印刷する」
 ▼例 平成25年 4月 5日 → 平成25/ 4/5 ・証憑No.にファイルが添付されている場合は、ファイル名が表示されるようになりました。 伝票リスト(新:未承認リスト)の印刷で、行の縦幅が縮小され、1ページに印刷できる明細数が増えました。 伝票リスト(新:未承認リスト)の印刷 ・担当者が「0:その他」の場合でも印刷されるようになりました。 ・回収方法コードを印刷できるようになりました。 ・証憑No.にファイルが添付されている場合は、ファイル名が表示されるようになりました。 単票債権伝票の印刷で、印刷するページを指定できるようになりました。 【設定箇所】 【債権伝票承認 - 印刷等条件設定]画面の[印刷設定]ページ 単票債権伝票の印刷で、以下の情報を印刷できるようになりました。 プロジェクト・サブプロジェクト・セグメント1・セグメント2 【設定箇所】 【債権伝票承認 - 印刷条件設定]画面の[詳細設定]ページ 単票債権伝票の印刷で、以下の設定が追加されました。 ・「税率・税区分を印刷する」 「税率・税区分を印刷する」 「税率・税区分を印刷する」 「税率・税区分を印刷する」 「税率・税区分を印刷する」 「税率・税区分を印刷する」 「税率・税区分を印刷する」 「税率の計算方法(メインメニューの[導入処理]-[消費税基本登録]-[消費税基本登録]メ
 ▼例 平成25年4月5日 → 平成25/4/5 ・証憑No.にファイルが添付されている場合は、ファイル名が表示されるようになりました。 伝票リスト(新:未承認リスト)の印刷で、行の縦幅が縮小され、1ページに印刷できる明細数が増えました。 伝票リスト(新:未承認リスト)の印刷 ・担当者が「0:その他」の場合でも印刷されるようになりました。 ・回収方法コードを印刷できるようになりました。 ・証憑No.にファイルが添付されている場合は、ファイル名が表示されるようになりました。 単票債権伝票の印刷で、印刷するページを指定できるようになりました。 【設定箇所】 【債権伝票承認 - 印刷等条件設定]画面の[印刷設定]ページ 単票債権伝票の印刷で、以下の情報を印刷できるようになりました。 プロジェクト・サブプロジェクト・セグメント1・セグメント2 【設定箇所】 【債権伝票承認 - 印刷条件設定]画面の[詳細設定]ページ 単票債権伝票の印刷で、以下の設定が追加されました。 ・「税率・税区分を印刷する」 「税率・税区分を印刷する」 「税率・税区分を印刷する」 「税率・税区分を印刷する」 「税率・税区分を印刷する」 「税率だけ印刷」、「税率・税区分を印刷」を指定可能 ※消費税の計算方法(メインメニューの[導入処理]-[消費税基本登録]-[消費税基本登録]メニューの【消費税申告書設定】で設定)が「簡易課税」の場合は、以下の設定です。
 ▼例 平成25年 4月 5日 → 平成25/4/5 ・証憑No. にファイルが添付されている場合は、ファイル名が表示されるようになりました。 伝票リスト(新:未承認リスト)の印刷で、行の縦幅が縮小され、1ページに印刷できる明細数が増えました。 伝票リスト(新:未承認リスト)の印刷 ・担当者が「0:その他」の場合でも印刷されるようになりました。 ・回収方法コードを印刷できるようになりました。 ・証憑No. にファイルが添付されている場合は、ファイル名が表示されるようになりました。 ・証憑No. にファイルが添付されている場合は、ファイル名が表示されるようになりました。 (設定箇所) (債権伝票承認 - 印刷等条件設定)画面の[印刷設定]ページ 単票債権伝票の印刷で、以下の情報を印刷できるようになりました。 プロジェクト・サブプロジェクト・セグメント1・セグメント2 【設定箇所) (債権伝票承認 - 印刷条件設定)画面の[詳細設定]ページ 単票債権伝票の印刷で、以下の設定が追加されました。 ・「税率・税区分を印刷する」 「税率だけ印刷」、「税区分だけ印刷」、「税率・税区分を印刷」を指定可能 ※消費税の計算方法(メインメニューの[導入処理]-[消費税基本登録]-[消費税基本登録]メニューの[消費税申告書設定]で設定)が「簡易課税」の場合は、以下の設定です。 「税率・税区分・事業区分を印刷する」

転送で、出力する項目は、[債権伝票承認 - 条件設定]画面の[項目選択]ページで設定できる ようになりました。
転送で、金額は「数値」、日付は「日付」の書式で出力されるようになりました。
※この機能追加に伴い、日付の表示形式も変更されました。
変更前
債権伝票承認:2013/04/01
債権伝票履歴:2013年04月01日
変更後
債権伝票承認:2013/4/1
転送で、合計行と区別できるように、明細の出力開始位置が右に1列移動しました。
転送で、以下の項目のタイトルが変更されました。
・「伝票No.」→「伝票No.」
・「証憑No.」→「証憑No.」
・「決算月」→「整理区分」
・「取引先」→「請求先コード」
 「(取引先名1)」→「請求先名1」
・「回収方法」→「回収方法名」
※「回収方法コード」も出力されるようになりました。
・「担当者」→「担当者コード」
・「(担当者名)」→「担当者名」
≪債務振替相殺処理≫
振替取消機能が追加されました。
※この機能追加に伴い、[債権管理]-[履歴管理]-[債権伝票履歴]メニューの振替取消機能は廃
止されました。
マイナス債務の振替状態の参照機能が追加されました。
検索対象の絞込条件が追加されました。
※この機能追加に伴い、[基本条件]ページの絞込条件項目はリストから選択する形式に変更さ
れ、[詳細条件]ページの設定方法が変更されました。
また、[摘 要]ページ、[登録情報]ページ、[利用情報]ページ、[付 箋]ページ、[消費税]
ページが追加されました。
[出力順]ページで、検索結果の並び順を詳細に設定できるようになりました。
振替画面の項目名、項目の配置が変更されました。
債権区分や債権科目を一括変更できる機能が追加されました。
※この機能追加に伴い、債権日付を一括変更する際の操作方法が変更されました。
印刷、転送で、合計行の出力設定ができるようになりました。
【設定箇所】
[債務振替相殺処理 - 印刷等条件設定]画面の[基本設定]ページ
印刷・転送で、支払先コードの出力設定ができるようになりました。
また、印刷時のフォントサイズを指定できるようになりました。
※この機能追加に伴い、[詳細設定]ページが追加され、マスターコードの出力設定は[詳細設 定]ページに移動しました。
転送で、合計行と区別できるように、明細の出力開始位置が右に1列移動しました。
≪ファクタリング債権入力≫
印刷・転送で、合計行の出力設定ができるようになりました。
【記点做記】

≪債権伝票履歴≫

集計対象に以下のデータが追加されました。

• 債権残高

・未承認の債権伝票

入金消込済みで、入金伝票に「最終承認」が付与されている債権伝票については、入金伝票 も出力されるようになりました。

※この機能追加に伴い、印刷レイアウト・転送レイアウトを変更も変更されました。

集計対象の絞込条件項目が追加されました。

※この機能追加に伴い、[基本条件]ページの絞込条件項目はリストから選択する形式になりました。

債権伝票承認([導入処理]-[運用設定]-[債権債務運用設定]メニューの[債権基本設定]ページ で設定)が「1:1段階承認」「2:2段階承認」の場合の承認取消機能が廃止されました。 ※承認の取消は、[債権管理]-[売上債権処理]-[債権伝票承認]メニューで行うようになりまし た。

[出力順]ページで、検索結果の並び順を詳細に設定できるようになりました。 ※この機能追加に伴い、当バージョンにバージョンアップすると、以前のバージョンで設定した並び順が初期化されます。

出力する項目、項目の並び順を設定できるようになりました。 ※この機能追加に伴い、[項目選択]ページが追加されました。

【随時処理】

≪伝票データー括削除≫(伝票設定:債権残高データ) ※新メニュー名:[債権残高データー括削除]メニュー

[導入処理]-[残高入力]-[債権残高入力]メニューと同様の絞込条件を指定できるようになり ました。

≪伝票データー括削除≫(伝票設定:債権伝票データ) ※新メニュー名:[債権伝票データー括削除]メニュー

[債権管理]-[売上債権処理]-[債権伝票入力]メニューと同様の絞込条件を指定できるようになりました。

● メニューの名称および構成が変更されました。

注意

機能アップによって新しく追加されたメニューが画面に表示されない場合は、[権限 管理]メニューで利用者ごとにメニュー権限を設定してください。

〇伝票データー括削除メニューの分割

[随時処理]-[データー括削除]-[伝票データー括削除]メニューは、削除対象の伝票ごとに メニューが分割されました。

変更前	変更後
[随時処理]-[データー括削除]	[随時処理]-[データー括削除]
-[伝票データー括削除]メニュー	
	〇債権残高
	-[マスターデーター括削除]
	-[債権残高データー括削除]メニュー
	〇債権伝票
	-[債権データー括削除]
	-[債権伝票データー括削除]メニュー

● 帳票別プリンタ登録できる帳票が追加されました。

以下の帳票について、初期値として表示するプリンタをメインメニューの[導入処理]-[運用 設定]-[帳票別プリンタ登録]メニューで登録できるようになりました。

これにより、[プリンタ設定]ページで初期値として表示される内容が、以下のとおり変更に なります。

変更前	変更後
全項目とも、前回の印刷時に設定した内	[帳票別プリンタ登録]メニューでプリン
容	タが登録されているかによって、異なり
※初回起動時は、「通常使うプリンタ」	ます。
の内容が表示されます。	〇登録済みの場合
	全項目とも、常に帳票別プリンタ登録
	の内容
	※帳票別プリンタ登録が利用者ごとの
	設定であれば、印刷時の「サイズ」
	「印刷の向き」「余白・位置調整」
	「倍率」の変更は、帳票別プリンタ
	登録に反映します。
	〇未登録の場合
	「プリンタ名」「給紙方法」は、常に
	「通常使うプリンタ」の内容
	「サイズ」「印刷の向き」「余白・位
	置調整」は、前回の印刷時に設定した
	内容

注意

この機能アップのため、当バージョンにバージョンアップすると、以前のバージョンで設定 した内容が初期値として表示されなくなります。

帳票を印刷する前に、メインメニューの[導入処理]-[運用設定]-[帳票別プリンタ登録]メニ ューで初期値として表示するプリンタを登録してください。

※[帳票別プリンタ登録]メニューの登録をしない場合は、常に「通常使うプリンタ」が初期値 として表示されます。

≪ 対象帳票 ≫

- ・債権伝票リスト([債権管理]-[売上債権処理]-[債権伝票承認]メニュー)
- ・債権伝票未承認リスト([債権管理]-[売上債権処理]-[債権伝票承認]メニュー)
- ・債権伝票([債権管理]-[売上債権処理]-[債権伝票承認]メニュー)
- ・振替相殺明細リスト([債権管理]-[相殺処理]-[債務振替相殺処理]メニュー)
- ・債権伝票履歴リスト([債権管理]-[履歴管理]-[債権伝票履歴]メニュー)



財務会計システム 勘定奉行V ERP

機能アップガイド



【全般】

帳票別プリンタ登録できる帳票が追加されました。 ※詳細は、7ページをご参照ください。

【導入処理】

≪債権残高入力≫

[請求先情報]([F7]キー)を押すと開く[請求先情報]画面で以下の項目が追加されました。

・「与信残高金額」

また、与信額計算対象([導入処理]-[運用設定]-[債権債務運用設定]メニューの[債権基本設 定]ページで設定)が「0:手形債権含める」の場合は、「現在債権科目残高」が「現在債権 残高」と「現在手形債権残高」に分れて表示されるようになりました。

【債権管理】

≪債権伝票入力≫

[請求先情報]([F7]キー)を押すと開く[請求先情報]画面で以下の項目が追加されました。

「与信残高金額」

また、与信額計算対象([導入処理]-[運用設定]-[債権債務運用設定]メニューの[債権基本設 定]ページで設定)が「0:手形債権含める」の場合は、「現在債権科目残高」が「現在債権 残高」と「現在手形債権残高」に分れて表示されるようになりました。

≪入金情報登録≫

以下の絞込条件項目が追加されました。

[基本条件]ページ

・伝票No.

[登録情報]ページ

※ページが追加されました。

- ・伝票区分
- 承認状態
- 消込状態
- 仮受金処理状態

[基本条件]ページの「登録区分」は[登録情報]ページに移動しました。

[項目選択]ページの選択項目に、以下の項目が追加されました。

- ・承認状態
- 消込状態

仮受金処理状態

印刷・転送で、出力設定ができる項目が追加されました。

※この機能追加に伴い、[詳細設定]ページの設定方法が変更されました。

また、[セグメント]ページ、[プロジェクト]ページは、[詳細設定]ページに統合されました。

≪締単位入金消込≫

回収予定確定基準 ([導入処理]-[運用設定]-[債権債務運用設定]メニューの[請求支払設定] ページで設定)が「1:伝票単位」の場合は、当メニューが表示されなくなりました。

≪債権振替相殺処理≫

振替取消機能が追加されました。

※この機能追加に伴い、[債務伝票履歴]メニューの振替取消機能は廃止されました。

マイナス債権の振替状態の参照機能が追加されました。

検索対象の絞込条件が追加されました。

※この機能追加に伴い、[基本条件]ページの絞込条件項目はリストから選択する形式に変更され、[詳細条件]ページの設定方法が変更されました。

また、[摘 要]ページ、[登録情報]ページ、[利用情報]ページ、[付 箋]ページ、[消費税] ページが追加されました。

[出力順]ページで、検索結果の並び順を詳細に設定できるようになりました。

振替画面の項目名、項目の配置が変更されました。

債務区分や債務科目を一括変更できる機能が追加されました。

※この機能追加に伴い、債務日付を一括変更する際の操作方法が変更されました。

印刷、転送で、合計行の出力設定ができるようになりました。

【設定箇所】

[債権振替相殺処理 - 印刷等条件設定]画面の[基本設定]ページ

印刷・転送で、請求先コードの出力設定ができるようになりました。

また、印刷時のフォントサイズを指定できるようになりました。

※この機能追加に伴い、[詳細設定]ページが追加され、マスターコードの出力設定は[詳細設 定]ページに移動しました。

転送で、合計行と区別できるように、明細の出力開始位置が右に1列移動しました。

≪受取手形てん末変更≫

処理選択の名称が変更されました。

「取消」→「てん末取消」

≪受取手形一括決済≫

処理選択の名称が変更されました。

「取消」→「てん末取消」

≪ファクタリング債権てん末変更≫

処理選択の名称が変更されました。 「取消」→「てん末取消」

≪ファクタリング債権一括決済≫

処理選択の名称が変更されました。

「取消」→「てん末取消」

≪滞留債権年齢表≫

集計結果の画面表示機能が追加されました。

集計条件のパターン登録機能が追加されました。

※この機能追加に伴い、いままでは利用者ごとに前回条件を保持していましたが、これからは パターンごとに前回条件を保持するようになりました。

このため、当バージョンにバージョンアップすると、以前のバージョンで設定した集計条件 が初期化されます。

「債権残高年齢表」を出力できるようになりました。

【設定箇所】

[滞留債権年齡表 - 条件設定]画面の[基本条件]ページ

「集計基準」

年齢の間隔や、集計する年齢の範囲を指定できるようになりました。

また、最大12期間分を集計できるようになりました。 【設定箇所】 [滞留債権年齢表 - 条件設定]画面の[基本条件]ページ 「年齢基準」
指定できる集計単位が追加されました。
また。集計単位の組み合わせを指定できるようになりました。
未計対象の被込来件項目が追加されました。 ※この機能追加に伴い、[基本条件]ページの絞込条件項目はリストから選択する形式に変更さ
れました。 また、[基本条件2]ページ、[セグメント]ページ、[プロジェクト]ページ、[摘 要]ペー ジ、[付 箋]ページが追加されました。
[表示設定]ページは、名称が[出力順]ページに変更され、表示基準の優先順位や、表示順
(昇順/降順)を自由に設定できるようになりました。
※この機能追加に伴い、「項目選択」ページが追加されました。
・ 階層形式のレイアウトで出力する機能が追加されました
印刷、転送で、回収予定サイト(「翌月月末」など)や締日区分名(「月末締の」など)を
出力するかを選択でさるようになりました。
□「滞留債権年齢表 - 印刷等条件設定」画面の「詳細条件」ページの「拡張設定」
網掛け印刷など、指定できる印刷オプションが追加されました。
印刷で、用紙サイズの初期値が変更されました。
$\lceil B 4 floor ightarrow \lceil A 4 floor$
印刷、転送で、基準日の表示が変更されました。
「年月日現在」→「年月日」
集計条件のパターン発録機能が追加されました

パターンごとに前回条件を保持するようになりました。
このため、当バージョンにバージョンアップすると、以前のバージョンで設定した集計条件
が初期化されます。
集計日付の制限が廃止されました。
◎ 変更前
~~··· 選択会計期間だけ
│
選択会計期間、および選択会計期間より前の日付
[表示設定]ページは、名称が[出力順]ページに変更され、表示基準の優先順位や、表示順
四川9 る頃日、頃日の业い順を設定でさるようになりました。
※この彼能追加に行い、「項日迭板」ペーンが追加されました。
│ 表示する請求先名を「請求先名1」「請求先名2」「請求先名1・2」「請求先略称」から │

選択できるようになりました。

印刷・転送設定
・計行の出力設定は、[印刷等条件設定]画面の[基本条件]ページに移動しました。
印刷で、日付項目の書式が変更されました。
西暦:2012/02/01 → 2012/ 2/ 1
和暦:24/02/01 → 24/2/1
西暦: 2012/02/01 → 2012/2/1
和暦:平成24年02月01日 → 平成24年2月1日
※この機能追加に伴い、いままでは利用者ごとに前回条件を保持していましたが、これからは
パターンごとに前回条件を保持するようになりました。
このため、当バージョンにバージョンアップすると、以前のバージョンで設定した集計条件
が初期化されます。
指定できる集計単位が追加されました。
また、集計単位の組み合わせを指定できるようになりました。
※この機能追加に伴い、集計単位の設定方法が変更されました。
集計対象の絞込条件項目が追加されました。
※この機能追加に伴い、[基本条件]ページの絞込条件項目はリストから選択する形式になりま
した。
集計日付の制限が廃止されました。
変更前
選択会計期間だけ
変更後
選択会計期間、および選択会計期間より前の日付
[表示設定]ページは、名称が[出力順]ページに変更され、表示基準の優先順位や、表示順
(昇順/降順)を自由に設定できるようになりました。
出力する項目、項目の並び順を設定できるようになりました。
※この機能追加に伴い、[項目選択]ページが追加されました。
表示する請求先名を「請求先名1」「請求先名2」「請求先名1・2」「請求先略称」から
選択できるようになりました。
印刷・転送設定
・階層形式のレイアウトで出力する機能が追加されました。
・計行の出力設定は、[印刷等条件設定]画面の[基本条件]ページに移動しました。
・部門以外の集計単位でも改ページできるようになりました。
印刷・転送レイアウト
・集計条件の表示が変更されました。
・帳票タイトルにはパターン名が出力されるようになりました。
・転送で、計行の出力レイアウトが変更されました。
・転送で、金額は「数値」、日付は「日付」の書式で出力されるようになりました。
≪与信残高一覧表≫
集計結果の画面表示機能が追加されました。

集計条件のパターン登録機能が追加されました。

※この機能追加に伴い、いままでは利用者ごとに前回条件を保持していましたが、これからは パターンごとに前回条件を保持するようになりました。

このため、当バージョンにバージョンアップすると、以前のバージョンで設定した集計条件 が初期化されます。

指定できる集計単位が追加されました。

また、集計単位の組み合わせを指定できるようになりました。

※この機能追加に伴い、集計単位の設定方法が変更されました。

集計対象の絞込条件項目が追加されました。

※この機能追加に伴い、[基本条件]ページの絞込条件項目はリストから選択する形式になりました。

集計日付の制限が廃止されました。

変更前

選択会計期間だけ

変更後

選択会計期間、および選択会計期間より前の日付

[表示設定]ページは、名称が[出力順]ページに変更され、表示基準の優先順位や、表示順 (昇順/降順)を自由に設定できるようになりました。

出力する項目、項目の並び順を設定できるようになりました。

※この機能追加に伴い、[項目選択]ページが追加されました。

与信額計算対象([導入処理]-[運用設定]-[債権債務運用設定]メニューの[債権基本設定]ペ ージで設定)が「0:手形債権含める」の場合に、債権残高を「債権残高」と「手形債権残 高」に分けて出力できるようになりました。

未承認、承認済の金額の出力方法が変更されました。

変更前

「債権残高(合計)」「債権残高(未承認)」「債権残高(承認済)」を出力

変更後

「債権残高」だけを出力し、「債権残高に未承認の債権金額も含める」のチェックによっ て集計対象を切替

表示する請求先名を「請求先名1」「請求先名2」「請求先名1・2」「請求先略称」から 選択できるようになりました。

印刷・転送設定

・階層形式のレイアウトで出力する機能が追加されました。

・計行の出力設定は、[印刷等条件設定]画面の[基本条件]ページに移動しました。

・部門以外の集計単位でも改ページできるようになりました。

前受金、非連結入金、仮受金の計上するタイミングを指定できるように変更

【設定箇所】

[与信残高一覧表 - 条件設定]画面の[基本条件]ページ

「消込金額集計基準」

「仮受金を消込金額として集計する」

【随時処理】

≪入金情報データ作成≫

以下の絞込条件項目が追加されました。

[基本設定]ページ

・伝票No.

[登録情報]ページ ※ページが追加されました。 ・伝票区分 承認状態 消込状態 仮受金処理状態 [基本条件]ページの「登録区分」は[登録情報]ページに移動しました。 [項目選択]ページの選択項目に、以下の項目が追加されました。 ・承認状態 消込状態 仮受金処理状態 【自動実行管理】 ≪自動実行入金情報データ作成≫ 以下の絞込条件項目が追加されました。 [基本設定]ページ ・伝票No. [登録情報]ページ ※ページが追加されました。 ・伝票区分 承認状態 ・消込状態 ・仮受金処理状態 [基本設定]ページの「登録区分」は[登録情報]ページに移動しました。 [項目選択]ページの選択項目に、以下の項目が追加されました。 ・承認状態 ・消込状態 仮受金処理状態

● 帳票別プリンタ登録できる帳票が追加されました。

以下の帳票について、初期値として表示するプリンタをメインメニューの[導入処理]-[運用 設定]-[帳票別プリンタ登録]メニューで登録できるようになりました。

これにより、[プリンタ設定]ページで初期値として表示される内容が、以下のとおり変更に なります。

変更前	変更後
変更前 全項目とも、前回の印刷時に設定した内 容 ※初回起動時は、「通常使うプリンタ」 の内容が表示されます。	変更後 [帳票別プリンタ登録]メニューでプリン タが登録されているかによって、異なり ます。 〇登録済みの場合 全項目とも、常に帳票別プリンタ登録 の内容 ※帳票別プリンタ登録が利用者ごとの 設定であれば、印刷時の「サイズ」 「印刷の向き」「余白・位置調整」 「倍率」の変更は、帳票別プリンタ 登録に反映します。 〇未登録の場合 「プリンタ名」「給紙方法」は、常に 「通常使うプリンタ」の内容 「サイズ」「印刷の向き」「余白・位 署調整」は、前回の印刷時に認定した
	内容

注意

この機能アップのため、当バージョンにバージョンアップすると、以前のバージョンで設定 した内容が初期値として表示されなくなります。

帳票を印刷する前に、メインメニューの[導入処理]-[運用設定]-[帳票別プリンタ登録]メニ ューで初期値として表示するプリンタを登録してください。

※[帳票別プリンタ登録]メニューの登録をしない場合は、常に「通常使うプリンタ」が初期値 として表示されます。

≪ 対象帳票 ≫

- ・振替相殺明細リスト([債権管理]-[相殺処理]-[債権振替相殺処理]メニュー)
- ・滞留債権年齡表([債権管理]-[管理帳票]-[滞留債権年齡表]メニュー)
- ・仮受金一覧表([債権管理]-[管理帳票]-[仮受金一覧表]メニュー)
- ・前受金残高一覧表([債権管理]-[管理帳票]-[前受金残高一覧表]メニュー)
- ・与信残高一覧表([債権管理]-[管理帳票]-[与信残高一覧表]メニュー)



機能アップガイド



< Ver.2.03/Ver.2.02/Ver.2.01/Ver.2.00 >





【ノー
メニューの名称および構成を変更
※詳細は、10ページをご参照ください。
【全般】
帳票別プリンタ登録に対応
※詳細は、10ページをご参照ください。
ファクタリングや期日現金の場合でも、過入金での入金消込、ステータス「2:仮受金」 「4:前受金」の処理ができるように変更
※以下のように「ファクタリング会社」を設定して、請求先とファクタリング会社を区別して
いる入金情報については、過入金での入金消込、ステータス「2:仮受金」「4:前受金」の 処理はできません。
● 「債権管理]-「ファクタリング処理]-「ファクタリング債権入力]メニューで、請求先とは別
の取引先を「ファクタリング会社」に設定した入金情報
・請求先とは別の取引先が「ファクタリング会社」に設定されている回収方法の入金情報
【関連メニュー】
- 「「「「「「「「」」」」」」 - 「「」」」 - 「」」 - 「」」 - 「」」 - 「」」 - 「」」 - 「」」 - 「」」 - 「」」 - 「」」 - 「」」 - 「」」 - 「」」 - 「」」 - 「」」 - 「」」 - 「」」 - 「」」 - 「」」 - 「」」 - 「」」 - 「」」 - 「」」 - 「」」 - 「」」 - 「」」 - 「」」 - 「」」 - 「」」 - 「」」 - 「」」 - 「」」 - 「」」 - 「」」 - 「」」 - 「」」 - 「」」 - 「」」 - 「」」 - 「」」 - 「」」 - 「」」 - 「」」 - 「」」 - 「」」 - 「」」 - 「」」 - 「」」 - 「」」 - 「」」 - 「」」 - 「」」 - 「」」 - 「」」 - 「」」 - 「」」 - 「」」 - 「」」 - 「」」 - 「」」 - 「」」 - 「」」 - 「」」 - 「」」 - 「」」 - 「」」 - 「」」 - 「」」 - 「」」 - 「」」 - 「」」 - 「」」 - 「」」 - 「」」 - 「」」 - 「」」 - 「」」 - 「」」 - 「」」 - 「」」 - 「」」 - 「」」 - 「」」 - 「」」 - 「」」 - 「」」 - 「」 - 「」 - 」 -
・[債権管理]-[入金処理]-[締単位入金消込]メニュー
・[債権管理]-[入金処理]-[一括入金消込]メニュー
・[債権管理]-[入金処理]-[個別入金消込]メニュー
「 [] [] [] [] [] [] [] [] [] []
[請水又払設定」へーンに「御人並額の集計奉华」を追加 「1」 ※11 其進」に記中すてし、読む書の知るのなまる※11 会感だましに集計可能
: 川込基準」に設定9 ると、胡米香の御八並祖を八並用込並祖をもとに集計可能
ファクタリングと期日現金の回収種別を分離
「6:ファクタリング・期日現金」
「6:ファクタリング」
「7:期日現金」
※以前のバージョンで「6:ファクタリング・期日現金」に設定して登録した回収方法は、
「6:ファクタリンク」にコンバートされます。
また、「0:ファクダリンク」でも、今までとおり期日現金の処理かできます。
□ 四収 悝 別 か 10: ノア クタリンク」の 場合に □ ノア クタリンク 会社」を設定できるように変更
▲ していたいでは、「「「「「」」」
 ▲ 【唯残高人力》 以下のマスター登録画面へのジャンプ機能を追加 ・請求先

・任意項目

残高伝票を検索する際の詳細条件([債権残高入力 - 条件設定]画面の[詳細条件]ページ) に、部門グループなどの検索対象を追加

明細行の間隔は、画面の右上のアイコンで設定するように変更

≪前受金残高入力≫

[出力順]ページを追加し、並び順を詳細に設定できるように変更

以下のマスター登録画面へのジャンプ機能を追加

・請求先

・回収方法

前受金残高を検索する際の詳細条件([前受金残高入力 - 条件設定]画面の[詳細条件]ページ)で、部門の範囲指定や複数指定ができるように変更

※この変更に伴い、[詳細条件]ページの設定方法が変更されました。

【債権管理】

≪債権伝票入力≫

以下のマスター登録画面へのジャンプ機能を追加

- ・請求先
- ・担当者
- 回収方法
- ・商品
- 債権区分

任意項目

債権伝票を検索する際の詳細条件([債権伝票入力 - 条件設定]画面の[詳細条件]ページ) に、部門グループなどの検索対象を追加

明細行の間隔は、画面の右上のアイコンで設定するように変更

≪債権伝票No. 自動付番設定≫

初期No. (会計期首や月初など、最初の伝票に付番する伝票No.)を設定できるように変更

≪債権データ抽出≫

以下のマスター登録画面へのジャンプ機能を追加

回収方法

・商品

≪回収予定変更≫

画面の固定位置は、[出力設定]ページの「--固定位置--」で設定するように変更

表示単位が「債権伝票」の場合に、仕訳伝票No.を指定して検索できるように変更 【設定箇所】

[回収予定変更 - 条件設定]画面の[詳細条件]ページ

≪請求書発行≫

ファクタリングと期日現金の回収種別の分離に伴い、回収方法の表示を変更

変更前

「ファクタリング・期日現金」

変更後

「ファクタリング」

「期日現金」

請求書の御入金額を入金消込金額をもとに集計できるように変更

【設定箇所】 [債権債務運用設定]メニューの[請求支払設定]ページの「1:消込基準」 ≪FBデータ取込≫ ※新メニュー名:[FB入金外部ファイル受入]メニュー 受入時のチェック内容を変更 ※詳細は、11ページをご参照ください。 以下の設定の設定箇所を変更 「同一請求先かつ同一日付のFBデータに対応する処理」 「請求先マッチング方法」 【設定箇所】 [FB入金処理設定]メニューの「同一入金日データの作成方法」「マッチングキー項目」 ※[FB入金処理設定]メニューは、新しく追加されたメニューのため、利用者のメニュー権限 を設定する必要があります。 【設定保持単位】 利用者ごと→利用者共通 ファイル種類が自動判定されるように変更 ※ファイル種類を指定して受け入れることもできます。 【設定箇所】 [FB入金外部ファイル受入 - 受入条件設定]画面の [詳細設定] ボタン 振込入金通知のフォーマットBのファイルも受け入れられるように変更 ≪入金情報登録≫ 集計対象の絞込条件項目を追加 ※この変更に伴い、[基本条件]ページ、[詳細条件]ページの設定方法が変更されました。 出力する項目、項目の並び順を設定できるように変更 ※この変更に伴い、[項目選択]ページが追加されました。 並び順を詳細に設定できるように変更 ※この変更に伴い、[出力順]ページの設定方法が変更されました。 参照機能を追加し、すべての入金情報を参照できるように変更 ※この変更に伴い、絞込条件として、[摘 要]ページ、[付 箋]ページが追加されました。 ステータス「2:仮受金」「3:非連結」「4:前受金」「5:対象外」の取消機能を追加 入力項目を追加 ・セグメント、プロジェクト ステータス「2:仮受金」「3:非連結」「4:前受金」の場合に、仮受金/非連結/前受金の部 門など、詳細を入力できるように変更 ステータスの名称を変更 また、登録区分が「汎用」「手入力」の場合にもステータス「5:対象外」を設定できるよう に変更 「5:期日現金」→「5:対象外」 マッチングできなかったFB入金データに請求先を指定する際の操作方法を変更 ※マッチングできなかったFB入金データがある場合は、[未作成FB] (F11)が表示されま す。[未作成FB] (F11)で[入金情報登録 - 入金情報未作成FBデーター覧]画面を開 き、請求先を指定します。 付箋機能を追加 関連データの参照機能を追加 受取手形

・ファクタリング

期日現金

・領収証

ステータスが「0:未確定」であれば、入金金額が0円でも登録できるように変更

ー括削除の操作方法を変更

ステータス、入金日付の一括変更の操作方法を変更

以下のマスター登録画面へのジャンプ機能を追加

・請求先

・回収方法

≪受取手形入力≫

受取手形を検索する際の日付条件の指定方法を変更

受取手形を検索する際の詳細条件で、部門の範囲指定や複数指定ができるように変更

備考の入力方法を変更

≪受取手形てん末変更≫

受取手形を検索する際の日付条件の指定方法を変更

受取手形を検索する際の詳細条件で、部門の範囲指定や複数指定ができるように変更

画面の固定位置は、[出力設定]ページの「--固定位置--」で設定するように変更

≪受取手形一括決済≫

受取手形を検索する際の日付条件の指定方法を変更

受取手形を検索する際の詳細条件で、部門の範囲指定や複数指定ができるように変更

画面の固定位置は、[出力設定]ページの「--固定位置--」で設定するように変更

≪ファクタリング債権入力≫

ファクタリング会社が設定されている回収方法を入力した場合は、ファクタリング会社が初 期表示されるように変更

ファクタリングと期日現金の回収種別の分離に伴い、回収方法を入力する際に、処理区分 (ファクタリング/期日現金)に応じた回収種別の回収方法が検索されるように変更 処理区分「ファクタリング」の場合は、回収種別「6:ファクタリング」の回収方法 処理区分「期日現金」の場合は、回収種別「6:ファクタリング」「7:期日現金」の回収方 法

ファクタリング債権を検索する際の日付条件の指定方法を変更

ファクタリング債権を検索する際の詳細条件で、部門の範囲指定や複数指定ができるように 変更

備考の入力方法を変更

≪ファクタリング債権てん末変更≫

ファクタリング債権を検索する際の日付条件の指定方法を変更

ファクタリング債権を検索する際の詳細条件で、部門の範囲指定や複数指定ができるように 変更

画面の固定位置は、[出力設定]ページの「--固定位置--」で設定するように変更

≪ファクタリング債権一括決済≫

ファクタリング債権を検索する際の日付条件の指定方法を変更

ファクタリング債権を検索する際の詳細条件で、部門の範囲指定や複数指定ができるように 変更 画面の固定位置は、[出力設定]ページの「--固定位置--」で設定するように変更

≪回収予定表≫

集計条件のパターン登録機能を追加

※この変更に伴い、いままでは利用者ごとに前回条件を保持していましたが、これからはパタ ーンごとに前回条件を保持するようになりました。

このため、当バージョンにバージョンアップすると、以前のバージョンで設定した集計条件 が初期化されます。

指定できる集計単位を追加

また、集計単位の組み合わせを指定できるように変更

※この変更に伴い、集計単位の設定方法が変更されました。

集計対象の絞込条件項目を追加

※この変更に伴い、絞込条件項目はリストから選択する形式に変更されました。

集計日付の制限を廃止

表示基準の優先順位や、表示順(昇順/降順)を自由に設定できるように変更

※この変更に伴い、[表示設定]ページは、名称が[出力順]ページに変更され、設定方法も変更 されました。

出力する項目、項目の並び順を設定できるように変更

※この変更に伴い、[項目選択]ページが追加されました。

表示する請求先名を「請求先名1」「請求先名2」「請求先名1・2」「請求先略称」から 選択できるように変更

集計結果の画面表示で以下の変更

- ・レイアウトを表形式から階層形式に変更
- ・列の幅をマウスで調整できるように変更

・集計条件の表示を変更

印刷・転送の設定で以下の変更

・階層形式のレイアウトで出力する機能を追加

・計行の出力設定を、[印刷等条件設定]画面の[基本条件]ページに移動

・部門以外の集計単位でも改ページできるように変更

印刷・転送で以下の変更

・集計条件の表示を変更

・帳票タイトルにはパターン名が出力されるように変更

・転送で、計行の出力レイアウトを変更

・転送で、金額は「数値」、日付は「日付」の書式で出力されるように変更

絞込条件として、複数の債権科目を同時に指定できるように変更

※この変更に伴い、債権科目は[回収予定表 - 条件設定]画面の[基本条件2]ページで設定する ように変更されました。

未入金金額と債権金額を同時に集計できるように変更

全額消込済みの債権明細も集計できるように変更

【設定箇所】

[回収予定表 - 条件設定]画面の[詳細条件]ページ

絞込条件として、摘要と付箋を指定できるように変更

※この変更に伴い、[摘 要]ページ、[付 箋]ページが追加されました。

※回収予定確定基準([導入処理]-[運用設定]-[債権債務運用設定]メニューの[請求支払設定] ページで設定)が「0:請求書単位」の場合は指定できません。

整理仕訳の管理方法([導入処理]-[運用設定]-[債権債務運用設定]メニューの[請求支払設

定]ページで設定)が「1:日常仕訳と区別する」の場合は、常に「振戻仕訳・整理仕訳を集 計しない」を指定できるように変更

部門権限による制限を緩和

※詳細は、操作説明の「部門権限の制限内容一覧」をご参照ください。

網掛け印刷など、指定できる印刷オプションを追加

印刷の向き「縦方向」やA3などA4以上の用紙サイズに対応

回収予定確定基準([導入処理]-[運用設定]-[債権債務運用設定]メニューの[請求支払設定] ページで設定)が「0:請求書単位」の場合の集計条件「仮発行の請求書を含める」の設定箇 所を変更

【設定箇所】

[回収予定表 - 条件設定]画面の[詳細条件]ページ

日付項目の書式を変更

西暦:12/02/29 → 2012/2/29

和暦:24/02/29 → 24/2/29

印刷、転送で、回収予定サイト(「翌月月末」など)や締日区分名(「月末締め」など)を 出力するかを選択できるように変更

【設定箇所】

[回収予定表 - 印刷等条件設定]画面の[詳細条件]ページの「拡張設定」

≪入金集計表≫

集計条件のパターン登録機能を追加

- ※この変更に伴い、いままでは利用者ごとに前回条件を保持していましたが、これからはパタ ーンごとに前回条件を保持するようになりました。
- このため、当バージョンにバージョンアップすると、以前のバージョンで設定した集計条件 が初期化されます。

指定できる集計単位を追加

また、集計単位の組み合わせを指定できるように変更

※この変更に伴い、集計単位の設定方法が変更されました。

集計対象の絞込条件項目を追加

※この変更に伴い、絞込条件項目はリストから選択する形式に変更されました。

集計日付の制限を廃止

表示基準の優先順位や、表示順(昇順/降順)を自由に設定できるように変更

※この変更に伴い、[表示設定]ページは、名称が[出力順]ページに変更され、設定方法も変更 されました。

出力する項目、項目の並び順を設定できるように変更 ※この変更に伴い、[項目選択]ページが追加されました。

表示する請求先名を「請求先名1」「請求先名2」「請求先名1・2」「請求先略称」から

選択できるように変更

印刷・転送の設定で以下の変更

・階層形式のレイアウトで出力する機能を追加

・計行の出力設定を、[印刷等条件設定]画面の[基本条件]ページに移動

・部門以外の集計単位でも改ページできるように変更

印刷・転送で以下の変更

・集計条件の表示を変更

・帳票タイトルにはパターン名が出力されるように変更

・転送で、計行の出力レイアウトを変更

 転送で、金額は「数値」、日付は「日付」の書式で出力されるように変更 集計結果の画面表示機能を追加 入金情報登録手数料入力が「1:入力する」の場合に、入金金額に手数料を含めて集計できる ように変更 ≪債権残高一覧表≫ 集計条件のパターン登録機能を追加 ※この変更に伴い、いままでは利用者ごとに前回条件を保持していましたが、これからはパタ ーンごとに前回条件を保持するようになりました。 このため、当バージョンにバージョンアップすると、以前のバージョンで設定した集計条件 が初期化されます。 指定できる集計単位を追加 また、集計単位の組み合わせを指定できるように変更 ※この変更に伴い、集計単位の設定方法が変更されました。 集計対象の絞込条件項目を追加 ※この変更に伴い、絞込条件項目はリストから選択する形式に変更されました。 集計日付の制限を廃止 表示基準の優先順位や、表示順(昇順/降順)を自由に設定できるように変更 ※この変更に伴い、[表示設定]ページは、名称が[出力順]ページに変更され、設定方法も変更 されました。 出力する項目、項目の並び順を設定できるように変更 ※この変更に伴い、[項目選択]ページが追加されました。 表示する請求先名を「請求先名1」「請求先名2」「請求先名1・2」「請求先略称」から 選択できるように変更 集計結果の画面表示で以下の変更 ・レイアウトを表形式から階層形式に変更 ・列の幅をマウスで調整できるように変更 ・集計条件の表示を変更 印刷・転送の設定で以下の変更 ・階層形式のレイアウトで出力する機能を追加 計行の出力設定を、[印刷等条件設定]画面の[基本条件]ページに移動 ・部門以外の集計単位でも改ページできるように変更 印刷・転送で以下の変更 集計条件の表示を変更 ・帳票タイトルにはパターン名が出力されるように変更 ・転送で、計行の出力レイアウトを変更 ・転送で、金額は「数値」、日付は「日付」の書式で出力されるように変更 前受金、非連結入金、仮受金の計上するタイミングを指定できるように変更 【設定箇所】 [債権残高一覧表 - 条件設定]画面の[基本条件]ページ ≪債権残高確認書≫ 集計条件のパターン登録機能を追加 ※この変更に伴い、いままでは利用者ごとに前回条件を保持していましたが、これからはパタ ーンごとに前回条件を保持するようになりました。 このため、当バージョンにバージョンアップすると、以前のバージョンで設定した集計条件 が初期化されます。

表示基準の優先順位や、表示順(昇順/降順)を自由に設定できるように変更 ※この変更に伴い、[表示設定]ページは、名称が[出力順]ページに変更され、設定方法も変更 されました。 印字内容の設定箇所をまとめ、設定しやすいように変更 【設定箇所】 [債権残高確認書 - 印刷条件設定]画面の[出力設定]ページおよび[印刷設定]ページ ※この変更に伴い、[債権残高確認書 - 印刷条件設定]画面と[債権残高確認書 - 条件設定]画 面が統合されました。 ≪入金情報履歴≫ 仕訳伝票No.を指定して検索できるように変更 【設定箇所】 [入金情報履歴 - 条件設定]画面の[基本条件]ページ 【随時処理】 ≪回収方法データ作成≫ ファクタリングと期日現金の回収種別を分離に伴い、回収種別の表示を変更 変更前 「6:ファクタリング・期日現金」 変更後 「6:ファクタリング」 「7:期日現金」 ≪債権残高データ作成≫ マスターや区分など、値で設定する項目について、数値だけでなく、その内容も出力するよ うに変更 出力形式が「カンマ区切り」または「タブ区切り」の場合に、「入金済金額」「未入金金 額」など、出力項目を追加 集計対象の絞込条件項目を追加 ※この変更に伴い、[セグメント]ページ、[プロジェクト]ページは、[詳細条件]ページに統合 され、[基本設定]ページおよび[詳細条件]ページの設定方法が変更されました。 また、[摘 要]ページ、[登録情報]ページ、[利用情報]ページ、[付 箋]ページが追加され ました。

[出力順]ページを追加し、並び順を設定できるように変更

残高データが未登録でもメニューを起動できるように変更

摘要だけ、付箋だけの明細行も出力できるように変更

≪前受金残高データ作成≫

[詳細設定]ページで、部門の範囲指定や複数指定ができるように変更

出力形式が「カンマ区切り」または「タブ区切り」の場合に、出力項目に「取引先グループ」を追加

[出力順]ページを追加し、並び順を詳細に設定できるように変更

≪債権伝票データ作成≫

[詳細条件]ページに、部門グループなどの検索対象を追加

≪入金情報データ作成≫

集計対象の絞込条件項目を追加

※この変更に伴い、[基本設定]ページの設定方法が変更されました。

また、[詳細条件]ページ、[摘 要]ページ、[付 箋]ページが追加されました。
≪回収方法データ受入≫ ファクタリングと期日現金の回収種別を分離に伴い、回収種別の表示を変更 変更前 「6:ファクタリング・期日現金」 変更後 「6:ファクタリング」 「7:期日現金」 受入項目に「ファクタリング会社」追加 ≪債権残高データ受入≫ 実行結果を出力できるように変更 摘要だけ、付箋だけの明細行も受入できるように変更 操作ログの内容を変更 変更前 伝票日付、請求先コード、取引先名1、取引先名2 変更後 伝票日付、請求先コード、請求先略称 ≪入金情報データ受入≫ 受入項目に「セグメント1コード」「セグメント2コード」「プロジェクトコード」「サブ プロジェクトコード」「付箋色コード」「付箋メモ」を追加 ≪入金伝票データ作成≫ 絞込条件として、仕訳伝票の伝票区分を指定できるように変更 ※この変更に伴い、[登録情報]ページが追加されました。 【自動実行管理】 ≪自動実行入金情報データ作成≫ 集計対象の絞込条件項目を追加 ※この変更に伴い、[基本設定]ページの設定方法が変更されました。 また、[詳細条件]ページ、[摘 要]ページ、[付 箋]ページが追加されました。 ≪自動実行入金情報データ受入≫ 受入項目に「セグメント1コード」「セグメント2コード」「プロジェクトコード」「サブ プロジェクトコード」「付箋色コード」「付箋メモ」を追加 【管理ツール】 ≪登録件数情報≫

入金情報の登録件数を追加

また、[データタイプバージョン]ページ、[ユニットタイプバージョン]ページを追加

● メニューの名称および構成を変更

注意

機能アップによって新しく追加されたメニューが画面に表示されない場合は、[権限管理]メニューで利用 者ごとにメニュー権限を設定してください。

〇[取引先一括登録]メニューの追加

[導入処理]-[取引先登録]-[取引先一括登録]メニューが追加されました。

〇[FB入金処理]メニューの追加

『OFFICE BANK21』など、エレクトロニックバンキングシステムでのFB入金データ受信に対応しました。 これに伴い、[FB入金処理]メニューとして以下のメニューが追加されました。

※[FB入金処理]メニューの概要は、操作説明の「FB入金処理とは」をご参照ください。

- ・[債権管理]-[入金処理]-[FB入金処理]-[FB入金受信データ受入]メニュー
- ・[債権管理]-[入金処理]-[FB入金処理]-[FB入金情報作成]メニュー
- ・[債権管理]-[入金処理]-[FB入金処理]-[FB入金データ確認表]メニュー
- ・[債権管理]-[入金処理]-[FB入金処理]-[FB入金データ削除]メニュー

また、いままでの[FBデータ取込]メニューの名称が変更されました。

変更前	変更後
[債権管理]-[入金処理]	[債権管理]-[入金処理]
-[FBデータ取込]メニュー	-[FB入金処理]
	-[FB入金外部ファイル受入]メニュー

〇[マスターデーター括削除]メニューの追加

[随時処理]-[データー括削除]-[マスターデーター括削除]メニューが追加され、以下のメニューが追加されました。

- ・[担当者データー括削除]メニュー
- ・[債権区分データー括削除]メニュー
- ・[商品データー括削除]メニュー
- ・[回収方法データー括削除]メニュー
- ・[取引先データー括削除]メニュー
- ・[取引先グループデーター括削除]メニュー
- ・[任意項目データー括削除]メニュー

これに伴い、[伝票データー括削除]メニューの位置が変更されました。

変更前	変更後
[随時処理]	[随時処理]- [データー括削除]
-[伝票データー括削除]メニュー	-[伝票データー括削除]メニュー

◎ 帳票別プリンタ登録に対応

以下の帳票について、初期値として表示するプリンタを勘定奉行の[導入処理]-[運用設定]-[帳票別プリンタ登録]メニ ューで登録できるようになりました。

これにより、[プリンタ設定]ページで初期値として表示される内容が、以下のとおり変更になります。

変更前	変更後
全項目とも、前回の印刷時に設定した内容	[帳票別プリンタ登録]メニューでプリンタが登録
※初回起動時は、「通常使うプリンタ」の内容が表	されているかによって、異なります。
示されます。	〇登録済みの場合
	全項目とも、常に帳票別プリンタ登録の内容
	※帳票別プリンタ登録が利用者ごとの設定であれ
	ば、印刷時の「サイズ」「印刷の向き」「余
	白・位置調整」「倍率」の変更は、帳票別プリ
	ンタ登録に反映します。
	〇未登録の場合
	「プリンタ名」「給紙方法」は、常に「通常使う
	プリンタ」の内容
	「サイズ」「印刷の向き」「余白・位置調整」
	は、前回の印刷時に設定した内容

注意

この機能アップのため、当バージョンにバージョンアップすると、以前のバージョンで設定した内容が初 期値として表示されなくなります。 帳票を印刷する前に、[帳票別プリンタ登録]メニューで初期値として表示するプリンタを登録してください。 ※[帳票別プリンタ登録]メニューの登録をしない場合は、常に「通常使うプリンタ」が初期値として表示されます。

≪ 対象帳票 ≫

- ・入金情報リスト([債権管理]-[入金処理]-[入金情報登録]メニュー)
- ・回収予定表([債権管理]-[管理帳票]-[回収予定表]メニュー)
- ・入金集計表([債権管理]-[管理帳票]-[入金集計表]メニュー)
- ・債権残高一覧表([債権管理]-[管理帳票]-[債権残高一覧表]メニュー)
- ・勘定残高確認書([債権管理]-[管理帳票]-[債権残高確認書]メニュー)

FBデータ取込時のチェック内容を変更

[FBデータ取込]メニュー(新:[FB入金外部ファイル受入]メニュー)で、取込できるFBデータのチェック内容が 変更されました。

≪ 振込入金通知 ≫

項目	変更前	変更後
【共通の内容】		
文字項目	全角文字を含んでも受入可能	全角文字を含むデータは受入不可
	以下の全銀不許可文字はそのまま受	以下のとおり変換して受入
	入	①ピリオド「.」
	①句点「。」	②ピリオド「.」
	②中黒「・」	③カンマ「, 」
	③読点「、」	④ハイフン「-」
	④長音「-」	⑤英大文字「A~Z」
	⑤英小文字「a~z」	⑥カタカナ大文字「アイウエオヤュヨツ」
	⑥カタカナ小文字「アイウエオヤユヨツ」	
改行コード	改行コードはあってもなくても受入	改行コードの有無を指定して受入
	可能	【設定箇所】
		[FB入金外部ファイル受入]画面の
		「CR・LF(改行コード)」
【ヘッダーレコード】		
銀行名	空でも受入可能	空での受入不可
	全銀不許可文字の場合でも受入可能	変換対象外の全銀不許可文字の場合
		は受入不可
支店名	空でも受入可能	空での受入不可
	全銀不許可文字の場合でも受入可能	変換対象外の全銀不許可文字の場合
		は受入不可
【データレコード】		
勘定日	空でも受入可能	空での受入不可
	前0なしでも受入可能	前0なしでは受入不可
預入日	前0なしでも受入可能	前0なしでは受入不可
金額	前0なしでも受入可能	前0なしでは受入不可
振込依頼人コード	前0なしでも受入可能	前0なしでは受入不可
		※値がない場合は受入可能
振込依頼人名	空でも受入可能	空での受入不可
	全銀不許可文字の場合でも受入可能	変換対象外の全銀不許可文字の場合
		は受入不可
EDI情報	全銀不許可文字の場合でも受入可能	変換対象外の全銀不許可文字の場合
		は受入不可

≪ 入出金明細 ≫

項目	変更前	変更後
【共通の内容】		
文字項目	全角文字を含んでも受入可能	全角文字を含むデータは受入不可
	以下の全銀不許可文字はそのまま受	以下のとおり変換して受入
	入	①ピリオド「.」
	①句点「。」	②ピリオド「.」
	②中黒「・」	③カンマ「, 」
	③読点「、」	④ハイフン「-」
	④長音「-」	⑤英大文字「A~Z」
	⑤英小文字「a~z」	⑥カタカナ大文字「アイウエオヤユヨツ」
	⑥カタカナ小文字「アィウェオャュヨッ」	
改行コード	改行コードはあってもなくても受入	改行コードの有無を指定して受入
	可能	【設定箇所】
		「CR・LF(改行コード)」
┃ 銀行名 ┃	│ 空でも受入可能	空での受入不可
	全銀不許可文字の場合でも受入可能 	│ 変換対象外の全銀不許可文字の場合 │ は受入不可
支店名	空でも受入可能	空での受入不可
	全銀不許可文字の場合でも受入可能	変換対象外の全銀不許可文字の場合は受入不可
【データレコード】	<u> </u>	
	空でも高入可能	空での受える可
35.2 0		
預入日		削りなしでは受入不可
取引区分	:振込]のみ受入可能	以下の取引区分を受入可能
		「10.現金」
		│
		[13:交換]
		(取立入金および交換払)
		「14:振替」
		「18:その他」
		「19:訂正」
		【設定箇所】
		[FB入金外部ファイル受入 - 受入
		条件設定]画面の [詳細設定] ボタン
		※初期値では「11:振込」のみ受入可
		FE
 金額	前0なしでも受入可能	前0なしでは受入不可
│ <u> </u>	前0なしでも受入可能	前0なしでは受入不可
振込依頼人コード	前0なしでも受入可能	前0なしでは受入不可
		※値がない場合は受入可能
 振込依頼人名	 空でも受入可能	2000 2000 2000 2000 2000 2000 2000 200
	全銀不許可文字の場合でも受入可能	↓ 変換対象外の全銀不許可文字の場合
		は受入不可
摘要内容	全銀不許可文字の場合でも受入可能	│ 変換対象外の全銀不許可文字の場合 │ は受入不可
EDI情報	全銀不許可文字の場合でも受入可能	変換対象外の全銀不許可文字の場合 は受入不可

画面の固定値の設定方法を変更

画面の固定位置は、[出力設定]ページの「--固定位置--」で設定するように変更されました。 ≪ 関連メニュー ≫

- ・[債権管理]-[売上債権処理]-[回収予定変更]メニュー
- ・[債権管理]-[受取手形処理]-[受取手形てん末変更]メニュー
- ・[債権管理]-[受取手形処理]-[受取手形一括決済]メニュー
- ・[債権管理]-[ファクタリング処理]-[ファクタリング債権てん末変更]メニュー
- ・[債権管理]-[ファクタリング処理]-[ファクタリング債権一括決済]メニュー

▼例

[受取手形てん末変更 - 条件設定]画面

本条件 てん末 詳細条件	+ 利用情報 付 箋 出	出力順 項目選択 表示設定	
〔目 種類			
すべて	•		
醫択項目		選択済項目	
項目名	-	項目名	
手形種類	常に表示する	項目 🖵 振出人コード	
请求先指定		振出人名	
请求先コード	選打	R(S) 一固定位置	
请求先名1		千形番号	
春求先名2		操(1) 播出日付	
请求先略称	Ŧ8 9	回収日付	6
963达和	-	手形期日	
	- 前版	第(D) 描習日17 見続け1	
691796		51支入コート	
セクメノトコート	スクロールさせる		
ビファンド いる			
ブロジェクトコート		大灯場所 銀行名	
アム東		支払場所 支店コード	
付箋		支払場所支店名	
取立日付		裏ま人コード	
取立銀行コード		裏書人名	
In-t- ca oz. /2		(四十)	

● 受取手形、ファクタリング債権を検索する際の日付条件の指定方法を変更

以下のとおり変更されました。 〇日付を指定するかどうかは、リストで選択するように変更 〇[月範囲]ボタンを廃止 〇年月は、手入力するように変更 〇指定できる日付の制限を廃止 変更前:選択会計期間 + 前後1年間 変更後:1980/1/1~2079/12/31 ≪ 関連メニュー ≫

- ・[債権管理]-[受取手形処理]-[受取手形入力]メニュー
- ・[債権管理]-[受取手形処理]-[受取手形てん末変更]メニュー
- ・[債権管理]-[受取手形処理]-[受取手形一括決済]メニュー
- ・[債権管理]-[ファクタリング処理]-[ファクタリング債権入力]メニュー
- ・[債権管理]-[ファクタリング処理]-[ファクタリング債権てん末変更]メニュー
- ・[債権管理]-[ファクタリング処理]-[ファクタリング債権一括決済]メニュー

▼例

[受取手形てん末変更 - 条件設定]画面

5本条件	てん末	詳細条件	利用情報	付箋	出力	順 項目述	訳	表示設定	
バターン	コード			13	3-1	/名 取立	処理		
SE-31.381 ④ 取立	π L	● 書房	O	書源		◎ 担保		◎ 流動化	⑦ 取消
播出日付	•	2012年 4月	18		~	2013年 3)	∃ 31E	3	
手形期日	-	2012年 4月	18		~	2013年 3)	31E	3	
指定なし		量指定	官する日作	すを		퉍 後			
手形種類	-	すへ リフ	て下から道	選択しま	きす。				
福出余部				1	\sim		9.1	999.999.999.999	

受取手形、ファクタリング債権を検索する際の詳細条件で、部門の範囲指定や複数指定ができるように変更 以下のとおり変更されました。

〇部門を範囲指定できるように変更

〇部門、セグメント1・2、プロジェクト、サブプロジェクトの範囲を複数指定できるように変更 〇各種別に属するグループ(区分)を複数指定できるように変更

- ≪ 関連メニュー ≫
 - ・[債権管理]-[受取手形処理]-[受取手形入力]メニュー
 - ・[債権管理]-[受取手形処理]-[受取手形てん末変更]メニュー
 - ・[債権管理]-[受取手形処理]-[受取手形一括決済]メニュー
 - ・[債権管理]-[ファクタリング処理]-[ファクタリング債権入力]メニュー
 - ・[債権管理]-[ファクタリング処理]-[ファクタリング債権てん末変更]メニュー
 - ・[債権管理]-[ファクタリング処理]-[ファクタリング債権一括決済]メニュー

▼例

[受取手形てん末変更 - 条件設定]画面

条件 てん末	₹≣ j	細条件	利用情報	旧付	笺 出力順	項目選択	表示設定	
4日10年日:	-							
CARTIC								
検索対象								
eppeg				•	ř.			
					56 - C			
10 mm (mm (mm))								
食素範囲								
資素範囲)51	~	051						
検索範囲 051 検索対象	~	051 検索範囲	目(開始)	1	検索範囲(終了)	種別
() () () () () () () () () () () () () (~	051 検索範囲 001	田(開始)		検索範囲() 002	終了)	種別

● 受取手形、ファクタリング債権の備考の入力方法を変更

コード入力欄と文字入力欄に分かれました。

≪ 関連メニュー ≫

- ・[債権管理]-[受取手形処理]-[受取手形入力]メニュー
- ・[債権管理]-[ファクタリング処理]-[ファクタリング債権入力]メニュー
- ▼例

[受取手形入力]画面

修正	手許		
手形番号	E\$357521	手形種類	約束手形 -
請求先	振出人 • 0000000	17	東京事務機販売株式会社
挪出日付	12年7月15日	回収日付	12
手形期日	12年8月31日	据替日付	[↑] キー・[↓] キーを押すと、
振出金額	43,604,000	郵送料	ーービスカ・カウスカギ切り林うらわます。
回取方法	0001	手形回収	
支払場所	0005 三菱東京UFJ線	117	002 丸の内支店

● 管理帳票の機能を強化

〇集計条件のパターン登録機能を追加

※この変更に伴い、いままでは利用者ごとに前回条件を保持していましたが、これからはパターンごとに前回条件を保 持するようになりました。

このため、当バージョンにバージョンアップすると、以前のバージョンで設定した集計条件が初期化されます。

≪ 関連メニュー ≫

- ・[回収予定表]メニュー
- ・[入金集計表]メニュー
- ・[債権残高一覧表]メニュー
- ・[債権残高確認書]メニュー

▼例

[回収予定表 - パターン選択]画面

ターンコード	パターン名	ŪK
	回収予定日別予定表	
	諸求先別予定表	▲ 新規(型)
	回収方法別予定表	
	回収予定日別iiia求先別予定表	被写(<u>C</u>)
	請求先別回收予定日別予定表	
	回収予定日別回収方法別請求先別予定表	再 耶杀(<u>D</u>)
	請求先別回収予定日別回収方法別予定表	
	回収方法別回収予定日別請求先別予定表	
ノストから選択し、	[OK] ボタンをクリックします。新しいパターンを作	±6360
する場合は、 〔新	(規)ボタンをクリックします。	117.00

〇指定できる集計単位を追加

また、集計単位の組み合わせを指定できるように変更

※この変更に伴い、集計単位の設定方法が変更されました。

≪ 関連メニュー ≫

- ・[回収予定表]メニュー
- ・[入金集計表]メニュー
- ・[債権残高一覧表]メニュー

▼例

[回収予定表 - 条件設定]画面

条件 基	本条件2 詳細条件	キ セグ	ゔ メント ブロジェク	ト 摘 要 付	箋 出力順 項目選択
ターンコー	- F 6		バターン名	回收予定日别回收	7方法別讀求先別予定表
1計単位					
第一項目	回收予定日別	•	年月日	~	年月日
第二項目	回收方法别	•	最 初	~	最 後
第三項目	請求先別	•	最初	~	最 後
	指定なし	-		~	
	会社總行別			~	
	讀水神口別 伝票日付別 請求日付別	5	6		
	担当者別 債権科目別	- 1			
計範囲	- 部門別 セグメント1別				

〇集計対象の絞込条件項目を追加

※この変更に伴い、絞込条件項目はリストから選択する形式に変更されました。

≪ 関連メニュー ≫

- ・[回収予定表]メニュー
- ・[入金集計表]メニュー
- ・[債権残高一覧表]メニュー

▼例

[回収予定表 - 条件設定]画面

	la d			
13-73	- 1 0	バターン名 回収	가운터 카멘의	(方法》增加不力的工艺表
集計単位		22-000 - 47.00 - 58 - AMB		
第一項目	回収予定日別	▼ 年月日	~	年月日
第二項目	回収方法別	▼ 最初	~	最 後
第三項目	諸求先別	▼ 最初	~	最 後
	指定なし	•	~	
	指定なし	*	~	
	債権明細助に集	計する		
集計範囲				
集計範囲	🔄 伝票日付を指定	する		
集計範囲	□ 伝票日付を指定 月範囲(I)	する 期首振興 → 1E	日 ~ 期末	·楚理 → 31日
集計範囲	 □ 伝票日付を指定 月範囲(I) (第日区分 	する 期首振戻 v 1E ・ 全線日	3〕~ [期末	整理 - 31日
集計範囲	 □ 伝票日付を指定 月範囲(I) 線日区分 指定なし 	する 期首指頁 - 1E - 全線日	B)~ [H]	·楚理 → 31日
集計範囲	 伝票日付を指定 月範囲(I) 締日区分 指定なし 指定なし 指定なし 指定なし 第次 取得別 会社課行 取引先うルーブ 其日 	する 期首振戻 • 1日 • 全線日 ・ 条件を指定す? ・ リストから選邦	日 ~ 期ま ~ こう る項目を 訳します。	整理 → 31日

〇集計日付の制限を廃止

変更前:選択会計期間 + 前後2年間 変更後:制限なし ※「ふ金集計表」メニュー 「信権残高一覧号

※[入金集計表]メニュー、[債権残高一覧表]メニューは、選択中の会計期間より後の日付は指定できません。

- ≪ 関連メニュー ≫
 - ・[回収予定表]メニュー
 - ・[入金集計表]メニュー
 - ・[債権残高一覧表]メニュー

〇表示基準の優先順位や、表示順(昇順/降順)を自由に設定できるように変更

※この変更に伴い、[表示設定]ページは、名称が[出力順]ページに変更され、設定方法も変更されました。

≪ 関連メニュー ≫

maxes

- ・[回収予定表]メニュー
- ・[入金集計表]メニュー
- ・[債権残高一覧表]メニュー
- ・[債権残高確認書]メニュー
- ▼例

[回収予定表 - 条件設定]画面

亚乙加	•					
	集計単位		表示基準	表示順		E
1 2 2	第一項目 第二項目 第二項目	回收予定日別 回収方法別 はままたの	回収予定日順 回収方法コード順 速歩キュード順	昇順 昇順	古いものから	
4	第二項日	「日本・プロカリ	請求先インデックス順 請求先インデックス順	昇順	小さいものから	
			BROND CONTRACTOR		T CA GUAR	
						I
						T
-					Γ	

〇出力する項目、項目の並び順を設定できるように変更

※この変更に伴い、[項目選択]ページが追加されました。

- ≪ 関連メニュー ≫
 - ・[回収予定表]メニュー
 - ・[入金集計表]メニュー
 - ・[債権残高一覧表]メニュー

O表示する請求先名を「請求先名1」「請求先名2」「請求先名1・2」「請求先略称」から選択できるように変更 ※請求先別に集計する際に、集計単位の表示に使用される請求先名です。

≪ 関連メニュー ≫

- ・[回収予定表]メニュー
- ・[入金集計表]メニュー
- ・[債権残高一覧表]メニュー

▼例

[回収予定表 - 条件設定]画面



〇集計結果の画面表示で以下の変更

- ・レイアウトを表形式から階層形式に変更
- ・列の幅をマウスで調整できるように変更
- ・集計条件の表示を変更
- ≪ 関連メニュー ≫
 - ・[回収予定表]メニュー
 - ・[債権残高一覧表]メニュー

▼例

[回収予定表]画面

- F \$	債権金額	未入金金額	入全海全部
[合計]	334.349.357	314.649.957	19,699,400
a 2012/ 1/15	5,300,000	5,300,000	列の幅は、
□ 0003 語込 (三菱東京UFJ)	5,300,000	5,300,000	マウスで変更できます。
00000001 太平洋食品株式会社	5,300,000	5,300,000	0
∋ 2012/ 2/ 5	1,830,000	1,930,000	0
□ 0003 無込 (三菱東京UFJ)	1.930.000	1,930,000	0
00001024 株式会社大森商会	1,930,000	1,930,000	0
2012/ 4/30	1,930,000	1,930,000	0

〇印刷・転送の設定で以下の変更

- ・階層形式のレイアウトで出力する機能を追加
- ・計行の出力設定を、[印刷等条件設定]画面の[基本条件]ページに移動
- 部門以外の集計単位でも改ページできるように変更
- ≪ 関連メニュー ≫
 - ・[回収予定表]メニュー
 - ・[入金集計表]メニュー
 - ・[債権残高一覧表]メニュー
- ▼例

[回収予定表 - 印刷等条件設定]画面

カレイア	ウト設定	出	り形式を	
力形式	表形式で出力する	- U7	ストから選択し	,ます。
一項目	階層形式で出力する 第一項目れてきた。	V HY	「を出力する	
二項目	第二項目から表形式で出力する 回収方法別		「を出力する	💟 コード列を出力する
三項目	請求先別			☑ コード列を出力する
第一項目 関数ページ	別に改べージする 2のED刷順序			
	5 Elizabeth Elizabeth			

〇印刷・転送で以下の変更

- ・集計条件の表示を変更
- ・帳票タイトルにはパターン名が出力されるように変更
- ・転送で、計行の出力レイアウトを変更
- ・転送で、金額は「数値」、日付は「日付」の書式で出力されるように変更
- ≪ 関連メニュー ≫
 - ・[回収予定表]メニュー

- ・[入金集計表]メニュー
- ・[債権残高一覧表]メニュー

▼例

[回収予定表]メニュー印刷イメージ

		回収予定日別回収;	方法別請求分	 お別予定表	
OBCソフトウェア株式会社 【集計單位】 回収予定日別・回収方法	部門・請求先知	pj		1	PA
【集計範囲】 回収予定日[指定なし]・	· 回収方法[最	初]~[最後]・請求先[最初]~[最後]·辅日区分[全辅日]		
【集計範囲】 回収予定日[指定なし]・ 回収予定日	· 個収方法[最 認想=-?	初]~[最後]・請求先[最初]~[最後 回収方法名	・締日区分[全綿日]	請求先名	使福全額
【黒計範囲】 回収予定日[指定なし]・ 回収予定日 012/1/15	· 回収方法[最 認治=-? 0003	初]~[最後]・請求先[最初]~[最後	 ・締日区分[全線日] 提求先コード 00000001 	讀求先名 太平洋食品株式会社	優樓金額 5,300,0
【集計範囲】 回収予定日(指定なし)・ 回収予定日 012/1/15 0003 接込(三菱東京UFJ)計]	・回収方法[最	初]~[最後]・請求先[最初]~[最後 回収方法名 振込(三菱東京UFJ) 振込(三菱東京UFJ)	・補日区分[全補日] 請求先ヨード 00000001	請求先名 太平洋食品株式会社	優禧金額 5,300, 5,300,
(無計範囲)回収予定日(指定なし) 回収予定日)12/1/15 0003 接込(三菱東京UFJ)計] 0012/1/15計>	・ 回収方法[最 副(78=-7 0003 0003	初]~[最後]・請求先[最初]~[最後 回収方法名 接込 (三菱東京UFJ) 接込 (三菱東京UFJ)	 補日区分[全網日] 損求先コード 00000001 	讀求先名 大平洋食品株式会社	優福金額 5,300, 5,300, 5,300, 5,300,
(無計範囲) 回収予定日(指定なし)・ 回収予定日)12/1/15)003 援込(三農東京UFJ)計] (212/1/15計))12/2/5	・ 回収方法[最 副(78=-? 0003 0003 0003 0003	初)~(最後)・請求先(最初)~(最後) 回収方法名 振込(三菱東京UPJ) 振込(三菱東京UPJ) 振込(三菱東京UPJ) 振込(三菱東京UPJ)	 補日区分[全補日] 提求先ニード 00000001 00001024 		(債権全額 5,300, 5,300, 8,300, 1,930,
(集計範囲) 回収予定日(指定なし) 回収予定日 012/1/15 0003 抵込(三要東京UFJ)計] 2012/12/5 012/2/5 012/2/5 012/2/5	・ 回収方法[最 副(おき=- ? 0003 0003 0003 0003 0003	 初)~(最後)・請求先(最初)~(最後) 回収方法名 報込(三要東京UFJ) 報込(三要東京UFJ) 報込(三要東京UFJ) 報込(三要東京UFJ) 	i補日区分[全線日] 損求先コード 00000001 00001024	唐求先名 大平洋食品株式会社 株式会社大森商会	優權金額 5,300, 5,300, 5,300, 1,930, 1,930, 1,930,

[回収予定表]メニュー転送イメージ

1	A	В	С	D	E	F	G
1	バターンコード	6					
2	バターン名	回収予定日別回収方法別書	青求先別予定表				
3	会社名	OBCソフトウェア株式会社(債権債務管理Pi	(or			
4	集計単位	回収予定日別 回収方法別	·請求先別				
5	集計範囲	回収予定日[指定なし]・回収	R方法[最初]~[m	&後]·請求先[最初]~[d	最後) 締日区分	[全締日]	
6		回收予定日	回収方法コード	回収方法名	請求先コード	請求先名1	債権金額
7		2012/1/15	0003	振込(三菱東京UFJ)	00000001	太平洋食品株式会社	5300000
8	【回収方法計】	2012/1/15	0003	振込(三菱東京UFJ)			5300000
9	【回収予定日計】	2012/1/15					5300000
10	and a second second	2012/2/5	0003	振込(三菱東京UFJ)	00001 024	株式会社大森商会	1930000
11	【回収方法計】	2012/2/5	0003	振込(三菱東京UFJ)			1930000
12	【回収予定日計】	2012/2/5			and the second		1930000
12		2012/11/200	00001	超金回回	00000002	挂式会2+崇重帝要	2620000



機能アップガイド







【債権管理Proオプション、債権管理オプション】	
[債権伝票入力]メニューが部門別税区分表示機能に対応	2
[入金消込履歴]メニューの転送で、出力する債権情報を追加	2

注意

機能アップによって新しく追加されたメニューが画面に表示されない場合は、[権限管理]メニューで利用者ご とにメニュー権限を設定してください。

債権管理Proオプション、債権管理オプション

[債権伝票入力]メニューが部門別税区分表示機能に対応

平成23年度消費税法改正(平成24年4月1日以降に適用)に伴い、勘定奉行に追加された部門 別税区分表示機能に、[債権管理]-[売上債権処理]-[債権伝票入力]メニューが対応しました。 [仕訳処理]-[仕訳入力補助]-[部門別税区分表示設定]メニューの設定が、[債権管理]-[売上債 権処理]-[債権伝票入力]メニューでも有効になります。

≪ 関連メニュー ≫

- ・[随時処理]-[汎用データ受入]-[債権データ受入]-[債権伝票データ受入]メニュー
- ・[自動実行管理]-[汎用データ受入]-[自動実行債権伝票データ受入]メニュー

● [入金消込履歴]メニューの転送で、出力する債権情報を追加

[債権管理]-[履歴管理]-[入金消込履歴]メニューで、「債権情報を出力する([入金消込履歴 - 印刷等条件設定]画面の[基本条件]ページで設定)」にチェックを付けて転送する際に、債 権伝票の以下の項目も出力されるようになりました。

- ・証憑No.
- ・伝票日付
- ・請求日付
- ・請求先コード
- ・請求先名



機能アップガイド







【メニュー体系】 メニューの名称および構成を変更 ※詳細は、21ページをご参照ください。 【全般】 [条件設定]画面の項目の配置を変更 ※詳細は、21ページをご参照ください。 仕訳伝票の 重複チェックが「1:月度単位チェック」または「2:年度単位チェック」の場 合に、各処理で作成される仕訳伝票の伝票No.も重複チェックするように変更 「0:その他」マスターの出力順序を変更 〇変更前 コード順:0,1,2,3 〇変更後 コード順:1,2,3,0 ジャンプに関するファンクションキーの名称の統一 〇これから作成する仕訳伝票を編集する[仕訳処理]画面へのジャンプ → [OO仕訳] 〇作成済みの仕訳伝票を参照する[仕訳処理]画面へのジャンプ → [OO伝票] 【関連メニュー】 ・ [債権管理]-[入金処理]-[仮受金処理]メニュー ・ [債権管理]-[履歴管理]-[入金消込履歴]メニュー 「債権管理]-「履歴管理]-「入金情報履歴]メニュー [債権管理]-[履歴管理]-[仮受金処理履歴]メニュー [債権管理]-[履歴管理]-[相殺消込履歴]メニュー 各履歴メニューの取消処理をする際に、仕訳伝票がすでに承認済・転記済だった場合の処理 を以下のとおり変更 〇変更前 取消方法が「伝票削除」の場合でも、必ず反対仕訳を作成して取消を実行 〇変更後 取消方法が「伝票削除」の場合は、削除できない旨のメッセージを表示し、取消を実行し ない (この場合は、取消方法で「反対仕訳」を選択することで取消を実行します) 以下のメニュー(帳票)について、初期値として表示するプリンタを勘定奉行の「帳票別プ リンタ登録]メニューで登録できるように変更 〇変更前 全項目とも、前回の印刷時に設定した内容 〇変更後 [帳票別プリンタ登録]メニューでプリンタが登録されているかによって、異なります。 <登録済みの場合> 全項目とも、常に帳票別プリンタ登録の内容 <未登録の場合> 「プリンタ名」「給紙方法」は、常に「通常使うプリンタ」の内容

「サイズ」「印刷の向き」「余白・位置調整」は、前回の印刷時に設定した内容 【関連メニュー】

[債権債務機能設定]メニュー/ [手形機能設定]メニュー/ [会社銀行登録]メニュー/ [会 社銀行科目設定]メニュー/ [債権区分登録]メニュー/ [回収方法登録]メニュー/ [債権 残高入力]メニュー/ [前受金残高入力]メニュー/ [債権伝票入力]メニュー/ [請求書発 行]メニュー/ [請求書再発行]メニュー/ [請求一覧表]メニュー/ [自動入金消込設定]メ ニュー/ [受取手形入力]メニュー/ [受取手形てん末変更]メニュー/ [受取手形一括決 済]メニュー/ [ファクタリング債権入力]メニュー/ [ファクタリング債権でん末変更]メ ニュー/ [ファクタリング債権一括決済]メニュー

監査用のアカウント(読み取り専用アカウント)でログインしたときに、当オプションのメ ニューも表示されるように変更(データの閲覧と更新をするメニューは、自動的に閲覧だけ に制限された状態で表示)

以下のマスターについて、新規登録または修正した内容を翌会計期間に反映できるように変 更

債権区分・回収方法

以下のマスターの会計期間ごとに保持している項目について、修正した内容を翌会計期間に 反映できるように変更

商品・取引先

【導入処理】

≪債権債務運用設定≫

相殺伝票設定は、入金伝票設定とは分離して、[債権債務運用設定]メニューの[相殺基本設 定]ページで設定するように変更

≪債権債務機能設定≫

[債権管理]ページ・[債務管理]ページを追加

ページを追加することで、『債権管理Proオプション』+『債務管理Proオプション』の組み 合わせ、『債権管理オプション』+『債務管理オプション』の組み合わせでお使いの場合 に、設定が混在して煩雑になるのを防止

ページの名称も一部変更

[基本仕訳設定]ページ→[科目設定]ページ

[請求支払設定]ページ→[請求仕訳設定]ページ

→[支払仕訳設定]ページ

選択項目の入力方法を、ラジオボタンで選択する方法から、数字を入力して選択する方法に 変更

[債権管理]-[伝票設定]ページに、「伝票修正時の再付番」を追加

「1:する」に設定すると、伝票日付や伝票区分を修正した際に、付番方法や付番基準をも とに伝票の伝票No.を再付番可能

[債権管理]-[伝票設定]ページの「消費税差金」-「部門」および「手数料」-「部門」の選 択肢の名称を変更

「1:回収方法」→「1:入金明細」

≪手形機能設定≫

[受取手形処理]ページ・[支払手形処理]ページ・[ファクタリング債権処理]ページ・[ファ クタリング債務処理]ページを追加

ページを追加することで、『債権管理Proオプション』+『債務管理Proオプション』の組み 合わせ、『債権管理オプション』+『債務管理オプション』の組み合わせでお使いの場合 に、設定が混在して煩雑になるのを防止 選択項目の入力方法を、ラジオボタンで選択する方法から、数字を入力して選択する方法に 変更

手形の返却時に仕訳伝票を作成するかの設定を追加

【設定箇所】

[受取手形処理]-[てん末仕訳設定]ページの【返却】の「てん末処理仕訳」

≪会社銀行登録≫

預金種目に「4:貯蓄預金」を設定できないように変更

≪会社銀行科目設定≫

割引限度額適用日付の「年」を4桁に変更

≪商品登録≫

商品を新規登録または修正した場合に、その内容を翌会計期間に反映できるように変更 債権区分

≪回収方法登録≫

入金管理せずに、てん末管理だけをする受取手形・ファクタリング債権の設定(「てん末管 理のみ行う」チェックボックス)を追加

回収種別が「3:手形」「6:ファクタリング・期日現金」の場合の貸方科目として、すべての勘定科目を設定できるように変更

≪取引先登録≫

取引先を新規登録または修正した場合に、その内容を翌会計期間に反映できるように変更 取引先名(取引先名1、取引先名2、取引先名カナ)・回収方法・分割回収方法

勘定奉行に取引先区分別の集計機能が追加されたことに伴い、入力項目に取引先区分を追加

≪債権残高入力≫

債権残高伝票を検索する際の検索条件設定画面([債権残高入力 - 条件設定]画面の[基本条件]ページ)について、検索条件を指定する項目をリストから選択する形式に変更

債権残高伝票を検索する際の検索条件設定画面([債権残高入力 - 条件設定]画面の[登録情報]ページ)で、検索条件として、入金状態(未入金・一部入金・入金済)を複数指定できるように変更

債権残高伝票を検索する際の検索条件設定画面([債権残高入力 - 条件設定]画面)に[出力 順]ページが追加され、以下の機能を追加

〇表示基準の優先順位や、表示順(昇順/降順)を自由に設定できる機能

O表示基準:「取引先グループコード順」「請求先コード順」「請求先フリガナ順」「請求 先インデックス順」「回収予定日順」

〇表示基準の登録順について、最終更新順/新規登録順の切替機能

入力作業の効率化を図るため、矢印キーによるカーソルの移動を一部変更

消込メニューや履歴メニューの検索条件や、他のアプリケーションに貼り付けて使用できる ように、請求先コードをクリップボードにコピーする機能を追加

伝票日付・伝票No.・商品など、残高入力では使用しない項目を無効化ではなく表示しない ように変更

≪前受金残高入力≫

前受金残高を検索する際の集計範囲([前受金残高入力 - 条件設定]画面の[基本条件]ページ)について、検索条件を指定する項目をリストから選択する形式に変更

当メニューでの転送を廃止

転送は、 [前受金残高データ作成]メニューで実行

≪承認権限登録≫

入金伝票から独立して、相殺伝票に対して承認権限を設定できるように機能を追加

【債権管理】

≪債権伝票入力≫

勘定奉行の部門権限に準拠する場合に制限される処理内容を変更

※詳細は、操作説明の「部門権限の制限内容一覧」をご参照ください。

伝票日付や伝票区分を修正した際に、付番方法や 付番基準をもとに債権伝票を再付番でき るよう変更

【設定箇所】

[債権債務機能設定]メニューの[債権管理]-[伝票設定]ページの「伝票修正時の再付番」

債権伝票を修正した際に、仕訳伝票No. 指定の設定をもとに仕訳伝票の伝票No. も修正するように変更

【設定箇所】

[債権債務機能設定]メニューの[債権管理]-[伝票設定]ページの「仕訳伝票No. 指定」

仕訳伝票の重複チェックが「1:月度単位チェック」または「2:年度単位チェック」の場合 に、債権伝票から作成する仕訳伝票の伝票No.も重複チェックするように変更

[科目別マスター入力設定]メニューで自動表示する部門が設定されている場合は、債権伝票の入力時にもその設定内容が有効になるように変更

また、この変更にともない、部門コード欄が空欄のまま [Enter] キーが押された場合に 「0:その他」部門が自動表示されないように変更

カーソル移動を短縮できる項目を追加

また、カーソル移動を短縮する項目の設定方法を変更

【設定箇所】

[債権伝票入力 - 設定]画面の[移動設定]ページの「短縮設定」

債権伝票を検索する際の検索条件設定画面([債権伝票入力 - 条件設定]画面の[基本条件] ページ)について、検索条件を指定する項目をリストから選択する形式に変更

[債権伝票入力] 画面から、作成された仕訳伝票にジャンプできる機能を追加

※債権伝票を表示させた状態で、一度 [Ctrl] キーを押し、[仕訳伝票] ([F6]キー)を押す とジャンプできます。

単票債権伝票の印刷で、以下の情報を印刷できるように変更

プロジェクト・サブプロジェクト

セグメント1・セグメント2

仕訳伝票摘要指定が「1:伝票No.+摘要」の場合に、仕訳伝票にセットされる摘要を以下の ように変更

〇変更前

「債権伝票 伝票No.000001」

〇変更後

「債権伝票No.000001」

【設定箇所】

[債権債務機能設定]メニューの[債権管理]-[伝票設定]ページの「仕訳伝票摘要指定」

請求日付を修正した際に、回収予定日を再計算するように変更

取引先の名称表示欄のレイアウトを変更

・取引先コード桁数が10桁以下と11桁以上の時で請求先コード入力欄の幅を変更

・締日を表示する欄の幅を短く変更

債権伝票を入力する際に、勘定科目・補助科目のコード欄に[Enter]キーでカーソルを移動 できるように変更

※移動するには、[債権伝票入力 - 設定]画面の[移動設定]ページで短縮しない項目に設定す る必要があります。

各入力項目のコード欄で最大桁まで入力した場合に、自動的に次の項目に移動させるか、 [Enter]キーを押してから移動させるのかを選択できる機能を追加

【設定箇所】

[債権伝票入力 - 設定]画面の[移動設定]ページの「コード最大入力時の移動機能」

日付欄に移動した際のカーソルの位置を、「年」「月」「日」から選択できる機能を追加 【設定箇所】

[債権伝票入力 - 設定]画面の[移動設定]ページの「カーソル初期位置」

参照明細区分が「2:値引」の債権区分が入力された場合は、金額欄に自動でマイナス符号 を表示するように変更

部門が登録されていない場合は、債権伝票の部門欄が表示されないように変更

ファンクションボタンの名称を一部変更

[伝発行] ([F2]キー)→[印刷]

[反対仕] ([F8]キー)→ [反対仕訳]

[取引先情報] ([F11]キー)→ [請求先情報]

[仕訳処理]メニューと操作性が同様になるように、ファンクションキーの配置を変更できる 機能を追加

【設定箇所】

[債権伝票入力 - 設定]画面の[運用設定]ページの「ファンクションキーの配置」

債権伝票を検索する際の検索条件設定画面([債権伝票入力 - 条件設定]画面の[基本条件] ページ)に、「消費税金額」を追加

債権伝票を検索する際の検索条件設定画面([債権伝票入力 - 条件設定]画面の[登録情報] ページ)で、検索条件として、入金状態(未入金・一部入金・入金済)を複数指定できるように変更

承認した利用者、承認した処理日時で検索できるように、債権伝票を検索する際の検索条件 設定画面([債権伝票入力 - 条件設定]画面の[利用情報]ページ)に、処理内容として「1 次承認」「最終承認」を追加

債権伝票を入力する際に、請求先コードが未入力の場合は、担当者・回収予定日・回収方法 にカーソルが移動しないように変更

すでに摘要が入力されている摘要欄に移動した際に、[仕訳処理]メニューと同様に、摘要の 文字の先頭にカーソルを合わせるように変更

「消費税合計」([債権伝票入力]画面の右下)を、請求締処理の利用有無が「0:利用しない」の場合も表示するように変更

【設定箇所】

[債権債務運用設定]メニューの[債権管理]-[請求支払設定]ページの「請求締処理の利用有 無」

入力作業の効率化を図るため、矢印キーによるカーソルの移動を一部変更

摘要コードを指定した際に、入力済みの摘要を削除して追加するか、入力済みの摘要の後ろ に追加するかを選択できる機能を追加

【設定箇所】

[債権伝票入力-設定]画面の[運用設定]ページの「摘要内容の追加方法」

文字を入力する欄で、Windowsの日本語IMEの「初期入力モード」が反映するように変更

摘要が、入力時も参照時も同様に「21文字」で折り返されるように変更

請求日付に請求書発行済みの期間を入力した場合でも、カーソルが移動するように変更 仕訳伝票が承認済・転記済の債権伝票を修正・削除する際に、作成する反対仕訳の内容(伝 票No.・伝票日付・整理区分・伝票区分)を指定できるように変更 債権伝票を検索する際の検索条件設定画面([債権伝票入力 - 条件設定]画面)に[出力順] ページが追加され、以下の機能を追加 ○表示基準の優先順位や、表示順(昇順/降順)を自由に設定できる機能 〇表示基準:「取引先グループコード順」「請求先コード順」「請求先フリガナ順」「請求 先インデックス順|「回収予定日順| 〇表示基準の登録順について、最終更新順/新規登録順の切替機能 債権伝票を検索する際の検索条件設定画面(「債権伝票入力 - 条件設定)画面の「基本条件〕 ページ)で、請求日付・回収予定日に会計期間外の日付を指定できるように変更 また、過去年度の伝票をすべて検索できるように変更 印刷対象として、「発行後に修正した伝票」を指定できるように変更 この変更にともない、選択肢をリストから選択する形式に変更 【設定箇所】 [債権伝票入力 - 印刷条件設定]画面の[基本設定]ページの「発行済印刷伝票設定」 納品書・請求書を印刷する際のフォームの指定方法を変更 ※納品書・請求書を印刷する際は、[債権伝票入力-印刷条件設定]画面の[基本設定]ページの 「印刷形式」で「納品書」を選択し、「納品書フォーム」でフォームを指定します。 単票債権伝票の印刷で、整理区分の印字方法を変更 〇変更前 発行日の右側に「戻」または「整」 〇変更後 発行日の右側に「振戻仕訳」または「整理仕訳」 納品書および請求書の印刷レイアウトを変更 ・請求先の住所および名称をヘッダーの左側にだけ印字するように変更(文字数が多い場合) は縮小して表示) ・請求先の情報が印字されていたヘッダーの右側に、差出名を印字するように変更 ・担当者名の左側に「担当者:」と項目名を印字するように変更 ・印鑑欄の枠のサイズを拡大 ・基本のフォントサイズをこれまでより大きく「9」に変更 ・上段と下段(控と控ではない方)が、切り取り線で切った時にちょうど重なるように印字 位置を調整 ・切り取り線を実線から点線に変更 単票債権伝票の印刷で、空白行を印刷するように変更 [債権伝票入力 - 印刷条件設定]画面の項目の配置を変更 納品書・請求書のタイトルをそれぞれ指定できるように変更 【設定箇所】 [債権伝票入力 - 印刷条件設定]画面の[詳細設定]ページの「用紙タイトル」 前年度の伝票を出力した場合は、仕訳伝票と同様に、部門やセグメントなど、年度別にコー ドや名称を保持しているマスターは前年度の情報で出力するように変更 消込メニューや履歴メニューの検索条件や、他のアプリケーションに貼り付けて使用できる ように、請求先コード・証憑No.・伝票No.をクリップボードにコピーする機能を追加

≪債権伝票承認≫

以下の利用者も、当メニューを起動できるように変更

・承認権限は付与されていないが、「参照」以上のメニュー権限が1つでも設定されている。 利用者

仕訳伝票摘要指定が「1:伝票No.+摘要」の場合に、仕訳伝票にセットされる摘要を以下の ように変更。

〇変更前

「債権伝票 伝票No.000001」

〇変更後

「債権伝票No.000001」

【設定箇所】

[債権債務機能設定]メニューの[債権管理]-[伝票設定]ページの「仕訳伝票摘要指定」

≪債権データ抽出≫

債権データ抽出をする際に作成される債権伝票の伝票No.を任意に設定できるように変更 ※債権データ抽出を実行すると、[伝票作成設定]画面が表示され、債権伝票の伝票No.を設定 できます。

債権データ抽出をする際の検索条件([債権データ抽出 - 条件設定]画面の[基本条件]ペー ジ)で、入金状態(未入金・一部入金・入金済)を複数指定できるように変更

債権データ抽出をする際の検索条件([債権データ抽出 - 条件設定]画面の[詳細設定]ペー ジ)に、補助科目(債権科目側)を追加

≪請求書発行≫

会計期間をまたぐ請求期間で請求書を発行できるように機能を追加

相殺処理・振替処理を行っている場合の、回収予定金額の集計方法を変更

▼例

請求期間

2011/4/1~2011/4/30 分割基準 3.000

債権の発生日付

2011/4/10 10,000

相殺日付

• 2011/4/20 1.000

債権の発生日付と、相殺日付が同一締期間(2011/4/1~2011/4/30)に含まれている。

<結果>

〇変更前 分割対象金額 10,000 回収予定1 3,000 (入金済み 1,000) 回収予定2 7,000 〇変更後 分割対象金額 10,000-1,000 = 9,000 (債権の発生金額 – 相殺消込された金額) 回収予定1 3,000

回収予定2 6,000

請求期間をチェックする機能を追加

指定した締日区分と請求期間の指定日が一致しているかをチェックし、一致していない場合 は警告メッセージを表示

請求書の回収方法項目に回収方法名を表示するように変更

〇変更前

単票明細請求書「会社銀行の情報」

〇変更後

単票明細請求書 「手形の支払」+「会社銀行の情報」

回収予定確定基準が「0:請求書単位」の場合は、相殺処理・振替処理の金額を印字するように変更

単票伝票請求書の入金情報行の備考に、回収方法の情報を印字するように変更

回収予定確定基準が「0:請求書単位」で分割回収する場合の、御支払期日の印字方法を変 更

〇変更前

1つ目の回収予定日を印字する

〇変更後

2つの回収予定日が異なる場合は印字しない

請求書の合計行の前の空白行を1行に変更

[請求書発行 - 出力項目]画面の設定項目の名称を変更

「納品書上の合計金額」 →「伝票計」

「納品書上の注文No.」 →「注文No.」

「納品書上の回収方法情報」→「回収方法情報」

「納品書上の取引先情報」 →「取引先情報」

[請求書発行 - 条件設定]画面の[出力設定]ページの設定項目の名称を変更

「開始請求No.」→「請求No.」

[請求書発行 - 条件設定]画面の[基本設定]ページの集計範囲詳細について、範囲指定され たコードは前回条件を保持しないように変更

消費税自動計算が「しない」で、消費税を別段で入力している場合も、消費税一括伝票を作 成する際の計算対象にするように変更

▼例

以下の債権が登録されている場合

10000円(消費税自動計算が「しない」)

300円(消費税商品)

<結果>

〇変更前

外税消費税 300円

一括消費税 500円

〇変更後

外税消費税 300円

一括消費税 200円

請求No.の付番方法を変更

〇変更前

 $A-999 \rightarrow A-001$

〇変更後

 $A-999 \rightarrow A-1000$

画面表示で、西暦の場合の日付の「年」を4桁に変更

(印刷は変更なし)

手形を返却した場合の入金額の計上方法を変更

▼例 4/10 債権伝票 10,000 L 4月分の締処理を実行 Ţ 5/25 手形で入金 10,000 Ţ 5月分の締処理を実行 Ţ 6/25日に手形の返却 6月分の締処理の結果 〇変更前 入金額に-10,000を計上(手形の返却分をマイナス計上) 〇変更後 入金額は0のまま(手形の返却分は計上しない) 取引先で改ページ([請求書発行 - 出力項目]画面の[明細請求書・伝票請求書])の設定 は、取引先グループ単位で印刷する場合だけ有効になるように変更 消費税一括税額について、税区分ごとに明細を分けて消費税伝票を作成する機能を追加 【設定箇所】 [請求書発行 - 条件設定]画面の[詳細設定]ページの「税区分別に明細を分ける」 ※この機能は、Ver.1.61で追加されました。 ≪請求書再発行≫ 請求書の回収方法項目に回収方法名を表示するように変更 〇変更前 単票明細請求書「会社銀行の情報」 〇変更後 単票明細請求書 「手形の支払」+「会社銀行の情報」 回収予定確定基準が「0:請求書単位」の場合は、相殺処理・振替処理の金額を印字するよ うに変更 単票伝票請求書の入金情報行の備考に、回収方法の情報を印字するように変更 回収予定確定基準が「0:請求書単位」で分割回収する場合の、御支払期日の印字方法を変 更 〇変更前 1つ目の回収予定日を印字する 〇変更後 2つの回収予定日が異なる場合は印字しない 請求書の合計行の前の空白行を1行に変更 [請求書再発行 - 出力項目]画面の設定項目の名称を変更 「納品書上の合計金額」 →「伝票計」 「納品書上の注文No.」 →「注文No.」 「納品書上の回収方法情報」→「回収方法情報」 「納品書上の取引先情報」 → 「取引先情報」 取引先で改ページ([請求書再発行 - 出力項目]画面の[明細請求書・伝票請求書])の設定 は、取引先グループ単位で印刷する場合だけ有効になるように変更 ≪請求一覧表≫

請求先出力([請求一覧表 - 条件設定]画面の[基本設定]ページ)で、請求先の名称を「請 求先名1」「請求先名2」「請求先名1+請求先名2」「請求先略称」から選択できるよう に変更

画面表示で、合計行の表示を最上行から最下行に変更 (画面表示と印刷で相違があったため、統一)

転送で、Excelに出力する際、すべて「文字列」になっていたデータの属性を、金額は「数 値」、処理日は「日付」に変更

印刷する際の条件を設定する画面([請求一覧表 - 印刷等条件設定]画面)が追加され、[請 求一覧 - 条件設定]画面の[印刷設定]ページ・[プリンタ設定]ページで設定していた内容を [請求一覧表 - 印刷等条件設定]画面に移動

請求書を取引先グループ単位で発行し、優先表示以外の取引先を表示する場合、実際に請求 を行っていない優先表示以外の取引先の金額欄は空欄にするように変更 (転送で出力されるデータは、外部への影響度を考慮して変更なし)

≪請求締取消≫

請求締取消を実行する際に、消費税伝票を削除しない設定を追加

【設定箇所】

[請求締取消 - 条件設定]画面の[詳細設定]ページの「消費税伝票を削除する」チェックボ ックス

(会計期間をまたぐ請求期間で請求書を発行する際に、会計期間ごとに消費税伝票を作成す る場合はチェックを外します)

≪締単位入金消込≫

請求情報の絞り込みの条件として、請求日付ではなく請求締日を指定するように変更

回収予定確定基準が「0:請求書単位」で分割回収の場合、[個別入金消込]画面にジャンプ して消込をする際の消込金額の制限を変更

〇変更前

請求情報の未入金金額による制限はなし

〇変更後

[締単位入金消込] 画面でフォーカスがある請求情報の未入金金額以内

回収予定確定基準が「0:請求書単位」で分割回収の場合、[個別入金消込]画面にジャンプ して消込をした際に消込済みになる請求情報の優先順を変更

〇変更前

必ず、請求書前半>請求書後半

〇変更後

[締単位入金消込]画面でフォーカスがある請求情報

相殺処理・振替処理を行っている場合の、回収予定金額の集計方法を変更

※詳細は、[請求書発行]メニューの「相殺処理・振替処理を行っている場合の、回収予定金額 の集計方法を変更。」をご参照ください。

「3:非連結」の入金情報で入金消込をする際は、「消込日付」に非連結入金の日付より前の日付を指定できないように変更

≪一括入金消込≫

回収予定確定基準が「0:請求書単位」で分割回収をしている場合に、回収予定日の表示で 優先する回収予定を「回収予定日」「分割回収予定日」から選択できるように変更 【設定箇所】

[一括入金消込 - 条件設定]画面の[表示設定2]ページの「分割予定表示」

絞り込みの条件として伝票日付を指定するかを選択できるようにし、初期値では伝票日付で

の絞り込みが行われないように変更

【設定箇所】

[一括入金消込 - 条件設定]画面の[基本条件]ページの「伝票日付を指定する」

未入金金額よりマイナス債権金額の方が多い場合のチェックのタイミングを変更 〇変更前

[自動消込] ([F7]キー)を押したとき

「実行」([F2]キー)を押したとき

〇変更後

・消し込む明細にチェックを付けたとき

「全選択」([F5]キー)を押したとき

≪個別入金消込≫

債権明細に、以下の情報を出力できるように変更。表示順にも追加 セグメント1・セグメント2・プロジェクト・サブプロジェクト

[個別入金消込 - 条件設定]画面の[表示設定2]ページについて、名称を[出力順]ページに 変更し、表示基準の優先順位や、表示順(昇順/降順)を自由に設定できる機能を追加

回収予定確定基準が「0:請求書単位」で分割回収をしている場合に、表示する回収予定を 「回収予定日」「分割回収予定日」「回収予定日と分割回収予定日」から選択できるように 変更

【設定箇所】

[個別入金消込 - 条件設定]画面の[表示設定2]ページの「分割予定表示」

≪入金消込修正≫

[締単位入金消込]画面から[個別入金消込]画面にジャンプして消し込まれた場合の消込区分の表示を変更

〇変更前

「通」

〇変更後

「締」

≪入金消込承認≫

以下の利用者も、当メニューを起動できるように変更

・承認権限は付与されていないが、「参照」以上のメニュー権限が1つでも設定されている
 利用者

[締単位入金消込]画面→[個別入金消込]画面→[前受金消込]画面とジャンプして消し込まれ た場合の消込区分の表示を変更

〇変更前

「通」

〇変更後

「締」

≪前受金消込≫

債権明細に、以下の情報を出力できるように変更

表示順にも追加

セグメント1・セグメント2・プロジェクト・サブプロジェクト

[前受金消込 - 条件設定]画面の[表示設定2]ページについて、名称を[出力順]ページに変 更し、表示基準の優先順位や、表示順(昇順/降順)を自由に設定できる機能を追加

回収予定確定基準が「0:請求書単位」で分割回収をしている場合に、表示する回収予定を 「回収予定日」「分割回収予定日」「回収予定日と分割回収予定日」から選択できるように 変更

【設定箇所】

[前受金消込 - 条件設定]画面の[表示設定2]ページの「分割予定表示」

≪前受金消込修正≫

[締単位入金消込]画面から[前受金消込]画面にジャンプして消し込まれた場合の消込区分の 表示を変更

〇変更前

「通」

〇変更後

「締」

≪一括相殺消込≫

債権側だけではなく、債務側の部門権限に準拠するように変更

※詳細は、操作説明の「部門権限の制限内容一覧」をご参照ください。

【関連メニュー】

- ・[債権管理]-[相殺処理]-[個別相殺消込]メニュー
- ・[債権管理]-[相殺処理]-[相殺消込修正]メニュー
- ・[債権管理]-[相殺処理]-[相殺消込承認]メニュー
- ・[債権管理]-[相殺処理]-[債権振替相殺処理]メニュー
- ・[債権管理]-[管理帳票]-[請求先元帳]メニュー
- ・[債権管理]-[履歴管理]-[相殺消込履歴]メニュー

≪相殺消込承認≫

以下の利用者も、当メニューを起動できるように変更

・承認権限は付与されていないが、「参照」以上のメニュー権限が1つでも設定されている 利用者

≪受取手形入力≫

[受取手形入力]画面から、作成された仕訳伝票を確認できる機能を追加

※受取手形を表示させた状態で[仕訳履歴]([F8]キー)を押すと、[受取手形入力 - 仕訳履 歴] 画面で仕訳伝票を確認できます。

登録済みの受取手形を複写する機能を追加

入金管理せずに、てん末管理だけをする受取手形を登録できる機能を追加

【設定箇所】

[回収方法登録]メニューの[基本]ページの「てん末管理のみ行う」

[受取手形入力]画面の入力項目の配置を変更

てん末変更を行う上で必要な情報をヘッダー項目に配置

受取手形の返却に関する機能を変更

- ・入金情報を作成している受取手形を返却する際に入金承認
 ・入金消込を取り消す機能を廃止
- ・返却のてん末処理仕訳を作成できる機能を追加

【設定箇所】

[手形機能設定]メニューの[受取手形処理]-[てん末仕訳設定]の【返却】の「てん末処理 仕訳」

・てん末を「返却」に変更しても取消できるように変更

『債務管理Proオプション』『債務管理オプション』『支払管理オプション』をお使いの場 合も、裏書のてん末処理仕訳を作成できるように変更 【設定箇所】 [手形機能設定]メニューの[受取手形処理]-[てん末仕訳設定]の【裏書】の「てん末処理仕 訳」

仕訳伝票の付番方法が「2:手入力」の場合は、受取手形を登録する際に[受取手形入力 - 伝票No.入力] 画面で仕訳伝票の伝票No. を入力するように変更

仕訳伝票の重複チェックが「1:月度単位チェック」または「2:年度単位チェック」の場合 に、受取手形から作成する仕訳伝票の伝票No.も重複チェックするように変更

[仕訳処理]メニューと操作性が同様になるように、ファンクションキーの配置を変更

受取手形の状況(「入金情報作成済み」「入金承認済み」「領収証作成済み」)をヘッダー で確認できるように変更

勘定奉行の部門権限に準拠する場合に制限される処理内容を変更

※詳細は、操作説明の「部門権限の制限内容一覧」をご参照ください。

受取手形を検索する際の検索条件設定画面([受取手形入力 - 条件設定]画面)に[てん末] ページ・[付箋]ページが追加され、てん末異動日付や付箋で検索できる機能を追加 ※この変更にともない、当バージョンにバージョンアップすると、以前のバージョンで設定し た検索条件が初期化されます。

受取手形を検索する際の検索条件設定画面([受取手形入力 - 条件設定]画面)に[出力順] ページが追加され、以下の機能を追加

〇表示基準の優先順位や、表示順(昇順/降順)を自由に設定できる機能

〇表示基準:「振出日付順」「振替日付順」「請求先コード順」「請求先フリガナ順」「請 求先インデックス順」

〇表示基準の登録順について、最終更新順/新規登録順の切替機能

※この変更にともない、当バージョンにバージョンアップすると、以前のバージョンで設定した並び順が初期化されます。

受取手形の以下の項目を修正した場合に、以前は、登録済みの手許のてん末処理仕訳について、手形明細にだけその変更内容を反映させていましたが、貸借両方に変更を反映するように変更

請求先・部門・セグメント1・セグメント2・プロジェクト・サブプロジェクト

連続裏書人の情報は、[受取手形入力]画面に追加された[連続裏書人]ページで入力するよう に変更

会計期首から伝票入力開始日までの期間でも、受取手形の登録やてん末変更ができるように 変更

受取手形の転送で、コードと名称が、Excel上の別のセルに出力されるように変更

割引料の桁数を、5桁から13桁に変更

≪受取手形てん末変更≫

複数のパターンの集計条件を保持できるように変更

あらかじめ、てん末ごとにパターンを用意

[受取手形てん末変更]画面の項目の配置を変更

また、[受取手形てん末変更 - 条件設定]画面の[項目選択]ページで、表示する項目・項目の並び順を設定できるように変更

業務の効率を考慮し、てん末の取消も、当メニューで行うように変更

以下の項目を、[受取手形てん末変更]画面に表示できるように変更。

請求先コード・請求先名1・請求先名2・請求先略称・部門・郵送料・セグメント1・セグ メント2・プロジェクト・サブプロジェクト・付箋

複数のてん末をまとめて取り消しできるように変更

異動先のてん末を、[受取手形てん末変更 - 条件設定]画面の[基本条件]ページで選択する ように変更

[受取手形てん末変更 - 条件設定]画面に[利用情報]ページ・[付箋]ページが追加され、処 理日時や付箋で検索できる機能を追加

※この変更にともない、当バージョンにバージョンアップすると、以前のバージョンで設定し た検索条件が初期化されます。

[受取手形てん末変更 - 条件設定]画面に[出力順]ページが追加され、以下の機能を追加 〇表示基準の優先順位や、表示順(昇順/降順)を自由に設定できる機能

〇表示基準:「登録順」「振出日付順」「振替日付順」「請求先コード順」「請求先フリガ ナ順」「請求先インデックス順」

〇表示基準の登録順について、最終更新順/新規登録順の切替機能

※この変更にともない、当バージョンにバージョンアップすると、以前のバージョンで設定した並び順が初期化されます。

初期表示するてん末異動日付として、「システム日付」だけでなく「前回利用日付」を選択 できるように変更

【設定箇所】

[受取手形てん末変更 - 条件設定]画面に[表示設定]ページの「てん末異動日付」

[受取手形てん末変更]画面から[受取手形入力]画面にジャンプできるように変更 ※[ジャンプ]([F6]キー)を押すとジャンプできます。

会計期首から伝票入力開始日までの期間でも、受取手形のてん末変更ができるように変更

仕訳伝票の付番方法が「0:月度連番」または「1:年度連番」で、 システム自動付番が 「0:使用しない」の場合は、作成するてん末処理仕訳の伝票No.の付番方法を指定できるように変更

『債務管理Proオプション』『債務管理オプション』『支払管理オプション』をお使いの場 合も、裏書仕訳を作成できるように変更

[仕訳処理]メニューと操作性が同様になるように、ファンクションキーの配置を変更

受取手形てん末変更の転送で、コードと名称が、Excel上の別のセルに出力されるように変更

割引料の桁数を、5桁から13桁に変更

≪受取手形一括決済≫

複数のパターンの集計条件を保持できるように変更

[受取手形ー括決済]画面の項目の配置を変更

また、[受取手形一括決済 - 条件設定]画面の[項目選択]ページで、表示する項目・項目の 並び順を設定できるように変更

業務の効率を考慮し、決済の取消も、当メニューで行うように変更

以下の項目を、[受取手形一括決済]画面に表示できるように変更

請求先コード・請求先名1・請求先名2・請求先略称・部門・郵送料・セグメント1・セグ メント2・プロジェクト・サブプロジェクト・付箋

[受取手形一括決済 - 条件設定]画面に[利用情報]ページ・[付箋]ページが追加され、処理 日時や付箋で検索できる機能を追加

※この変更にともない、当バージョンにバージョンアップすると、以前のバージョンで設定した検索条件が初期化されます。

[受取手形一括決済 - 条件設定]画面に[出力順]ページが追加され、以下の機能を追加 〇表示基準の優先順位や、表示順(昇順/降順)を自由に設定できる機能 〇表示基準:「登録順」「振出日付順」「振替日付順」「請求先コード順」「請求先フリガ ナ順」「請求先インデックス順」

〇表示基準の登録順について、最終更新順/新規登録順の切替機能

※この変更にともない、当バージョンにバージョンアップすると、以前のバージョンで設定した並び順が初期化されます。

[受取手形一括決済]画面から[受取手形入力]画面にジャンプできるように変更 ※[ジャンプ]([F6]キー)を押すとジャンプできます。

仕訳伝票の付番方法が「0:月度連番」または「1:年度連番」で、 システム自動付番が 「0:使用しない」の場合は、作成する決済処理仕訳の伝票No.の付番方法を指定できるよう に変更

[仕訳処理]メニューと操作性が同様になるように、ファンクションキーの配置を変更

受取手形一括決済の転送で、コードと名称が、Excel上の別のセルに出力されるように変更

≪ファクタリング債権入力≫

[ファクタリング債権入力]画面の入力項目の配置を変更

てん末変更を行う上で必要な情報をヘッダー項目に配置

ー部割引・裏書後の差引譲渡残高をヘッダー項目に追加、一部割引・裏書履歴をリストに表 示

[ファクタリング債権入力]画面から、作成された仕訳伝票を確認できる機能を追加

※ファクタリング債権を表示させた状態で[仕訳履歴]([F8]キー)を押すと、[ファクタリ ング債権入力 - 仕訳履歴]画面で仕訳伝票を確認できます。

登録済みのファクタリング債権を複写する機能を追加

入金管理せずに、てん末管理だけをするファクタリング債権を登録できる機能を追加 【設定箇所】

[回収方法登録]メニューの[基本]ページの「てん末管理のみ行う」

- ファクタリング債権の返却に関する機能を変更
- 入金情報を作成しているファクタリング債権を返却する際に入金承認・入金消込を取り消 す機能を廃止

・返却のてん末処理仕訳を作成できる機能を追加

【設定箇所】

[手形機能設定]メニューの[ファクタリング債権処理]-[ファクタリング仕訳設定]または [期日現金仕訳設定]の返却の「てん末処理仕訳」

・てん末を「返却」に変更しても取消できるように変更

[仕訳処理]メニューと操作性が同様になるように、ファンクションキーの配置を変更

仕訳伝票の付番方法が「2:手入力」の場合は、ファクタリング債権を登録する際に[ファク タリング債権 - 伝票No.入力]画面で仕訳伝票の伝票No.を入力するように変更

仕訳伝票の重複チェックが「1:月度単位チェック」または「2:年度単位チェック」の場合 に、ファクタリング債権から作成する仕訳伝票の伝票No.も重複チェックするように変更

ファクタリング債権の状況(「入金情報作成済み」「入金承認済み」)をヘッダーで確認で きるように変更

勘定奉行の部門権限に準拠する場合に制限される処理内容を変更

※詳細は、操作説明の「部門権限の制限内容一覧」をご参照ください。

ファクタリング債権を検索する際の検索条件設定画面([ファクタリング債権入力 - 条件設定] 画面)に[てん末]ページ・[付箋]ページが追加され、てん末利用日付や付箋で検索できる機能を追加

※この変更にともない、当バージョンにバージョンアップすると、以前のバージョンで設定した検索条件が初期化されます。

ファクタリング債権を検索する際の検索条件設定画面([ファクタリング債権入力 - 条件設 定]画面)に[出力順]ページが追加され、以下の機能を追加

〇表示基準の優先順位や、表示順(昇順/降順)を自由に設定できる機能

〇表示基準:「譲渡承諾日付順」「振替日付順」「請求先コード順」「請求先フリガナ順」 「請求先インデックス順」「ファクタリング会社コード順」

〇表示基準の登録順について、最終更新順/新規登録順の切替機能

※この変更にともない、当バージョンにバージョンアップすると、以前のバージョンで設定した並び順が初期化されます。

ファクタリング債権の以下の項目を修正した場合に、以前は、登録済みの手許のてん末処理 仕訳について、ファクタリング債権明細にだけその変更内容を反映させていましたが、貸借 両方に変更を反映するように変更

請求先・部門・セグメント1・セグメント2・プロジェクト・サブプロジェクト

会計期首から伝票入力開始日までの期間でも、ファクタリング債権の登録やてん末変更がで きるように変更

ファクタリング債権の転送で、コードと名称が、Excel上の別のセルに出力されるように変更

割引料の桁数を、5桁から13桁に変更

≪ファクタリング債権てん末変更≫

複数のパターンの集計条件を保持できるように変更

あらかじめ、てん末ごとにパターンを用意

[ファクタリング債権てん末変更]画面の項目の配置を変更

また、[ファクタリング債権てん末変更 - 条件設定]画面の[項目選択]ページで、表示する 項目・項目の並び順を設定できるように変更

業務の効率を考慮し、てん末の取消も、当メニューで行うように変更

以下の項目を、[ファクタリング債権てん末変更]画面に表示できるように変更 請求先名2・請求先略称・部門・セグメント1・セグメント2・プロジェクト・サブプロジ ェクト・付箋

複数のてん末をまとめて取り消しできるように変更

異動先のてん末を、[ファクタリング債権てん末変更 - 条件設定]画面の[基本条件]ページ で選択するように変更

[ファクタリング債権てん末変更 - 条件設定]画面に[利用情報]ページ・[付箋]ページが追加され、処理日時や付箋で検索できる機能を追加

※この変更にともない、当バージョンにバージョンアップすると、以前のバージョンで設定した検索条件が初期化されます。

[ファクタリング債権てん末変更 - 条件設定]画面に[出力順]ページが追加され、以下の機能を追加

〇表示基準の優先順位や、表示順(昇順/降順)を自由に設定できる機能

O表示基準:「登録順」「通知日付順」「振替日付順」「請求先コード順」「請求先フリガ ナ順」「請求先インデックス順」「ファクタリング会社コード順」

〇表示基準の登録順について、最終更新順/新規登録順の切替機能

※この変更にともない、当バージョンにバージョンアップすると、以前のバージョンで設定した並び順が初期化されます。

初期表示するてん末利用日付として、「システム日付」だけでなく「前回利用日付」を選択 できるように変更 【設定箇所】 [ファクタリング債権てん末変更 - 条件設定]画面の[表示設定]ページの「てん末利用日 付」

[ファクタリング債権てん末変更]画面から[ファクタリング債権入力]画面にジャンプできる ように変更

※[ジャンプ]([F6]キー)を押すとジャンプできます。

仕訳伝票の付番方法が「0:月度連番」または「1:年度連番」で、 システム自動付番が 「0:使用しない」の場合は、作成するてん末処理仕訳の伝票No.の付番方法を指定できるように変更

[仕訳処理]メニューと操作性が同様になるように、ファンクションキーの配置を変更

会計期首から伝票入力開始日までの期間でも、ファクタリング債権のてん末変更ができるように変更

受取手形てん末変更の転送で、コードと名称が、Excel上の別のセルに出力されるように変更

割引料の桁数を、5桁から13桁に変更

≪ファクタリング債権一括決済≫

複数のパターンの集計条件を保持できるように変更

[ファクタリング債権一括決済]画面の項目の配置を変更

また、[ファクタリング債権一括決済 - 条件設定]画面の[項目選択]ページで、表示する項 目・項目の並び順を設定できるように変更

業務の効率を考慮し、てん末の取消も、当メニューで行うように変更

以下の項目を、[ファクタリング債権一括決済]画面に表示できるように変更

請求先コード・請求先名1・請求先名2・請求先略称・部門・郵送料・セグメント1・セグ メント2・プロジェクト・サブプロジェクト・付箋

[ファクタリング債権一括決済 - 条件設定]画面に[利用情報]ページ・[付箋]ページが追加 され、処理日時や付箋で検索できる機能を追加

※この変更にともない、当バージョンにバージョンアップすると、以前のバージョンで設定し た検索条件が初期化されます。

[ファクタリング債権一括決済 - 条件設定]画面に[出力順]ページが追加され、以下の機能 を追加

〇表示基準の優先順位や、表示順(昇順/降順)を自由に設定できる機能

〇表示基準:「登録順」「譲渡承諾日付順」「振替日付順」「請求先コード順」「請求先フ リガナ順」「請求先インデックス順」「ファクタリング会社コード順」

〇表示基準の登録順について、最終更新順/新規登録順の切替機能

※この変更にともない、当バージョンにバージョンアップすると、以前のバージョンで設定した並び順が初期化されます。

[ファクタリング債権一括決済]画面から[ファクタリング債権入力]画面にジャンプできるように変更

※[ジャンプ]([F6]キー)を押すとジャンプできます。

仕訳伝票の付番方法が「0:月度連番」または「1:年度連番」で、 システム自動付番が 「0:使用しない」の場合は、作成する決済処理仕訳の伝票No.の付番方法を指定できるよう に変更

[仕訳処理]メニューと操作性が同様になるように、ファンクションキーの配置を変更

ファクタリング債権一括決済の転送で、コードと名称が、Excel上の別のセルに出力される ように変更

≪回収予定表≫

部門権限による制限を緩和

※詳細は、操作説明の「部門権限の制限内容一覧」をご参照ください。

回収予定確定基準が「0:請求書単位」の場合でも、部門・セグメント・プロジェクトでの 条件の絞り込み、部門別出力ができるように変更

※ただし、対象金額が「債権金額」の場合はできません。

≪滞留債権年齡表≫

部門権限による制限を緩和

※詳細は、操作説明の「部門権限の制限内容一覧」をご参照ください。

回収予定日、分割回収予定日それぞれの金額で滞留金額を計上するように変更

≪入金消込履歴≫

絞り込みの条件として伝票日付を指定するかを選択できるようにし、初期値では伝票日付で の絞り込みが行われないように変更

【設定箇所】

[入金消込履歴 - 条件設定]画面の[基本条件]ページの「伝票日付を指定する」

【随時処理】

≪債権区分データ作成≫

作成するデータを絞り込む際の条件設定画面([債権区分データ作成 - 出力条件設定]画面の[基本設定]ページ)について、検索条件を指定する項目をリストから選択する形式に変更 ※この変更にともない、当バージョンにバージョンアップすると、以前のバージョンで設定した作成条件が初期化されます。

≪回収方法データ作成≫

作成するデータを絞り込む際の条件設定画面([回収方法データ作成 - 出力条件設定]画面の[基本設定]ページ)について、検索条件を指定する項目をリストから選択する形式に変更 ※この変更にともない、当バージョンにバージョンアップすると、以前のバージョンで設定した作成条件が初期化されます。

≪取引先データ作成≫

勘定奉行に取引先区分別の集計機能が追加されたことに伴い、出力項目に取引先区分を追加

≪前受金残高データ作成≫

作成するデータを絞り込む際の条件設定画面([前受金残高データ作成 - 出力条件設定]画 面の[基本設定]ページ)について、検索条件を指定する項目をリストから選択する形式に変 更

※この変更にともない、当バージョンにバージョンアップすると、以前のバージョンで設定した作成条件が初期化されます。

≪債権伝票データ作成≫

勘定奉行の部門権限に準拠する場合に制限される処理内容を変更

※詳細は、操作説明の「部門権限の制限内容一覧」をご参照ください。

前年度の債権伝票データを出力した場合は、仕訳伝票と同様に、部門やセグメントなど、年 度別にコードや名称を保持しているマスターは前年度の情報で出力するように変更

作成するデータを絞り込む際の条件設定画面([債権伝票データ作成 - 出力条件設定]画面 の[基本設定]ページ)について、検索条件を指定する項目をリストから選択する形式に変更 ※この変更にともない、当バージョンにバージョンアップすると、以前のバージョンで設定し た作成条件が初期化されます。

作成するデータを絞り込む際の条件設定画面([債権伝票データ作成 - 出力条件設定]画面の[登録情報]ページ)で、検索条件として、入金状態(未入金・一部入金・入金済)を複数

指定できるように変更

作成するデータを絞り込む際の条件設定画面([債権伝票データ作成 - 出力条件設定]画 面) に[出力順]ページが追加され、以下の機能を追加 ○表示基準の優先順位や、表示順(昇順/降順)を自由に設定できる機能 〇表示基準:「取引先グループコード順」「請求先コード順」「請求先フリガナ順」「請求 先インデックス順」「回収予定日順」 〇表示基準の登録順について、最終更新順/新規登録順の切替機能 出力形式が「カンマ区切り」または「タブ区切り」の場合に、出力項目に以下の項目を追加 〇取引先に関する情報 「取引先グループ」 〇登録に関する情報 「新規登録日時」「新規登録者名」「新規登録区分」 「修正登録日時」「修正登録者名」「修正登録区分」 「1次承認日時」「1次承認者名」 「最終承認日時」「最終承認者名」 〇入金状態に関する情報 「入金済金額」「未入金金額」 ≪入金情報データ作成≫ 作成するデータを絞り込む際の条件設定画面 (「入金情報データ作成 - 出力条件設定)画 面)に[出力順]ページが追加され、以下の機能を追加 ○表示基準の優先順位や、表示順(昇順/降順)を自由に設定できる機能 〇表示基準:「取引先グループコード順」 〇表示基準の登録順について、最終更新順/新規登録順の切替機能 出力形式が「カンマ区切り」または「タブ区切り」の場合に、出力項目に「取引先グルー プ」を追加 ≪取引先データ受入≫ 勘定奉行に取引先区分別の集計機能が追加されたことに伴い、受入項目に取引先区分を追加 【自動実行管理】 ≪自動実行取引先データ作成≫ 勘定奉行に取引先区分別の集計機能が追加されたことに伴い、出力項目に取引先区分を追加 ≪自動実行債権伝票データ作成≫ 作成するデータを絞り込む際の条件設定画面([自動実行債権伝票データ作成 - 出力条件設 定]画面の[基本設定]ページ)について、検索条件を指定する項目をリストから選択する形 式に変更 作成するデータを絞り込む際の条件設定画面([自動実行債権伝票データ作成 - 出力条件設 定]画面の[登録情報]ページ) で、検索条件として、入金状態(未入金・一部入金・入金 済)を複数指定できるように変更 作成するデータを絞り込む際の条件設定画面([自動実行債権伝票データ作成 - 出力条件設 定]画面)に[出力順]ページが追加され、以下の機能を追加 ○表示基準の優先順位や、表示順(昇順/降順)を自由に設定できる機能 〇表示基準:「取引先グループコード順」「請求先コード順」「請求先フリガナ順」「請求

先インデックス順」「回収予定日順」

〇表示基準の登録順について、最終更新順/新規登録順の切替機能

出力形式が「カンマ区切り」または「タブ区切り」の場合に、出力項目に以下の項目を追加 の取引先に関する情報 「取引先グループ」 〇登録に関する情報 「新規登録日時」「新規登録者名」「新規登録区分」 「修正登録日時」「修正登録者名」「修正登録区分」 「1次承認日時」「1次承認者名」 「最終承認日時」「最終承認者名」

〇入金状態に関する情報

「入金済金額」「未入金金額」

≪自動実行入金情報データ作成≫

作成するデータを絞り込む際の条件設定画面([自動実行入金情報データ作成 - 出力条件設 定]画面)に[出力順]ページが追加され、以下の機能を追加

〇表示基準の優先順位や、表示順(昇順/降順)を自由に設定できる機能

〇表示基準:「取引先グループコード順」

〇表示基準の登録順について、最終更新順/新規登録順の切替機能

出力形式が「カンマ区切り」または「タブ区切り」の場合に、出力項目に「取引先グルー プ」を追加

≪自動実行取引先データ受入≫

取引先データを受け入れた場合に、その内容を最新の会計期間だけでなく、前年度にも反映 できるように変更

取引先名(取引先名1、取引先名2、取引先名カナ)・回収方法・分割回収方法

勘定奉行に取引先区分別の集計機能が追加されたことに伴い、受入項目に取引先区分を追加

● メニューの名称および構成を変更

〇メニューの名称を変更

変更前	変更後
[導入処理]-[運用設定]	[導入処理]-[運用設定]
-[会社運用設定]	-[債権債務運用設定]
[導入処理]-[会計期間設定]	[導入処理]-[会計期間設定]
-[会計期間設定]	-[債権債務機能設定]
[債権業務処理]	[債権管理]
[債権業務処理]	[債権管理]
-[ファクタリング処理]	-[ファクタリング処理]
[債権業務処理]-[ファクタリング処理]	[債権管理]-[ファクタリング処理]
-[ファクタリング入力]	-[ファクタリング債権入力]
[債権業務処理]-[ファクタリング処理]	[債権管理]-[ファクタリング処理]
-[ファクタリングてん末変更]	-[ファクタリング債権てん末変更]
[債権業務処理]-[ファクタリング処理]	[債権管理]-[ファクタリング処理]
-[ファクタリングー括決済]	-[ファクタリング債権一括決済]

〇[ファクタリング機能設定]メニューの廃止

[導入処理]-[運用設定]-[ファクタリング機能設定]メニューが廃止され、[導入処理]-[運用 設定]-[手形機能設定]メニューに統合されました。

〇[受取手形てん末取消]メニューの廃止

以下のメニューにてん末の取消機能が搭載されたため、[債権業務処理]-[受取手形処 理]-[受取手形てん末取消]メニューが廃止されました。

- ・[債権管理]-[受取手形処理]-[受取手形てん末変更]メニュー
- ・[債権管理]-[受取手形処理]-[受取手形一括決済]メニュー

〇[ファクタリングてん末取消]メニューの廃止

以下のメニューにてん末の取消機能が搭載されたため、[債権業務処理]-[ファクタリング処 理]-[ファクタリングてん末取消]メニューが廃止されました。

- ・[債権管理]-[ファクタリング処理]-[ファクタリング債権てん末変更]メニュー
- ・[債権管理]-[ファクタリング処理]-[ファクタリング債権一括決済]メニュー

● [条件設定]画面の項目の配置を変更

条件を設定する画面の、項目の配置を変更しました。 条件を設定しやすくするために、使用頻度の高い項目を[基本条件]ページなどの前面に配 置するように変更しています。

▼例

[個別入金消込 - 条件設定]画面
电出登单 电入全体相力	心須福明緒を抽出	D P	素権利用者から	入会情報を抽出			
新国都定 時日区分コード							(印刷稿(例)
取引先グループ	最 70	~	粮彼				
請求先	AR 20	~	最 往				
建本先区分	y<(.		载 70	~ 根谅			
入主情報							-
入金日付	月範囲([) 2011年 4月	ê	٠	日~2012年	3月	· 118	
国联方法	最 73	~	赖彼				
後指任業							
🔄 伝薬日付き指定する	月晒煎(10)) 2011年 4月		-	1日 ~ 2012年	2月	- 01B	
19末日付	月10日日(1) 2011年 4月		*	1日 ~ 2012年	1月	+ 018	
任 要No 、	最初	~	荣读	-			
IESNo.	R 73	~	最佳	他のページ	川に自己語	されていた人金	情報や債権伝導
856	AR 73	~	最佳	の各条件エ	頁目を、	[基本条件]ペー	シに移動。
把当着区分	最初 ~最後						
回收予定日	月16日(D) 2011年 4月	1	*	1日 ~ 2012年	3月	- HB	
回収予定日達ぎデータ	のみ表示						
图成方法	最 70	~	最佳		1		
储藏区分	最 70	~	最佳				
	A 17	1.4	At 18				

≪ 関連メニュー ≫

- ・[債権管理]-[入金処理]-[締単位入金消込]メニュー
- ・[債権管理]-[入金処理]-[一括入金消込]メニュー
- ・[債権管理]-[入金処理]-[個別入金消込]メニュー
- ・[債権管理]-[前受金処理]-[前受金消込]メニュー
- ・[債権管理]-[入金処理]-[仮受金処理]メニュー
- ・[債権管理]-[相殺処理]-[一括相殺消込]メニュー
- ・「債権管理]-「相殺処理]-「個別相殺消込]メニュー
- ・[債権管理]-[相殺処理]-[債務振替相殺処理]メニュー
- ・[債権管理]-[入金処理]-[入金消込修正]メニュー
- ・[債権管理]-[前受金処理]-[前受金消込修正]メニュー
- ・[債権管理]-[相殺処理]-[相殺消込修正]メニュー
- ・[債権管理]-[売上債権処理]-[債権伝票承認]メニュー
- ・[債権管理]-[入金処理]-[入金承認]メニュー
- ・[債権管理]-[相殺処理]-[相殺消込承認]メニュー
- ・[債権管理]-[履歴管理]-[債権伝票履歴]メニュー
- ・[債権管理]-[履歴管理]-[入金情報履歴]メニュー
- ・[債権管理]-[履歴管理]-[入金消込履歴]メニュー
- ・[債権管理]-[履歴管理]-[仮受金処理履歴]メニュー
- ・[債権管理]-[履歴管理]-[相殺消込履歴]メニュー



機能アップガイド







【債権管理Proオプション、債権管理オプション】	
≪メニュー体系≫	
メニューの名称および構成を変更	3
[会社運用設定]メニューの設定に応じて、使用できないメニューを表示しないように変更	4
≪全般≫	
勘定奉行の部門権限に準拠するかを選択できるように変更	4
<ネットワーク対応製品をお使いの場合>	
一部の帳票で、帳票別プリンタ登録に対応	5
≪導入処理≫	
[会社運用設定]メニューに対して、過去に更新されたデータの内容をログで確認できるように変更	6
[会社運用設定]メニューで、各項目の入力方法を変更	7
[商品登録]メニューに、検索機能・表示順設定機能・初期値設定機能を追加	7
< 『債権管理Proオプション』をお使いの場合>	
入金情報などを登録する際の回収部門の固定値を設定できるように変更	7
≪債権業務処理≫	
承認状態の表示について、名称と色を変更	8
作成する仕訳伝票の摘要に、債権伝票の伝票No.を入力できるように変更	9
消費税伝票を作成しない場合は、消費税額を請求書に計上しないように変更	9
<『債権管理Proオプション』をお使いの場合>	
[個別入金消込]メニューと[前受金消込]メニューの表示順に伝票No.順を追加	9
[仮受金処理]メニューで、前の会計期間の仮受金も処理できるように変更	10
[仮受金処理]メニューで、入金日付での絞り込みをするかを選択できるように変更	10
各メニューの条件設定画面で、前回入力した部門コードが初期表示されないように変更	10
各取消処理で作成する反対仕訳の摘要に、取り消した仕訳伝票の摘要が引き継がれるよう に変更	10
請求先元帳の集計結果の表示内容を変更	11
管理資料などの表示順に請求先フリガナ順を追加	14
[仮受金処理履歴]メニューで、処理日付で絞り込みができるように変更	14
≪随時処理≫	
[担当者データ作成]メニュー・[商品データ作成]メニュー・[取引先グループデータ作成]	14
メニュー・[入金情報データ作成]メニューで、数値で設定する項目について、数値だけで	
なく、その内容も出力するように変更	
[商品データ作成]メニューで、検索条件を強化	15
く『債権管理Proオブション』をお使いの場合>	
[取引先グループデータ作成]メニューで、前回作成時からの差分だけを作成できるように 変更	15
[入金情報データ作成]メニューで、作成するデータの並び順を設定できるように変更	15
[担当者データ受入]メニュー・[商品データ受入]メニュー・[任意項目データ受入]メニュ ーで、空白データを受け入れられるように変更	15
	<u> </u>

	15
[取引元) ータ受入] / ーユー・[取引元) ルーク) ータ受入] / ーユービ、不安な受入記号 があっても受け入れられるように変更	
	16
[取り元ナーダ受入]メニューで、木登録の取り元グルーブが設定された取り元も受け入れ	10
られるように変更	ļ
[取引先グループデータ受入]メニューで、すでに取引先グループに所属している取引先	16
を、別の取引先グループに移動できるように変更	
汎用データ受入の受入形式を移行する機能を追加	16
[売上伝票データ受入]メニューで、税区分などに設定する内容を変更	17
く『債権管理Proオプション』をお使いの場合>	
[売上伝票データ受入]メニューで、消費税調整税額の消費税伝票も受け入れられるように	17
変更	
<『債権管理Proオプション』をお使いの場合>	
	18
れるように変更	
く『債権管理Proオプション』をお使いの場合>	
[入金伝票データ作成]メニューで、作成する入金伝票データの伝票日付を指定できるよう	18
に変更	
く『債権管理Proオプション』をお使いの場合>	
≪自動実行管理≫	
く『自動実行管理オプション』をお使いの場合>	
[自動実行取引先データ作成]メニューを追加	18
[自動実行取引先グループデータ作成]メニューを追加	18
[自動実行入金情報データ作成]メニューで、作成条件のパターンを登録できるように変更	18
自動実行取引先データ受入・自動実行取引先グループデータ受入で、汎用データ全体がエ	19
ラーとなった場合でも実行済フォルダに移動するように変更	
[自動実行取引先グループデータ受入]メニューで、受入条件のパターンを登録できるよう	19
に変更	

注意

機能アップによって新しく追加されたメニューが画面に表示されない場合は、[権限管理]メニューで利用者ご とにメニュー権限を設定してください。

債権管理Proオプション、債権管理オプション

≪メニュー体系≫

● メニューの名称および構成を変更

○登録する順番になるように、[導入処理]メニューの並び順を変更

変更前	変更後
[導入処理]	[導入処理]
-[運用設定]	-[運用設定]
-[会計期間設定]	-[会計期間設定]
─[取引先登録]	-[会社銀行登録]
-[取引区分登録]	-[担当者登録]
-[商品登録]	-[取引区分登録]
-[担当者登録]	-[商品登録]
-[会社銀行登録]	─[決済方法登録]
─[決済方法登録]	─[取引先登録]
-[任意項目登録]	-[任意項目登録]
-[残高入力]	-[残高入力]
-[承認権限登録]	-[承認権限登録]

〇[自動入金消込設定]メニューを[入金処理]メニューに移動

変更前	変更後
[導入処理]-[運用設定]	[債権業務処理]-[入金処理]
-[自動入金消込設定]	-[自動入金消込設定]

〇[会社銀行科目設定]メニューを[会社銀行登録]メニューに移動

変更前	変更後
[導入処理]-[会計期間設定]	[導入処理]-[会社銀行登録]
-[会社銀行科目設定]	-[会社銀行科目設定]

〇[導入処理]メニューの並び順にあわせて、[マスターデータ作成]メニュー・[マスターデー タ受入]メニューの並び順を変更

変更前	変更後
[随時処理]-[汎用データ作成]-[マスター	[随時処理]-[汎用データ作成]-[マスター
データ作成]	データ作成]
-[取引先データ作成]	-[担当者データ作成]
-[取引区分データ作成]	-[取引区分データ作成]
-[商品データ作成]	-[商品データ作成]
-[担当者データ作成]	-[決済方法データ作成]
-[決済方法データ作成]	-[取引先データ作成]
-[任意項目データ作成]	-[任意項目データ作成]
-[残高データ作成]	-[残高データ作成]
[随時処理]-[汎用データ受入]-[マスター	[随時処理]-[汎用データ受入]-[マスター
データ受入]	データ受入]
-[取引先データ受入]	-[担当者データ受入]
-[取引区分データ受入]	-[取引区分データ受入]
-[商品データ受入]	-[商品データ受入]
-[担当者データ受入]	-[決済方法データ受入]
-[決済方法データ受入]	-[取引先データ受入]
-[任意項目データ受入]	-[任意項目データ受入]
-[残高データ受入]	-[残高データ受入]

●[会社運用設定]メニューの設定に応じて、使用できないメニューを表示しないように 変更

[導入処理]-[運用設定]-[会社運用設定]メニューで以下の設定をしている場合に、使用できな いメニューについてはメニュー画面に表示しないように変更しました。

〇『債権管理Proオプション』をお使いで、[請求支払設定]ページで設定する「請求締処理の 利用有無 」が「0:使用しない」の場合

『債権管理オプション』のメニューだけが表示され、[導入処理]-[商品登録]メニューや[債 権業務処理]-[請求締処理]メニューなどの『債権管理Proオプション』のメニューは表示さ れなくなりました。

- 〇[債権基本設定]ページで設定する「グループ間消込」が「0:使用しない」の場合 [導入処理]-[取引先登録]-[取引先グループ登録]メニューは表示されなくなりました。
- O[債権基本設定]ページで設定する「債権伝票承認」が「0:使用しない」の場合 [債権業務処理]-[売上債権処理]-[債権伝票承認]メニューは表示されなくなりました。

≪全般≫

●勘定奉行の部門権限に準拠するかを選択できるように変更

<ネットワーク対応製品をお使いの場合>

勘定奉行の[導入処理]-[運用設定]-[会社運用設定]メニューの[基本設定]ページで設定する 「部門権限 」が「1:使用する」の場合に、オプションの処理にも部門権限の制限をかけるか を選択できるようになりました。

- ※勘定奉行の部門権限に準拠するかどうかは、[会社運用設定]メニューの[債権基本設定]ページ の「勘定奉行部門権限」で設定します。
- ※準拠する場合の制限内容も強化されました。詳細は、操作説明の「部門権限の制限内容一覧」 をご参照ください。

● 一部の帳票で、帳票別プリンタ登録に対応

一部の帳票について、初期値として表示するプリンタを、勘定奉行の[導入処理]-[運用設定] [帳票別プリンタ登録]メニューで登録できるようになりました。
 これにより、[プリンタ設定]ページで初期値として表示される内容が、以下のとおり変更にな

ります。 変更後 変更前 全項目とも、前回の印刷時に設定した内 [帳票別プリンタ登録]メニュー でプリン 容 タが登録されているかによって、異なり ※初回起動時は、「通常使うプリンタ」の ます。 内容が表示されます。 〇登録済みの場合 全項目とも、常に帳票別プリンタ登録 の内容 ※帳票別プリンタ登録が利用者ごとの設 定であれば、印刷時の「サイズ」「印 刷の向き」「余白・位置調整」「倍 率」の変更は、帳票別プリンタ登録に 反映します。 〇未登録の場合 「プリンタ名」「給紙方法」は、常に 「通常使うプリンタ」の内容 「サイズ」「印刷の向き」「余白・位 置調整」は、前回の印刷時に設定した 内容

注意

この機能アップのため、当バージョンにバージョンアップすると、以前のバージョンで設定 した内容が初期値として表示されなくなります。 帳票を印刷する前に、[帳票別プリンタ登録]メニュー で初期値として表示するプリンタを登 録してください。 ※[帳票別プリンタ登録]メニュー の登録をしない場合は、常に「通常使うプリンタ」が初期値 として表示されます。

≪ 対象帳票 ≫

- ・会社運用設定([導入処理]-[運用設定]-[会社運用設定]メニュー)
- ・差出名リスト([導入処理]-[運用設定]-[差出名登録]メニュー)
- ・休日リスト([導入処理]-[運用設定]-[休日登録]メニュー)
- ・担当者リスト([導入処理]-[担当者登録]-[担当者登録]メニュー)
- ・担当者区分リスト([導入処理]-[担当者登録]-[担当者区分登録]メニュー)
- ・商品台帳([導入処理]-[商品登録]-[商品登録]メニュー)
- ・商品コードリスト([導入処理]-[商品登録]-[商品登録]メニュー)
- ・商品価格表([導入処理]-[商品登録]-[商品登録]メニュー)
- ・商品区分1リスト([導入処理]-[商品登録]-[商品区分登録]メニュー)
- ・商品区分2リスト([導入処理]-[商品登録]-[商品区分登録]メニュー)
- ・商品区分3リスト([導入処理]-[商品登録]-[商品区分登録]メニュー)
- ・商品区分4リスト([導入処理]-[商品登録]-[商品区分登録]メニュー)
- ・商品区分5リスト([導入処理]-[商品登録]-[商品区分登録]メニュー)
- ・コードリスト([導入処理]-[取引先登録]-[取引先登録]メニュー)
- ・住所録([導入処理]-[取引先登録]-[取引先登録]メニュー)

- ・手形情報リスト([導入処理]-[取引先登録]-[取引先登録]メニュー)
- ・取引先グループリスト([導入処理]-[取引先登録]-[取引先グループ登録]メニュー)
- ・請求先区分1リスト([導入処理]-[取引先登録]-[請求先区分登録]メニュー)
- ・請求先区分2リスト([導入処理]-[取引先登録]-[請求先区分登録]メニュー)
- ・請求先区分3リスト(「導入処理]-「取引先登録]-「請求先区分登録]メニュー)
- ・請求先区分4リスト([導入処理]-[取引先登録]-[請求先区分登録]メニュー)
- ・請求先区分5リスト([導入処理]-[取引先登録]-[請求先区分登録]メニュー)
- ・請求締日区分リスト([導入処理]-[取引先登録]-[請求締日区分登録]メニュー)
- ・任意項目リスト([導入処理]-[任意項目登録]メニュー)
- ・債権データリスト([債権業務処理]-[売上債権処理]-[債権データ抽出]メニュー)

≪導入処理≫

●[会社運用設定]メニューに対して、過去に更新されたデータを一覧で確認できるよう に変更

[導入処理]-[運用設定]-[会社運用設定]メニューで、過去に更新されたデータの内容を時系列 に一覧で確認できるようになりました。



● [会社運用設定]メニューで、各項目の入力方法を変更

[導入処理]-[運用設定]-[会社運用設定]メニューの選択項目の入力方法が、ラジオボタンで選 択する方法から、数字を入力して選択する方法に変更になりました。

積權基本設定 桁数設定	名称設定	8	#求支払設定
【債権伝票設定】			
債権伝票承認		1	1 段階承認
1 段階承記		0	省略不可
仕訳作成单位		0	伝票単位
仕訳集約単位		0	指定なし
債権伝票取消方法		0	都度選択
与信額チェック		0	しない
与信額計算対象		0	手形債権含める
証憑ファイル保存方法		0	ファイルリンク
証憑ファイル最大サイズ		1	MB

● [商品登録]メニューに、検索機能・表示順設定機能・初期値設定機能を追加 <『債権管理Proオプション』をお使いの場合>

〇検索機能

<u>検索</u>を押すと表示される[商品登録 - 検索条件設定]画面で、詳細な条件を設定し て商品を検索できるようになりました。

また、 印刷 から印刷する際も、印刷する商品について、詳細な検索条件を設定できるようになりました。

〇表示順設定機能

 設定 を押すと表示される[商品登録 - 設定]画面で、データの表示順を「コード
 順」「登録順」から選択できるようになりました。

〇初期値設定機能

<u>初期</u>から、各項目に初期値として表示する内容を設定できるようになりました。 新しい商品を登録する際は、この初期値設定の内容が初期値として表示されます。

● 入金情報などを登録する際の回収部門の固定値を設定できるように変更

[導入処理]-[決済方法登録]-[回収方法登録]メニューの回収部門(借方部門)について、 「1:固定値を指定する」か「2:初期値を指定する」かを選択できるようになりました。

「1:固定値を指定する」

指定した部門が、以下のメニューでデータを登録する際に回収部門の固定値になります (変更不可)。

「2:初期値を指定する」

指定した部門が、以下のメニューでデータを登録する際に回収部門の初期値として表示さ れます(変更可能)。

- ≪ 関連メニュー ≫
 - ・[導入処理]-[残高入力]-[前受金残高入力]メニュー
 ※[導入処理]-[運用設定]-[会社運用設定]メニューの[債権基本設定]ページで設定する
 「入金情報登録部門表示」が「1:表示する」の場合
 - ・[債権業務処理]-[入金処理]-[入金情報登録]メニュー
 - ※[導入処理]-[運用設定]-[会社運用設定]メニューの[債権基本設定]ページで設定する 「入金情報登録部門表示 」が「1:表示する」の場合

- ・[債権業務処理]-[受取手形処理]-[受取手形入力]メニュー
- ・[債権業務処理]-[ファクタリング処理]-[ファクタリング入力]メニュー

参考

今までの「借方部門固定」という項目名が、「回収部門指定」という項目名に変更になりま した。

今まで借方部門固定が「1:固定する」だった場合は、回収部門指定が「2:初期値を指定する」に変換されます。

≪債権業務処理≫

● 承認状態の表示について、名称と色を変更

以下のメニューで、承認状態の表示の名称と色を変更しました。

〇[債権業務処理]-[売上債権処理]-[債権伝票入力]メニュー

変更前	変更後
未承認(白色)	未承認(白色)※変更なし
1 次承認(ピンク色)	1 次承認済(緑色)
最終承認(赤色)	最終承認済 (黄色)

619 6116 (M33	通常在原 11年5 0000090	818	横臂伝展 (前田日 08Cジ	計 11年 ステム販売	5月1日	12:01% (三明No 明時1110	000100 000026 月末時の 1	алля	<u> 一</u> 伝典 明細 系)	112 (12) 人全 日	2 18 #12 #	
10.54	2001	-	営業 1			周期于	8 11 年	6月30日	0003	推达 (全世界	(Artora)	
	##150 -1 P	44477-0		Maste		1000	<u>, , , , , , , , , , , , , , , , , , , </u>	100	ALC: NO	975 (F.D.)		
-		任意通信				2		21		新力和6 5		
		個方 割門ノ	新定6月/日	EALENEE DE		1		5 8112-4624	IT MANUE		<u> </u>	
		71	シェクト	410404-0		1		プロジェ	クト	-	-	
0000	0025	9146	コーダ			1	_	t	00 12	1.	050,000	
0103		ソリュー	ション売上	100店舖5	00店舗分まとめて販売			10	5.000.000 191	ę.	5.08	
0001		Single E	dition					(E.			
R.C	客業部	港掛金				第二智業部		売上高 シリュー		リューション	ション売上	
0000	0000000003 第三ブロジェクト(食品関連)				00000000003		第三ブロジェクト(食品間達)					
0000	0938	壳上值引				2						
0998		壳上值引		表上僅引	20%	10		1	5*600*000 444	内税		
0001		Single E	dition					1	-85,238	56		
N.C.	営業部	表世金				第二言素部		売上値引き及び	び戻り商			
0000	00000003	第三ブロ	ジェクト(食	品類達)		0000000000	0000000000 運結決算システム					
						< 3	RE S				0	
						8	18 C			103,	000,000	
新規: 最終年1	2010/11/01 11	:29:27] RcA 2 15:17:03]	dain RcAdain		(1)	(F全18)	90	1.095.238 (CA) (■税合計3 内税 >	4. 4.	904,762 904,762	
				100		17	10	100	E10			

〇[債権業務処理]-[売上債権処理]-[債権伝票承認]メニュー

[債権業務処理]-[入金処理]-[入金承認]メニュー

[債権業務処理]-[相殺処理]-[相殺消込承認]メニュー

変更前	変更後			
未承認(赤紫色)	未承認(白色)			
1 次承認(赤紫色)	1 次承認済(緑色)			
最終承認 (赤紫色)	最終承認済 (黄色)			

(東京) 第日	e Irt	載 7) 日 3	10~載18 2011年 4月1日	至 2012年 3月	318	2181	ALCON .	7 据快承担件制	
45	邗波	使業日付	11.7.A	围攻方法	ALLER	入室(1) 本10月1日	油香田香金	性的医胃全部	CERTIFIC STREET
8	R	11/04/30	00000004 群馬事務保持式会社	0001 現金回収	2,400,000	2.640.000	0	2.640.00	教祥来認識
8	3	11/04/30	0000003 株式会社茨磁電機	0003 (新込 (三要)	2,180,000	2.160.000	0	2,180,000	
8	90	11/04/30	00000101 样式会社五反回度業	0006 手用/回収	53,560,000	53.580.000 0	0	53,580,000	स धन्न स
8	12	11/04/30	00000103 港南周業林式会社	0006 手用回収	42,721,000	42,721,000	0	42.721.000	要和采取演
8	58	11/06/30	00001001 株式会社広瀬商店	0006 手削回収	8,745,000	8.745.000	0	8,745,000	教育家認識
ē.	33	11/06/30	00001008 四国運輸林式会社	0010 期日現金(*	6.270,000	6,270.000 0	0	6.270.000	RURDA
8	8	11/07/31	00000002 持式会社岩手度業	0003 振込(三要)	7,185,400	7,260,000	0	7.260.000	RIFER
3	6								
1	11								
3	B		-		-				
3	11								
3									
3	13								
				A达金料合計 123,061	人宜含却合1 ,400 123,39	1 45101299 5,000	合計 清算 0	49.卷宝合計 仕1 0	和国際重要合 123.396,

作成する仕訳伝票の摘要に、債権伝票の伝票No.を入力できるように変更

債権伝票から作成される仕訳伝票の摘要に、債権伝票の伝票No. を自動的に入力できるようになりました。

[導入処理]-[会計期間設定]-[会計期間設定]メニューの[債権伝票設定]ページにある「仕訳伝 票摘要指定」で、摘要に伝票No.を入力するかどうかを設定できます。

消費税伝票を作成しない場合は、消費税額を請求書に計上しないように変更
 <『債権管理Proオプション』をお使いの場合>

[債権業務処理]-[請求締処理]-[請求書発行]メニューで、消費税伝票を作成しない場合は、請 求書に消費税額を計上しないように変更しました。

• [個別入金消込]メニューと[前受金消込]メニューの表示順に伝票No. 順を追加 検索結果の表示順を、伝票No. 順にできるようになりました。 また、表示順の設定方法が変更になりました。

第一表示空平		
諸求先(コード)	・ 」が 「小さいもの	▼」から表示
第二表示基準		
伝票日付	▼ が 古いもの	▼ から表示
第三表示基準		
回収予定日	▼ が 古いもの	▼ から表示
第四表示基準		
伝票No.	▼ が 小さいもの	▼ から表示

- [仮受金処理]メニューで、前の会計期間の仮受金も処理できるように変更 [債権業務処理]-[入金処理]-[仮受金処理]メニューで、処理中の会計期間よりも前の会計期間 で発生した仮受金も処理できるようになりました。 ※ただし、仮受金の入金の取消ができるのは、処理中の会計期間で発生した仮受金だけです。
- [仮受金処理]メニューで、入金日付での絞り込みをするかを選択できるように変更
 [債権業務処理]-[入金処理]-[仮受金処理]メニューの条件設定画面で、入金日付での絞り込み
 をするかを選択できるようになりました。
- 各メニューの条件設定画面で、前回入力した部門コードが初期表示されないように変更

条件設定画面で、前回入力した部門コードが初期値として表示されなくなりました。

≪ 関連メニュー ≫

- ・[導入処理]-[残高入力]-[前受金残高入力]メニュー
- [債権業務処理]-[入金処理]-[入金情報登録]メニュー
- ・[債権業務処理]-[入金処理]-[入金消込修正]メニュー
- ・[債権業務処理]-[入金処理]-[入金承認]メニュー
- ・[債権業務処理]-[前受金処理]-[前受金消込]メニュー
- ・[債権業務処理]-[前受金処理]-[前受金消込修正]メニュー
- ・[債権業務処理]-[相殺処理]-[一括相殺消込]メニュー
- ・「債権業務処理]-「相殺処理]-「個別相殺消込]メニュー
- ・「債権業務処理]-「相殺処理]-「相殺消込修正]メニュー
- ・[債権業務処理]-[相殺処理]-[相殺消込承認]メニュー
- [債権業務処理]-[相殺処理]-[債権振替相殺処理]メニュー
- ・[債権業務処理]-[相殺処理]-[債務振替相殺処理]メニュー
- ・[債権業務処理]-[履歴管理]-[入金情報履歴]メニュー
- ・[債権業務処理]-[履歴管理]-[入金消込履歴]メニュー
- ・[債権業務処理]-[履歴管理]-[相殺消込履歴]メニュー

各取消処理で作成する反対仕訳の摘要に、取り消した仕訳伝票の摘要が引き継がれるように変更

各処理で、反対仕訳を作成して取消処理をする場合に、作成する反対仕訳の摘要に、取り消した仕訳伝票の摘要が引き継がれるようになりました。

▼例

債権伝票を取り消した際の反対仕訳の摘要は、以下のとおりです。 「債権取消 〇〇〇〇」 ※〇〇〇〇は、取り消した仕訳伝票の摘要です。

※40文字を超える場合は、41文字以降は切り捨てられます。

≪ 関連メニュー ≫

- ・[債権業務処理]-[売上債権処理]-[債権伝票入力]メニュー
- ・[債権業務処理]-[入金処理]-[仮受金処理]メニュー
- ・[債権業務処理]-[履歴管理]-[債権伝票履歴]メニュー
- ・[債権業務処理]-[履歴管理]-[入金情報履歴]メニュー
- ・[債権業務処理]-[履歴管理]-[入金消込履歴]メニュー
- ・[債権業務処理]-[履歴管理]-[仮受金処理履歴]メニュー
- ・[債権業務処理]-[履歴管理]-[相殺消込履歴]メニュー
- ・[随時処理]-[伝票データー括削除]メニュー

請求先元帳の集計結果の表示内容を変更

請求先元帳の入金欄に表示する金額・内容を変更しました。 ※残高は、今までと同じ集計結果になります。

※変更後の表示内容の詳細は、[債権業務処理]-[管理帳票]-[請求先元帳]メニューの操作説明に ある「操作の前に」をご参照ください。

主な変更点は、以下のとおりです。

- 〇入金消込明細の部門が、仕訳伝票上の貸借に合わせて左右に表示されるようになりました。
 - ・請求先元帳

后期日付		和1997 (11)		6	CONTRACTOR OF T	1 march 1	
(ERNO.		FRAI	1	e	債積金額	入金	1875
接然残高							163.033.000
11/05/31	0003	播込(三菱)	11/05/31入余			10000	summer li
000408	1 200			A New York Street Street	0	12,110,000	150,923,000
	092	経理	001	第一営業部			
11/05/31	355	饭受金 過入	11/05/31入主			(1.000.000	
000408			File	11.00	0	(4,220,900	10
	ALC: NO.		195	48.18			
	「日期日	信用計					
					0	12,110,000	

・仕訳伝票

17	(借方) 部門/勘定科目/補助科目 (取引先)	金額	夏方 部門/勘定科日/細約科日 金 朝 取引先	14 27
	プロジェクト		プロジェクト	
	002 載理 110 当座預金 001 三菱東京UFJ銀行	12,110,000	101 第一名東部 35 英田金 7,889,1	00
	00000001 大平洋販売株式会社		10000001 大平洋販売株式会社	
2			192 経理 1955 御愛金 4.220.5	11/05/31入金 00
			0000001 太平洋販売株式会社	
	借方合計	12,110,000	银方合計 12.110.0 資借差額	0

〇消込対象の債権明細が複数ある入金消込明細には「債権諸口」と表示され、消込対象が複数 であることがわかるようになりました。

「債権諸口の内訳を出力する」([請求先元帳 - 条件設定]画面の[表示設定]ページで設定)にチェックを付けると、債権の内訳が確認できます。

内訳非表示時

记录日代	21 D	以引的容	162	and the second sec	入倉	馬雨
(CEN)	1	ESHIE	C HERE	領機金額		
接接残高	B*3				S	107,808,200
11/04/30	0003	推达 (三菱ダ		112	1000000000	
000363	001	第一次第四	(A8460)	0	3,630,000	104.178.200
	伝際計			14		
	0			0	3+630+000	

内訳表示時(集計基準:請求先基準)

品幣目付	取引的审		2	描表	40000	100	1000
CERNO.		E B AT B			9828	人業	180
接趋残高			101				107,808,200
11/04/30	0003	(語込)(三菱県)	1			No receivered	000000000000
000363	001	第一宫莱蓉		值相线口	0	3,630,000	104.178.200
			01	第一営業部			
			001	第一営業部			
			205	その他			
	伝育計				0	3,630,000	

内訳表示時(集計基準:債権残高基準)

※債権明細ごとの金額も表示されます。

信用日付	11131111日 任意項目			接票	1010 1210	入金	95
1日間105-		MINEARCH I	199		Shindler a	1000	1000
接越残高							107,808,200
11/04/30	0003	振込 (三菱)	1		16		
000363	001	第一省東部	001	第一省業部	0	1,300,000	106,508,200
11/04/30							and the second s
000363	-		001	第一答案部	0	2,000,000	104,508.200
11/04/30							
000363		1	000	その他	0	330,000	104,178,200
	伝薬計		-			3,630,000	
						419301900	

※集計基準:債権残高基準の場合は、入金明細が複数ある入金消込明細(手数料等や消費税 差金の明細がある入金消込明細)には、「入金諸口」と表示されます。

「入金諸口の内訳を出力する」([請求先元帳 - 条件設定]画面の[表示設定]ページで設定)にチェックを付けると、入金の内訳が確認できます。

取引的安		152		Manager and	100	and the second
-	任意項目			傳輸金額	入金	「「「「」」
	1					155.143.900
	売掛金回収			121221020		
	入金銭口	001	第一省業部	0	1,300,000	153.843.900
0003	振込(三数)	1	Pro de citar			
092	経理					
753	支払手放料	1				
082	1212		1			
850	增損失 消费	8				
092	縫理)	1			
伝稿計				20	2012/2013	
-				0	1,300,000	
	0003 062 753 082 850 092 62 62 62 62 62 62 62 62 62 62 62 62 62	Rodinger (主要項目) (大会林口) (大会林口) (この) (二の) (二の)		KeSU97 排音 化全球目 化全球目 水 水 水 水 水 水 水 水 水 水 水 水 水 水 水 水 水 水 水 水 水 水 水 水 水 水 水 水 水 水 水 水 水 水 水 水 水 水 水 水 水 水 水 水 水 水 水 水 水 水 水 水 水 水 水 水 水 水 水 水 水 水 水 水 水 水 水 水 水 水 水 水 水 水 水 水 水 水 水 水 水 水 水 水 水 水 水 水 水 水 水 水 水 水 水 水 水 水 水 水 水 水 水 水 水 水 水 水 水 水 水 水 水 水 水 水 水 水 水 水 水 水 水 水 水 水 水 水 水 水 水 水 水 水 水 水 水 水 水 水 水 水 水 水 水 水 水 水 水 水 水 水 水 水 水 水 水 水 水 水 水 水 水 水 水 水 水 水 水 水 水 水 水 水 水 水 水 水 水 水 水 水 水 水 水 水 水 水 水 水 水 水 水 水 水 水 水 水 水 水 水 水 水 水 水 水 水 水 水 水 水 水 水 水 水 水 水 水 水 水 水 水 水 水 水 水 水 水 水 水 水 水 水 水 水 水 水 水 水 水 水 水 水 水 水 水 水 水 水 水 水 水 水 水 水 水 水 水 水 水 水 水 水 水 水 水 水 水 水 水 水 水 水 水 水 水 水 水 水 水 水 水 水 水 水 水 水 水 水 水 水 水 水 水 水 水 水 水 水 水 水 水 水 水 水 水 水 水 水 水 水 水 水 水 水 水 水 水 水 水 水 水 水 水 水 水 水 水 水 水 水 水 水 水	Rothing Hation Rothing Hation Rothing Rothing	取引時日 排告 (共和金利 入金 任意項目 近日 0 1,300,000 人金 001 第一官案部 0 1,300,000 人金 001 第一官案部 0 1,300,000 002 経理 0 0 1 055 11 (1,100,000) 1 1 1 0102 経理 0 1 1 012 経理 0 1 1 (1,200,000) 1 1 1 1

O取引要因がわかるように、各明細に事由が表示されるようになりました。

事由は、表示/非表示を選択できます([請求先元帳 - 条件設定]画面の[詳細条件]ページの [伝票の設定]画面で設定)。

住居日付		取引的容	167	1	(Inclusion)	1000	and a
Cittle-		6.92010	1		傳輸金額	入倉	186
接起残雨		5	un1				152,863,000
11/06/30	0003	摄込(三菱集	-			202030-000	
000212	092	1212	001	第一省業部	0	19,371,000	133.492.000
11/06/30	753	支払手設料	-				
000212	092	减现		-	0	315	133,491,685
11/06/30	850	罐损失 消费	111月 高度快速名	J			
000212	092	超理			0	85	133,491,600
	伝幕計				0	19,371,400	

〇集計基準:請求先基準の場合に、仮受金入金・非連結入金・前受金入金の明細には、仮受金 科目・非連結科目・前受金科目側の情報も表示されるようになりました。

仮受金科目・非連結科目・前受金科目側の明細金額はカッコ付きで表示され、債権残高には 影響しません。

また、非連結入金・前受金入金の消込時の明細では、非連結科目・前受金科目側の明細金額 がマイナス金額で表示されます。

・前受金入金時

伝報日付		取引的容		ALL CONTRACTOR	1000	1
ERNo.		(£ 974 E)	11111111	傳播金牌	人童	構築
積越残雨		6,666,240				
11/07/15	0004	田山 (みずば の巻き)	-1.T			
000019	092	12.10		0	4,360,000	2.306.240
11/07/15	340	前交会 机交 前党	全前受全入全	21		
000019		092	运理	0	(4,360,000	
-	12-3421			0	4,360,000	

前受金消込時

※伝票計には、債権残高に影響する金額だけが計上されます。

医根目的	(2)目台 取引的書 任意項目 (2)原ND- 任意項目		112	1000 B 100000	10.00	155
(E.素No)				領理全部	入金	
接然残雨						2,308,240
11/08/31	34)	同受金 前交 前受金	的受全流还	15		
000017	092	経理	後種語口	0	(-2.343.840	
	伝展計			0		

O相殺消込の明細には、部門や摘要などの情報も表示されるようになりました。

伝播日付	取引的容 任意项目		16 - Carlos	換罪		AR	1575
CERNO.			1				
接起残雨		6					150,923,000
11/05/31	305	質掛金 相段	相较消退		14	0.00.000	
000406	031	031 北関東支店 001		101 第一官業部		240.000	10016831000
	伝展計		-				
	1	-			0	240.000	

また、消込対象の債務明細が複数ある場合は「債務諸口」と表示され、消込対象が複数であることがわかるようになりました。

「入金諸口の内訳を出力する」([請求先元帳 - 条件設定]画面の[表示設定]ページで設定)にチェックを付けると、債務の内訳も確認できます。

内訳非表示時

位開日付				1827	111221	大会	165
12 Ref No+			88 ⁴⁴		State State	10275	100 M
接越残高							104,178,200
11/04/30						ALSO 14	
000384			a series		0	330,000	103.848.200
000304		債務諸口	001	第一営業部			
	伝際計:		1			101120000	
1					0	330,000	
						155662072	

• 内訳表示時(集計基準:請求先基準)

※債務明細ごとの金額も表示されます。

编辑目信		欧洲富		677	and there is a	1 1.200 C	Constant on 15
任期No.	1	任期間				入室	155
最趋残高							104,178,200
11/04/30	505	貫田金 相積	REDECALL		-12	10000	
000384	032	横浜支店	001	第一百萬部	0	106.500	104.071.700
11/04/30	505	貫掛金 相韓	*B20:003		14		
000384	031	北関東支店			0	223,500	103,843,200
	伝算計					222 002	
		1	31			330,000	

内訳表示時(集計基準:債権残高基準)

偏振日付		13 11月日		捕器	and the second	140	(and
伝統No.	1925/968		-		SPARALES!	A24	100
设想残雨			A. J.				104.178.200
11/04/30	10		相較適达		2		100 040 000
000384	2	体积线口	001	第一次常形	u	330+000	103.848.200
	005	寶田主 相校)				
	032	横浜支店 算形金 特段		1			
	131	北侧東支店)				
	伝幕計				0	330.000	

管理資料などの表示順に請求先フリガナ順を追加 出力する際の請求先の並び順を、請求先フリガナ順にできるようになりました。

≪ 関連メニュー ≫

- ・[債権業務処理]-[売上債権処理]-[債権データ抽出]メニュー
- ・[債権業務処理]-[管理帳票]-[請求先元帳]メニュー
- ・[債権業務処理]-[管理帳票]-[回収予定表]メニュー
- ・[債権業務処理]-[管理帳票]-[滞留債権年齡表]メニュー
- ・[債権業務処理]-[管理帳票]-[入金集計表]メニュー
- ・[債権業務処理]-[管理帳票]-[仮受金一覧表]メニュー
- ・[債権業務処理]-[管理帳票]-[債権残高一覧表]メニュー
- ・[債権業務処理]-[管理帳票]-[前受金残高一覧表]メニュー
- ・[債権業務処理]-[管理帳票]-[債権残高確認書]メニュー
- ・[債権業務処理]-[管理帳票]-[与信残高一覧表]メニュー
- [仮受金処理履歴]メニューで、処理日付で絞り込みができるように変更
 [債権業務処理]-[履歴管理]-[仮受金処理履歴]メニューの条件設定画面で、仮受金処理時に入力した処理日付を指定して仮受金を絞り込めるようになりました。

≪随時処理≫

● [担当者データ作成]メニュー・[商品データ作成]メニュー・[取引先グループデータ作 成]メニュー・[入金情報データ作成]メニューで、数値で設定する項目について、数 値だけでなく、その内容も出力するように変更

作成形式が「カンマ区切」「タブ区切」の場合に、数値で設定されている項目については、設 定されている数値だけでなく、その内容も出力されるようになりました。

※この機能アップのため、当バージョンにバージョンアップすると、以前のバージョンで設定した作成条件が初期化されます。

▼例

担当者の利用状態を出力する場合

変更前	変更後
『利用状態』として、「0」「1」を出力	『利用状態コード』として、「0」「1」 を出力 また、『利用状態』として、「無効」 「有効」を出力

● [商品データ作成]メニューで、検索条件を強化

<『債権管理Proオプション』をお使いの場合>

[随時処理]-[汎用データ作成]-[マスターデータ作成]-[商品データ作成]-[商品データ作成]メ ニューで、作成する商品データについて、詳細な検索条件を設定できるようなりました。 ※この機能アップのため、当バージョンにバージョンアップすると、以前のバージョンで設定し た作成条件が初期化されます。

● [取引先グループデータ作成]メニューで、前回作成時からの差分だけを作成できるように変更

[取引先グループデータ作成 - 出力条件設定]画面の[拡張項目]ページで、以下の出力条件が 指定できるようになりました。

〇未作成のデータを作成する

〇作成後に修正したデータを作成する

※この機能アップのため、当バージョンにバージョンアップすると、以前のバージョンで設定した作成条件が初期化されます。

[入金情報データ作成]メニューで、作成するデータの並び順を設定できるように変更
 [随時処理]-[汎用データ作成]-[債権データ作成]-[入金情報データ作成]メニューで、作成する入金情報データについて、並び順を設定できるようなりました。

※この機能アップのため、当バージョンにバージョンアップすると、以前のバージョンで設定した作成条件が初期化されます。

● [担当者データ受入]メニュー・[商品データ受入]メニュー・[任意項目データ受入]メニューで、空白データを受け入れられるように変更

空白のデータを受入できるようになりました。

[受入条件設定]画面の[重複条件設定]ページで、空白を受け入れるかどうかを項目ごとに設定 できます。

※この機能アップのため、当バージョンにバージョンアップすると、以前のバージョンで設定した作成条件が初期化されます。

※すでに登録済みのマスターの内容を更新(上書き)する場合などに便利な機能です。

▼例

今まで担当者名フリガナを使用していたが、担当者名フリガナが必要なくなった場合

[変更前] 担当者名フリガナ 朸 ワ イズミ

[変更後] 担当者名フリガナ

このような場合に、担当者名フリガナに空白データを受け入れることで担当者名フリガナを空欄にできます。

● [取引先データ受入]メニュー・[取引先グループデータ受入]メニューで、不要な受入 記号があっても受け入れられるように変更

今までは、OBC受入形式の汎用データを受け入れる際に不要な受入記号があると、その汎用 データ全体がエラーとなり受け入れられませんでした。

当バージョンからは、不要な受入記号のデータは無視して受け入れられるようになりました。 これにより、例えば『債権管理Proオプション』で作成した汎用データを『債権管理オプショ ン』でも受け入れられるようになりました。

≪ 関連メニュー ≫

- ・[自動実行管理]-[汎用データ受入]-[自動実行取引先データ受入(債権債務)]メニュー
- ・[自動実行管理]-[汎用データ受入]-[自動実行取引先グループデータ受入(債権債務)]メ ニュー
- ※『自動実行管理オプション』をお使いの場合に使用できます。

● [取引先データ受入]メニューで、未登録の取引先グループが設定された取引先も受け 入れられるように変更

未登録の取引先グループが設定された取引先も受け入れられるようになりました。 受け入れるかどうかを、[取引先データ受入 - 受入条件設定]画面の[拡張項目]ページで設定 できます。

取引先グループ指定	入ファイル設定	重複条件設定	拡張項目	エラー情報観定
取引先グループ指定	ハノアイル設定	里假氣件設定	100 MONG	エフー、情報語気定
NYNDYN YNAL	取引先グループ	指定		
	40.9155270-25			

≪ 関連メニュー ≫

- ・[自動実行管理]-[汎用データ受入]-[自動実行取引先データ受入(債権債務)]メニュー ※『自動実行管理オプション』をお使いの場合に使用できます。
- ・
 「取引先グループデータ受入]メニューで、すでに取引先グループに所属している取引 先を、別の取引先グループに移動できるように変更
 ・

すでに取引先グループに所属している取引先が、別の取引先グループに所属している汎用デー タを受け入れられるようになりました。

受入後は、汎用データの取引先グループに移動します。

受け入れるかどうかは、[取引先グループデータ受入 - 受入条件設定]画面の[拡張項目]ページで設定できます。



≪ 関連メニュー ≫

- ・[自動実行管理]-[汎用データ受入]-[自動実行取引先グループデータ受入(債権債務)]メ ニュー
- ※『自動実行管理オプション』をお使いの場合に使用できます。

汎用データ受入の受入形式を移行する機能を追加

[受入条件設定]画面の[形式作成]ボタンから作成する受入データ形式の情報を、ファイル出力 できるようになりました。

出力したファイルを利用することで、新しいコンピュータや別のデータ領域に受入データ形式 を移行することができます。

操作方法の詳細は、操作説明の「受入データ形式を作成する」をご参照ください。

※この機能アップのため、当バージョンにバージョンアップすると、以前のバージョンで設定し た作成条件が初期化されます。

≪ 関連メニュー ≫

・[随時処理]-[汎用データ受入]-[マスターデータ受入]-[担当者データ受入]-[担当者デー タ受入]メニュー

- ・[随時処理]-[汎用データ受入]-[マスターデータ受入]-[担当者データ受入]-[担当者区分 データ受入]メニュー
- ・[随時処理]-[汎用データ受入]-[マスターデータ受入]-[商品データ受入]-[商品データ受入]-[商品データ受入]/[商品データ受入]/[
- ・[随時処理]-[汎用データ受入]-[マスターデータ受入]-[商品データ受入]-[商品区分デー タ受入]メニュー
- ・[随時処理]-[汎用データ受入]-[マスターデータ受入]-[取引先データ受入]-[取引先グル ープデータ受入]メニュー
- ・[随時処理]-[汎用データ受入]-[マスターデータ受入]-[取引先データ受入]-[請求先区分 データ受入]メニュー
- ・[随時処理]-[汎用データ受入]-[マスターデータ受入]-[任意項目データ受入]メニュー

● [売上伝票データ受入]メニューで、税区分などに設定する内容を変更 <『債権管理Proオプション』をお使いの場合>

[随時処理]-[商蔵奉行連動]-[売上伝票データ受入]メニューで、税区分コード、事業区分コード、消費税自動計算に設定する内容が変更になりました。

※この変更によって、受け入れる際の必須項目が追加されています。変更後の仕様の詳細は、操 作説明の「受入形式」をご参照ください。

項目名	変更前	変更後
税区分コード	商品マスターに設定されて いる債権区分の売上勘定科 目の「貸方税区分」を設定	売上伝票の【明細情報】 『課税区分』『取引状態区 分』から申告書計算区分を 決定し、その申告書計算区 分をもとに設定 ※『課税区分』『取引状態 区分』が売上伝票データ に含まれていない場合 は、変更前と同様に、商 品マスターに設定されて いる債権区分の売上勘定 科目の「貸方税区分」を設 定します。
事業区分コード	空を設定	商品マスターに設定されて いる債権区分の売上勘定科 目の「事業区分」を設定
消費税自動計算	売上伝票の【明細情報】 『税込区分』を設定	売上伝票の【明細情報】 『課税区分』をもとに『税 込区分』を設定

● [売上伝票データ受入]メニューで、消費税調整税額の消費税伝票も受け入れられるように変更

<『債権管理Proオプション』をお使いの場合>

請求先の税額通知が「明細請求書単位」の場合に作成される、消費税調整税額の消費税伝票も 受け入れられるようになりました。

● [売上伝票データ受入]メニューで受け入れた売上伝票について、操作ログに詳細が出 力されるように変更

<『債権管理Proオプション』をお使いの場合>

[随時処理]-[商蔵奉行連動]-[売上伝票データ受入]メニューで受け入れた売上伝票について、 勘定奉行の[管理ツール]-[操作ログ表示]メニューで以下の情報が出力されるようになりまし た。

〇伝票日付
 〇伝票No.
 〇請求先コード
 〇請求先略称

象作ログー	-fi						住~
操作区分	操作日時	成否	XIa-8	コンピュータ名	クライアント名	製品名	
月 一	2010/09/24 12:4	6:11 版初	売上に開テージョ			前定手行	【個別原信官理編】
-							
				牛助理由		a)	
「「「「」」	伝票No. 1	表求先コート		失敗理由			,
· 云原日村 2010年12月	(记票No. 』 月10日 000035 0	春求先コート	 請求先昭祚 太平洋販売様式 	失败理由 (会社		1	,
。 云原日付 2010年12月	(伝票No. 創 月10日 000035 0	春求先コー) 0000001	 請求先昭杵 太平洋販売核式 	会社			,

● [入金伝票データ作成]メニューで、作成する入金伝票データの伝票日付を指定できるように変更

<『債権管理Proオプション』をお使いの場合>

[随時処理]-[商蔵奉行連動]-[入金伝票データ作成]メニューの[基本設定]ページで、作成する 入金伝票データの伝票日付を指定できるようになりました。

≪自動実行管理≫

<『自動実行オプション』をお使いの場合>

- [自動実行取引先データ作成]メニューを追加
 [自動実行管理]-[汎用データ作成]-[自動実行取引先データ作成]メニューが追加されました。
- [自動実行取引先グループデータ作成]メニューを追加
 [自動実行管理]-[汎用データ作成]-[自動実行取引先グループデータ作成]メニューが追加されました。
- [自動実行入金情報データ作成]メニューで、作成条件のパターンを登録できるように 変更

[自動実行管理]-[汎用データ作成]-[自動実行入金情報データ作成]メニューで、複数のパターンの作成条件を登録できるようになりました。

 自動実行取引先データ受入・自動実行取引先グループデータ受入で、汎用データ全体 がエラーとなった場合でも実行済フォルダに移動するように変更

受入記号が正しくないなどの理由で汎用データ全体がエラーとなった場合でも、受入元ファイ ルが実行済フォルダに移動するようになりました。

※汎用データ全体がエラーとなった場合は、[スケジュール履歴]メニューでは失敗処理として表 示されます。また、エラー内容がログファイルに記載されます。

● [自動実行取引先グループデータ受入]メニューで、受入条件のパターンを登録できるように変更

[自動実行管理]-[汎用データ受入]-[自動実行取引先グループデータ受入(債権債務)]メニュ ーで、複数のパターンの受入条件を登録できるようになりました。



機能アップガイド







【債権管理Proオプション、債権管理オプション】	
[取引先登録]メニューで、振込依頼人名(カナ)に、取引先フリガナを自動的に複写する	2
機能を追加	
反対仕訳で取消処理をした場合に、取り消した仕訳伝票と反対仕訳伝票を修正・削除でき	2
るように変更	
作成する仕訳伝票について、一部の項目を修正できるように変更	2
検索結果の表示基準に、請求先フリガナ順・請求先インデックス順を追加	2
[入金情報登録]メニューで、当方負担の振込手数料を入力できるように変更	3
消込メニューの条件設定画面に、条件の初期化機能を追加	3
[個別入金消込]メニュー・[前受金消込]メニューで、日付での絞り込みをするかを選択で	3
きるように変更	
[個別入金消込]メニュー・[前受金消込]メニューに、全選択・全解除機能を追加	3
[前受金消込]メニューで、当方負担の振込手数料を計上できるように変更	4
[前受金消込]メニューに、摘要変更機能を追加	4
[取引先データ作成]メニューで、検索条件を強化	4
[自動実行取引先グループデータ受入]メニューを追加	4
く『自動実行管理オプション』をお使いの場合>	

注意

機能アップによって新しく追加されたメニューが画面に表示されない場合は、[権限管理]メニューで利用者ご とにメニュー権限を設定してください。

● [取引先登録]メニューで、振込依頼人名(カナ)に、取引先フリガナを自動的に複写 する機能を追加

[導入処理]-[取引先登録]-[取引先登録]メニューで、振込依頼人名(カナ)に、取引先フリガ ナを自動的に複写できるようになりました。

設定
 を押すと表示される[取引先登録 - 設定]画面の[複写項目設定]ページで、複写
 するかどうかを設定できます。

 反対仕訳で取消処理をした場合に、取り消した仕訳伝票と反対仕訳伝票を修正・ 削除できるように変更

各処理で、反対仕訳を作成して取消処理をした場合に、取り消した仕訳伝票と反対仕訳伝票を 修正・削除できるようになりました。

注意

○修正・削除するには、勘定奉行の[導入処理]-[運用設定]-[会社運用設定]メニューの[伝票設定]ページで「他システム登録伝票編集許可」を「編集を許可する」に設定しておく必要があります。

〇修正・削除できるのは、当バージョン以降で取消処理をした仕訳伝票です。

● 作成する仕訳伝票について、一部の項目を修正できるように変更

入金仕訳 ・ 仮受仕訳 ・ 相殺仕訳 を押すと表示される[仕訳処理] 画面で、修正できる項目が増えました。

前提となる仕訳との整合性を保つために必要な項目など、一部の項目を除き、作成する仕訳伝 票の内容を修正できるようになりました。

≪ 関連メニュー ≫

- ・[債権業務処理]-[入金処理]-[入金情報登録]メニュー
- ・[債権業務処理]-[入金処理]-[入金承認]メニュー
- ・[債権業務処理]-[入金処理]-[仮受金処理]メニュー
- ※『債権管理Proオプション』+『債務管理Proオプション』の組み合わせでお使いの場合 か、『債権管理オプション』+『債務管理オプション』の組み合わせでお使いの場合 は、以下のメニューも対象です。
- ・[債権業務処理]-[相殺処理]-[相殺消込承認]メニュー

● 検索結果の表示基準に、請求先フリガナ順・請求先インデックス順を追加

各メニューの検索結果を出力する際に、請求先の並び順を、請求先フリガナ順・請求先インデックス順にできるようになりました。

≪ 関連メニュー ≫

- ・[債権業務処理]-[入金処理]-[入金情報登録]メニュー
- ・[債権業務処理]-[入金処理]-[締単位入金消込]メニュー
- ・[債権業務処理]-[入金処理]-[一括入金消込]メニュー
- ・[債権業務処理]-[入金処理]-[個別入金消込]メニュー
- ・[債権業務処理]-[入金処理]-[入金消込修正]メニュー

- ・[債権業務処理]-[入金処理]-[入金承認]メニュー
- ・[債権業務処理]-[入金処理]-[仮受金処理]メニュー
- ・[債権業務処理]-[前受金処理]-[前受金消込]メニュー
- ・[債権業務処理]-[前受金処理]-[前受金消込修正]メニュー
- ※『債権管理Proオプション』+『債務管理Proオプション』の組み合わせでお使いの場合 か、『債権管理オプション』+『債務管理オプション』の組み合わせでお使いの場合は、 以下のメニューも対象です。
- ・[債権業務処理]-[相殺処理]-[一括相殺消込]メニュー
- ・[債権業務処理]-[相殺処理]-[個別相殺消込]メニュー
- ・[債権業務処理]-[相殺処理]-[相殺消込修正]メニュー
- ・[債権業務処理]-[相殺処理]-[相殺消込承認]メニュー
- ・[債権業務処理]-[相殺処理]-[債権振替相殺処理]メニュー
- ・[債権業務処理]-[相殺処理]-[債務振替相殺処理]メニュー

[入金情報登録]メニューで、当方負担の振込手数料を入力できるように変更

回収種別が「2:振込」の場合に、[債権業務処理]-[入金処理]-[入金情報登録]メニューで当 方負担の振込手数料を入力できるようになりました。

これにより、ステータスが「2:仮受金」「3:非連結」「4:前受金」の入金仕訳に振込手数 料を計上できます。

- ※[入金情報登録]メニューで振込手数料を入力するには、[導入処理]-[運用設定]-[会社運用設 定]メニューの[債権基本設定]ページで「入金情報登録手数料入力設定」を「入力する」に設 定してください。
- 第込メニューの条件設定画面に、条件の初期化機能を追加 消込メニューの条件設定画面に、[条件クリア]ボタンが追加されました。 このボタンをクリックすることで、設定されている検索条件を一括で初期値に戻せるようにな りました。

≪ 関連メニュー ≫

- ・[債権業務処理]-[入金処理]-[締単位入金消込]メニュー
- ・[債権業務処理]-[入金処理]-[一括入金消込]メニュー
- [債権業務処理]-[入金処理]-[個別入金消込]メニュー
- ・[債権業務処理]-[前受金処理]-[前受金消込]メニュー
- ※『債権管理Proオプション』+『債務管理Proオプション』の組み合わせでお使いの場合 か、『債権管理オプション』+『債務管理オプション』の組み合わせでお使いの場合は、 以下のメニューも対象です。
- ・[債権業務処理]-[相殺処理]-[一括相殺消込]メニュー
- ・[債権業務処理]-[相殺処理]-[個別相殺消込]メニュー
- [個別入金消込]メニュー・[前受金消込]メニューで、日付での絞り込みをするかを選 択できるように変更

[債権業務処理]-[入金処理]-[個別入金消込]メニュー・[債権業務処理]-[前受金処理]-[前受 金消込]メニューの条件設定画面で、債権明細の伝票日付・請求日付での絞り込みをするかを 選択できるようになりました。

 [個別入金消込]メニュー・[前受金消込]メニューに、全選択・全解除機能を追加
 [債権業務処理]-[入金処理]-[個別入金消込]メニュー・[債権業務処理]-[前受金処理]-[前受金消込]メニューで、
 全躍訳
 全解除
 を押すと、すべての債権明細を一括で選択・ 選択解除できるようになりました。

- [前受金消込]メニューで、当方負担の振込手数料を計上できるように変更
 [債権業務処理]-[前受金処理]-[前受金消込]メニューで、前受金情報の回収種別が「2:振込」の場合に、当方負担の振込手数料を入力できるようになりました。
- [前受金消込]メニューに、摘要変更機能を追加
 [債権業務処理]-[前受金処理]-[前受金消込]メニューで、 摘要変更 を押すと、作成する仕 訳伝票の摘要を変更できるようになりました。

● [取引先データ作成]メニューで、検索条件を強化

[随時処理]-[汎用データ作成]-[マスターデータ作成]-[取引先データ作成]-[取引先データ作成]メニューで、作成する取引先データについて、詳細な検索条件を設定できるようなりました。

※この機能アップのため、当バージョンにバージョンアップすると、以前のバージョンで設定した[取引先データ作成 - 出力条件設定]画面の[出力設定]ページ・[項目選択]ページの設定内 容が初期化されます。

● [自動実行取引先グループデータ受入]メニューを追加

く『自動実行オプション』をお使いの場合>

[自動実行管理]-[汎用データ受入]-[自動実行取引先グループデータ受入]メニューが追加され ました。